取扱説明書

音声応答転送装置
IVR-2430

この度は、「音声応答転送装置 IVR-2430」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元に置いてお使いください。

株式会社 タカコム

もくじ

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマークの説明

マーク	説明
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および利用できない機能などの内容を示しています。
	この表示は、本装置を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

	ぬれた手で電源プラグをコンセントに抜き差ししたり、本装置を操作したりしないでください。 感電や故障の原因となります。
	電源コードの上に重い物を置いたり、無理に曲げたり、引っ張ることはやめてください。 電源コードを傷つけ、火災や感電の原因となります。
	電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから確実にコンセントに差し込んでください。 また、定期的に電源プラグを抜いて点検・清掃してください。 ほこりなどによって、火災や感電の原因となります。
	ＡＣ 100 Ｖ商用電源以外では、絶対に使用しないでください。また、タコ足配線による接続は絶対に行わないでください。 火災や感電・故障の原因となります。
	雷が鳴り出したら、筐体や電源プラグには触れないでください。 落雷による感電の原因となります。
	本装置の上に花びん・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などの入った容器、または、小さな金属類を置かないでください。 こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因となります。 万一、水などの液体や異物が入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に点検を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	万一、異常な音がしたり、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常な状態に気づいたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるなど異常がなくなることを確認した上で、販売店に点検を依頼してください。 異常なまま使用すると、火災や感電の原因となります。
	本装置のキャビネットを外したり、改造または分解をしないでください。 火災や感電の原因となります。 改造や分解された場合、修理に応じられないことがあります。
	床や壁の掃除などによって、電話コードやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠警告

アースは確実に取り付けてください。本装置は接地端子のついた３ピンの電源コードを使用しています。安全のため電源コードの接地端子を必ず接地してください。
故障や漏電があった場合、感電の原因となります。

保守員以外はキャビネトの分解、修理、改造などをしないでください。内部にさわると感電するおそれがあります。

アース線は、絶対にガス管や水道管、電話や避雷針のアース線にはつなかないでください。
火災や感電の原因となります。

風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。
火災や感電の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

⚠注意

電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

本装置や電源コードを熱器具に近づけないでください。
本装置のキャビネットや電源コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因となります。

長時間ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたるところや、冷暖房機の近く、湿度の高いところに置かないでください。
内部の温度が上がり、火災の原因となります。

湿気の多い場所や、水・油・薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所や鉄粉・有毒ガスの発生する場所には置かないでください。
火災や感電の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本装置の上に重い物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となります。

故障の原因になることがあるため必ずお守りください

ベンジン・シンナー・アルコールなどで絶対にふかないでください。
変色や変形の原因となります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布に付け、よく絞ってからふいて、そのあと、乾いたやわらかい布でふきとってください。

落としたり、強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

テレビ・ラジオ・無線機・電子レンジ・インバータ型蛍光灯など磁気、電波を発生するところや、違法無線を受けるところには置かないでください。
誤動作の原因となります。

製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。
正常に動作しないことがあります。

温泉地など硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところでお使いになると本装置の寿命が短くなるおそれがあります。

本装置の上に本やダンボール等、通気孔を塞ぐものを置かないでください。また、本装置を２台以上重ねて置かないでください。
熱が内部にこもり、故障の原因となります。

ご使用の前に

■ 取扱説明書の構成について

本システムの取扱説明書は、「商品概要」および「装置編」「データ編」で構成しています。

● 「商品概要」は、システムの機能・動作などの概要について記載しています。

● 「装置編」は、本体装置の設定・操作のしかた、設置工事の方法などが記載されています。

● 「データ編」は、データ入力ソフトをインストールしたパソコンでの機能・動作の設定登録のしかたや年間タイマーの登録方法などが記載されています。

■ セットの確認

次のものがそろっていることをお確かめください。

セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合は、販売店または最寄りの当社営業所へご連絡ください。当社営業所につきましては、当社ホームページ（http://www.takacom.co.jp）の「営業拠点」をご覧ください。

品　名	個数	備　考
本体	1	
電源コード	1	
フラッシュメモリーカード　KFC-60M	1	登録・集計用メモリーカード
フラッシュメモリーカード　JFC-60M	1	メッセージ用メモリーカード
CD	1	IVR-2430 データ入力ソフト
マイク	1	
テープレコーダ接続コード	1	
操作部カバーキー	2	
カードライトアダプタ CWA-100	1	
USB ケーブル	1	
バインダ	2	コード結束用
電源プラグ変換アダプタ	1	
取扱説明書	1	本書

※製品に同梱された電源コードセットは、他の製品に使用しないでください。

■ 対応バージョンについて

本取扱説明書は、システムの各プログラムが次のバージョンに対応しています。

・メインプログラム　　　：Ver.1.0＊
・ラインプログラム　　　：Ver.1.1＊
・録音・再生プログラム　：Ver.1.0＊
・データ入力ソフト（CD）：Ver.1.1＊

メインプログラム、ラインプログラム、録音・再生プログラムのバージョンの確認のしかたは、「装置編 - 動作モードの確認／変更 -3. バージョンの確認」（43 ページ）を参照してください。データ入力ソフトのバージョンはアプリケーションの【トップ画面】に表示されます。60 ページを参照してください。

ご使用にあたってのお願い

■ 取扱説明書の内容につきましては万全を期していますが、お気づきの点がございましたら販売店または最寄りの当社営業所へお申し付けください。紛失や損傷したときは、販売店または最寄りの当社営業所でお買い求めください。

■ この装置は、クラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　ＶＣＣＩ－Ａ

■ 本装置の仕様は、国内向けになっています。海外でご利用いただくことはできません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.

本装置をご利用になる前に

本装置により、転送動作、お待たせ動作などを行うには、最初に、次のことについて回線や機器の確認を行い、運用計画を立ててください。

① **収容回線を確認します。**
下記の「1．回線と構内交換機（PBX） 1-1 回線について」に適合していることを確認してください。

② **構内交換機（PBX）を確認します。**
下記の「1．回線と構内交換機（PBX） 1-2 構内交換機（PBX）について」に適合していることを確認してください。

③ **転送・お待たせ動作などのサービス内容を計画します。**
「商品概要　2. 動作モードについて、3. 転送先と転送方式、4. 回線接続方式と転送方式、5. 動作モードと転送方式」の内容を参考にして計画してください。

④ **転送・お待たせ動作などの運用スケジュールを計画します。**
スケジュールなどの作成は、お手持ちのパソコンにデータ入力ソフトをインストールして行います。Windows 対応のパソコンをご用意ください。Windows Vista/7/8/8.1 に対応しています。また、Internet Explorer 7.0 以上でご利用ください。

⑤ **システムに障害があったときには**
システムに停電などの障害があると、電話着信に支障をきたす場合があります。別売りの「回線切替装置」を接続すると、障害が発生したときは、自動で回線を切り替えることができます。

1．回線と構内交換機（PBX）

1-1　回線について

- アナログ一般公衆回線に対応します。（共同電話、公衆電話、地域集団電話にはご使用になれません。
- INS ネット 64 の場合には、ターミナルアダプタを介して、アナログポートに接続します。本装置を利用して、ボイスワープ転送（INS ボイスワープおよびフレックスホンによる転送）でのご利用はできません。
- ボイスワープ転送を行うには、NTT とボイスワープ契約（有料）をする必要があります。なお、代表回線でのご契約は、個別設定を選択してください。
  詳しくは、NTT 窓口へお問合せください。
- ソフトバンクテレコムの「おとくライン」サービスをご利用の場合は、ソフトバンクテレコムの電話テクニカルセンターへ下記の設定変更の依頼をしてください。

  依頼内容
  『応答リバースディレイ時間』を 200ms から 80ms へ変更してください。

  設定変更の依頼方法など、詳しくは下記の当社ホームページのサポート情報をご確認ください。
  【当社ホームページ】
  http://www.takacom.co.jp/
  《サポート情報》
  「IVR-2430　ソフトバンクテレコム「おとくライン」着信応答時に切断する現象について」

STOP お願い

- NTT ボイスワープ契約の場合、代表回線で利用できる回線数は最大 10 回線までとなります。
- ボイスワープをご利用の場合、システムに停電などの障害があったときは、各回線ごとに、その回線から「1420」をダイヤルして、「転送の停止」操作をしてください。
- ターミナルアダプタの機種によっては、正常に動作しない場合があります。
- 本装置 L1,L2（LINE）側には極性があります。本装置の待機状態で、「L1」が（＋）、「L2」が（－）になるように接続してください。接続については「装置編 - 設置工事」（50 ページ）を参照してください。
- LCR 機能付の装置が接続されていると、ボイスワープ転送ができません。LCR 機能が作動しないようにセットしてください。

1-2　構内交換機（PBX）について

● 一般の構内交換機（PBX）の場合
本装置による内線への交換機能はなく、ベル信号を送出して、内線へ着信させます。外線への転送は、ボイスワープにより転送します。

● PB ダイヤルインの構内交換機（PBX）の場合
PB 信号（プッシュ信号）によるダイヤルイン動作で、指定した内線番号へ着信させます。外線への転送は、ボイスワープにより転送します。

● モデムダイヤルインの構内交換機（PBX）の場合
モデム信号によるダイヤルイン動作で、指定した内線番号へ着信させます。外線への転送は、ボイスワープにより転送します。

● 構内交換機（PBX）の内線接続の場合
フッキング転送機能により、指定した内線番号へ着信させます。構内交換機（PBX）のフッキング転送機能が、2回目のフッキングで、回線がお客様との接続に戻る機能であることが条件です。

ワンポイント

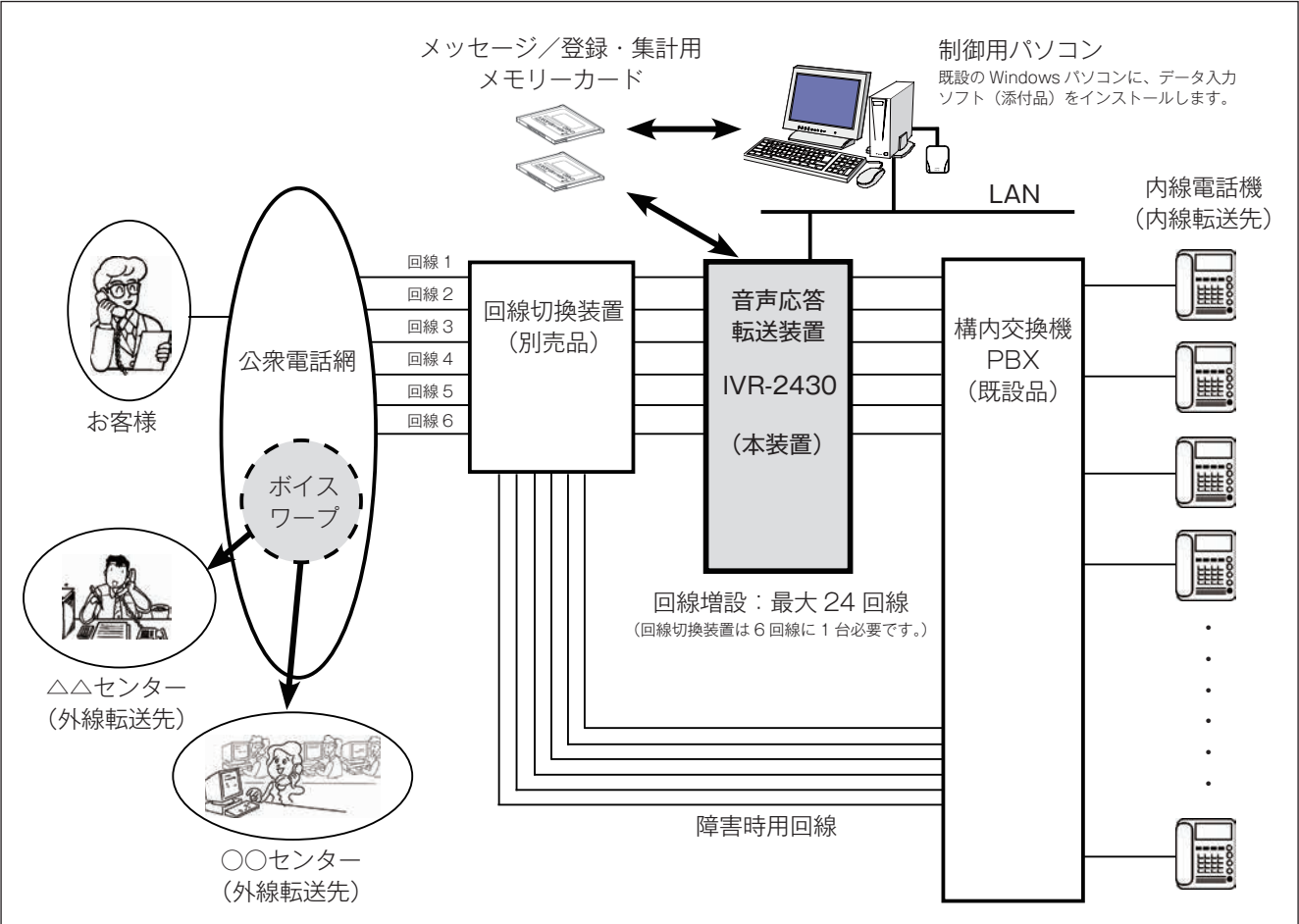
● 構内交換機（PBX）の機種によっては、回線を着信専用に設定しないと、発信側と着信側が衝突して、通話ができないことがあります。

● 構内交換機（PBX）側へ接続する端子 T1,T2（TEL）側には極性があります。接続した構内交換機（PBX）に極性が必要なときは、構内交換機（PBX）側で状態を確認してください。本装置は待機の状態で、「T1」が（＋）、「T2」が（－）になっています。接続については「装置編 - 設置工事」（50 ページ）を参照してください。

商品概要

1．機能概要

1-1　システム概要

■ システム概要図

■ 本装置の機能

本装置には、次の 7 つの動作モードがあります。それぞれのモードをマニュアルで選択して運用する方法と、年間タイマーで自動切替して運用する方法があります。

動作モード	運用形態
選択転送モード	応答・転送（IVR）動作
ツリー転送モード	
ダイレクト転送モード	
無条件転送モード	
お待たせモード	お待たせ動作
応答専用モード	応答専用動作
待機モード	応答解除

● 応答・転送（IVR）モード

構内交換機（PBX）の外線側または内線側に接続して、お客様からの電話着信があると、音声で自動応答して、お客様からの選択番号（プッシュ信号）により希望する部門に転送します。また、NTT のボイスワープサービスを利用して、外部の受付センターなどに転送することができます。

応答・転送動作には、次の 4 種類の動作モードがあります。

① 選択転送モード
② ツリー転送モード
③ ダイレクト転送モード
④ 無条件転送モード

● お待たせモード

お客様からの電話着信にすぐに応対できないときに、お待たせ案内メッセージで応答しながら、電話機を呼び出し続けます。

● 応答専用モード

お客様からの電話着信に、案内メッセージで自動応答します。

● 待機モード

本装置の応答解除時に電話着信があったとき、設定した電話機を呼び出します。

それぞれの動作モードの概要については、「商品概要 -2. 動作モードについて」（10 ページ）をご参照ください。

■ メッセージ録音・再生の機能

お客様からの電話着信時に案内する、挨拶用、転送用、お待たせ用などの各種メッセージを録音・再生します。
録音・再生は本装置で行います。

■ 年間タイマー動作の機能

年間タイマーで、日付・時間帯などを指定して各動作モードを自動的に切り替えて運用することができます。例えば、営業時間中は社内の各部署に電話を転送し、時間外は、外部の受付センターにボイスワープで転送するなどの切り替えが自動で行えます。
タイマー動作のプログラム登録は、制御用パソコンで行います。

■ 制御用パソコンの機能

お手持ちのパソコンに、付属のデータ入力ソフトをインストールすることにより、各種動作モードの動作方式や回線データの登録、転送先の登録などができます。
パソコンで作成したデータは、カードライトアダプタ CWA-100（添付品）を使用して､登録･集計用メモリーカード（KFC-60M）で本装置に登録します。

● データ登録

本体初期設定、転送先電話番号、応答・転送（IVR）動作設定、お待たせ動作設定、応答専用動作設定、年間タイマー設定などの各データ登録を行います。

● 登録データ読み書き

作成したデータを登録・集計用メモリーカードに書き込んだり、本装置のデータを登録・集計用メモリーカードから読み込んだりします。

● 集計データ読み込み

本装置の着信件数などの集計データを、登録・集計用メモリーカードから読み込みます。読み込んだデータは Excel ファイルに変換され、確認することができます。

● 印刷

登録したデータの内容を印刷することができます。

● メッセージカードの編集

本装置で録音した各種メッセージを、メッセージ用メモリーカード（JFC-60M）から読み込んで再生したり､ハードディスクにバックアップ保存し、別のカードに一括コピーすることができます。また､外部で録音したメッセージをメッセージ用メモリーカードに書き込むことができます。

■ LAN 接続時の機能

本装置と制御用パソコンを LAN に接続することができます。LAN 接続した場合、次の機能が使用できます。

● 登録データ読み書き

制御用パソコンで作成した各種登録データを、LAN 経由で本装置に書き込んだり、本装置のデータを制御用パソコンに読み込んだりすることができます。

● 集計データ読み込み

本装置にある着信や転送の集計データを、LAN 経由で制御用パソコンに読み込むことができます。データの読み込み方法には、手動と自動の 2 種類があります。

● 動作モニター

本装置の動作状況を制御用パソコンの画面でモニターすることができます。

● 応答モードのセット／解除

制御用パソコンから本装置の応答モードをセットしたり、解除したりできます。

● マニュアル動作モードの変更

制御用パソコンから本装置のマニュアル動作モードを変更することができます。

● タイマーモードのセット／解除

制御用パソコンから本装置のタイマーモードをセットしたり、解除したりできます。

ワンポイント

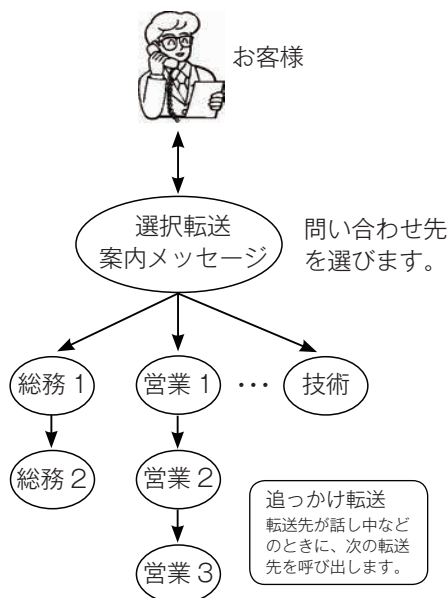
- LAN 接続時の制御用パソコンでの各操作は、本体装置が「応答セット」中もできます。ただし、本体装置が操作中はできません。
- 複数の制御用パソコンを LAN 接続した場合、2 台以上を同時に接続して操作することはできません。

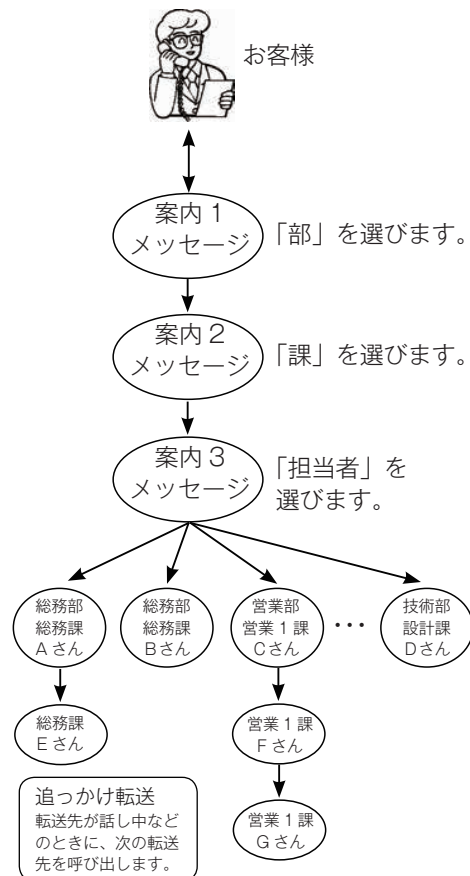
2．動作モードについて

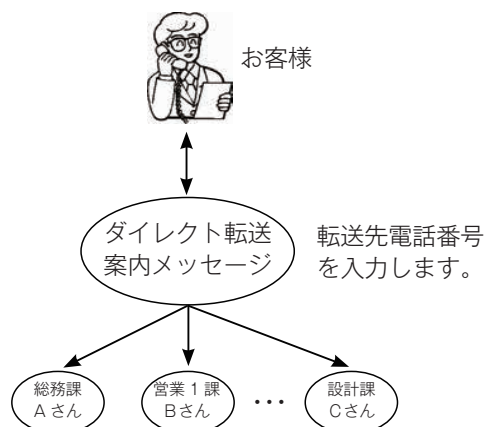
2-1　応答・転送（IVR）モード

応答・転送（IVR）モードには、次の４種類の動作モードがあります。

■ 選択転送モード

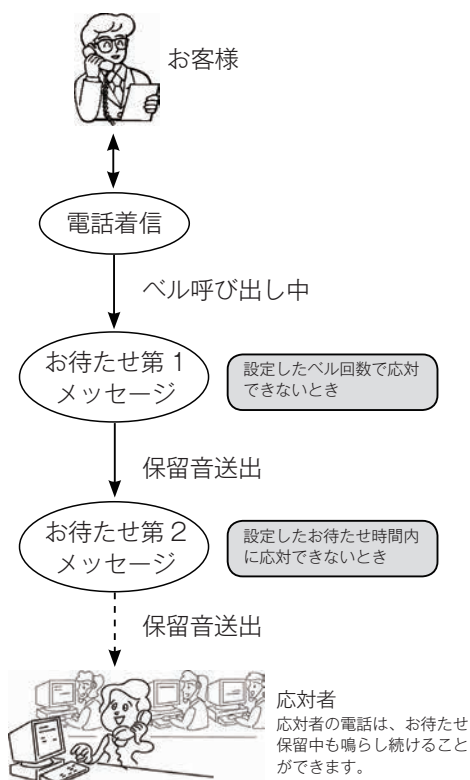
● お客様からの電話着信に案内メッセージで応答して、仕事の内容や問い合わせ内容などから、希望する部署へ転送します。
● 例えば、一般の会社で、総務部門・営業部門・技術部門・資材部門など仕事の内容によって、また銀行などでは、残高照会・振込入金照会・ローンなどお問い合わせ内容によって、転送先を選ぶことができます。
● お客様は、１回の選択番号（プッシュ信号）をダイヤルするだけで、希望する部署を呼び出すことができます。
● 呼出先が話し中や電話に出ないときに、第２、第３の転送先を呼び出すこともできます。（追っかけ転送）

■ ツリー転送モード

● 最大３段階に分けて、直接、担当者へ転送します。
● 例えば、一般の会社で、営業部１課の伊藤さんに転送する場合、案内１メッセージで営業部を、案内２メッセージで営業１課を、案内３メッセージで伊藤さんを呼び出します。また､案内１メッセージと案内３メッセージで、例えば､「営業部１課」または「営業部の伊藤さん」のように、２段階に分けて呼び出すこともできます。
● お客様は、２回または３回の選択番号（プッシュ信号）をダイヤルする必要がありますが、転送先を細かく指定することができます。
● 呼出先が話し中や電話に出ないときに、第２、第３の転送先を呼び出すこともできます。（追っかけ転送）

■ ダイレクト転送モード

● お客様からの電話着信に案内メッセージで応答して、呼び出したい相手の内線番号などを直接ダイヤルしてもらうことにより、希望する担当者や部署などを呼び出すことができます。

■ 無条件転送モード

● NTT ボイスワープの無条件転送サービスを使用して転送します。

2-2　お待たせモード

- お客様からの電話着信が集中してすぐに応対できないときに、お待たせ第 1 メッセージで応答して、応対ができるまでお待たせすることができます。
- お待たせ中はお客様に保留音でお待ちいただくと共に、着信側にはアラーム音でお待たせ着信があることを知らせます。また、お待たせ時間が長い場合は、お待たせ第 2 メッセージを案内することもできます。
- お待たせ中の担当者呼び出しは、直接電話を呼び出したり、ダイヤルイン方式で転送するなどが指定でき、呼出先が話し中や電話に出ないときに、第 2、第 3 の呼出先を呼び出すこともできます。（追っかけ呼び出し）

ワンポイント

- お待たせ中のアラーム音は、LAN 接続された制御用パソコンでモニター中に、パソコンのスピーカから送出されます。

2-3　応答専用モード

- 業務終了後や休日などの電話着信に対して、応答専用案内メッセージで自動応答することができます。

2-4　待機モード

- 本装置をダイヤルイン転送で運用しているときに、待機中（応答セットされていないとき）に電話着信があった場合の呼出先を指定します。
- 呼出先が話し中や電話に出ないときに、第 2、第 3 の呼出先を呼び出すこともできます。（追っかけ呼び出し）

3．転送先と転送方式

3-1　転送先

- 転送先は、構内交換機（PBX）の内線への転送と、NTTボイスワープを使用した外線への転送ができます。
- 転送先登録数は最大 100 ヶ所で、転送先ごとに転送方式を指定して登録します。転送先は「転送先一覧」に登録され、すべての動作モードで共通に使用します。
- 各動作モードでの転送先登録は、「転送先一覧」の中から選択して登録します。第 1 転送先、第 2 転送先、第 3 転送先に異なった転送方式の転送先を登録することもできます。

3-2　転送方式

転送方式には、「ボイスワープ転送」「フッキング転送」「ダイヤルイン転送」「ベルのみ（一般／ナンバーディスプレイ）」の 4 種類があります。

■ ボイスワープ転送

NTT のボイスワープを使用して、外線への転送を行います。「無条件転送」と「応答後転送」の 2 種類の転送ができます。ボイスワープのセットおよび解除は、登録に従って本装置が自動で行います。

- **無条件転送**

  かかってきた電話を、本装置で応答させずに、あらかじめ登録してある転送先へ直接転送します。

  本装置の動作モード「無条件転送モード」で使用できます。

- **応答後転送**

  かかってきた電話を、本装置で応答して、電話をかけてきた人からの選択番号（プッシュ信号）により、あらかじめ登録してある転送先へ転送します。

  本装置の動作モード「選択転送モード」「ツリー転送モード」「お待たせモード」で使用できます。

■ フッキング転送

構内交換機（PBX）のフッキング転送機能を使用して、転送します。

本装置の動作モード「選択転送モード」「ツリー転送モード」「ダイレクト転送モード」で使用できます。

■ ダイヤルイン転送

構内交換機（PBX）のダイヤルイン機能を使用して、転送します。

ナンバーディスプレイ契約しているときは、番号情報なども転送先へ送信します。

本装置の動作モード「待機モード」「選択転送モード」「ツリー転送モード」「ダイレクト転送モード」「お待たせモード」「応答専用モード」で使用できます。

■ ベルのみ（一般／ナンバーディスプレイ）

本装置の T1,T2(TEL) 側に接続された回線に、ベル信号を送出します。

ナンバーディスプレイ契約しているときは、番号情報なども転送先へ送信します。

本装置の動作モード「待機モード」「選択転送モード」「ツリー転送モード」「お待たせモード」「応答専用モード」で使用できます。

ワンポイント

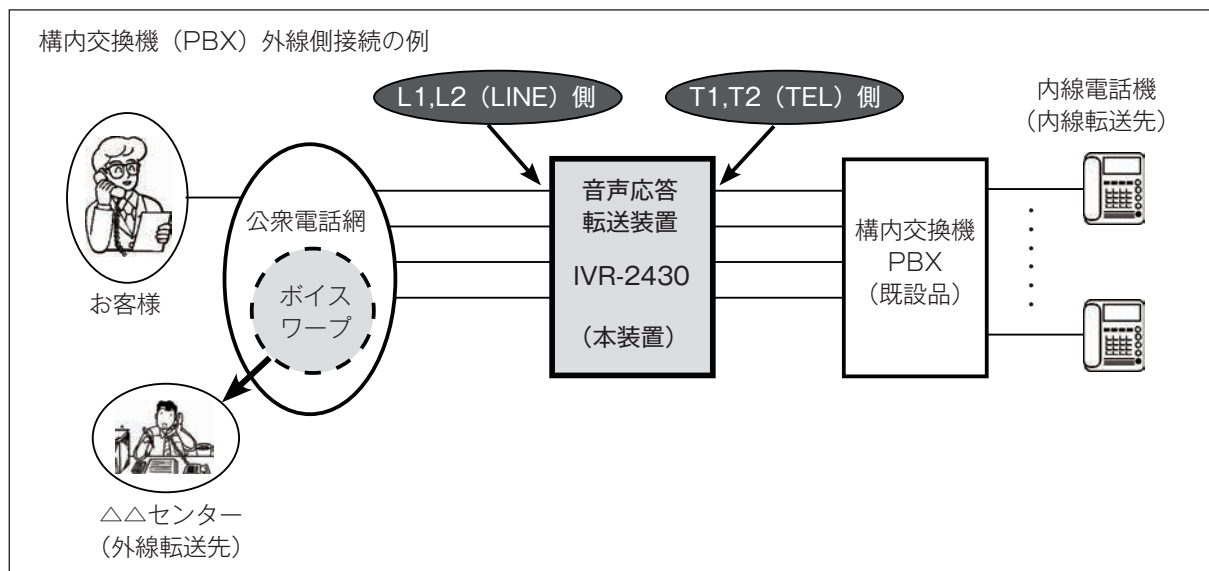
- 110 番や 104 番の 3 桁の番号、フリーダイヤル、ナビダイヤル、フリーホン、ダイヤル Q^2、伝言ダイヤル、# ダイヤル、国際電話の番号（0070・0077・0088 などで始まる番号）などは、ボイスワープ転送の転送先として登録できません。

STOP お願い

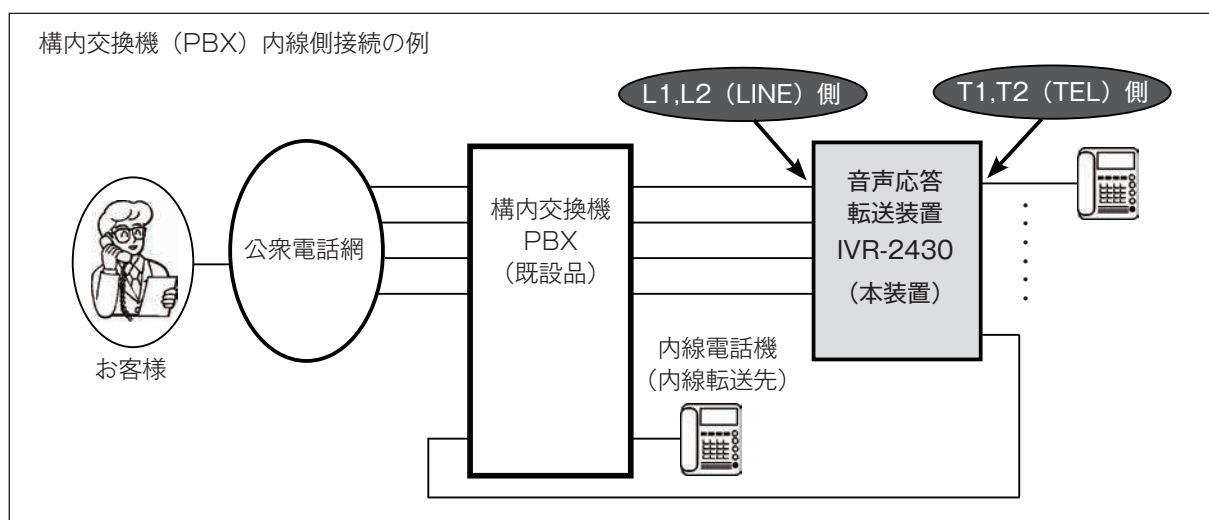
- 転送方式をフッキング転送でご利用になる場合は、構内交換機（PBX）のフッキング転送機能が、2 回目のフッキングで、回線がお客様との接続に戻る機能であることを確認してください。この機能がないと本装置が正常に動作しない場合があります。
- INS ネット 64 の場合は、本装置を使用してボイスワープ転送（INS ボイスワープおよびフレックスホンによる転送）でのご利用はできません。
- 収容回線が「マイライン」サービスをご利用の場合、選択された電話会社によってはボイスワープを利用して外線への転送ができない場合があります。詳しくは、販売店または最寄りの当社営業所へお問合せください。

4．接続種別と転送方式

◎ 本装置は、電話回線への接続方法によって使用できる転送方式に制限があります。ご利用いただく電話システムに応じて、運用方法をご検討ください。

4-1　構内交換機（PBX）の外線接続

■ 接続種別と使用できる転送方式　　○：使用可　　×：使用不可

接続種別		転送方式			
L1,L2（LINE）側	T1,T2（TEL）側	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
一般 または ナンバーディスプレイ	一般	○	×	×	○
	PB ダイヤルイン	○	×	○	×
	ナンバーディスプレイ	○	×	×	○
	モデムダイヤルイン	○	×	○	×

4-2　構内交換機（PBX）の内線接続

■ 接続種別と使用できる転送方式　　○：使用可　　×：使用不可

接続種別		転送方式			
L1,L2（LINE）側	T1,T2（TEL）側	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
一般 または ナンバーディスプレイ	一般	×	○	×	○
	PB ダイヤルイン	×	×	○	×
	ナンバーディスプレイ	×	○	×	○
	モデムダイヤルイン	×	×	○	×

5．動作モードと転送方式

◎ 本装置は、運用される動作モードによって、使用できる転送方式に制限があります。ご利用にあたっては下記の表を参照していただき、充分に注意してください。

動作モード		転送方式			
		ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
待機		×	×	○	○
応答・転送（IVR）動作	選択転送	○	○(注)	○(注)	○
	ツリー転送	○	○(注)	○(注)	○
	ダイレクト転送	×	○(注)	○(注)	×
	無条件転送	○	×	×	×
お待たせ		△	×	○	○
応答専用		×	×	○	○

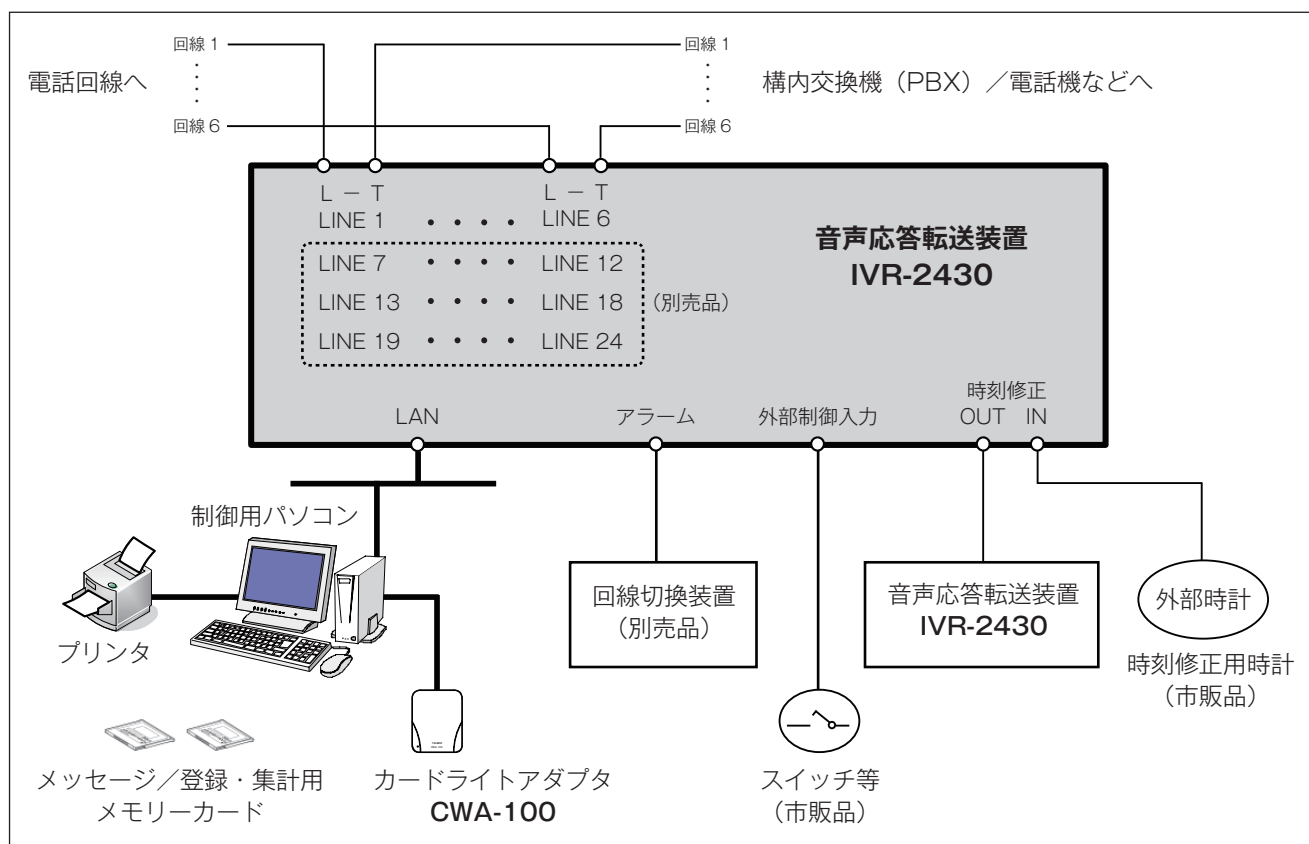
○：使用可
×：使用不可
△：条件付で使用可（第 1 呼出先には登録できません。）
（注）：ダイヤルイン転送、フッキング転送のいずれかの方式を、本体初期設定で選択します。

ワンポイント

● 本装置の L1,L2（LINE）側の接続種別は、一般回線またはナンバーディスプレイ回線の混在ができます。ただし、本装置の T1,T2（TEL）側の接続種別は、全回線共通で 1 種類のみです。従って、接続種別の組み合わせによっては、お客様の電話番号情報が取得できない場合があります。（下表網掛けの場合）
いずれの場合も、応答・転送などの動作には影響ありませんが、網掛け以外の組み合わせでのご利用をお勧めします。

L1,L2（LINE）側　接続種別	T1,T2（TEL）側　接続種別	お客様の電話番号情報の扱い
一般	一般	電話番号情報はありません。
	PB ダイヤルイン	電話番号情報はありません。
	ナンバーディスプレイ	「非通知」扱いとなります。
	モデムダイヤルイン	「非通知」扱いとなります。
ナンバーディスプレイ	一般	電話番号情報は無視されます。
	PB ダイヤルイン	電話番号情報は無視されます。
	ナンバーディスプレイ	電話番号情報を取得します。
	モデムダイヤルイン	電話番号情報を取得します。

6．機器の構成

■ 機器構成図

● **音声応答転送装置 IVR-2430**
別売りの 6 回線ラインボードを追加して、最大 24 回線まで増設できます。

● **制御用パソコン**
添付のデータ入力ソフトをインストールしたパソコンで、各種転送モードの動作方式や回線データの設定、転送先の登録などを行います。

● **カードライトアダプタ CWA-100**
各種の登録データや案内メッセージなどを、メモリーカードを使用して、制御用パソコンで読み書きするときに使用します。

● **メモリーカード（メッセージ／登録・集計用）**
制御用パソコンと本装置で、登録データや案内メッセージを読み書きするときに使用するメモリーカードです。メッセージ用（JFC-60M）と、登録･集計用（KFC-60M）の 2 種類があります。

● **LAN**
制御用パソコンと本装置を LAN 接続することにより、登録データを LAN 経由で読み書きすることができます。また、制御用パソコンのディスプレイで本装置の着信状況などのモニターができます。

● **アラーム**
別売りの回線切替装置に接続することにより、本装置が停電などの障害発生時に、電話回線を障害時用の予備回線に切り替えることができます。また、ブザーやランプなどを接続してアラーム状態を知らせることができます。

● **外部制御入力**
本装置の操作ボタン以外に、市販の外部スイッチなどで応答をセットしたり解除することができます。

● **時刻修正**
「IN」側に、時刻修正用の外部時計を接続します。外部時計からの信号により、本装置の内部時計が修正されます。「OUT」側からは、1 時間ごとに外部へ修正信号を出力します。本装置を複数台使用しているときには、その装置の時刻修正「IN」端子に接続して、時刻修正ができます。

● **プリンタ（別売品）**
本装置が着信・転送したデータの集計や、登録データの内容などを、制御用パソコンで印刷するときに使用します。

ワンポイント

● 各構成機器の接続方法などについては、「設置工事 -2. 各機器との接続のしかた」（51 ページ）を参照してください。

7．転送の流れとメッセージ

7-1　メッセージの種類

本装置で使用する案内メッセージと使用する動作モード、およびメッセージ例などの一覧は、次のとおりです。
動作モード欄の「○」印が使用できるメッセージです。

メッセージ種別	メッセージ名	動作モード					ch 番号	メッセージ数	メッセージ例
		選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	お待たせ	応答専用			
共通	挨拶	○	○	○	×	○	1	1	はい、○○会社でございます。いつもお世話になります。
	総合案内	○	○	○	×	×	2	1	恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
	選択繰返	○	○	○	×	×	3	1	内容の確認ができませんでした。もう一度、ご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
	終了案内	○	○	○	×	○	4	1	お電話ありがとうございました。
	保留音	○	○	○	○	×	5	1	（オルゴール保留音など、自由に録音できます。）
選択転送	選択転送案内 1 ～ 20	○	×	×	×	×	6 ～ 25	20	総務は「1」を、経理は「2」を、営業は「3」を、その他不明な時は「4」をどうぞ。
ダイレクト転送	ダイレクト転送案内	×	○	×	×	×	26	1	ご希望の相手先内線番号を、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
ツリー転送	ツリー案内 1	×	×	○	×	×	27,118	2	総務部は「1」を、営業部は「2」を、技術部は「3」を、‥‥ 部署が不明な時は「9」をどうぞ。
	ツリー案内 2	×	×	○	×	×	28 ～ 36 119 ～ 127	18	営業部の担当部署を選択してください。営業 1 課は「1」を、営業 2 課は「2」を、‥‥ 部署が不明な時は「9」をどうぞ。
	ツリー案内 3	×	×	○	×	×	37 ～ 117 128 ～ 208	162	営業 1 課の担当者を選択してください。伊藤は「1」を、鈴木は「2」を、‥‥ 担当者が不明な時は「9」をどうぞ。
転送案内	不応答案内	○	○	○	×	×	209	1	電話が大変混雑しております。
	話中案内	○	○	○	×	×	210	1	担当者が話し中です。
	転送繰返案内	○	○	○	×	×	211	1	恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、もう一度、今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
	未確定終了案内	○	○	○	×	×	212	1	内容の確認ができませんでした。内容を確認の上、もう一度お電話いただきますようお願いします。
	不出終了案内	○	○	○	×	×	213	1	恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。しばらくしてから、おかけ直しくださいますようお願いします。
	転送中案内	○	○	○	×	×	214	1	もうしばらく、お待ちください。
呼出案内	呼出案内 1 ～ 11	○	○	○	×	×	215 ～ 225	11	係におつなぎしております。しばらくお待ちください。
着信案内	着信案内 1 ～ 11	○	○	○	×	×	226 ～ 236	11	外線からの電話です。
お待たせ	お待たせ第 1	×	×	×	○	×	237	1	はい、○○会社でございます。ただいま、電話が込み合っております。このまましばらくお待ちください。
	お待たせ第 2	×	×	×	○	×	238	1	申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
	選択呼出	×	×	×	○	×	239	1	はい、○○テレホンサービスです。ご案内の情報で詳しいことをお聞きになりたい場合は、担当者におつなぎします。プッシュ信号で ‥‥。
応答専用	応答専用案内 1 ～ 10	×	×	×	×	○	240 ～ 249	10	申し訳ございませんが、本日の営業は終了いたしました。弊社の営業時間は ‥‥。

7-2　選択転送の流れ

【待機】
ベル着信
選択転送フロー　1／2
本装置応答前の、T1,T2（TEL）側の呼び出し設定は
着信設定「ベル中呼出」
しない
する
接続種別（T1,T2）は
ダイヤルイン
一般／ND
T1,T2（TEL）側を呼び出し
着信設定「ベル中呼出先」を呼び出し
《呼び出しへ》
選択転送フロー　2／2へ
着信設定「ベル回数」
設定範囲：1 ～ 20 回
ボイスワープ時は 1 ～ 5 回
NO
YES
【本装置応答】
挨拶メッセージ（1ch）
メッセージ例：
はい、○○会社でございます。
いつもお世話になります。
総合案内メッセージ（2ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
選択番号受付
登録により、挨拶メッセージまたは総合案内メッセージ中は選択番号を受け付けないようにすることができます。
＜誤入力扱い＞
「応答動作回数」終了
設定範囲：1 ～ 9 回
YES
NO
選択繰返しメッセージ（3ch）
メッセージ例：
内容の確認ができませんでした。
もう一度、ご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
A
＜選択転送案内送出へ＞
選択転送案内メッセージ（6 ～ 25ch）
メッセージ例：
総務は「1」を、経理は「2」を、営業は「3」を、その他不明な時は「4」をどうぞ。
選択番号入力あり
YES
NO
入力＝0
YES
NO
設定範囲：0 ～ 10 秒
選択番号設定「入力待ち時間」終了
NO
YES
【応答終了】
未確定終了案内メッセージ（212ch）
メッセージ例：
内容の確認ができませんでした。
内容を確認の上、もう一度お電話いただきますようお願いします。
＜未選択扱い＞
未選択時の転送先あり
NO
YES
設定された転送先あり
NO
YES
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
未選択時の「第 1 転送先」を呼び出し
設定された「第 1 転送先」を呼び出し
回線開放
呼出案内メッセージ（215 ～ 225ch）
メッセージ例：
係におつなぎしております。しばらくお待ちください。
《呼び出しへ》
選択転送フロー　2／2へ

《呼び出し》
選択転送フロー　２／２
B
転送先の転送種別は
ボイスワープ（V.W）転送
NO
YES
フッキング転送
D
＜ L1,L2（LINE）側　ボイスワープ（V.W）転送＞
ボイスワープ（V.W）応答後転送処理
＜ L1,L2（LINE）側　フッキング転送＞
フッキング転送による呼び出し処理
設定範囲：10 ～ 100 秒
転送中設定「V.W 呼出時間」終了
転送先話中
転送先応答
設定範囲：10 ～ 240 秒 / 無制限
転送中設定「呼出時間」終了
＜不応答＞
＜話中＞
C
次転送先あり
※ 最大転送先３つ
次の転送先の呼び出し動作へ
不応答案内メッセージ（209ch）
メッセージ例：
電話が大変混雑しております。
話中案内メッセージ（210ch）
メッセージ例：
担当者が話し中です。
設定範囲：１～５回
「転送動作回数」終了
＜転送終了＞
＜通話＞
転送繰返案内メッセージ（211ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、もう一度今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
不出終了案内メッセージ（213ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。しばらくしてから、おかけ直しくださいますようお願いします。
着信案内メッセージ（226 ～ 236ch）
メッセージ例：
外線からの着信です。
※ 保留音設定時は使用できません。
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
通話開始
ボイスワープ転送のときは、本装置の回線は開放され、転送先との通話制御は、網により行われます。
A
＜選択転送案内送出へ＞
（選択転送フロー　１／２へ）
回線開放
ダイヤルイン転送
＜ T1,T2（TEL）側　一般／ ND 転送＞
T1,T2（TEL）側を呼び出し
＜ T1,T2（TEL）側　ダイヤルイン転送＞
転送先内線呼び出し処理 PB/ モデムダイヤルイン
転送中設定「保留音」
リングバックトーン
保留音
保留音（5ch）
リングバックトーン送出
転送中案内メッセージ（214ch）
メッセージ例：
もうしばらく、お待ちください。
設定範囲：10 ～ 240 秒 / 無制限
転送先話中
転送先応答
T1,T2（TEL）側通話終了

7-3　ツリー転送の流れ

【待機】
ベル着信
ツリー転送フロー　1／3
本装置応答前の、T1,T2（TEL）側の呼び出し設定は
着信設定「ベル中呼出」
しない
する
接続種別（T1,T2）は
ダイヤルイン
一般／ND
T1,T2（TEL）側を呼び出し
着信設定「ベル中呼出先」を呼び出し
《呼び出しへ》
ツリー転送フロー　3／3へ
設定範囲：1～20回
ボイスワープ時は1～5回
ツリー転送フロー　2／3へ
《選択番号確認へ》
着信設定「ベル回数」
NO
YES
【本装置応答】
挨拶メッセージ（1ch）
メッセージ例：
はい、○○会社でございます。
いつもお世話になります。
選択番号受付
登録により、挨拶メッセージまたは総合案内メッセージ中は選択番号を受け付けないようにすることができます。
総合案内メッセージ（2ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
A
ツリー案内1メッセージ（27,118ch）
メッセージ例：
総務部は「1」を、営業部は「2」を、技術部は「3」を、‥‥部署が不明な時は「9」をどうぞ。
選択番号入力あり
YES
NO
設定範囲：0～10秒
選択番号設定「入力待ち時間」終了
NO
YES
＜未選択扱い＞
未選択時の転送先あり
NO
YES
未選択時の「第1転送先」を呼び出し
J
呼出案内メッセージ（215～225ch）
メッセージ例：
係におつなぎしております。しばらくお待ちください。
《呼び出しへ》
ツリー転送フロー　3／3へ
B
C
ツリー案内2メッセージ（28～36ch/119～127ch）
メッセージ例：
営業部の担当部署を選択してください。営業1課は「1」を、営業2課は「2」を、‥‥部署が不明な時は「9」をどうぞ。
ツリー案内3メッセージ（37～117ch/128～208ch）
メッセージ例：
営業1課の担当者を選択してください。伊藤は「1」を、鈴木は「2」を、‥‥担当者が不明な時は「9」をどうぞ。
「音声案内」
NO
YES
選択番号入力あり
YES
NO
※選択信号は
0　：繰り返し
00：ひとつ前の案内へ
設定範囲：0～10秒
選択番号設定「入力待ち時間」終了
NO
YES
設定範囲：1～9回
音声案内送出設定「回数」終了
NO
YES
設定範囲：1～9回
応答動作設定「案内2、3送出回数」終了
NO
YES
B または C
【応答終了】
未確定終了案内メッセージ（212ch）
メッセージ例：
内容の確認ができませんでした。内容を確認の上、もう一度お電話いただきますようお願いします。
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
回線開放
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
回線開放

《選択番号確認》
ツリー転送フロー　２／３
選択番号を入力した案内
挨拶総合案内１
NO
YES
案内２
NO
YES
D《案内３の判定へ》
入力値＝１～９
入力＝0
入力＝00
＜誤入力＞
A《繰り返しへ》
B《繰り返しへ》
A《ひとつ前の案内へ》
有効入力値
階層
２階層
３階層
「転送先選択」
「音声案内」
直接転送
B《案内２へ》
J《呼び出しへ》
C《案内３へ》
J《呼び出しへ》
＜誤入力扱い＞
設定範囲：１～９回
応答動作設定「応答動作回数」終了
【応答終了】
未確定終了案内メッセージ（212ch）
メッセージ例：
内容の確認ができませんでした。
内容を確認の上、もう一度お電話いただきますようお願いします。
選択繰返しメッセージ（3ch）
メッセージ例：
内容の確認ができませんでした。
もう一度、ご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
回線開放
D
C《繰り返しへ》
B《ひとつ前の案内へ》
＜転送先選択＞
J《呼び出しへ》
＜案内３＞
A
B
C
最初に選択のあったレベルに戻る

《呼び出し》
E
ツリー転送フロー　3／3
転送先の転送種別は
ボイスワープ（V.W）転送
NO
YES
フッキング転送
NO
G
YES
＜L1,L2（LINE）側　ボイスワープ（V.W）転送＞
ボイスワープ（V.W）応答後転送処理
＜L1,L2（LINE）側　フッキング転送＞
フッキング転送による呼び出し処理
設定範囲：10～100秒
転送中設定「V.W 呼出時間」終了
転送先話中
転送先応答
設定範囲：10～240秒／無制限
転送中設定「呼出時間」終了
転送先話中
転送先応答
＜不応答＞
F
＜話中＞
次転送先あり
※ 最大転送先３つ
次の転送先の呼び出し動作へ
E
※ 最大転送先３つ
次転送先あり
不応答案内メッセージ（209ch）
メッセージ例：
電話が大変混雑しております。
話中案内メッセージ（210ch）
メッセージ例：
担当者が話し中です。
設定範囲：１～５回
「転送動作回数」終了
＜転送終了＞
＜通話＞
転送繰返案内メッセージ（211ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、もう一度今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
不出終了案内メッセージ（213ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。しばらくしてから、おかけ直しくださいますようお願いします。
着信案内メッセージ（226～236ch）
メッセージ例：
外線からの着信です。
※ 保留音設定時は使用できません。
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
通話開始
ボイスワープ転送のときは、本装置の回線は開放され、転送先との通話制御は、網により行われます。
前回、転送したときの案内メッセージを判定します。
案内１
案内２
回線開放
回線開放
＜案内１＞
＜案内２＞
＜案内３＞
A
B
C
《案内メッセージ送出（ツリー転送フロー　１／３）へ》
F
G
転送中案内メッセージ（214ch）
メッセージ例：
もうしばらく、お待ちください。
＜通話＞
着信案内メッセージ（226～236ch）
メッセージ例：
外線からの着信です。
※ 保留音設定時は使用できません。
ダイヤルイン転送
＜T1,T2（TEL）側　一般／ND転送＞
T1,T2（TEL）側を呼び出し
＜T1,T2（TEL）側　ダイヤルイン転送＞
転送先内線呼び出し処理 PB/モデムダイヤルイン
設定範囲：10～240秒／無制限
転送中設定「呼出時間」終了
＜不応答＞
通話開始
転送先話中
＜話中＞
転送中設定「保留音」
リングバックトーン
T1,T2（TEL）側通話終了
保留音
リングバックトーン送出
転送先応答
保留音（5ch）
回線開放

7-4　ダイレクト転送の流れ

《呼び出し》
ダイレクト転送フロー　2／2
B
転送先の転送種別は
フッキング転送
NO
ダイヤルイン
YES
< L1,L2（LINE）側　フッキング転送>
< T1,T2（TEL）側　ダイヤルイン転送>
入力された選択番号を呼び出し
PB/ モデムダイヤルイン呼び出し処理
※ モデムダイヤルインの場合は電話番号を付加して呼び出し。
設定範囲：10 ～ 240 秒 / 無制限
転送中設定「呼出時間」終了
転送先話中
転送先応答
NO
YES
転送中設定「保留音」
リングバックトーン
保留音
保留音（5ch）
リングバックトーン送出
転送中案内メッセージ（214ch）
メッセージ例：
もうしばらく、お待ちください。
<不応答>
<話中>
未選択転送
※ 未選択時は、最大転送先３つ
次転送先あり
次の転送先の呼び出し動作へ
不応答案内メッセージ（209ch）
メッセージ例：
電話が大変混雑しております。
話中案内メッセージ（210ch）
メッセージ例：
担当者が話し中です。
転送先話中
転送先応答
<通話>
着信案内メッセージ（226 ～ 236ch）
メッセージ例：
外線からの着信です。
※ 保留音設定時は使用できません。
設定範囲：1 ～ 5 回
「転送動作回数」終了
<転送終了>
転送繰返案内メッセージ（211ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、もう一度今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
不出終了案内メッセージ（213ch）
メッセージ例：
恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。しばらくしてから、おかけ直しくださいますようお願いします。
終了案内メッセージ（4ch）
メッセージ例：
お電話ありがとうございました。
通話開始
回線開放
T1,T2（TEL）側通話終了
A
《ダイレクト転送案内送出へ》
（ダイレクト転送フロー　1／2）

7-5 お待たせ動作の流れ

《呼び出し》
お待たせフロー　２／２
呼出先の転送種別は
ボイスワープ（V.W）転送
NO
YES
ダイヤルイン転送
NO
YES
一般／ND 転送
< L1,L2（LINE）側　ボイスワープ（V.W）転送>
ボイスワープ（V.W）応答後転送処理
< T1,T2（TEL）側　ダイヤルイン転送>
PB/ モデムダイヤルイン呼び出し処理
T1,T2（TEL）側を呼び出し
呼出先話中
呼出先応答
設定範囲：10 ～ 100 秒
呼出設定「V.W 呼出時間」終了
第３呼出先あり
次呼出先呼び出し
第１呼出先呼び出し
呼出先は１つのみ登録
設定範囲：10 ～ 240 秒
呼出設定「呼出時間」終了
第２、第３呼出先あり
B
《通話》
呼出先の転送種別
ボイスワープ転送
ダイヤルイン転送
一般／ND 転送
<通話>
通話開始
ボイスワープ転送のときは、本装置の回線は開放され、転送先との通話制御は、網により行われます。
回線開放
T1,T2（TEL）側通話終了

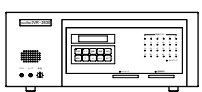
7-6　応答専用動作の流れ

7-7　待機時転送の流れ

【待機】
待機時フロー
ベル着信
接続種別
（T1,T2）は
ダイヤルイン
一般／ ND
T1,T2（TEL）側を呼び出し
T1,T2（TEL）側を呼び出し
L1,L2（LINE）
側ベル着信終了
YES
NO
L1,L2（LINE）
側ベル着信終了
YES
NO
呼出先
話中
YES
NO
呼出先
応答
NO
YES
呼出先
応答
YES
NO
通話開始
呼出先は
1 つのみ登録
YES
NO
設定範囲：10 ～ 240 秒
T1,T2（TEL）側
通話終了
NO
YES
「待機時ダイヤルイン
呼出時間」終了
NO
YES
回線開放
第 2、第 3
呼出先あり
NO
YES
次の呼出先を呼び出し
第 1 呼出先を呼び出し
呼び出し終了
《待機へ》
通話開始
T1,T2（TEL）側
通話終了
NO
YES
回線開放

8．お使いになるまでの手順

◎本装置は、お手持ちのパソコンで作成した、転送やお待たせなどのスケジュールに基づいて、既存の構内交換機（ＰＢＸ）を制御する装置です。本装置で応答動作させるには、あらかじめ次の操作が必要です。

● 添付の CD で「IVR-2430 データ入力ソフト」をお手持ちのパソコンへインストールします。
・インストールのしかたは、「データ編」をご覧ください。

● パソコンで、転送スケジュールや回線設定・初期設定などを作成します。
・データ作成のしかたは、「データ編」をご覧ください。

● パソコンで作成したデータを、カードライトアダプタ CWA-100 を使用してメモリーカードへ出力します。
・出力のしかたは、「データ編」をご覧ください。

● メモリーカードのスケジュールデータ等を、本装置で読み込みます。
・読み込みのしかたは、「装置編」をご覧ください。

● 時刻登録や各種メッセージの録音をします。
・時刻登録やメッセージ録音のしかたは、「装置編」をご覧ください。

● 応答にセットします。
・応答のセットのしかたは、「装置編」をご覧ください。

■ LAN 接続でお使いの場合

本装置と制御用パソコンを、LAN 接続でお使いの場合は、パソコンで作成したスケジュールデータなどは、直接、本装置に書き込むことができます。

第１章　装置編

各部の名前とはたらき

前面

TAKACOM IVR-2430

⑤ ⑥ ④ ③ ② ①

マイク　テープ　音量

回線モニター

応答　タイマー　登録　録音　再生
集計　▽　△　セット　終了

ボイスワープ

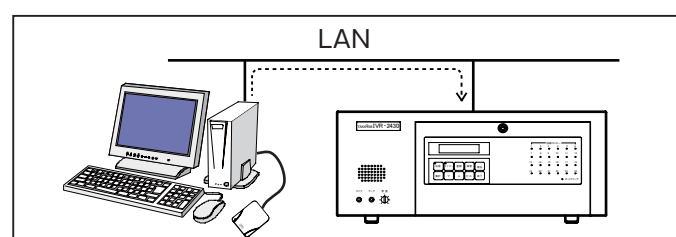
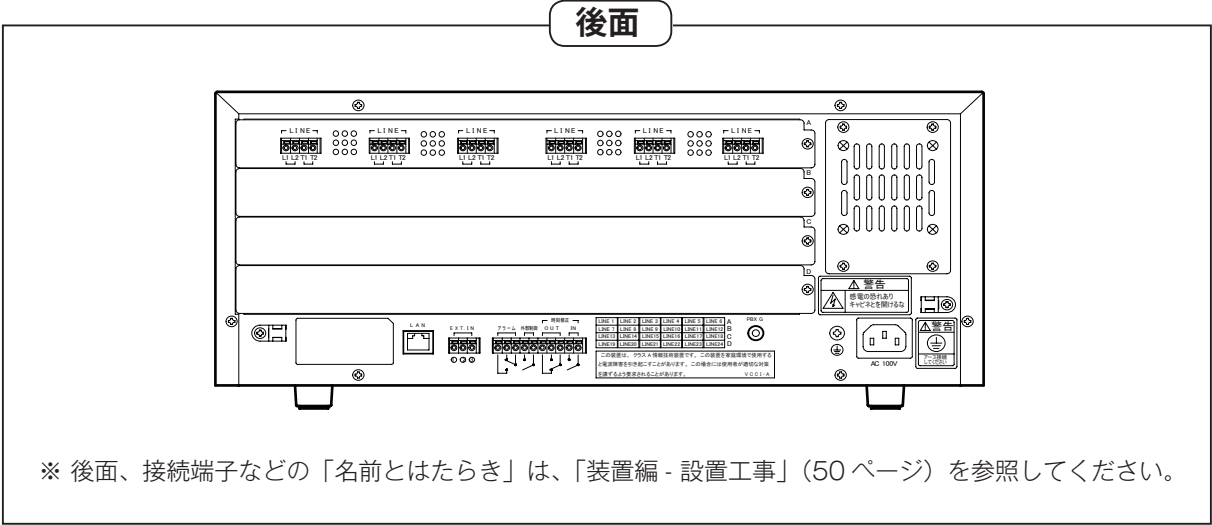
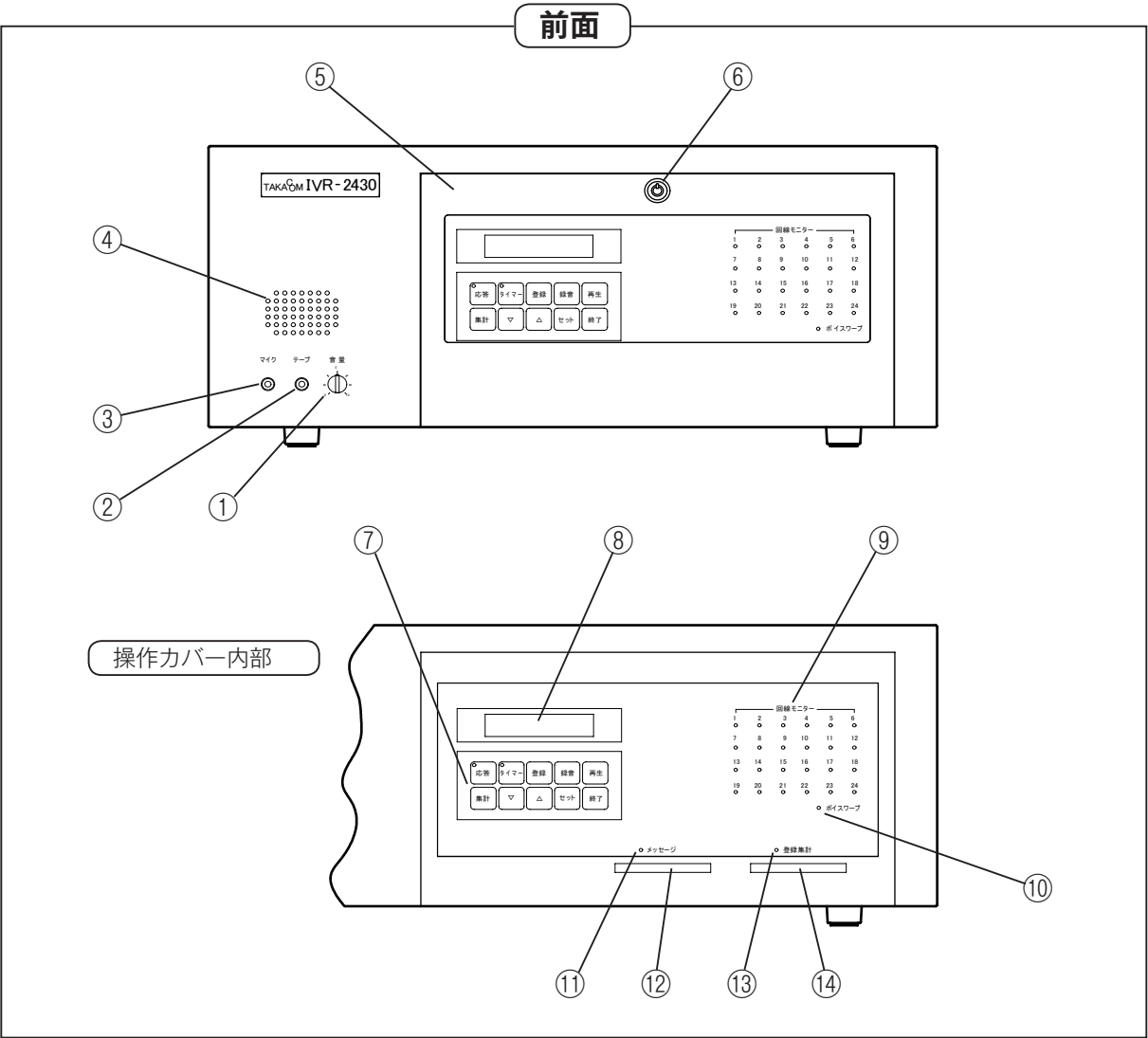
⑦ ⑧ ⑨

操作カバー内部

メッセージ　登録集計

⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

後面

※ 後面、接続端子などの「名前とはたらき」は、「装置編 - 設置工事」（50 ページ）を参照してください。

名　前		機　能　（はたらき）
①	音量ボリューム	スピーカの音量を調節するボリュームです。
②	テープジャック	CD ラジカセなどから録音するとき接続する、モノラルのミニジャックです。
③	マイクジャック	マイクから録音するとき接続する、モノラルのミニジャックです。
④	スピーカ	案内メッセージなどの再生を拡声します。
⑤	操作部カバー	操作ボタン、メモリーカード挿入口などをカバーします。
⑥	操作部カバー鍵穴	本装置の操作部カバーを開閉するときに使用します。
⑦	応答ボタン／ランプ	着信応答のセットおよび解除をするときに押します。 応答ランプは、応答セットの状態を表示します。
	タイマーボタン／ランプ	タイマー動作のセットおよび解除をするときに押します。 タイマーランプは、タイマーセットの状態を表示します。
	登録ボタン	本装置の初期登録、データの読み書き、マニュアルモードの設定などをするときに押します。
	録音ボタン	案内メッセージなどを録音するときに押します。
	再生ボタン	案内メッセージなどを再生するときに押します。
	集計ボタン	着信件数などの集計データを出力するときなどに押します。
	▽（ダウン）ボタン	メニュー選択や数値選択を降順方向へ進めるときに押します。
	△（アップ）ボタン	メニュー選択や数値選択を昇順方向へ進めるときに押します。
	セットボタン	メニューや数値を確定するときに押します。
	終了ボタン	録音・再生や登録を終了するときなどに押します。
⑧	ディスプレイ	本装置の動作状態などを表示します。
⑨	回線モニターランプ	回線の接続や使用状態を表示します。
⑩	ボイスワープランプ	ボイスワープの設定や使用状態を表示します。
⑪	メッセージ用 メモリーカードランプ	メッセージの録音・再生中や応答セット中など、メモリーカードの使用状態を表示します。
⑫	メッセージ用 メモリーカード挿入口	メッセージ用メモリーカードを挿入します。
⑬	登録・集計用 メモリーカードランプ	登録データの読み書きや集計データの出力中など、メモリーカードの使用状態を表示します。
⑭	登録・集計用 メモリーカード挿入口	登録・集計用メモリーカードを挿入します。

ディスプレイ表示

本取扱説明書のディスプレイ表示の例で、網掛け部分は点滅表示であることを示します。

ボタン操作は

本装置は、約２分間、何もボタン操作をしないと、自動的にその操作を解除します。
このときは、最初から操作をやり直してください。

■ 電源について

● 電源は、AC100V 商用電源でご使用ください。
● 本装置には、電源スイッチはありません。
電源を切るときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

■ 電源を入れると・・・

最初に電源を入れると、ディスプレイは、次のように表示します。以下の方法に従って操作し、待機画面にしてください。

電源投入

*** IVR-2430 ***

・イニシャル中の表示です。

・6 回線ラインボードを増設して使用する場合などに、最初の電源投入時に左のような案内が表示される場合があります。
これらの表示は、セットされている各ラインボードの“LINE プログラム”のバージョンが異なる場合に、自動的に最新のバージョンに更新されるときに表示されます。
更新時の条件により表示される案内が異なる場合があります。
バージョンアップには数分間かかる場合もありますが、バージョンアップの完了までしばらくお待ちください。

・登録を押して、登録・集計用メモリーカードまたは、制御用パソコンからの LAN 経由で、データを登録します。
「装置編 - 登録データの読み書き」（36 ページ）を参照してください。

ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ

・登録を押して、現在の年月日、時刻を登録します。
「装置編 - 本装置の初期設定 - 1. 年月日時刻をあわせる」（33 ページ）を参照してください。

'07年 3月12日 10:25

・待機画面を表示します。

ワンポイント

●「ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ ﾅｼ」のときに登録を押して、先に年月日、時刻を登録することもできます。

STOP お願い

● ディスプレイが待機画面以外のときは、電源を切らないでください。メモリーカードやデータが破損する場合があります。

■ メモリーカード

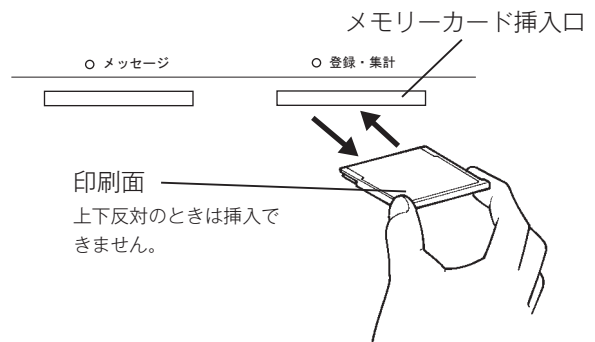
メモリーカードは 2 種類あり、案内メッセージや登録・集計のデータなどを記録します。

● 種類

・メッセージ用メモリーカード［**JFC-60M**］
案内、転送、お待たせなどのメッセージを録音します。
録音時間は 60 分です。

・登録・集計用メモリーカード［**KFC-60M**］
本体初期登録、転送先、転送モード、プログラムタイマーなどのデータおよび、着信件数、転送件数などのデータを記録します。

● 出し入れ

メモリーカード挿入口から、印刷面を上にして、しっかり奥まで差し込みます。
正常に挿入されると、しばらくの間、ディスプレイに【ｶｰﾄﾞ ｲﾆｼｬﾙ ﾁｭｳ】と表示されます。
取り出すときは、両端を手でつまんで引き出します。

STOP お願い

● メモリーカードを出し入れするときは、必ず、カードランプが消灯して、ディスプレイが待機画面になっていることを確認してください。待機画面以外のとき、出し入れを行うと、破損する場合があります。
● メモリーカードは、登録・集計用とメッセージ用を間違えないように注意してください。間違って挿入すると、正常に動作しません。

ワンポイント

● メッセージ用メモリーカードが入っていないときや、入れかたが悪いときは、応答のセットや、録音・再生ができません。
● メモリーカードを本機から抜いても登録内容や案内メッセージなどは消去されません。（電池は必要ありません）

1．年月日時刻をあわせる

◎ 現在の年月日・時刻を登録します。登録された年月日・時刻に従って、転送・お待たせなどの動作が行われます。

■ 登録のしかた

※登録例は、「2007 年 3 月 12 日 10 時 25 分」の例です。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 セットを押す

1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ

＊【1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ】の画面になります。

3 セットを押す

'07年 1月 1日 0:00

＊「年月日・時刻」の登録画面になります。

■ 年月日の登録

△または▽を押して、「年」を選び、セットを押す
同様に、「月→日」の順に登録します。

'07年 3月12日 0:00

＊「日」の登録が終わると、時刻の登録に移ります。

■ 時刻の登録

△または▽を押して、「時」を選び、セットを押す
同様に、「分」の登録をします。

'07年 3月12日 0:00

＊「分」の登録が終わると、【1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ】の画面になります。

4 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。
＊ 待機画面になると、今登録した「年月日・時刻」を表示し、秒単位で計時をします。

■ 年月日・時刻を修正するには

手順 1 からやり直す。

■ 時刻を正確に合わせるには

手順３の「分」の登録で、現在時刻の 1 分後を選び、ちょうど、0 秒になったとき、セットを押す。

STOP お願い

● 約 10 日以上停電などで電源が切れていると、「年月日・時刻」は消去され、「2007 年 1 月 1 日 00:00」に戻ります。
通電後、手順 1 から登録をやり直してください。

ワンポイント

● 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。

年	：	2007 年～ 2099 年
月	：	1 月～ 12 月
日	：	1 日～ 31 日（年月に対応した最大日）
時	：	00 時～ 23 時の 24 時間制
分	：	00 分～ 59 分

● お買い上げ時は、「2007 年 1 月 1 日 00:00」で点滅しています。

●「分」の登録をせずに、終了を押すと、今、入力したものは登録されず、登録前の年月日・時刻に戻ります。このときは、最初から登録をやり直してください。

2．装置情報の登録

◎ 本装置の装置番号と、制御用パソコンと LAN で接続して使用する場合の LAN 接続の登録を行います。

■ 装置番号の登録

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

`1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ`

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 セットを押す

`1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ`

＊【1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ】の画面になります。

3 △または▽を押して、【1-2.ｿｳﾁ ﾊﾞﾝｺﾞｳ】を選ぶ

`1-2.ｿｳﾁ ﾊﾞﾝｺﾞｳ`

4 セットを押す

`ｿｳﾁ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 000`

＊ 出荷時設定の装置番号を表示します。
1 桁目が点滅します。

5 △または▽を押して、1 桁目を選び、セットを押す

`ｿｳﾁ ﾊﾞﾝｺﾞｳ 100`

＊ 2 桁目が点滅します。

同様に、すべての桁を登録します。

＊ すべての登録が終わると、【1-2.ｿｳﾁ ﾊﾞﾝｺﾞｳ】の画面になります。

6 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

`'07年 3月12日 10:25`

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

■ IP アドレスの登録

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

`1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ`

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 セットを押す

`1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ`

＊【1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ】の画面になります。

3 △または▽を押して、【1-3. IP ｱﾄﾞﾚｽ】を選ぶ

`1-3. IP ｱﾄﾞﾚｽ`

＊「装置番号の登録」の手順 5 から、△でも選べます。

4 セットを押す

`192.168.100.001`

＊ 出荷時設定の IP アドレスを表示します。
1 桁目が点滅します。

5 △または▽を押して、1 桁目を選び、セットを押す

`192.168.100.001`

＊ 2 桁目が点滅します。

同様に、すべての桁を登録します。

＊ すべての登録が終わると【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅したあと、【1-3.IP ｱﾄﾞﾚｽ】の画面になります。

`ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ`
↓
`1-3. IP ｱﾄﾞﾚｽ`

6 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

`'07年 3月12日 10:25`

＊ 1 回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- 本装置を LAN 接続で使用する場合は、制御用パソコンで装置番号の登録が必要です。本装置の装置番号を確認してください。
- 装置番号は、本装置を複数台使用する場合に、着信データなどを集計するとき、装置を区別するために必要です。

■ サブネットマスクの登録

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 セットを押す

1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ

＊【1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ】の画面になります。

3 △または▽を押して、【1-4.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ】を選ぶ

1-4.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ

＊「IP アドレスの登録」の手順５から、△でも選べます。

4 セットを押す

255.255.255.000

＊出荷時設定のサブネットマスクを表示します。
１桁目が点滅します。

5 △または▽を押して、１桁目を選び、セットを押す

255.255.255.000

＊２桁目が点滅します。

同様に、すべての桁を登録します。

＊すべての登録が終わると【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅したあと、【1-4.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ】の画面になります。

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
↓
1-4.ｻﾌﾞﾈｯﾄ ﾏｽｸ

6 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

■ ゲートウェイの登録

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 セットを押す

1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ

＊【1-1.ｹﾞﾝｻﾞｲ ﾆﾁｼﾞ】の画面になります。

3 △または▽を押して、【1-5.ｹﾞｰﾄｳｪｲ】を選ぶ

1-5.ｹﾞｰﾄｳｪｲ

＊「サブネットマスクの登録」の手順５から、△でも選べます。

4 セットを押す

000.000.000.000

＊出荷時設定のデフォルトゲートウェイを表示します。
１桁目が点滅します。

5 △または▽を押して、１桁目を選び、セットを押す

100.000.000.000

＊２桁目が点滅します。

同様に、すべての桁を登録します。

＊すべての登録が終わると【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅したあと、【1-5.ｹﾞｰﾄｳｪｲ】の画面になります。

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
↓
1-5.ｹﾞｰﾄｳｪｲ

6 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

- LAN接続に必要なIPアドレスなどの値は、ネットワーク管理者に確認してください。
- 制御用パソコンとLAN経由で通信を行うためには、制御用パソコンに本装置のIPアドレスと装置番号の登録が必要です。詳しくは「データ編 - データ入力ソフトを起動･終了する -2. 装置情報登録について」（59ページ）を参照してください。

登録データの読み書き

1．メモリーカードでの読み書き

◎ 制御用パソコンで作成した転送スケジュールなどのデータを、メモリーカードを使用して本装置に読み込みます。また、スケジュールなどの変更を制御用パソコンで行うために、本装置のデータをメモリーカードに書き込みます。

1-1　カードのデータを本装置に読み込む

登録･集計用メモリーカードをメモリーカード挿入口（登録･集計）へ挿入します。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【2.ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ】を選ぶ

2.ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ

3 セットを押す

2-1.ﾃﾞｰﾀ ｶｸﾆﾝ

＊【2-1.ﾃﾞｰﾀ ｶｸﾆﾝ】の画面になります。

4 △または▽を押して、【2-2.ｶｰﾄﾞ→ﾎﾝﾀｲ】を選ぶ

2-2.ｶｰﾄﾞ→ﾎﾝﾀｲ

5 セットを押す

ｶｰﾄﾞ:ｾﾝﾀｸﾃﾝｿｳ

＊ 挿入したメモリーカードに書き込まれている「装置表示名」を表示します。
＊ このとき、△または▽を押すと、現在の本装置データの「装置表示名」を表示して確認できます。

6 セットを押す

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

2-2.ｶｰﾄﾞ→ﾎﾝﾀｲ

＊【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅し、登録・集計用カードランプが点灯します。
＊ 読み込みが終わると、【2-2.ｶｰﾄﾞ→ﾎﾝﾀｲ】の画面になります。

7 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

お願い

● 【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅中は、メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードが破損する場合があります。

1-2　本装置のデータをカードに書き込む

登録･集計用メモリーカードをメモリーカード挿入口（登録･集計）へ挿入します。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【2.ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ】を選ぶ

2.ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ

3 セットを押す

2-1.ﾃﾞｰﾀ ｶｸﾆﾝ

＊【2-1.ﾃﾞｰﾀ ｶｸﾆﾝ】の画面になります。

4 △または▽を押して、【2-3.ﾎﾝﾀｲ→ｶｰﾄﾞ】を選ぶ

2-3.ﾎﾝﾀｲ→ｶｰﾄﾞ

5 セットを押す

ﾎﾝﾀｲ:ｾﾝﾀｸﾃﾝｿｳ

＊ 本装置データの「装置表示名」を表示します。
＊ このとき、△または▽を押すと、挿入したメモリーカードに書き込まれている「装置表示名」を表示して確認できます。

6 セットを押す

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

↓

2-3.ﾎﾝﾀｲ→ｶｰﾄﾞ

＊【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅し、登録・集計用カードランプが点灯します。
＊ 書き込みが終わると、【2-3.ﾎﾝﾀｲ→ｶｰﾄﾞ】の画面になります。

7 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

● 手順５で、メモリーカードに登録データがないときは、「ピッ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間、【ﾄｳﾛｸ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。メモリーカードにデータを書き込んでください。
● 手順５で、メモリーカードが挿入されていないときは、「ピッ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間、【ｶｰﾄﾞ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。メモリーカードを挿入して、セットを押してください。

2．登録データの確認

◎ 本装置内の転送スケジュールデータなどの登録データ情報は、次の方法で確認できます。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

`1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ`

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【2.ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ】を選ぶ

`2.ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ`

3 セットを押す

`2-1.ﾃﾞｰﾀ ｶｸﾆﾝ`

＊【2-1.ﾃﾞｰﾀ ｶｸﾆﾝ】の画面になります。

4 セットを押す

`Name:ｾﾝﾀｸﾃﾝｿｳ`

＊ 本装置内の登録データの「装置表示名」を表示します。

5 △または▽を押す

`07/ 3/12 10:25`

`ﾄｳﾛｸﾃﾞｰﾀ Ver.100`

＊ △または▽を押すと、登録データが書き込まれた日時、登録データのバージョン、装置表示名を順次表示します。
＊ 登録データが書き込まれた日時は、データの書き込み方法によって次のようになります。
・メモリーカード経由の場合
「パソコン→カード」さらに「カード→本装置」の手順で書き込まれますが、表示される日時は「パソコン→カード」に書き込んだときの日時です。
・LAN経由の場合
「パソコン（LAN）→本装置」の手順で書き込まれ、表示される日時は、そのときのパソコンの日時です。

6 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

`'07年 3月12日 10:25`

＊ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

3．LAN接続での読み書き

◎ 制御用パソコンと本装置をLAN接続すると、制御用パソコンで作成した転送スケジュールなどの登録データを、LAN経由で読み書きすることができます。
操作方法は、「データ編 - 登録内容を書き込み／保存する -2. 本体装置に書き込む（LAN）」（156ページ）、および「データ編 - 登録内容を編集する -2. 本体装置から読み込んで編集する（LAN）」（159ページ）を参照してください。

本装置の待機中に、制御用パソコンから登録データの読み書きを行うと、【LAN ﾂｳｼﾝ ﾁｭｳ】と点滅表示します。

`LAN ﾂｳｼﾝ ﾁｭｳ`

ワンポイント

● 登録データの読み書きは、カード経由、LAN経由とも、応答セット中でもできます。ただし、本装置で登録や録音・再生などの操作中は、LAN経由での登録データの読み書きはできません。
●【LAN ﾂｳｼﾝ ﾁｭｳ】の点滅表示中は、本装置の操作はできません。

メッセージの録音／再生

◎ 本装置は、応答・転送に必要なメッセージや保留音などを、専用のメモリーカードに録音します。

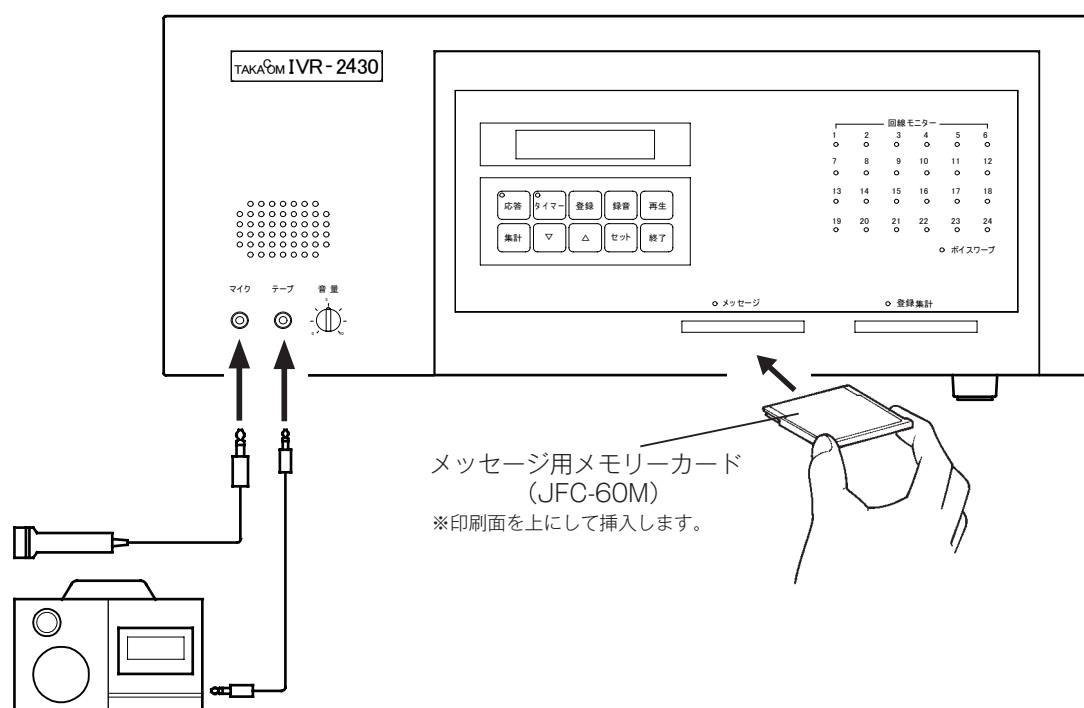
1．録音の前に

■ 録音方法の種類

録音方法には、次の３種類があります。

① マイクからの録音
② CD ラジカセなどからのダビング録音
③ マイクと CD ラジカセなどとのミキシング録音

■ 外部機器の接続

マイクなどの外部機器は、下図の様に接続します。

ワンポイント

● メッセージは、合計で最大 60 分まで録音できます。1 チャンネルあたりの録音時間は最大 8 分まで自由に録音できます。
● マイクとラジカセなどを接続すると、両方の音をミキシング録音できます。
　※ マイクから録音のときは、ラジカセなどの接続は必要ありません。またラジカセなどからダビング録音のときは、マイクの接続は必要ありません。
● メッセージ用メモリカードが入っていないと録音はできません。
● マイクは添付のマイクをご使用ください。
マイク、テープジャックの規格は「主な仕様」（204 ページ）を参照してください。

ワンポイント

● 5 チャンネルの " 保留音 " は、制御用パソコンにインストールした「データ入力ソフト」にサンプルの音源がセットされています。この音源をご利用になる場合は、メッセージ用メモリーカードに音源を書き込んで使用してください。音源の書き込み方法は､「メッセージカードを編集する -2. メッセージを書き込む - メッセージを個別に書き込む」（172 ページ）を参照してください。

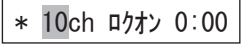
■ チャンネル番号とメッセージ種類

本装置でのメッセージの録音は、チャンネル番号を指定して行います。

● チャンネル番号とメッセージの種類は、次表のとおりです。この表を参考にして、必要なメッセージを録音してください。

ch 番号	メッセージ種別	メッセージ名	メッセージ数	メッセージ例
1	共通メッセージ（動作モード共通）	挨拶	1	はい、○○会社でございます。いつもお世話になります。
2		総合案内	1	恐れ入りますが、担当者におつなぎしますので、今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
3		選択繰返	1	内容の確認ができませんでした。もう一度、ご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
4		終了案内	1	お電話ありがとうございました。
5		保留音	1	オルゴール保留音など、自由に録音できます。
6 ～ 25	選択転送	選択転送案内（パターン 1 ～ 20）	20	総務は「1」を、経理は「2」を、営業は「3」を、その他不明な時は「4」をどうぞ。
26	ダイレクト転送	ダイレクト転送案内	1	ご希望の相手先内線番号を、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
27, 118	ツリー転送	ツリー案内 1（パターン 1，2）	2	総務部は「1」を、営業部は「2」を、技術部は「3」を、‥‥ 部署が不明な時は「9」をどうぞ。
28 ～ 36 119 ～ 127		ツリー案内 2（パターン 1，2）	18	営業部の担当部署を選択してください。営業 1 課は「1」を、営業 2 課は「2」を、‥‥ 部署が不明な時は「9」をどうぞ。
37 ～ 117 128 ～ 208		ツリー案内 3（パターン 1，2）	162	営業 1 課の担当者を選択してください。伊藤は「1」を、鈴木は「2」を、‥‥ 担当者が不明な時は「9」をどうぞ。
209	転送案内（動作モード共通）	不応答案内	1	電話が大変混雑しております。
210		話中案内	1	担当者が話し中です。
211		転送繰返案内	1	恐れ入りますが、担当の係におつなぎしますので、もう一度、今からご案内する内容に従い、プッシュ信号でダイヤルをお願いします。
212		未確定終了案内	1	内容の確認ができませんでした。内容を確認の上、もう一度お電話いただきますようお願いします。
213		不出終了案内	1	恐れ入りますが、電話が大変混雑しております。しばらくしてから、おかけ直しくださいますようお願いします。
214		転送中案内	1	もうしばらく、お待ちください。
215 ～ 225		呼出案内 1 ～ 11	11	係におつなぎしております。しばらくお待ちください。
226 ～ 236		着信案内 1 ～ 11	11	外線からの電話です。
237	お待たせ	お待たせ第 1	1	はい、○○会社でございます。ただいま、電話が込み合っております。このまましばらくお待ちください。
238		お待たせ第 2	1	申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。
239		選択呼出	1	はい、○○テレホンサービスです。ご案内の情報で詳しいことをお聞きになりたい場合は、担当者におつなぎします。プッシュ信号で ‥‥。
240 ～ 249	応答専用	応答専用案内 1 ～ 10	10	申し訳ございませんが、本日の営業は終了いたしました。弊社の営業時間は ‥‥。

ワンポイント

● ツリー案内 1 では、選択信号として「0」が利用できます。（0：メッセージ繰り返し）
● ツリー案内 2，3 では、選択信号として「0」や「00」が利用できます。（0:メッセージ繰り返し、00:ひとつ前の案内へ）

2．メッセージの録音

◎ メッセージの録音は、本装置が応答セット中、解除中どちらでもできます。
メッセージ用メモリーカードをメモリーカード挿入口（メッセージ）へ挿入します。

1 待機中、または、応答セット中に、録音を押す

`---ch ﾉｺﾘ 25:36`

＊ チャンネル番号の入力画面になります。

2 △または▽を押して、録音するチャンネル番号を選ぶ

`＊ 10ch ﾛｸｵﾝ 0:00`

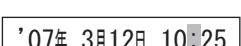
＊ 最初に△または▽を押したときは、前回録音操作を行ったチャンネル番号を表示します。
＊ 10 チャンネル（選択転送案内パターン 5）の例
＊ 本装置に読み込まれているデータの設定で、録音が必要なチャンネル番号には、先頭に「＊」が表示されます。

3 セットを押す

`･･････････ [ｾｯﾄ]`

＊ 録音レベルを表示し、録音開始待ちになります。

セットを押す

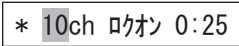
`ｌｌｌｌｌ･･････････ 0:08`

＊「ピッピッピー」と鳴って、録音を開始します。録音経過時間が表示されます。

4 終了を押す

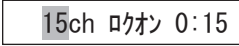
`10ch ﾛｸｵﾝ 0:25`

＊ 録音が終わり、録音時間を表示します。
＊ 続けて録音するときは、チャンネル番号を選んで、手順３～４を繰り返します。

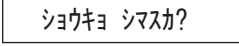
5 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

`'07年 3月12日 10:25`

＊ １回押すごとに、前画面に戻ります。

お願い

● 録音中は、メッセージ用メモリーカードを取り出さないでください。待機画面以外のときに出し入れすると、破損する場合があります。
● チャンネル番号を選んだときに、そのチャンネルにすでにメッセージが録音されている場合は、録音時間が表示されます。そのまま録音を開始すると、前のメッセージは消去されますので注意してください。
● 応答中のメッセージ録音では、現在送出中のチャンネルを吹き替えることがあります。このときは録音するメッセージが、そのままお客様に送出されますので、録音の間違いがないように注意してください。

■ 録音済みのチャンネルへ録音するとき

1. 手順２でチャンネル番号を表示したとき、録音済みの時間を表示します。

`＊ 10ch ﾛｸｵﾝ 0:25`

2. セットを押すと、録音済みのメッセージを自動的に消去して、手順３の表示になります。

`･･････････ [ｾｯﾄ]`

■ 消去のしかた

メッセージの消去は、応答セット中はできません。応答を解除し本装置が待機状態になってから行ってください。

1. 手順２で、消去したいチャンネルの番号を選びます。

`15ch ﾛｸｵﾝ 0:15`

＊ 録音済みの時間を表示します。

2. 録音を約１秒以上押し続けます。

`ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?`

＊【ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ ?】と表示します。

3. セットを押す。

`ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ`

↓

`15ch ﾛｸｵﾝ 0:00`

＊【ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ】が点滅し、消去が終わると、録音秒数が０で、手順２の表示に戻ります。

ワンポイント

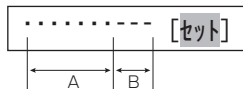
● 録音のやり直しは最初から行ってください。
● メッセージは、メッセージの頭と終わりに空白（無音）のないように録音してください。
● 手順１で録音を押したとき、メッセージ用メモリーカードが挿入されていないときは、「ピッ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間【ｶｰﾄﾞ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。
● 手順２でチャンネル番号を選ぶとき、△または▽を押し続けると、押している間チャンネル番号は連続して変わります。
● 手順３のとき、マイクやラジカセなどが接続されていないときは、「ピッ･ピッ ‥‥」と鳴って、約3秒間、【ﾏｲｸ / ﾃｰﾌﾟ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示されます。
● メモリーカードの残り時間がないときに、無録音のチャンネルに録音しようとすると、手順３で、「ピッ･ピッ ‥‥」と鳴って、約3秒間、【ﾉｺﾘｼﾞｶﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示されます。
● 録音の途中で録音時間が８分 12 秒を超えると、自動的に録音が終了します。
● 録音済みのメッセージで不要なものがあっても、データ入力ソフトで、「使用しない」になっていれば、回線へ送出されることはありません。

■ **ラジカセなどから録音するとき**

1. あらかじめラジカセなどへ、メッセージを録音しておきます。
2. 手順１から順次操作し、手順３のとき、ラジカセなどを再生し、録音レベルを適正レベル範囲内に調節します。
3. ラジカセなどを再生し、メッセージの冒頭で、録音を開始させます。

録音レベルの調節

メッセージや保留音の録音のとき、ＣＤラジカセなどからのダビング録音や、ミキシング録音をするときは、あらかじめ録音レベルを調節してください。

＜レベル計の見方＞

・マイクからの録音は、通常の声で「Ａ」の範囲に入るように、また、大きな声のとき「Ｂ」の位置までメータが振れるようにすると適度なレベルで録音されます。
・ＣＤラジカセなどからダビング録音するときも、同様になるようにＣＤラジカセのボリュームを調整してください。
・ＣＤラジカセなどからのダビング録音をしているときは、スピーカから、同時にモニターができます。

３．メッセージの再生

1 待機中、または、応答セット中に、再生を押す

`2ch ｻｲｾｲ 0:15`

＊ チャンネル番号の入力画面になります。
＊ 最初に再生を押したときは、前回再生操作を行ったチャンネル番号を表示します。

2 △または▽を押して、再生するチャンネル番号を選ぶ

`＊ 10ch ｻｲｾｲ 0:25`

＊ 10 チャンネル（選択転送案内パターン５）の例
＊ 録音されたチャンネルが順番に表示されます。
＊ 本装置に読み込まれているデータの設定で、使用するチャンネル番号には、先頭に「＊」が表示されます。

3 セットを押す

`0:02`

＊ 再生を開始します。再生経過時間が表示されます。
＊ 再生音は、前面のボリュームで音量が調節できます。
＊ 再生が終了すると、再生チャンネル番号の入力画面に戻ります。
＊ 続けて再生するときは、チャンネル番号を選んで、手順３を繰り返します。

4 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

`'07年 3月12日 10:25`

＊ １回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

● 再生を途中で中止したいときは、終了を押してください。再生を停止し､チャンネル入力画面に戻ります。
● 手順１で再生を押したとき、メッセージ用メモリーカードが挿入されていないときは､「ピッ・ピッ・・・・」と鳴って、約３秒間【ｶｰﾄﾞ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。
● 手順１で再生を押したとき、メッセージ用メモリーカードにメッセージ録音が１つもないときは､「ピッ・ピッ・・・・」と鳴って、約３秒間【ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。
● 再生時のレベル表示は、録音時と異なる場合があります。

動作モードの確認／変更

1．マニュアル動作の設定

◎本装置の動作モードを、マニュアルで切り替えて使用する場合は、次の方法で「マニュアル動作」の設定を行います。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

表示：1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【3.ﾏﾆｭｱﾙ ﾄﾞｳｻ】を選ぶ

表示：3.ﾏﾆｭｱﾙ ﾄﾞｳｻ

3 セットを押す

表示：ｵｳﾄｳｾﾝﾖｳ　1

＊登録されている動作モードを表示します。
（「応答専用モード：案内 1」の表示例）

4 △または▽を押して、運用する動作モードを選ぶ

△または▽を押すたびに、登録されている動作モードが順番に表示されます。

＊応答セット中の場合は、動作モードが登録されていても、使用するメッセージが録音されていないと動作モードは表示されません。

表示：ｾﾝﾀｸ ﾊﾟﾀｰﾝ 1
↓
ﾀﾞｲﾚｸﾄ
↓

ﾂﾘｰ　ﾊﾟﾀｰﾝ 1
↓
ﾑｼﾞｮｳｹﾝ　1
↓
ｵﾏﾀｾ

5 セットを押す

表示：ｵｳﾄｳｾﾝﾖｳ　1

＊案内メッセージの番号選択の表示になります。
（「応答専用モード：案内 1」の表示例）

6 △または▽を押して、案内メッセージの番号を選ぶ

表示：ｵｳﾄｳｾﾝﾖｳ　5

＊選択転送モード・ツリー転送モードの場合は転送パターンを、無条件転送のときは転送先番号を選びます。
＊登録されている転送パターンまたは転送先番号を表示します。ただし、応答セット中の場合は、使用するメッセージが録音されていないと表示されません。
＊ダイレクト転送モード・お待たせモードの場合は、手順５でセットを押すと、手順７の表示になります。

7 セットを押す

表示：3.ﾏﾆｭｱﾙ ﾄﾞｳｻ

＊【3.ﾏﾆｭｱﾙ ﾄﾞｳｻ】の画面になります。

8 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

表示：'07年 3月12日 10:25

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

2．タイマースケジュールの確認

◎本装置の動作モードを、年間タイマーで自動切り替えして使用する場合に、次の方法で「タイマースケジュール」の確認ができます。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

表示：1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【4.ﾀｲﾏｰ ｽｹｼﾞｭｰﾙ】を選ぶ

表示：4.ﾀｲﾏｰ ｽｹｼﾞｭｰﾙ

3 セットを押す

表示：07年 3月12日 Pt.MON

＊本日のスケジュールパターンを表示します。
（「タイマースケジュール：月曜日スケジュール」の表示例）

4 △または▽を押して、日付を送って、スケジュールを確認する

表示：07年 3月13日 Pt.TUE

＊このとき、△または▽を押し続けると、月の桁の送りに変わり、確認したい月が選択できます。

5 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

表示：'07年 3月12日 10:25

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

■本日のスケジュールを確認するには

タイマーモード中（タイマーランプが点灯または点滅中）に▽を約１秒以上押すと、本日のスケジュールを確認することができます。

1. ▽を約１秒以上押し続ける

   ＊現在動作中のスケジュールを表示します。

   表示：8:00 ｾﾝﾀｸ　1

2. △を押すたびに、次のスケジュールを表示します。

   ＊▽を押すとスケジュール表示が前に戻ります。

   表示：12:00 OFF
   ↓
   13:00 ｾﾝﾀｸ　1
   ↓
   20:00 ｵｳﾄｳｾﾝﾖｳ 1

ワンポイント

● 本装置で、タイマースケジュールの変更はできません。変更する場合は、制御用パソコンで変更して、データを再度読み込んでください。

3．バージョンの確認

◎ 本装置のバージョンが確認できます。アフターサービスの場合など、バージョン情報が必要なときは、次の方法で確認してください。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【5.ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ】を選ぶ

5.ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ

3 セットを押す

M100 L100 R100

＊ バージョン情報を表示します。
M＊＊＊：メインプログラムのバージョン
L＊＊＊：ラインプログラムのバージョン
R＊＊＊：録音・再生プログラムのバージョン

4 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

4．ファン動作チェック

◎ 本装置には、筐体内部の温度が上がった場合に自動的に動作するファンがあります。このファンが正常に動作するかの確認ができます。

1 待機中、または、応答セット中に、登録を押す

1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ

＊【1.ｼｮｷ ｾｯﾃｲ】の画面になります。

2 △または▽を押して、【6.ﾌｧﾝ ﾄﾞｳｻﾁｪｯｸ】を選ぶ

6.ﾌｧﾝ ﾄﾞｳｻﾁｪｯｸ

3 セットを押す

ﾁｪｯｸ ｼﾃｲﾏｽ
↓
ﾌｧﾝ ﾄﾞｳｻ OK

＊【ﾁｪｯｸ ｼﾃｲﾏｽ】を表示したあと、結果を表示します。

4 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊ 1回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

● ファン動作チェックの結果が、【ﾌｧﾝ ﾄﾞｳｻ NG】と表示された場合は、ファンの動作に異常があります。点検が必要となりますので、販売店または最寄りの当社営業所にご連絡ください。

応答にセットする

◎ 応答にセットすると、設定された動作モードに従って電話着信に自動応答します。
◎ 応答モードには、「マニュアルモード」と「タイマーモード」があります。
・マニュアルモード：本装置のボタン操作で動作モードを選択・設定して応答セットします。
・タイマーモード　：応答セットすると、制御用パソコンで作成した年間タイマーの内容に従って、動作モードが自動的に切り替って動作します。

1．応答モードの切り替え

■ マニュアルモードからタイマーモードへの切り替え

1 待機中または応答セット中に、タイマーを押す

タイマー セット シマスカ?

＊ タイマーセットの確認画面になります。

2 セットを押す

'07年 3月12日 10:25

＊ タイマーランプが点灯または点滅し、元の画面に戻ります。（待機中の例）

＊ 応答セット中の場合は、タイマーでの動作モードを表示します。

センタク1　　　10:25

＊ タイマーランプが点灯してタイマーモードで動作します。
＊ 応答ランプは点灯または点滅します。

■ タイマーモードからマニュアルモードへの切り替え

1 待機中または応答セット中に、タイマーを押す

タイマー カイジョ シマスカ?

＊ タイマー解除の確認画面になります。

2 セットを押す

'07年 3月12日 10:25

＊ タイマーランプが消灯し、元の画面に戻ります。（待機中の例）

＊ 応答セット中の場合は、マニュアルでの動作モードを表示します。

オウトウセンヨウ1　10:25

＊ 応答ランプは点灯します。

応答ランプ／タイマーランプ表示

応答ランプおよびタイマーランプは、本装置の状態によって次のように表示します。

・応答ランプ

応答セット中	タイマーモードで、応答待機時間中	応答解除中
点灯	点滅	消灯

・タイマーランプ

タイマーセットで、応答セット中	タイマーセットで、応答解除中	タイマー解除中
点灯	点滅	消灯

ワンポイント

● 本装置に読み込まれている登録データの、年間タイマー有効期間を過ぎている場合、「ピッ・ピッ‥‥」と鳴って、約３秒間、【ｽｹｼﾞｭｰﾙ ｶﾞ ﾑｺｳﾃﾞｽ】と表示され、タイマーモードにセットできません。
● マニュアルモードで応答セット中にタイマーを押したとき、タイマーモードで必要なメッセージの録音がない場合は、「ピッ・ピッ‥‥」と鳴って、約２秒間、【ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。続いて録音されていないメッセージのチャンネル番号が、【xxch ﾛｸｵﾝ ﾅｼ】のように、順番に表示されます。必要なメッセージの録音を行ってください。

ワンポイント

● タイマーモードで応答セット中にタイマーを押したとき、マニュアルモードで必要なメッセージの録音がない場合は、「ピッ・ピッ‥‥」と鳴って、約２秒間、【ﾛｸｵﾝ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。続いて録音されていないメッセージのチャンネル番号が、【xxch ﾛｸｵﾝ ﾅｼ】のように、順番に表示されます。必要なメッセージの録音を行ってください。

2．応答のセット

1 待機画面のとき、応答を押す

オウトウ セット シマスカ?

＊応答セットの確認画面になります。

2 セットを押す

センタク1　　10:25

＊応答ランプが点灯または点滅します。
＊タイマーランプが点滅しているときは、ランプが点灯に変わりタイマーモードで動作します。タイマーランプが消灯しているときは、マニュアルモードで動作します。
＊現在の動作モードを表示します。

■応答を解除するには

1 応答セット中に、応答を押す

オウトウ カイジョ シマスカ?

＊応答解除の確認画面になります。

2 セットを押す

'07年 3月12日 10:25

＊応答ランプが消灯し、待機画面に戻ります。
＊タイマーモードがセットされている場合は、タイマーランプが点滅します。

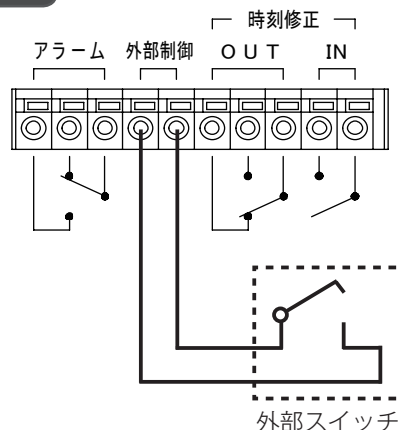
■応答中の動作モードの確認／変更

本装置がマニュアルモードで応答中に、動作モードの確認や変更ができます。
詳しくは、「装置編 - 動作モードの確認／変更 -1. マニュアル動作の設定」（42 ページ）を参照してください。

ワンポイント

● 応答を押したとき、必要なメッセージの録音がない場合は、「ピッ・ピッ・・・・」と鳴って、約２秒間、【ロクオン ガ アリマセン】と表示します。続いて録音されていないメッセージのチャンネル番号が、【xxch ロクオン ナシ】のように、順番に表示されます。必要なメッセージの録音を行ってください。
● 応答を押したとき、メッセージ用メモリーカードが挿入されていないと、「ピッ・ピッ・・・・」と鳴って、約３秒間、【カード ガ アリマセン】と表示し、応答のセットができません。
● 応答セット中は、メッセージカードランプが点灯しています。このときに、メッセージ用メモリーカードを取り出さないでください。メモリーカードが破損する場合があります。

3．外部からの応答セット

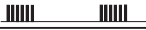
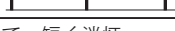
◎本装置後面の外部制御端子へ接続したスイッチ（ロック式）から応答のセット／解除ができます。

■応答にセットするには

外部スイッチを「ON」にします。
● あらかじめセットしてある動作モードで応答にセットされます。

■応答を解除するには

外部スイッチを「OFF」にします。
● 応答が解除になります。

ワンポイント

● 外部スイッチで応答にセットしたあと、本装置の操作で、応答→セットを押して、応答を解除できます。
再度、外部スイッチで応答にセットするには、外部スイッチを、一度、「OFF」にしてから「ON」にします。
● 本装置で応答にセットしたあと、外部スイッチで応答を解除するには、外部スイッチを、一度、「ON」にしてから「OFF」にします。

お願い

● 外部スイッチまでのケーブルは約 100 mまで延長できますが、電力線と平行して配線したり、屋外を架線で配線しないでください。

■ ランプ表示について

● 回線モニターランプ

回線の状態によって次のように表示します。

表　示	回　線　状　態
[緑] 点灯	回線が接続されていて待機中（正極）
[赤] 点灯	回線が接続されていて待機中（負極）
消灯	「回線未使用」に設定されている
[緑] ／ [赤] 交互に点灯	「回線使用」に設定されていて、回線が接続されていない
[橙] 早い点滅	ベル信号着信中（ベル信号と同期します）
[緑] または [赤] 早い点滅	本装置が応答動作中
[緑] または [赤] 遅い点滅	ダイヤル中・呼び出し中・通話中などの、回線使用中
[橙] 長い消灯で、短く点灯	本装置内部データ設定中
[橙] 長い点灯で、短く消灯	ボイスワープ設定中

ワンポイント

● **回線接続時の、正極と負極について**
本装置の回線端子（L1,L2）に接続した電話回線の極性が確認できます。
・正極：L1（+）、L2（−）
・負極：L1（−）、L2（+）
※ 回線にベル着信がないとき（待機中）に［緑］点灯（正極）になるように接続してください。

● 登録・集計用メモリーカードランプ

表示	状　態
消灯	カード待機中
点灯	カードアクセス中
点滅	カードなしエラー表示中、カード異常

● メッセージ用メモリーカードランプ

表示	状　態
消灯	カード待機中
点灯	応答モード中、回線閉塞中、カードアクセス中
点滅	カードなしエラー表示中、カード異常

● ボイスワープランプ

表示	状　態
消灯	ボイスワープ「使用しない」／「使用する」の停止中
点灯	ボイスワープ開始中
点滅	ボイスワープ設定中

集計データについて

◎ 本装置の、着信件数・転送件数・応答件数などのデータを集計して出力することができます。
◎ データは、「回線別集計（全回線集計含む）」「回線グループ別集計」「転送先別集計」「選択転送先別集計」「ツリー転送先別集計」「ツリー案内メッセージ別集計」の 6 種類に分けて集計されます。
◎ 集計方法は、定時集計（時集計、日集計、週集計、月集計）と臨時集計があります。
◎ 集計データは、手動で登録・集計用メモリーカードに出力して制御用パソコンで読み込み、表示する方法と、LAN 接続して制御用パソコンから手動または自動で本装置のデータを収集し、表示する方法があります。
◎ 集計データの表示や印刷は、本装置ではできません。制御用パソコンで行ってください。
◎ 集計データの内容など､詳細については「データ編 - 着信応答データの集計／確認 -4. 集計データを確認する」（189 ページ）を参照してください。

1．データの集計方法

1-1　定時集計

応答セット中、次の種類のデータが該当する日時に自動集計されます。

種類	内容	集計期間	集計日時
時集計	1 時間の合計	前の 1 時間 (0 ～ 60 分)	毎時 0 分
日集計	1 日の合計	前日 (0 ～ 24 時)	毎日、 午前 0 時
週集計	1 週間の合計	先週 (月曜日～日曜日)	毎週、月曜日 午前 0 時
月集計	1 ヶ月の合計	先月 (1 日～月末)	毎月 1 日、 午前 0 時

■ 集計データの選択

各集計データは、IVR-2430 データ入力ソフトの本体初期設定「集計設定」で、種類ごとに「集計する／しない」が選択できます。工場出荷時は、時集計は「集計しない」、日集計・週集計・月集計は「集計する」に設定されています。詳しくは「データ編 - 新しくデータを作成する -1. 本体初期設定 -1-3 集計設定」（72 ページ）を参照してください。

■ 集計データの上書き

定時集計のデータは、本装置に最大 360 ファイルまで保存されます。「集計設定」で「データの上書きする」に設定されているときは、ファイル数が満杯になると、古いファイルから順番に上書きされます。

● 保存できるファイル数
　・時集計のみ：約 15 日分
　・日集計のみ：約 1 年分
　・週集計のみ：約 7 年分
　・月集計のみ：約 30 年分

ワンポイント

●「データの上書きしない」に設定されているときは、ファイル数が残り 30 以下になると、【ｼｭｳｹｲ ﾉｺﾘ ＊＊ﾌｧｲﾙ】（＊＊は残りファイル数）と警告表示します。さらに、ファイル数が 360 になると、【ｼｭｳｹｲｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ】と表示し、「ピッ・ピッ・ピッ・ピッ」と鳴ります。集計データの出力操作を行って、本装置内の集計データを消去してください。

1-2　臨時集計

着信件数・転送件数・応答件数などのデータを臨時出力することができます。臨時出力されるデータは、前回の出力から今回の出力までの累計を集計します。

ワンポイント

● 集計データは 1 時間ごとに本装置内にバックアップ保存されます。停電があると、前回のバックアップから停電発生までの集計データは消去されます。

STOP お願い

● 運用の途中で、「年月日時刻」、「回線グループ」、「転送先」などを変更する場合は、事前に集計データの出力を行って、データを消去してください。
そのまま運用すると、正確なデータ集計ができない場合があります。

2．集計データの出力

集計データは、本装置のボタン操作で「登録・集計用メモリーカード」に出力します。本装置では集計データの表示や印刷はできません。

2-1　定時集計データの出力のしかた

1 待機中、または、応答セット中に、集計を押す

1.ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ

＊【1.ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ】の画面になります。

2 セットを押す

ﾎﾝﾀｲ:　　15 ﾌｧｲﾙ

＊本装置が出力する集計ファイルの数を表示します。
＊このとき、△または▽を押すと、メモリーカード内の集計ファイル数を表示します。

ｶｰﾄﾞ:　　0 ﾌｧｲﾙ

3 セットを押す

ｼｭﾂﾘｮｸﾁｭｳ ﾉｺﾘ 10

＊集計データの出力が始まり、集計ファイル数が減っていきます。
＊すべての集計ファイル出力が終わると､｢ピー」と鳴って､【1.ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ】の画面になります。

4 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

2-2　臨時集計データの出力のしかた

1 待機中、または、応答セット中に、集計を押す

1.ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ

＊【1.ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ】の画面になります。

2 △を押す

2.ﾘﾝｼﾞ ｼｭﾂﾘｮｸ

＊【2.ﾘﾝｼﾞ ｼｭﾂﾘｮｸ】の画面になります。

3 セットを押す

07/ 3/12　9:45 ~

＊前回、臨時集計データの出力または臨時集計データのクリアを行った日時を表示します。そこからの集計になります。
＊お買い上げ後､最初の日時表示は【--/--/-- --:-- ~】となります。

4 セットを押す

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

＊臨時集計データの出力が始まります。
＊すべて出力が終わると、「ピー」と鳴って、【2.ﾘﾝｼﾞ ｼｭﾂﾘｮｸ】の画面になります。

5 終了を、必要回数押して待機画面または応答中画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊１回押すごとに、前画面に戻ります。

ワンポイント

●｢定時集計データの出力のしかた｣の手順２､または｢臨時集計データの出力のしかた」の手順３でセットを押したとき‥‥
・すべての集計が「集計しない」に設定されていると｢｢ピッ・ピッ ‥‥」と鳴って、約３秒間、【ｼｭｳｹｲ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。
・集計データを出力するとメモリーカード内の集計ファイルが 400 を超える場合､｢｢ピッ･ピッ ‥‥」と鳴って、約３秒間、【ｱｷｴﾘｱ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ】と表示します。メモリーカード内のデータを制御用パソコンで集計して消去してください。
・メモリーカード内に別の装置で集計したファイルがある場合､｢｢ピッ･ピッ ‥‥」と鳴って、約３秒間、【ｿｳﾁﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾌｲｯﾁ】と表示します。前回この装置で出力したメモリーカードを使用するか、メモリーカード内のデータを制御用パソコンで集計して消去してください。

ワンポイント

●定時集計データ、臨時集計データ共に、集計データの出力操作を行うと、本装置内の集計データは消去されます。
●本装置と制御用パソコンを LAN 接続でご使用の場合は、登録・集計用メモリーカードを使用しないで直接集計データを制御用パソコンに読み込むことができます。詳しくは、「データ編 - 着信応答データの集計／確認 -3. 本体装置から集計する（LAN)｣(185 ページ)を参照してください。
●データの表示・印刷は、制御用パソコンで行います。カードライトアダプタ CWA-100 を使用して、メモリーカードの集計データを制御用パソコンに読み込んでください。読み込みのしかたは、「データ編 - 着信応答データの集計／確認 -2. メモリーカードから集計する」（184 ページ）を参照してください。

3．臨時集計データのクリア

◎ 収容回線の変更や会社組織の変更などで、本装置内の臨時集計データを、いったんクリアしたい場合は、次の方法で行います。

---

1 待機中、または、応答セット中に、集計を押す

1. ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ

＊【1. ｼｭｳｹｲ ｼｭﾂﾘｮｸ】の画面になります。

---

2 △を押して、【3. ﾘﾝｼﾞ ｼｭｳｹｲｸﾘｱ】を選ぶ

3. ﾘﾝｼﾞ ｼｭｳｹｲｸﾘｱ

---

3 セットを押す

07/ 3/12 9:45 ~

＊ 前回、臨時集計データの出力または臨時集計データのクリアを行った日時を表示します。そこからのデータをクリアします。
＊ お買い上げ後、最初の日時表示は【--/--/-- --:-- ~】となります。

---

4 セットを押す

ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

＊ データのクリアが始まります。
＊ すべてクリアされると、「ピー」と鳴って、【3. ﾘﾝｼﾞ ｼｭｳｹｲｸﾘｱ】の画面になります。

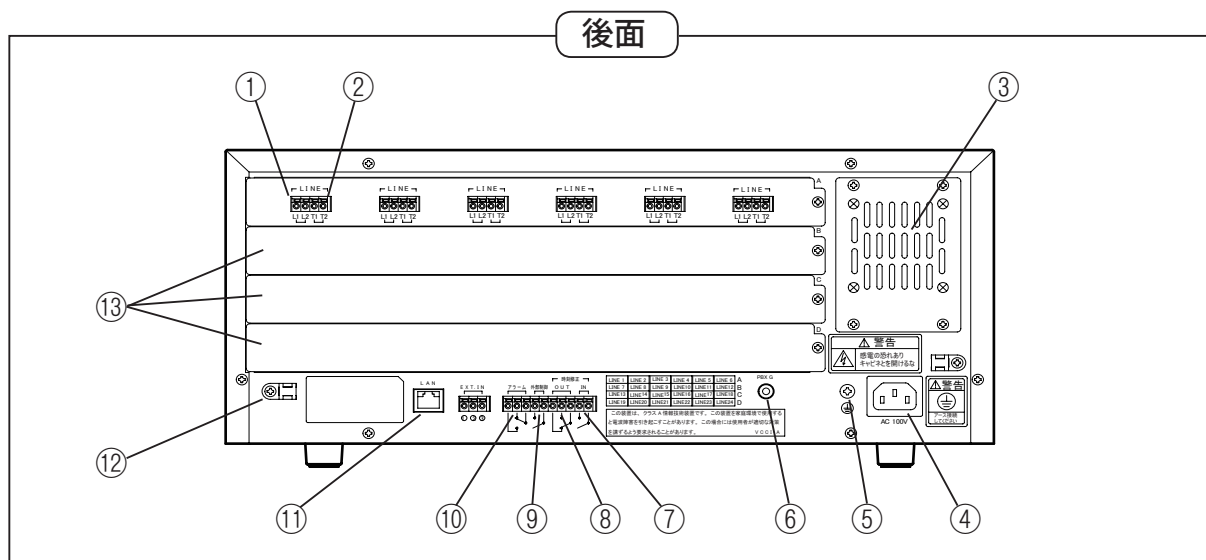
---

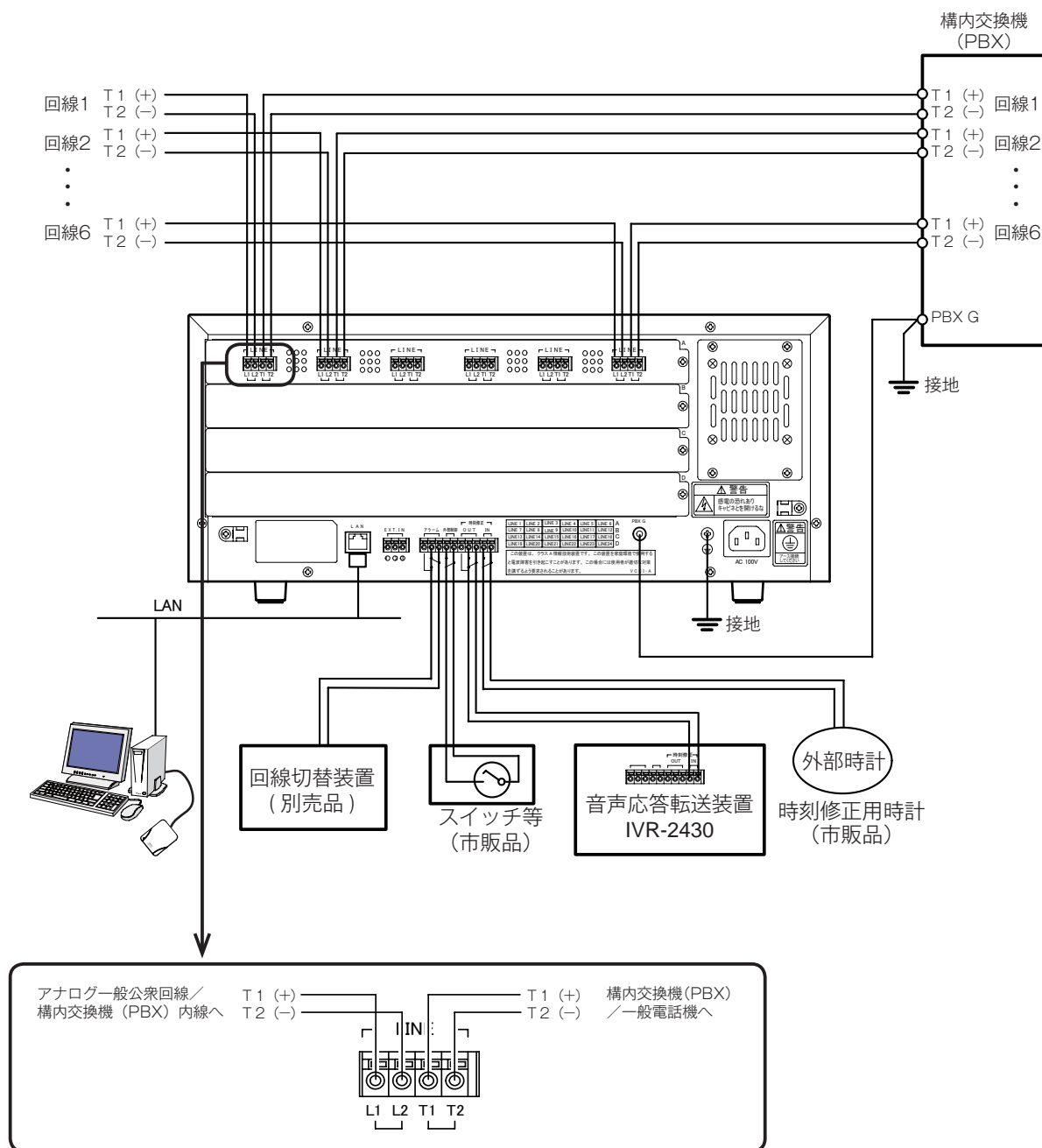
5 終了を、必要回数押して待機画面に戻す

'07年 3月12日 10:25

＊ １回押すごとに、前画面に戻ります。

設置工事

1．後面端子部の名前とはたらき

名　前		機能　（はたらき）	仕様／接続条件
①	回線接続端子（L1,L2）	アナログ一般公衆回線、または構内交換機（PBX) の内線回線を接続する端子です。	・極性をあわせて接続してください。極性が違うと、正常に動作しない場合があります。
②	回線接続端子（T1,T2）	構内交換機（PBX) の回線側、または直接電話機に接続する端子です。	・極性をあわせて接続してください。極性が違うと、正常に動作しない場合があります。
③	ファン	本装置内部の放熱用ファンです。	
④	AC 電源コネクタ	電源ケーブルを接続し、AC 電源を供給するためのコネクタです。	·添付の AC コードで、AC100V に接続してください。
⑤	接地端子	安全のための接地端子です。必ず接地してください。	
⑥	接地端子（PBX G）	構内交換機（PBX) やビジネスホンなどに接続するとき、その筐体へ接続する端子です。	
⑦	時刻修正端子（IN）	本装置の内部時計を、外部から修正するための端子です。	・無電圧メーク接点で入力してください。 （端子間をリレー接点などでショートします。） ・接点容量：DC10V,10mA 以上 ・信号時間：0.2 秒以上
⑧	時刻修正端子（OUT）	本装置を複数台使用したときなどに、他の機器の内部時計を修正するための端子です。	・無電圧メーク／ブレイク接点で出力します。 ・接点容量：DC30V,500mA 以下 ・信号時間：約 0.3 秒間出力
⑨	外部制御端子	外部のスイッチなどから、本装置を応答にセットしたり解除するための端子です。	・無電圧メーク接点で入力してください。 （端子間をリレー接点などでショートします。） ・接点容量：DC10V,10mA 以上 ・信号時間：0.2 秒以上
⑩	アラーム端子	本装置がアラーム状態になったときに、アラーム信号を出力します。	・無電圧メーク／ブレイク接点で出力します。 ・接点容量：DC30V,500mA 以下 ・アラーム解除まで出力します。
⑪	LAN 接続端子	本装置を LAN 接続で使用するときに、LAN ケーブルを接続する端子です。	・通信プロトコル：TCP/IP ・インターフェース：10BASE-T/100BASE-TX
⑫	コード止め具	回線や他の機器に接続した配線を固定します。	
⑬	増設用ラインボード スロット	回線収容数が 7 回線以上の場合、別売りの 6 回線ラインボードを収容します。	・3 枚のラインボードが増設でき、最大 24 回線まで収容できます。

2．各機器との接続のしかた

ワンポイント

● 本装置をラック（市販品）に取り付ける場合は、本装置のメンテナンス作業時間短縮などのため、ご利用になるラックに対応した棚板（市販品）と併用することを推奨します。

お願い

● AC100V 電源は、添付の電源コードで接地端子付の３ピンコンセントを使用してください。
変換アダプタで２ピンコンセントに接続する場合は、必ず接地端子で接地してください。
● 本装置の上に本やダンボールなど、通気孔をふさぐものをおかないでください。また、本装置を２台以上積み重ねて使用しないでください。
内部に熱がこもり、故障の原因となります。
● 外部制御端子および時刻修正端子(IN)に接続するケーブルは約 100 ｍまで延長できますが、電力線と平行して配線したり、屋外を架線で配線しないでください。

■ 他の機器を接続する場合の注意事項

● 回線との接続

L1,L2（LINE）側の「L1/L2」および T1,T2（TEL）側の「T1/T2」には、極性があります。極性を間違えて接続すると、正常に動作しない場合があります。

L1,L2（LINE）側の「L1」は（+）「L2」は（−）、また、T1,T2（TEL）側の「T1」は（+）「T2」は（−）になるように接続してください。

※ 回線にベル着信がないとき（待機中）に、回線モニターランプが［緑］点灯（正極）になるように接続してください。

● 接地端子（PBX G）の接続

接地端子（PBX G）は、必ず構内交換機（PBX）の接地端子と接続してください。また、構内交換機（PBX）が接地されていることを確認してください。接続しないと正常に動作しない場合があります。

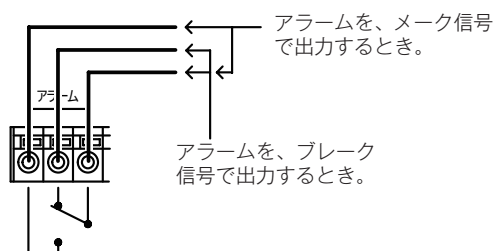
● LAN（制御用パソコン）の接続

本装置と制御用パソコンを LAN 接続して使用する場合に接続します。LAN の仕様は次のとおりです。

・プロトコル　　　：TCP/IP
・インターフェース：10BASE-T/100BASE-TX

IP アドレスなどの登録については、本装置側は「装置編 - 本装置の初期設定 - 2. 装置情報の登録」(34 ページ)を、制御用パソコン側は「データ編 - データ入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」（61 ページ）を参照してください。

● アラーム出力の接続

本装置に停電などの障害があると、アラーム端子に信号を出力します。出力信号は、接続する端子によってメーク／ブレークが選択できます。

アラーム出力は、次のようなときに出力されます。

・本装置に電源が供給されていないとき。
・登録データがないとき。【ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ ﾅｼ】と表示します。
・本装置の温度上昇異常のとき。【ｵﾝﾄﾞ ｲｼﾞｮｳ ﾊｯｾｲ】と表示します。

● 外部制御入力の接続

本装置の応答ボタンに代わって、応答のセットおよび解除をすることができます。詳しくは「装置編 - 応答にセットする -3. 外部からの応答セット」（45 ページ）を参照してください。

スイッチはロック式を使用してください。

● 時刻修正端子の接続

◆ 時刻修正 IN 端子

修正用時計から修正信号を受け取ると、本装置の内蔵時計を０秒修正します。

修正は、次の２つの方法があります。

◇± 30 秒で修正する

１日１回程度、修正信号が来る修正用時計に接続してください。

・本装置の時計が０秒から 29 秒のときは０秒に、30 秒から 59 秒のときは、１分進めて０秒に戻します。

例：13 時 12 分 12 秒→ 13 時 12 分０秒
　　13 時 12 分 39 秒→ 13 時 13 分０秒

◇± 10 秒で修正する

30 秒ごとにパルスが来る時計に接続してください。

・本装置の時計が０秒から 10 秒のときは０秒に、50 秒から 59 秒のときは１分進めて０秒に戻します。

例：13 時 12 分８秒→ 13 時 12 分０秒
　　13 時 12 分 55 秒→ 13 時 13 分０秒

◆ 時刻修正 OUT 端子

時刻修正 OUT 端子から、１時間に１回、無電圧接点で時刻修正信号が出力されます。本装置を複数台ご利用のとき、OUT 端子を他の「IVR-2430」の IN 端子へ接続します。

● 電源の接続

添付の電源コードで、AC100V に接続してください。

・本装置には電源スイッチおよび電源ランプがありません。電源が入力されると、ディスプレイに待機画面が表示されます。

● 接地端子の接続

回線保護や安全のため、必ず接続してください。

・絶対にガス管には接続しないでください。火災などの原因となります。

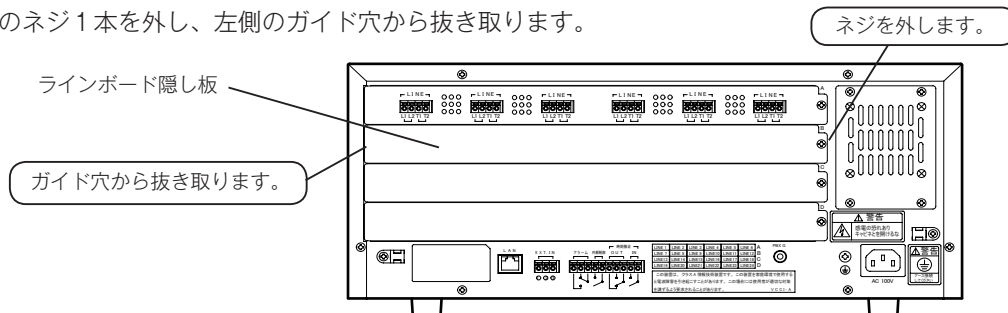
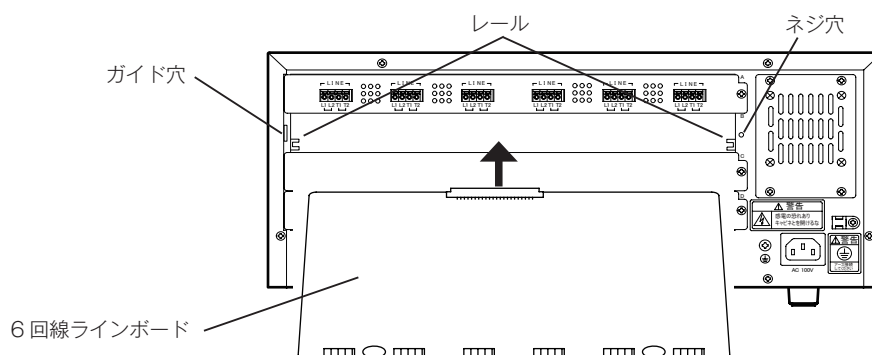
● 配線コードなどの固定

本装置を移動したりしたときに、接続が外れることを防止するため、接続した線やコードは、コード留め具で固定してください。

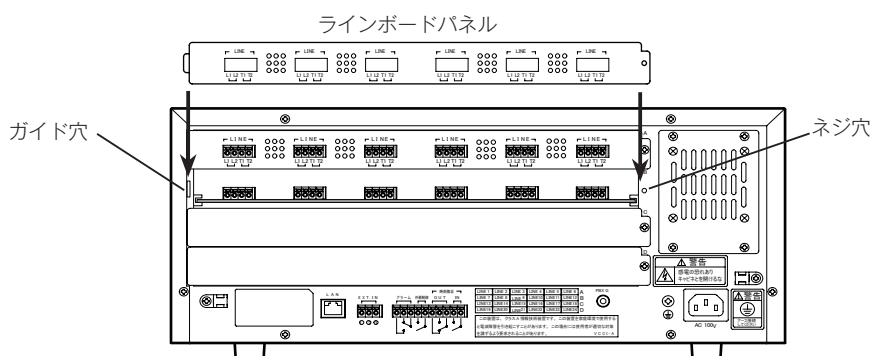
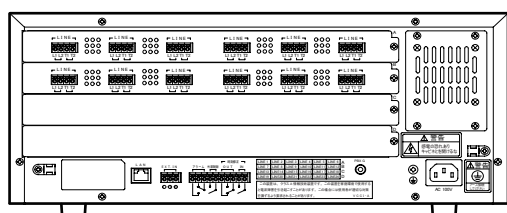
3．6 回線ラインボードの増設のしかた

◎ 回線を 7 回線以上収容する場合には、次の方法で 6 回線ラインボード（別売り）を増設してください。
本装置には、6 回線単位で最大 24 回線（増設ボード 3 枚）まで収容できます。

1 本装置後面のラインボード隠し板を外します。

● 右端のネジ 1 本を外し、左側のガイド穴から抜き取ります。

2 6 回線ラインボードを、レールに合わせて差し込みます。

● 奥のコネクタに確実に差し込んでください。
● 差し込むときは、ボードの部分を指で押してください。

3 添付のラインボードパネルを取り付けます。

● ガイド穴にパネルの左端を差込み、右端のネジ 1 本を締め付けます。

《12 回線実装時の例》

STOP お願い

● 6 回線ラインボードを増設するときは、必ず、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
● 6 回線ラインボードを挿入するときは、ボードの部分を指で押してください。回線接続用のジャックを押さないでください。破損の原因となります。
● 6 回線ラインボードを増設した場合は、最初の電源投入時に、LINE プログラムのバージョンアップを行う場合があります。この場合は、バージョンアップが完了するまでしばらくお待ちください。

第２章　データ編

データを登録する前に

◎ 既存の構内交換機（PBX）などを制御する転送スケジュールや本体装置の初期設定などは、お手持ちのパソコンで行います。ご使用になるパソコンの動作環境や、データ登録作業の手順などを理解した上でデータ登録を行ってください。

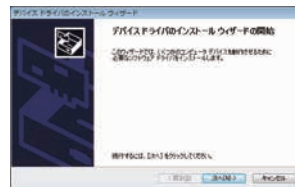
1．データ入力ソフトをセットアップする

1-1　パソコンの動作環境

● お手持ちのパソコンが次の仕様に合っているかお確かめください。動作環境が違うと、正常にデータ作成ができない場合があります。

OS	Windows Vista/7/8/8.1
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
ハードディスク	300MB以上の空き容量
ソフトウェア	Microsoft Excel 2007/2010/2013 ※「着信応答データの集計／確認」に使用します。
サウンド	Waveファイル(8KHz,8bit､Mono､μ-law)が再生できること
ディスプレイ	1024×768以上　High Color(16bit)以上推奨
USB	USB 2.0/1.1
LAN	TCP/IP, 10BASE-T 100BASE-TX
CD-ROMドライブ	インストール用

● 商品名は各社の商標または登録商標です。

5．インストールの途中で【デバイスドライバのインストールウィザードの開始】画面が表示されます。

画面の指示に従って［インストール］ボタンをクリックし、デバイスドライバをインストールしてください。

6．デバイスドライバのインストール完了後、本ソフトのインストールを完了します。

7．画面の指示に従って、必要であればシステムを再起動します。

1-2　データ入力ソフトをインストールする

● **インストールの準備**

カードライトアダプタ CWA-100 を接続しない状態でインストールします。

（Windows7 の操作例）

1．ほかのソフトをすべて終了します。

2．添付の「IVR-2430 データ入力ソフト」の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

3．【自動再生】画面が表示されます。
「セットアップの実行」をクリックします。

※【ユーザーアカウント制御】画面が表示された場合は「はい」または「許可」をクリックします。

4．インストールプログラムが起動します。

［次へ］をクリックします。以降は画面の指示に従ってインストールしてください。

● **インストールプログラムが自動的に起動しないとき**

（Windows7 の操作例）

1．タスクバーの[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］をクリックします。

2．「名前」欄に、キーボードから「E:¥setup.exe」と入れて［OK］ボタンをクリックします。インストールプログラムが起動します。

※「E:」は CD-ROM のドライブ名です。お使いのシステムによって異なります。

引き続きカードライトアダプタ CWA-100 の接続を行う場合は、「IVR-2430 データ入力ソフト」の CD は、ドライブに入れたままにしておきます。

お願い

● インストールまたはアンインストールする際は、必ず、管理者権限を持ったユーザー (例えば Administrator) が行ってください。

● インストールするフォルダは、必ずフルコントロール(読み書き､削除等)ができるフォルダにしてください。

1-3　カードライトアダプタ CWA-100 の接続

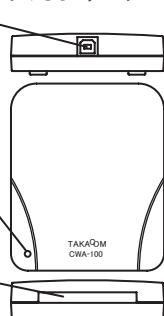
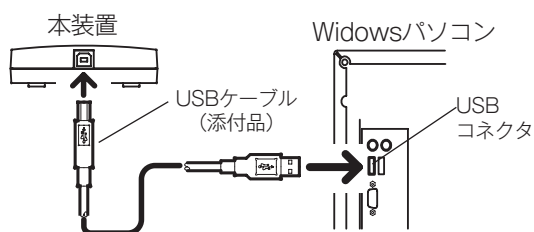
1．添付の CD はパソコンに入れたままにしておきます。

●CD を取り出してしまったら：

（1）CD-ROM ドライブに CD を入れます。

（2）インストールプログラムが起動したら、［キャンセル］ボタンをクリックします。

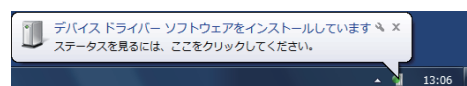
2．CWA-100 とお手持ちの Windows パソコンを、添付の USB ケーブルで接続します。

※ パソコンの USB コネクタの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

本装置と、お手持ちの Windows パソコンを、添付の USB ケーブルで接続します。
パソコンの USB コネクタの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

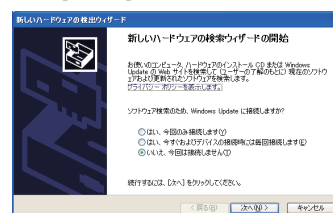
■ ドライバのインストール

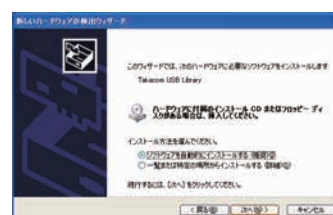
以降の手順はご使用になっているパソコンの OS により異なります。

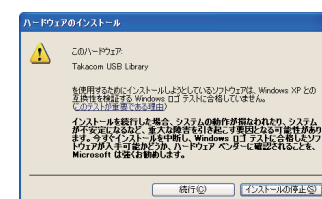
（Windows7 の操作例）

1．CWA-100 を接続すると、次の画面が表示され、自動的に設定が始まります。

2．しばらくして、設定が完了します。

● 以下の画面が表示された場合は

・次の画面が表示された場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し［次へ］をクリックします。

設定が再開します。

・次の画面が表示された場合は、「ソフトウエアを自動的にインストールする（推奨）」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

設定が再開します。

・次の画面が表示された場合は、［続行］ボタンをクリックします。

設定が再開します。

「IVR-2430 データ入力ソフト」の CD をドライブから取り出します。

1-4　入力ソフトを削除する

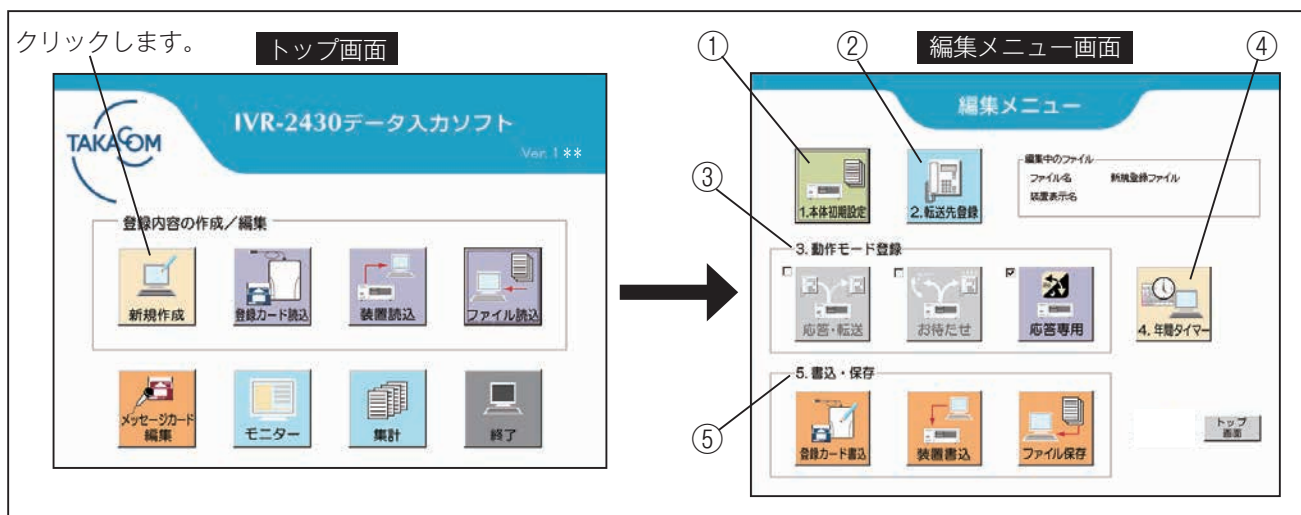
● 本ソフトを削除 (アンインストール) するときは、次の手順で行います。
（Windows7 の操作例）

1．本ソフトを終了します。
2．メニューバーを「スタート」→「コントロールパネル」の順にクリックします。
3．「プログラムのアンインストール」を開きます。
4．「IVR-2430 データ入力ソフト」を選んで削除します。

2. データ登録作業の手順

◎ 添付の「IVR-2430 データ入力ソフト」をインストールした後、次の手順で応答・転送用の各データを登録します。

● 新規にデータを作成する場合は、【トップ画面】で［新規作成］ボタンをクリックします。

● 表示される【編集メニュー】画面から、次の手順で登録します。

手順	ボタン名	登録／確認項目	内容
①	本体初期設定	本体設定	本体装置の、接続種別・ダイヤルイン桁数・ボイスワープ使用・時刻修正などの基本項目を設定します。
		個別回線設定	回線使用の有無・接続種別・回線種別・集計グループなどの回線情報を、回線ごとに設定します。
		集計設定	応答・転送の件数などの集計に関する条件を設定します。
②	転送先登録		転送先の名前・電話番号・転送種別を登録します。 最大 100 件まで登録できます。
③ 動作モード登録	応答・転送	選択転送	選択転送モードの、動作設定・転送先設定・メッセージ設定を行います。
		ツリー転送	ツリー転送モードの、動作設定・転送先設定・メッセージ設定を行います。
		ダイレクト転送	ダイレクト転送モードの、動作設定・転送先設定・メッセージ設定を行います。
		無条件転送	無条件転送モードを使用するか、使用しないかの設定を行います。
	お待たせ		お待たせモードの、動作設定・呼出先設定・メッセージ設定などを行います。
	応答専用		応答専用モードの、動作設定・呼出先設定を行います。
④	年間タイマー	曜日スケジュール	1 日の動作モード切替え時刻などのスケジュールを、日曜日から土曜日までの 7 日分設定します。 年間タイマーの基本動作となります。
		祝日スケジュール	「祝日」の動作モード切替え時刻などのスケジュールを設定します。
		特定日スケジュール	臨時休業や臨時営業など、特定の年月日に限っての動作モード切替え時刻などのスケジュールを設定します。 スケジュールは A ～ V の 22 種類が設定できます。
⑤ 書込・保存	登録カード書込		作成した初期設定やスケジュールのデータを、本体装置に登録するため､登録・集計用メモリーカードに書き込みます。
	装置書込		作成した初期設定やスケジュールのデータを、LAN 経由で本体装置に書き込みます。
	ファイル保存		作成した初期設定やスケジュールのデータを、制御用パソコンに保存します。

データ入力ソフトを起動・終了する

◎「IVR-2430 データ入力ソフト」を起動すると、データ入力ソフトが立ち上がり、【トップ画面】になります。

1．起動・終了のしかた

1．タスクバーから、［スタート］→［すべてのプログラム］→［Takacom］→［IVR-2430 データ入力ソフト］を選択してクリックします。
（Windows 7、クラッシック画面の例）

・本ソフトが起動し、【トップ画面】が表示されます。

2．作業ボタンで、操作する作業を選択してクリックします。

●「登録内容の作成／編集」
・新規にデータを作成するときは、［新規作成］ボタンをクリックし、【編集メニュー】画面を呼び出します。
・データを編集するときは、［登録カード読込］／［装置読込］／［ファイル読込］、いずれかのボタンをクリックして作成済みのデータを読み込んで、【編集メニュー】画面を呼び出します。

●「メッセージカード編集」
メッセージ用メモリーカードに録音された各種メッセージの、保存・書き込み・再生・消去などを行います。

●「モニタ」
本体装置の着信状況などを LAN 経由でモニタしたり、応答モードを切り替えます。

●「集計」
電話着信件数や応答・転送件数などのデータを集計します。
登録・操作のしかたは、それぞれの説明を参照してください。

3．「IVR-2430 データ入力ソフト」を終わるときは、［ 終了 ］ボタンをクリックします。

ワンポイント

● パスワードを設定している場合は、［IVR-2430 データ入力ソフト］を選択してクリックしたときに、【パスワード入力】画面を表示します。

パスワードを入力して［OK］ボタンをクリックすると、【トップ画面】が表示されます。

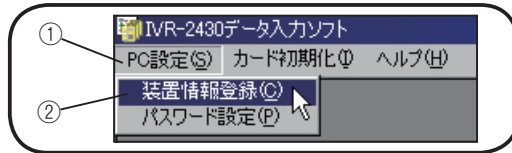
●【トップ画面】では、パスワード設定で使用を許可された項目の作業ボタンのみが使用できます。

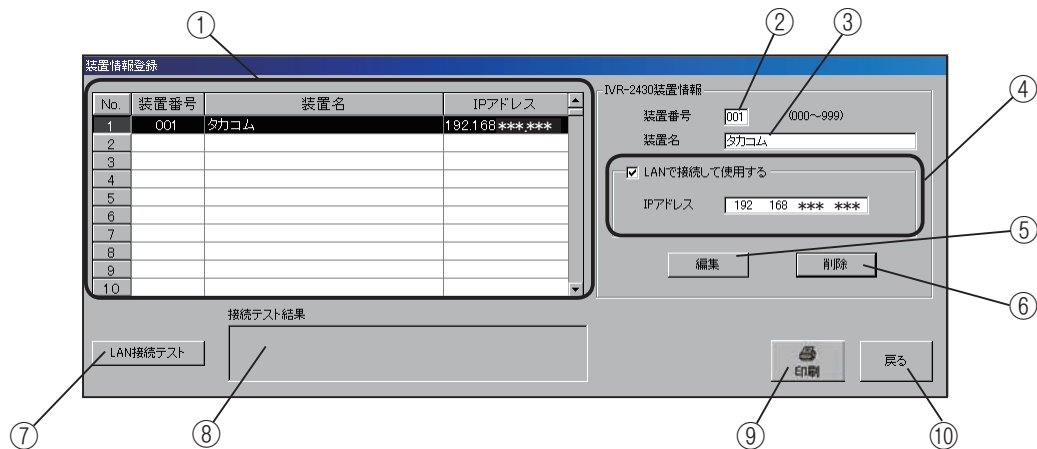
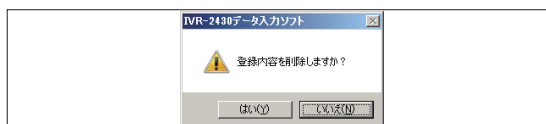
※表示画面の例
［モニター］と［集計］ボタンが使用できます。

2．装置情報登録について

◎ 本体装置の装置番号と装置名、および制御用パソコンと LAN 接続して使用する場合の、本体装置 IP アドレスなどの情報を登録します。本体装置は最大 1000 台まで登録できます。

1．【トップ画面】左上の［PC 設定］をクリックします。
2．［装置情報登録］をクリックします。

トップ画面

※【装置情報登録】画面が表示されます。

3．装置情報を登録します。

① 装置情報一覧
　登録した装置の装置番号、装置名、IP アドレスを一覧で表示します。
② 装置番号
　本体装置に番号を付けます。
　番号は 000 ～ 999 まで付けられます。
③ 装置名
　装置の名前を付けます。名前は、半角 20 文字、全角 10 文字まで登録できます。
④ IP アドレス
　登録した装置を LAN 接続で使用するときに、チェックボックスをクリックして☑を付け、IP アドレスを登録します。
⑤［追加／編集］ボタン
　新規に装置情報を登録するとき、装置情報一覧の空欄をクリックすると［追加］ボタンになります。装置情報を登録したあと、クリックします。
　登録内容を変更するときに、装置情報一覧で装置を選択しクリックすると［編集］ボタンになります。登録内容を変更したあと、クリックします。
⑥［削除］ボタン
　装置情報一覧で選択した装置を、削除するときにクリックします。削除確認の画面が表示されます。

　削除するときは［はい］ボタンをクリックします。
⑦［LAN 接続テスト］ボタン
　装置一覧で選択した装置と、LAN 通信の接続テストを行うときにクリックします。
⑧ 接続テスト結果
　接続テストの結果を表示します。
⑨［印刷］ボタン
　登録内容をプリンタに出力するときにクリックします。
⑩［戻る］ボタン
　【トップ画面】に戻ります。

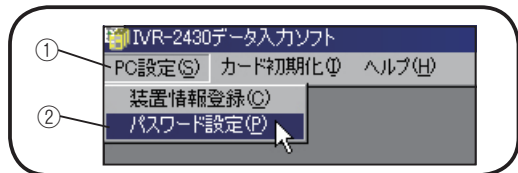
ワンポイント

● 本体装置の装置番号は必ず登録してください。登録がないと、着信データなどの集計が正常にできない場合があります。
● 本体装置の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。
● 自動集計がセットされている場合は、次の表示となり装置情報の変更はできません。

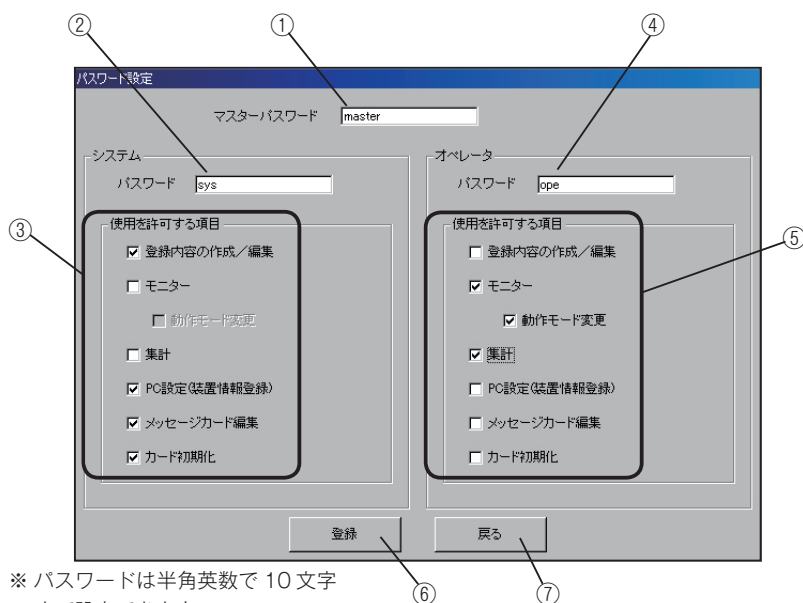
自動集計を解除してから変更してください。

3．パスワード設定について

◎データ入力ソフトで行う各操作を、パスワードで制限することができます。
　パスワードは、マスター・システム・オペレータの３種類が設定できます。

1．【トップ画面】左上の［PC 設定］をクリックします。
2．［パスワード設定］をクリックします。

トップ画面

※【パスワード設定】画面が表示されます。

3．パスワードと使用を許可する項目を設定します。

※ パスワードは半角英数で 10 文字まで設定できます。

※ 左の例のパスワード登録のとき････
・システムパスワードでログインしたときの【トップ画面】

・オペレータパスワードでログインしたときの【トップ画面】

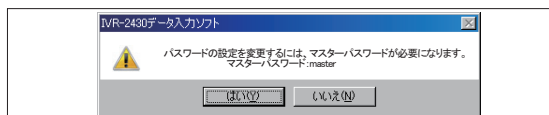
① マスターパスワード
　マスターとなるパスワードを設定します。このパスワードは、すべての操作項目が使用できます。

② システムパスワード
　システムパスワードを設定します。マスターパスワードを設定したときに設定できます。

③ システムパスワードで使用を許可する操作項目をチェックします。

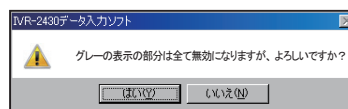
④ オペレータパスワード
　オペレータパスワードを設定します。マスターパスワードを設定したときに設定できます。

⑤ オペレータパスワードで使用を許可する操作項目をチェックします。

⑥［登録］ボタン
　パスワードを登録するときにクリックします。
　マスターパスワードの確認画面を表示します。

　［はい］ボタンをクリックすると、【トップ画面】に戻ります。

⑦［戻る］ボタン
　登録した内容をキャンセルして【トップ画面】に戻ります。

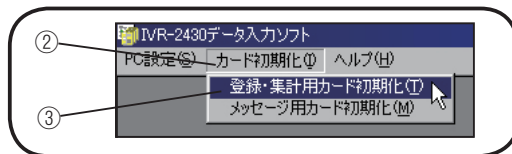
ワンポイント

● パスワードは忘れないように注意してください。
　本ソフトの操作ができなくなります。
● パスワードを削除･変更するときは、「マスターパスワード」でログインしてください。
　パスワードの設定画面で、表示されているパスワードを削除または変更して［登録］ボタンをクリックします。

　［はい］ボタンをクリックします。

4．カード初期化について

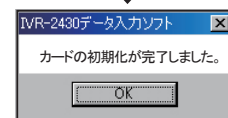
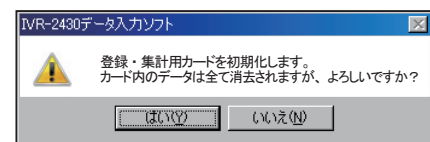
◎本システムで使用するメモリーカードを初期化することができます。
　カード初期化には、登録・集計用メモリーカードとメッセージ用メモリーカードの２種類があります。

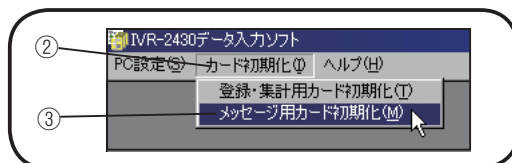
■ 登録・集計用カード初期化

1．登録・集計用メモリーカード（KFC-60M）をカードライトアダプタ（CWA-100）にセットします。
2．【トップ画面】左上の[カード初期化]をクリックします。
3．［登録・集計用カード初期化］をクリックします。

※ 初期化確認の画面が表示されます。

4．登録・集計用カードを初期化するときは、［はい］ボタンをクリックします。

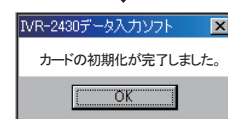
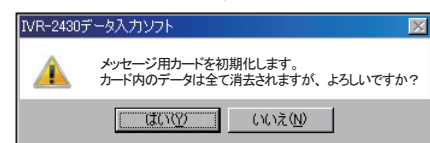
・初期化を中止するときは、［いいえ］ボタンをクリックします。【トップ画面】に戻ります。

5．【カード初期化完了】を表示します。［OK］ボタンをクリックします。

■ メッセージ用カード初期化

1．メッセージ用メモリーカード（JFC-60M）をカードライトアダプタ（CWA-100）にセットします。
2．【トップ画面】左上の[カード初期化]をクリックします。
3．［メッセージ用カード初期化］をクリックします。

※ 初期化確認の画面が表示されます。

4．メッセージ用カードを初期化するときは、［はい］ボタンをクリックします。

・初期化を中止するときは、［いいえ］ボタンをクリックします。【トップ画面】に戻ります。

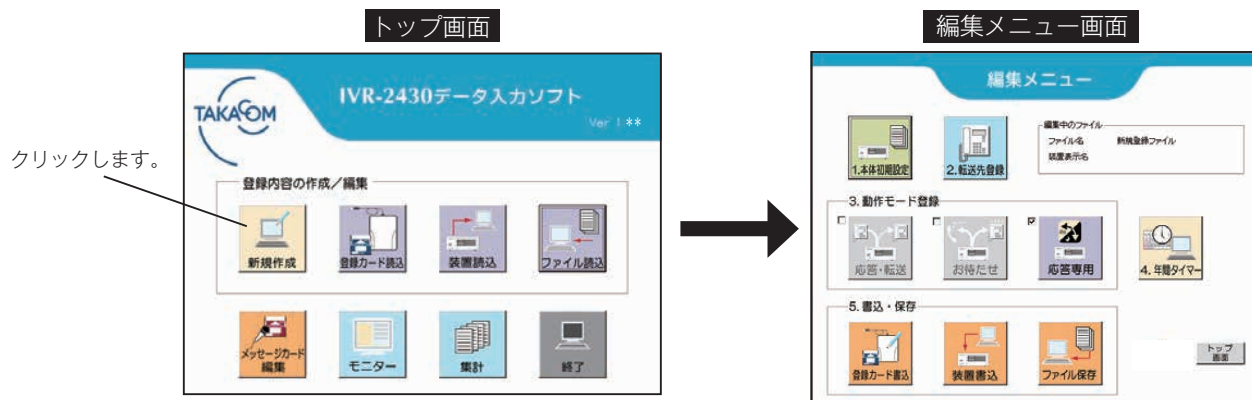
5．【カード初期化完了】を表示します。［OK］ボタンをクリックします。

ワンポイント

● カードの初期化を行っても、登録･集計用カードとメッセージ用カードを交換して使用することはできません。

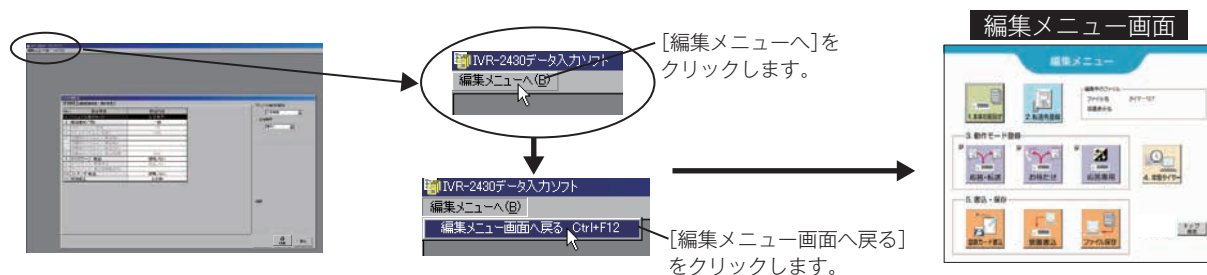
新しくデータを作成する

◎ 新しく各種のデータを作成する場合は、【編集メニュー】画面から項目を選んで行います。

● 【編集メニュー】画面の呼び出し

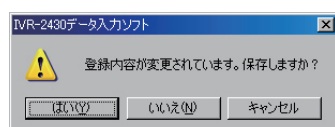
【トップ画面】で［新規作成］ボタンをクリックすると、【編集メニュー】画面を表示します。

ワンポイント

● 各種の【設定・登録】画面から【編集メニュー】画面に戻るには・・・・・

データの設定・登録を終了して【編集メニュー】画面に戻るときは、各画面の［戻る］ボタンを繰り返し押して一画面ずつ戻る方法と、次のように各画面左上の［編集メニューへ］をクリックして戻る方法があります。

● 【編集メニュー】画面から【トップ画面】に戻るには・・・・・

【編集メニュー】画面の［トップ画面］ボタンをクリックします。

・【トップ画面】に戻ります。

編集メニューでデータの登録・編集がされているときは、次の変更データの保存確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると変更データを保存できます。「データ編 - 登録内容を書き込み／保存する -3. パソコンに保存する」（157 ページ）に従って保存してください。

・［いいえ］ボタンをクリックすると変更データを破棄して【トップ画面】に戻ります。

1． 本体初期設定

◎ 本体装置の各データを設定します。

● 【本体初期設定】画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で［本体初期設定］ボタンをクリックすると、【本体初期設定】画面を表示します。

1-1　本体設定

■ 本体設定画面の呼び出し

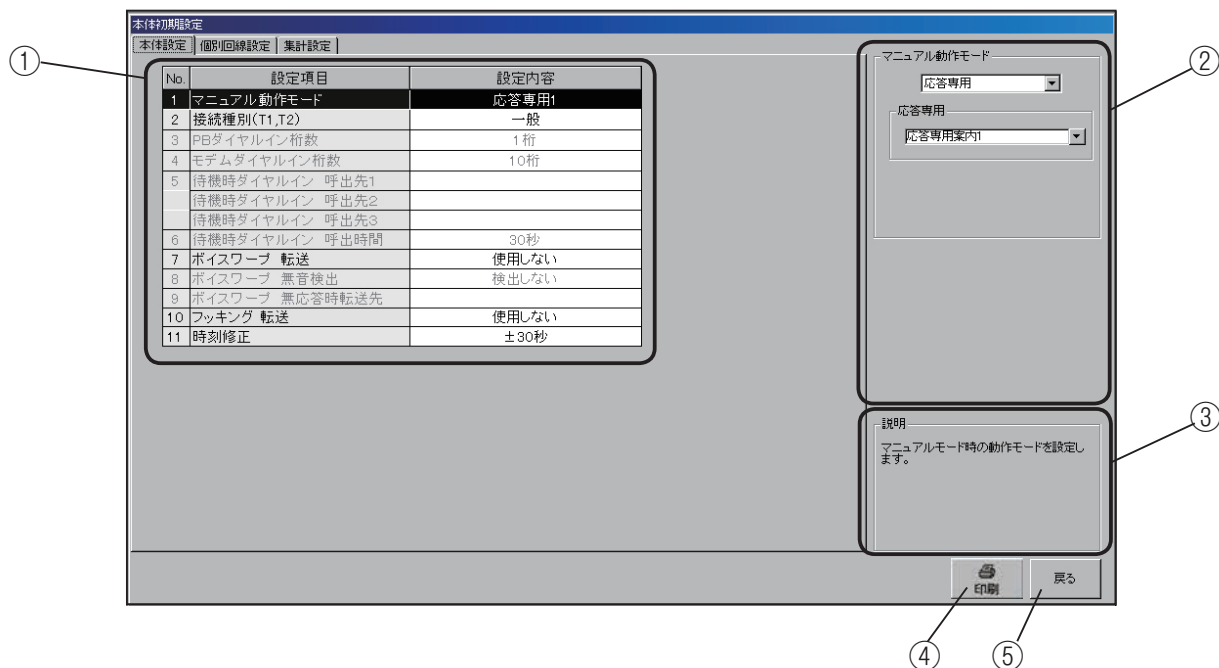
【本体初期設定】画面の［本体設定］タブをクリックします。

クリックします。

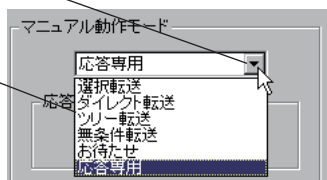
本体設定画面

■ 本体設定の内容

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	マニュアル動作モード	マニュアルモード時の動作モードを設定します。	・選択転送パターン 1 ～ 20 ・ダイレクト転送 ・ツリー転送パターン 1，2 ・無条件転送 1 ～ 100 ・お待たせ ・応答専用案内 1 ～ 10	応答専用案内 1
2	接続種別（T1,T2）	本装置の T1,T2（TEL）側に接続する構内交換機（PBX）、電話機などの種別を設定します。	・一般 ・ナンバーディスプレイ ・PB ダイヤルイン ・モデムダイヤルイン	一般
3	PB ダイヤルイン桁数	PB ダイヤルイン使用時に構内交換機（PBX）が照合する番号の桁数を設定します。	1 ～ 4 桁	1 桁
4	モデムダイヤルイン桁数	モデムダイヤルイン使用時に構内交換機（PBX）が照合する番号の桁数を設定します。	10 ～ 18 桁	10 桁
5	待機時ダイヤルイン　呼出先 1	ダイヤルイン使用時で、本装置が待機中に着信したときの呼出先番号を設定します。	PB ／モデムダイヤルイン桁数で設定した桁数	なし
	待機時ダイヤルイン　呼出先 2			なし
	待機時ダイヤルイン　呼出先 3			なし
6	待機時ダイヤルイン　呼出時間	呼出先が 2 つ以上設定されている場合、1 つの呼出先を呼び出す最大時間を設定します。呼出先が 1 つの場合はこの設定にかかわらず呼び出し続けます。	10 ～ 240 秒	30 秒
7	ボイスワープ　転送	ボイスワープを利用した転送を「使用する／使用しない」を設定します。「使用する」を設定すると、本装置が着信に応答するまでのベル回数は 5 回までに制限されます。	・使用しない ・使用する	使用しない
8	ボイスワープ　無音検出	ボイスワープの開始および停止の自動設定を、ガイダンス中でも行うときは「しない」を、ガイダンス終了後に行うときは「する」を設定します。	・しない ・する	しない
9	ボイスワープ　無応答時転送先	ボイスワープ転送で、本装置が停電などで着信に応答しなかったときに転送する番号を設定します。	最大 18 桁まで	なし
10	フッキング　転送	構内交換機（PBX）などのフッキングを利用した転送を「使用する／使用しない」を設定します。	・使用しない ・使用する	使用しない
11	時刻修正	本装置の内部時計を、外部の親時計などで時刻修正するときの方式を設定します。	・± 30 秒 ・± 10 秒	± 30 秒

■ 設定のしかた

① 設定項目の指定
　設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

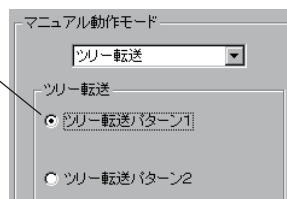
② 設定入力
　選択した項目に対応した内容が表示されます。

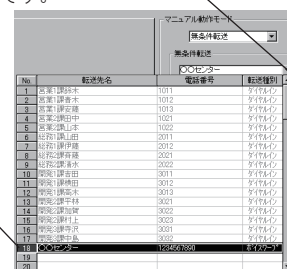
1. マニュアル動作モード

※ 選択転送･ツリー転送･無条件転送･応答専用の場合は、動作パターンなどの設定を行います。
ダイレクト転送･お待たせの場合は、設定項目一覧の設定内容に表示されます。

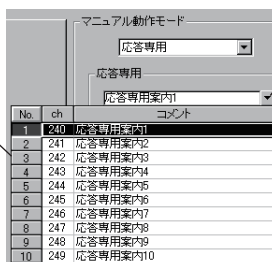
・動作モードを選択したあと、動作パターンを選択します。

《選択転送の場合》

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

《ツリー転送の場合》

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

《無条件転送の場合》
あらかじめ転送先が登録されているときの例です。

※ 設定項目一覧の設定内容に、転送先No.が表示されます。

《応答専用の場合》

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

2. 接続種別（T1,T2）

① 本装置T1,T2(TEL)側の接続種別を選択してクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

3. PB ダイヤルイン桁数

・2. の接続種別で、「PB ダイヤルイン」を選択したときに設定できます。

① 構内交換機(PBX)が照合する桁数を選択してクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

4. モデムダイヤルイン桁数

・2. の接続種別で、「モデムダイヤルイン」を選択したときに設定できます。

① 構内交換機(PBX)が照合する桁数を選択してクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

5. 待機時ダイヤルイン呼出先 1 ～ 3

・2. の接続種別で、「PB ダイヤルイン」または「モデムダイヤルイン」を選択したときに設定できます。

・本装置が待機中のダイヤルイン呼出先を設定します。呼出先名は変更できません。

・呼出先が不応答のときの追っかけ呼出先として、最大 3 ヵ所の設定ができます。

① 第1呼出先の電話番号を入力します。

② 追っかけ呼び出しをするときはチェックボックスをクリックし、電話番号を入力します。

③ 追っかけ呼び出しをするときはチェックボックスをクリックし、電話番号を入力します。

④ [登録]ボタンをクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

呼出先電話番号を削除するときクリックします。

・[削除］ボタンをクリックすると、削除の確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、すべての呼出先を削除します。

6. 待機時ダイヤルイン呼出時間

・5. の待機時ダイヤルイン呼出先を 2 つ以上登録したときに設定できます。

① テンキーをクリックして秒数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると30秒が設定されます。
(設定範囲:10～240秒)

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

7. ボイスワープ転送

・10. のフッキング転送で、「使用する」を選択したときは設定できません。

① ボイスワープ転送「使用する／使用しない」を選択してクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

8. ボイスワープ無音検出

9. ボイスワープ無応答時転送先

・停電などのために本装置が自動応答できなかったときに転送する電話番号を入力します。
　転送先名は変更できません。
・[削除］ボタンをクリックすると、削除の確認画面を表示します。

　[はい］ボタンをクリックすると、ボイスワープ無応答時転送先を削除します。

10. フッキング転送
・2. の接続種別で、「PB ダイヤルイン」または「モデムダイヤルイン」を選択したときは設定できません。
・7. のボイスワープ転送で、「使用する」を選択したときは設定できません。

11. 時刻修正

・「± 30 秒」に設定した場合は、本装置の内部時計が、“0 ～ 29 秒 ” のときは 0 秒に、“30 ～ 59 秒 ” のときは 1 分進めて 0 秒にします。
・「± 10 秒」に設定した場合は、本装置の内部時計が、“0 ～ 10 秒 ” のときは 0 秒に、“50 ～ 59 秒 ” のときは 1 分進めて 0 秒にします。

③ 説明欄
　設定内容が表示されます。
④ 印刷
　設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。
⑤ 戻る
　【編集メニュー】画面に戻ります。

● 1. 項の「マニュアル動作モード」は、データが登録された動作モードを設定してください。
●「マニュアル動作モード」は、本体装置のボタン操作で、データが登録された動作モードを任意に設定することができます。「装置編 - 動作モードの確認／変更 -1. マニュアル動作の設定」(42 ページ) を参照してください。

1-2　個別回線設定

■ 個別回線設定画面の呼び出し

【本体初期設定】画面の［個別回線設定］タブをクリックします。

クリックします。

個別回線設定画面

■ 個別回線設定の内容

● 回線（1 ～ 24 回線）ごとに、次の項目を設定します。

No.	設定項目	設定内容	設定範囲	初期値
1	接続種別（L1,L2）	本装置の L1,L2（LINE）側に接続する回線のサービス種別を設定します。	・一般回線 ・ナンバーディスプレイ回線	一般回線
2	回線種別	本装置の L1,L2（LINE）側に接続する回線のダイヤル種別を設定します。	・20PPS ・PB	20PPS
3	ダイヤルトーン検出	本装置が転送動作を行うときのダイヤルトーン検出を「する／しない」を設定します。「しない」にすると回線を閉塞して約３秒後にダイヤルを開始します。	・しない ・する	する
4	ベル検出　極性判定	ベル着信を検出するとき、回線の極性判定も条件に「する／しない」を設定します。	・しない ・する	する
5	終話検出　極性判定	本装置が応答中にお客様が電話を切ったことを検出するとき、回線の極性判定も条件に「する／しない」を設定します。「しない」にすると話中音で判定します。	・しない ・する	する
6	相手応答検出	呼出先の相手が応答したことを検出する条件を設定します。	・極性反転 ・音声検出	極性反転
7	受話器下ろし確定時間	T1,T2（TEL）側が受話器を下ろしたと判定する時間を設定します。	・0 ～ 4.0 秒（0.5 秒間隔）	2.0 秒
8	選択番号　桁間時間	お客様の入力する選択番号（PB 信号）の桁間時間の最大値を設定します。この時間を過ぎると入力終了と判定します。	・1.0 ～ 4.0 秒（0.5 秒間隔）	1.5 秒
9	フッキング時間	本装置がフッキングを行うときの、フッキング時間を設定します。	・400ms ／ 600ms ／ 800ms ／ 1000ms	600ms
10	追っかけ間隔時間	呼出先（ダイヤルイン）が不応答または話中のときに、次の呼出先を呼び出すまでの間隔時間を設定します。	・1 秒／ 2 秒／ 3 秒／ 4 秒	2 秒
11	PBX 内線呼戻しベル検出	本装置を構内交換機（PBX）の内線に接続したときの呼戻しベルによる本装置の応答をキャンセルすることができます。 本装置が回線を開放してから設定秒数後に呼戻しベルの検出を開始します。検出は３秒間行い、この間で呼戻しベルを検出すると回線を閉塞してすぐに開放します。 設定秒数前の呼戻しベルは検出しません。	・検出しない ・0 秒後から ・1 秒後から ・2 秒後から ・3 秒後から	検出しない
12	回線閉塞時間	本装置が、応答後に回線を閉塞できる最大時間を設定します。	・1 ～ 99 分、無制限	30 分
13	集計グループ	応答・転送件数などのデータをグループ分けして集計する場合に、集計グループを設定します。	・グループ 1 ・グループ 2 ・グループ 3・グループ 4	グループ 1

■ 設定のしかた

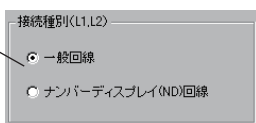
No.	設定項目	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5	回線6
1	接続種別(L1,L2)	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線
2	回線種別	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS
3	ダイヤルトーン検出	する	する	する	する	する	する
4	ベル検出　極性判定	する	する	する	する	する	する
5	終話検出　極性判定	する	する	する	する	する	する
6	相手応答検出	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転
7	受話器下ろし確定時間	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒
8	選択番号　桁間時間	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒
9	フッキング時間	600ms	600ms	600ms	600ms	600ms	600ms
10	追っかけ間隔時間	2秒	2秒	2秒	2秒	2秒	2秒
11	PBX内線呼戻しベル検出	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない
12	回線閉塞時間	30分	30分	30分	30分	30分	30分
13	集計グループ	グループ1	グループ1	グループ1	グループ1	グループ1	グループ1

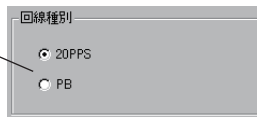
① LINE ボードの選択
　設定を行う6回線ラインボード（A ～ D）を選んでクリックします。
　・LINE ボード A：回線 1 ～回線 6
　・LINE ボード B：回線 7 ～回線 12
　・LINE ボード C：回線 13 ～回線 18
　・LINE ボード D：回線 19 ～回線 24

② 設定項目の指定
　設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択された項目が回線ごとに設定できます。

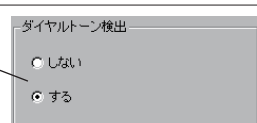
③ 設定入力
　選択した項目に対応した内容が表示されます。

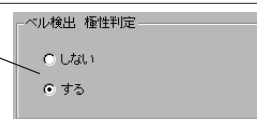
1. 接続種別（L1,L2）

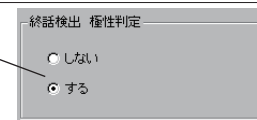
① 本装置L1,L2（LINE側）に接続する回線のサービス種別を選択してクリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

2. 回線種別

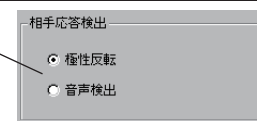
① 接続する回線種別を選択してクリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・20PPS：ダイヤル回線／ PB：プッシュ回線

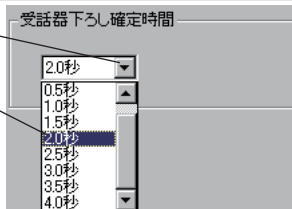
3. ダイヤルトーン検出

① ダイヤルトーン検出「する／しない」を選択してクリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

4. ベル検出　極性判定

① ベル検出　極性判定「する／しない」を選択してクリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

5. 終話検出　極性判定

① 終話検出　極性判定「する／しない」を選択してクリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

6. 相手応答検出

① 相手応答検出の条件を選択してクリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

7. 受話器下ろし確定時間

① クリックすると時間（秒）を表示します。
② 受話器下ろし確定時間を選択し、クリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

8. 選択番号　桁間時間

① クリックすると時間（秒）を表示します。
② 受話器下ろし確定時間を選択し、クリックします。
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

9. フッキング時間

10. 追っかけ間隔時間

・ダイヤルイン転送で、追っかけ転送を行う場合に機能します。

11. PBX 内線呼戻しベル検出

12. 回線閉塞時間

・無制限チェックボックスをクリックしてチェックを付けると、お客様が切るまで回線を閉塞します。

13. 集計グループ

・グループ名は全角 10 文字、半角 20 文字まで入力できます。

④ 使用回線の設定

本装置で使用する回線にチェックを付けます。

⑤ 出荷時設定に戻す

すべての回線の設定内容を、一括で工場出荷時の設定に戻すことができます。

・［出荷時設定に戻す］ボタンをクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、すべての回線の設定内容が工場出荷時の状態に戻ります。

⑥ 全回線コピー

特定の 1 回線のすべての設定内容を、一括で全回線にコピーすることができます。

・［全回線コピー］ボタンをクリックすると、確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、すべての回線に一括で設定できます。

⑦ 説明欄

設定内容が表示されます。

⑧ 印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑨ 戻る

【編集メニュー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 本装置を PBX の内線接続（回線リバースなし）でご利用の場合は、③ 設定入力の No.4 ～ 6 を下記の設定にしてください。

No.4 ベル検出　極性反転：しない
No.5 終話検出　極性反転：しない
No.6 相手応答検出　　　：音声検出

また、内線ダイヤルトーンが、外線と異なる場合は、No.3 ダイヤルトーン検出を「しない」に設定してください。

● ③ 設定入力の 12 項で、「回線閉塞時間」を無制限に設定した場合、回線の切断タイミングなどにより、本装置の回線持ちきりが発生する可能性がありますので注意してください。

● ④ 使用回線の設定で、チェックの無い回線は、発信・着信とも使用できませんので注意してください。

1-3　集計設定

■ 集計設定画面の呼び出し

【本体初期設定】画面の［集計設定］タブをクリックします。

クリックします。

集計設定画面

本体初期設定

本体設定 | 個別回線設定 | 集計設定

No.	項目名	設定項目	設定内容
1	集計動作	時集計	集計しない
2		日集計	集計する
3		週集計	集計する
4		月集計	集計する
5		データの上書き	上書きする
6	集計単位時間	即時応答	10秒
7		即時放棄	10秒
8		本体応答後応答	10秒
9		本体応答後放棄	10秒
10		トラフィック集計動作時応答	10秒
11		トラフィック集計動作時放棄	10秒
12	応答・転送(IVR)	選択転送	する
13	集計表示	ツリー転送	する
14		ダイレクト転送	しない
15		無条件転送	する
16		即時応答	しない
17	お待たせ　集計表示	応答	する(詳細なし)
18		放棄	する(詳細なし)
19	応答専用　集計表示	応答専用	する
20	その他　集計表示	通話・全回線話中	する

時集計

集計しない

集計する

説明

1時間単位でデータを「集計する/集計しない」を設定します。

印刷　戻る

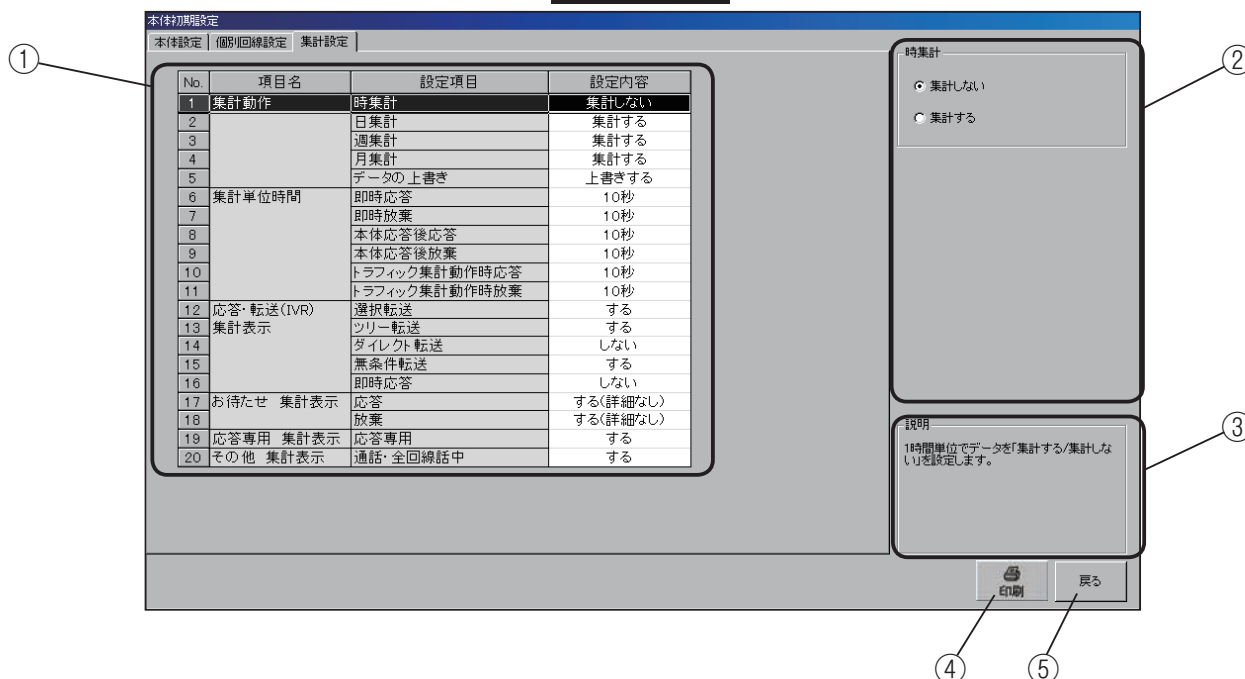
■ 集計設定の内容

● 着信応答・転送などのデータ集計に関しての設定です。次の項目を設定します。

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1	集計動作	時集計	1 時間単位でデータを「集計する／集計しない」を設定します。	・集計しない ・集計する	集計しない
2		日集計	1 日単位でデータを「集計する／集計しない」を設定します。	・集計しない ・集計する	集計する
3		週集計	1 週間単位でデータを「集計する／集計しない」を設定します。月曜日から日曜日の間で集計します。	・集計しない ・集計する	集計する
4		月集計	1 ケ月単位でデータを「集計する／集計しない」を設定します。	・集計しない ・集計する	集計する
5		データの上書き	本体装置内のデータファイルが満杯になったときに、古いデータから順番に「上書きする／上書きしない」を設定します。（最大 360 ファイル）	・上書きしない ・上書きする	上書きする
6	集計単位時間	即時応答	お待たせモードで、ベル着信から本装置が応答する前の状態で呼出先が応答するまでの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は３区分に分けられます。	・1 ～ 100 秒	10 秒
7		即時放棄	お待たせモードで、ベル着信から本装置が応答する前の状態でお客様が電話を切る（放棄する）までの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は３区分に分けられます。	・1 ～ 100 秒	10 秒
8		本体応答後応答	お待たせモードで、本装置が応答してから呼出先が応答するまでの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は４区分に分けられます。	・1 ～ 100 秒	10 秒
9		本体応答後放棄	お待たせモードで、本装置が応答してからお客様が電話を切る（放棄する）までの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は４区分に分けられます。	・1 ～ 100 秒	10 秒
10		トラフィック集計動作時応答	お待たせモードのトラフィック集計動作で、ベル着信から呼出先が応答するまでの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は７区分に分けられます。	・1 ～ 100 秒	10 秒
11		トラフィック集計動作時放棄	お待たせモードのトラフィック集計動作で、ベル着信からお客様が電話を切る（放棄する）までの時間を集計するための単位時間を設定します。集計は７区分に分けられます。	・1 ～ 100 秒	10 秒

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
12	応答・転送（IVR）集計表示	選択転送	集計データ（Excel）の表示で、選択転送モードでの集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	する
13		ツリー転送	集計データ（Excel）の表示で、ツリー転送モードでの集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	する
14		ダイレクト転送	集計データ（Excel）の表示で、ダイレクト転送モードでの集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	しない
15		無条件転送	集計データ（Excel）の表示で、無条件転送モードでの集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	する
16		即時応答	集計データ（Excel）の表示で、即時応答の集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	しない
17	お待たせ集計表示	応答	集計データ（Excel）の表示で、お待たせモードで応答の集計データ表示を「する（詳細なし）／する（詳細あり）／しない」を設定します。「する（詳細あり）」に設定すると、集計単位時間ごとに割り当てて集計した結果も表示します。	・しない ・する（詳細なし） ・する（詳細あり）	する（詳細なし）
18		放棄	集計データ（Excel）の表示で、お待たせモードで放棄の集計データ表示を「する（詳細なし）／する（詳細あり）／しない」を設定します。「する（詳細あり）」に設定すると、集計単位時間ごとに割り当てて集計した結果も表示します。	・しない ・する（詳細なし） ・する（詳細あり）	する（詳細なし）
19	応答専用集計表示	応答専用	集計データ（Excel）の表示で、応答専用モードでの集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	する
20	その他集計表示	通話・全回線話中	集計データ（Excel）の表示で、通話時間、全回線話中時間の集計データ表示を「する／しない」を設定します。	・しない ・する	する

■ 設定のしかた

集計設定画面

① 設定項目の指定
設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

② 設定入力

選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 集計動作　時集計

2 ～ 4. 集計動作（日集計、週集計、月集計）

・1. 集計動作　時集計のタイトルと初期値が変わります。設定方法は同じです。

5. データの上書き

6. 集計単位時間　即時応答

7 ～ 11. 集計単位時間（即時放棄、本体応答後応答、本体応答後放棄、トラフィック集計動作時応答、トラフィック集計動作時放棄）

・6. 集計単位時間　即時応答のタイトルが変わります。設定方法は同じです。

12. 応答・転送（IVR）集計表示　選択転送

13 ～ 16. 応答・転送（IVR）集計表示（ツリー転送、ダイレクト転送、無条件転送、即時応答）

・12. 応答・転送（IVR）集計表示　選択転送のタイトルと初期値が変わります。設定方法は同じです。

17. お待たせ集計表示　応答

18. お待たせ集計表示　放棄

・17. お待たせ集計表示　応答のタイトルが変わります。設定方法は同じです。

19. 応答専用集計表示　応答専用

20. その他集計表示　通話・全回線話中

③ 説明欄

設定内容が表示されます。

④ 印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

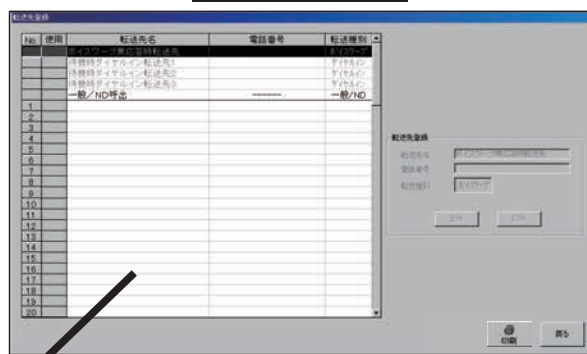
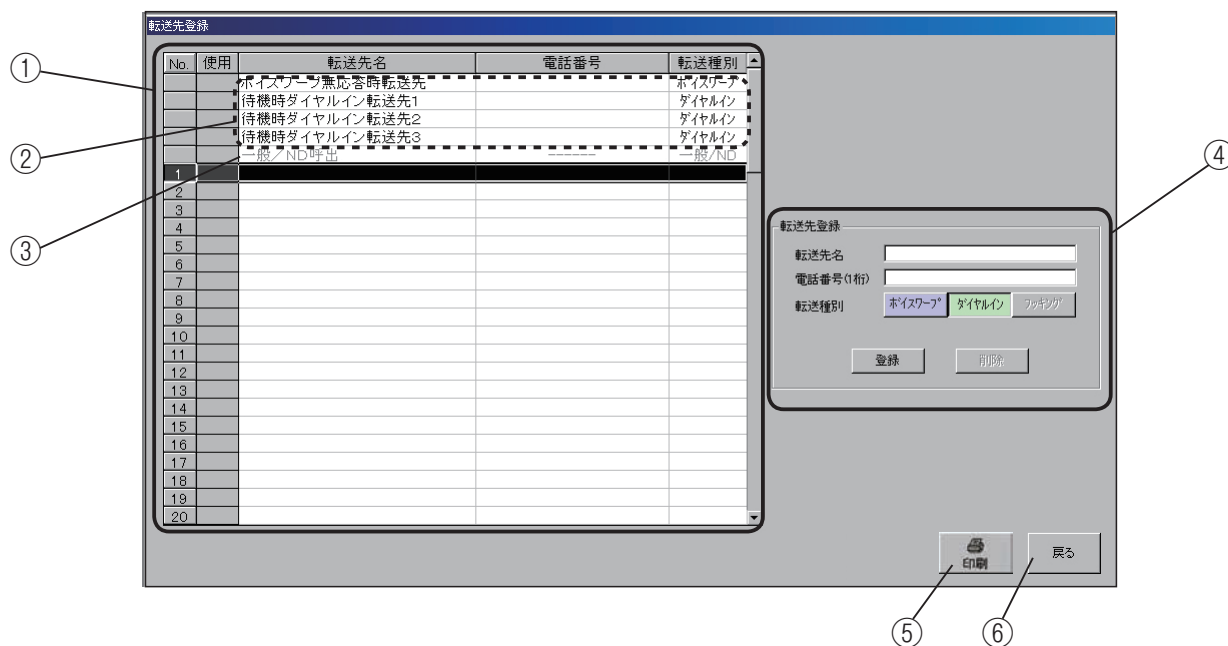
⑤ 戻る

【編集メニュー】画面に戻ります。

2. 転送先登録

◎ 各動作モードで使用する、転送先を登録します。
登録した転送先は転送先一覧で確認でき、すべての動作モードでこの一覧から選択して設定します。
転送先は最大 100 件まで登録できます。

■ 転送先登録画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で［転送先登録］ボタンをクリックすると、【転送先登録】画面を表示します。

① 転送先一覧
登録した転送先を表示します。クリックして選択すると反転表示になります。
・使用　　：各動作モードで転送先として設定登録されているとき「○」印が付きます。
・転送先名：転送先の名前を表示します。
・電話番号：転送先の電話番号を表示します。
・転送種別：転送の種別（方式）を表示します。

② システム用転送先
ボイスワープ着信での本装置無応答時、および本装置の待機中のダイヤルイン転送先を登録します。本画面または、「本体初期設定 - 本体設定」で設定・登録できます。各動作モードの転送先としては設定できません。

③ 一般／ ND 呼出
「本体設定」の接続種別（T1,T2）の設定が「一般」または「ナンバーディスプレイ」の場合、呼出先として設定できます。ただし、フッキング転送を使用する場合は設定できません。

④ 転送先データ入力欄
データを入力し登録します。また、登録済みデータを修正します。
「本体初期設定 - 本体設定」の「接続種別（T1,T2）」、「ボイスワープ転送　使用する／しない」および、「フッキング転送　使用する／しない」の設定によって、登録できる転送種別が制限されます。

■ 登録のしかた

● 接続種別（T1,T2）の設定が「PB ／モデムダイヤルイン」で、ボイスワープ転送を「使用する」の場合

・転送種別は、有効な項目以外はグレー表示となり登録できません。

・転送先を削除するときは、転送先の修正のときに［削除］ボタンをクリックします。

・【削除の確認】画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、選択されている転送先を削除します。

上記の確認画面を表示した場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、各動作モードの転送先設定で該当の転送先を変更するなど、使用を停止してください。その後、削除を行ってください。

ワンポイント

● L1,L2（LINE）側の接続回線が、着信用電話・トリオホン・ピンク電話のときは、ボイスワープ転送ができません。

● 次の番号は、ボイスワープ転送ができません。登録しないでください。
110 番や 104 番の 3 桁の番号、フリーダイヤル、ナビダイヤル、ダイヤル Q²、伝言ダイヤル、# ダイヤル、国際電話の番号（0070・0077・0088 などで始まる番号）など

● **接続種別（T1,T2）の設定が「一般／ナンバーディスプレイ」で、ボイスワープ転送を「使用する」の場合**

・転送種別は、有効な項目以外はグレー表示となり登録できません。

《新規登録のとき》
※ 転送先一覧の入力のないNo.をクリックします。
① 転送先の名前を入力します。
② 転送先の電話番号を入力します。
③ ボイスワープをクリックします。
④［登録］ボタンをクリックします。

※ 転送先一覧に表示されます。

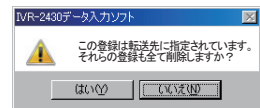
《転送先修正のとき》
※ 転送先一覧の修正する転送先をクリックします。
① 転送先の名前を修正します。
② 転送先の電話番号を修正します。
③［編集］ボタンをクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・転送先を削除するときは、転送先の修正のときに［削除］ボタンをクリックします。
・【削除の確認】画面を表示します。

《転送先として使用していない場合》
※ 使用の欄に○印のない転送先

［はい］ボタンをクリックすると、選択されている転送先を削除します。

《転送先として使用している場合》
※ 使用の欄に○印のある転送先

上記の確認画面を表示した場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、各動作モードの転送先設定で該当の転送先を変更するなど、使用を停止してください。その後、削除を行ってください。

ワンポイント

● L1,L2（LINE）側の接続回線が、着信用電話・トリオホン・ピンク電話のときは、ボイスワープ転送ができません。

● 次の番号は、ボイスワープ転送ができません。登録しないでください。
110 番や 104 番の 3 桁の番号、フリーダイヤル、ナビダイヤル、ダイヤル Q^2、伝言ダイヤル、# ダイヤル、国際電話の番号（0070・0077・0088 などで始まる番号）など

● **接続種別（T1,T2）の設定が「一般／ナンバーディスプレイ」で、フッキング転送を「使用する」の場合**

・転送種別は、有効な項目以外はグレー表示となり登録できません。

《新規登録のとき》
※ 転送先一覧の入力のないNo.をクリックします。
① 転送先の名前を入力します。
② 転送先の電話番号を入力します。
③ フッキングをクリックします。
④ [登録]ボタンをクリックします。

※ 転送先一覧に表示されます。

《転送先修正のとき》
※ 転送先一覧の修正する転送先をクリックします。
① 転送先の名前を修正します。
② 転送先の電話番号を修正します。
③ [編集]ボタンをクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・転送先を削除するときは、転送先の修正のときに［削除］ボタンをクリックします。
・【削除の確認】画面を表示します。

《転送先として使用していない場合》
※ 使用の欄に○印のない転送先

［はい］ボタンをクリックすると、選択されている転送先を削除します。

《転送先として使用している場合》
※ 使用の欄に○印のある転送先

上記の確認画面を表示した場合は、「いいえ」ボタンをクリックして、各動作モードの転送先設定で該当の転送先を変更するなど、使用を停止してください。その後、削除を行ってください。

● **接続種別（T1,T2）の設定が「一般／ナンバーディスプレイ」で、ボイスワープ転送を「使用しない」フッキング転送を「使用しない」の場合**

転送先として、「一般／ ND」以外は選択できません。

⑤ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。
⑥ 戻る
【編集メニュー】画面に戻ります。

3．動作モードの登録

◎ 応答・転送の各動作モードの設定・登録を行います。

●【応答・転送メニュー】画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で［応答・転送］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［応答・転送］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【応答・転送メニュー】画面を表示します。

3-1　選択転送モード

■ 選択転送フロー画面の呼び出し

【応答・転送メニュー】画面の［選択転送］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［選択転送］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【選択転送フロー】画面を表示します。

応答・転送メニュー画面

クリックします。

クリックします。

選択転送フロー画面

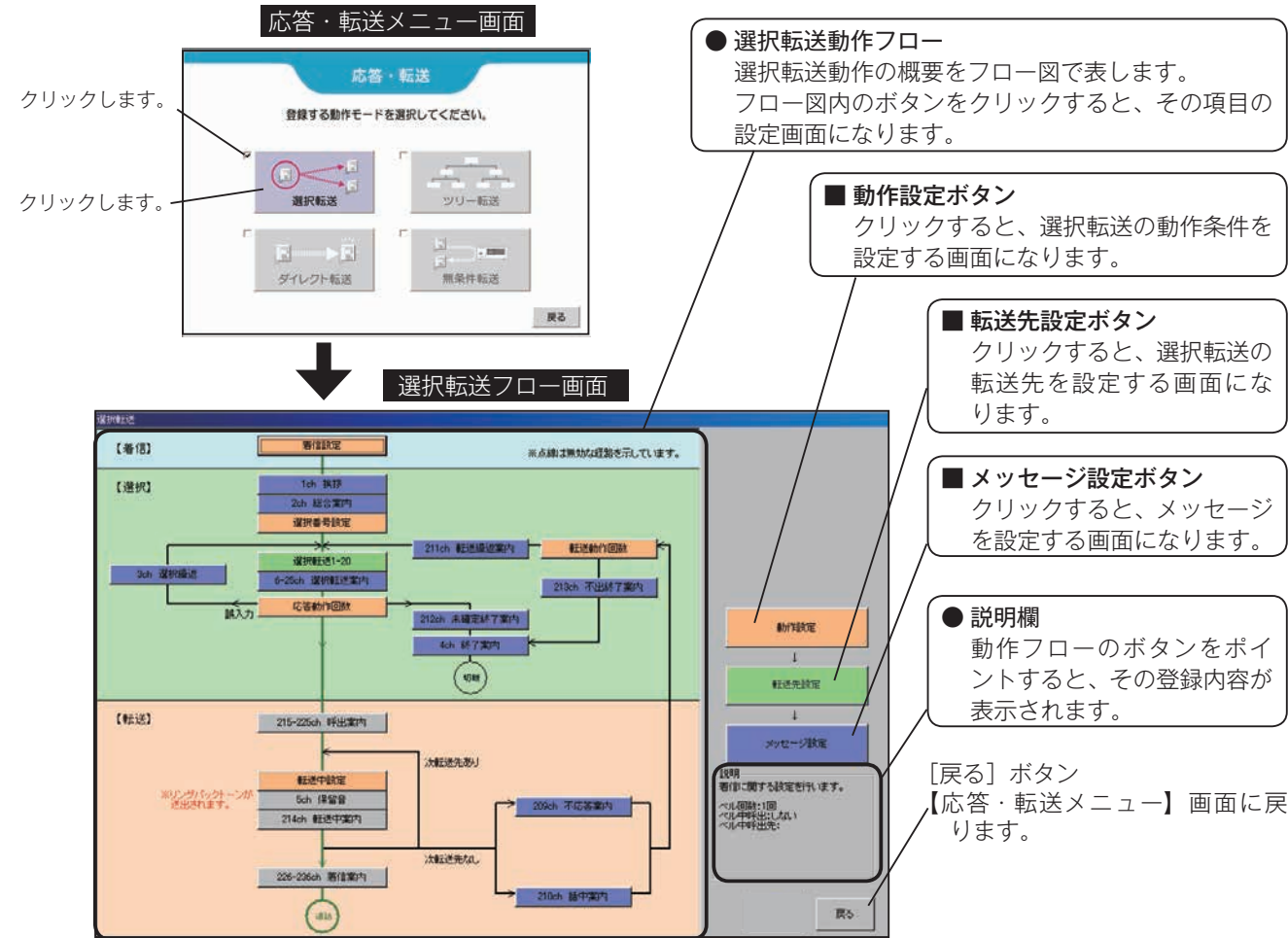
● 選択転送動作フロー
選択転送動作の概要をフロー図で表します。
フロー図内のボタンをクリックすると、その項目の設定画面になります。

■ 動作設定ボタン
クリックすると、選択転送の動作条件を設定する画面になります。

■ 転送先設定ボタン
クリックすると、選択転送の転送先を設定する画面になります。

■ メッセージ設定ボタン
クリックすると、メッセージを設定する画面になります。

● 説明欄
動作フローのボタンをポイントすると、その登録内容が表示されます。

［戻る］ボタン
【応答・転送メニュー】画面に戻ります。

■ 選択転送モードで使用できる転送方式

選択転送モードでは下記の転送方式が使用できます。

動作モード	転送方式			
	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
選択転送	○	○（注）	○（注）	○

○：使用可
×：使用不可
(注) いずれかの方式を「本体初期設定」で選択します。

■ 動作設定画面の呼び出し

【選択転送フロー】画面の［動作設定］ボタンをクリックします。

■ 動作設定の内容

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1	着信設定	ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ～ 20 回 （ボイスワープ使用時は、1 ～ 5 回）	1 回
2		ベル中呼出	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2（TEL）側の呼び出しを「する／しない」を設定します。	・しない ・する	しない
3		ベル中呼出先	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2（TEL）側を呼び出しするときの呼出先を設定します。	・転送先名 ・電話番号	― ―
4	選択番号設定	入力待ち時間	選択転送案内メッセージの終了後、お客様からの選択番号を受け付ける時間を設定します。	・0 ～ 10 秒	5 秒
5		受付タイミング	お客様からの選択番号を受け付け開始するタイミングを設定します。	・挨拶から ・選択転送案内から	挨拶から
6		桁数	選択番号の桁数を設定します。	・1 桁 ・2 桁	1 桁
7	応答動作回数		本装置の応答動作の回数を設定します。お客様からの選択番号が確認できない場合に、一連の動作を何回行うかを設定します。（未選択の場合を除きます。）	・1 ～ 9 回	2 回
8	転送動作回数		転送動作後、転送先すべてが話中や応答しない場合に、一連の転送動作を何回行うかを設定します。	・1 ～ 5 回	2 回
9	転送中設定	呼出時間	1 つの転送先（ボイスワープ以外）を呼び出す最大時間を設定します。	・10 ～ 240 秒 ・無制限	30 秒
10		ボイスワープ呼出時間	1 つの転送先（ボイスワープ）を呼び出す最大時間を設定します。	・10 ～ 100 秒	30 秒
11		保留音（注）	転送先を呼び出し中に、お客様に送出する音の種類を設定します。	・保留音 ・リングバックトーン	リングバックトーン
12		転送中案内繰返	転送中案内メッセージを繰り返し送出「する／しない」または「転送種別切替時」を設定します。「転送種別切替時」に設定すると、転送先がダイヤルイン→ボイスワープに切り替わったときなどに転送中案内を送出します。 ※メッセージ設定で、転送中案内を「使用」に設定してください。	・しない ・する ・転送種別切替時	しない
13		転送中案内間隔	転送中案内メッセージを繰り返し送出する間隔時間を設定します。	・0 ～ 240 秒	10 秒

（注）・「保留音」にすると、転送先に「着信案内メッセージ」は送出されません。
・「リングバックトーン」にすると、お客様に「転送中案内メッセージ」は送出されません。ただし、転送中案内繰返を「転送種別切替時」に設定した場合は送出されます。

■ 設定のしかた

No	種類	設定項目	登録内容
1	着信設定	ベル回数	1回
2		ベル中呼出	しない
3		ベル中呼出先	
4	選択番号設定	入力待ち時間	5秒
5		受付タイミング	挨拶から
6		桁数	1桁
7	応答動作回数		2回
8	転送動作回数		2回
9	転送中設定	呼出時間	30秒
10		ボイスワープ呼出時間	30秒
11		保留音	リングバックトーン
12		転送中案内繰返	しない
13		転送中案内間隔	10秒

① 設定項目の指定
設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

② 設定入力
選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 着信設定　ベル回数

① テンキーをクリックしてベル回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると1回が設定されます。
（設定範囲：1～20回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・ボイスワープを使用する場合は、テンキー（1 ～ 5）を表示します。

① テンキーをクリックしてベル回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると1回が設定されます。
（設定範囲：1～5回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

2. 着信設定　ベル中呼出

① ベル中呼出「する／しない」を選択し、クリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

3. 着信設定　ベル中呼出先

① [一覧]ボタンをクリックして、転送先一覧を表示します。

② 転送先を選択してクリックします。
反転表示になります。

③ [選択して戻る]ボタンをクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・ベル中呼出先を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックします。
削除の確認画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックすると、ベル中呼出先を削除します。

4. 選択番号設定　入力待ち時間

5. 選択番号設定　受付タイミング

6. 選択番号設定　桁数

7. 応答動作回数

8. 転送動作回数

9. 転送中設定　呼出時間

・無制限チェックボックスをクリックしてチェックを付けると、転送先が応答するまで呼び続けます。

10. 転送中設定　ボイスワープ呼出時間

11. 転送中設定　保留音

12. 転送中設定　転送中案内繰返

13. 転送中設定　転送中案内間隔

③ 説明欄
設定内容が表示されます。
④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。
⑤ 戻る
【選択転送フロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● ② 設定入力の 11 項で、「保留音」を選択した場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはできません。また、「リングバックトーン」を選択した場合は、お客様に「転送中案内メッセージ」を送出することはできません。ただし、12 項で「転送種別切替時」に設定した場合は、転送先がダイヤルイン→ボイスワープに切り替わったときなどに送出されます。

■ 転送先設定画面の呼び出し

【選択転送フロー】画面の［転送先設定］ボタンをクリックします。

■ 設定のしかた

① 選択転送パターンの指定

選択転送の動作パターンは、20 種類作成できます。
作成するパターン番号をクリックします。

・指定したパターン番号の選択番号一覧（②）を表示します。

② 選択番号一覧

設定した選択番号と転送先を表示します。

③ 転送先設定

次の手順で、転送先を設定します。

ワンポイント

● 選択番号は1桁または2桁で次の番号が登録できます。

・1桁：1～9、∗、#

・2桁：00～99、0∗～9∗、∗0～∗9、0#～9#、#0～#9、∗∗、##、∗#、#∗

※ 1桁の“0”は、選択転送案内メッセージの繰り返し番号として使用します。

● **追っかけ転送を行う場合**

第2転送先、第3転送先を設定して追っかけ転送を行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックしてチェックを付け、一覧から転送先を選択して設定します。

● **転送先を変更（修正）する場合**

転送先を変更するときは、該当の転送先の［一覧］ボタンをクリックして、転送先の設定をやり直します。

操作は、転送先設定と同じです。

［登録］ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を表示します。［はい］ボタンをクリックして設定します。

● **未選択時の転送先設定**

お客様からの選択番号入力がないとき、または選択番号を確認できなかったときの転送先を設定します。

転送先を設定しないときは、「未確定終了案内メッセージ」を案内して電話を切ります。

④ パターン名

選択転送のパターン1～20に、任意のパターン名を付けることができます。

パターン名は半角20文字、全角10文字まで設定できます。

設定したパターン名は、本データ入力ソフトで表示される選択転送モードでのパターン名として表示されます。

ワンポイント

● 追っかけ転送で設定した転送先を、転送中止するときはチェックを外します。設定内容はそのままで表示がグレーになり、追っかけ転送は行いません。

⑤ 呼出案内・着信案内の設定

転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの設定を行います。

・呼出案内：転送を開始するときにお客様に案内するメッセージです。
「呼出案内 1 ～ 11」「使用しない」から選択できます。

・着信案内：転送先が応答したときに案内するメッセージです。着信案内は転送中に保留音を送出する設定のときは送出できません。
「着信案内 1 ～ 11」「使用しない」から選択できます。

⑥［登録］ボタン

転送先設定・呼出案内・着信案内の設定を、選択転送パターンに設定するときにクリックします。

⑦［削除］ボタン

現在、選択表示しているパターンの設定内容を、選択番号ごとに削除するときにクリックします。

⑧［パターン削除］ボタン

選択したパターンの設定内容をすべて削除するときにクリックします。

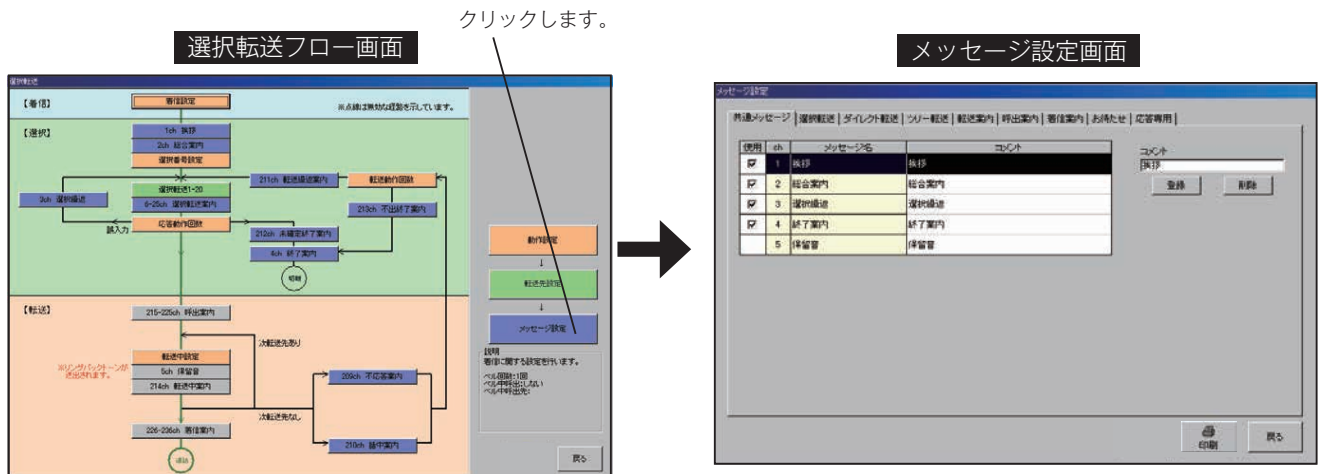
⑨ 印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑩ 戻る

【選択転送フロー】画面に戻ります。

■ メッセージ設定画面の呼び出し

【選択転送フロー】画面の［メッセージ設定］ボタンをクリックします。

■ メッセージの種類

① メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》‥‥‥選択転送で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作モード	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	○	○			○	○	○		
ダイレクト転送モード	○		○		○	○	○		
ツリー転送モード	○			○	○	○	○		
お待たせモード	△							○	
応答専用モード	○								○

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。
コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。

■ メッセージの内容と設定のしかた

● 共通メッセージ

各動作モードで共通に使用するメッセージです。

用途に応じて、次の５種類があります。

◆ メッセージの説明

・挨拶（ch 1）
お客様からの電話着信に、最初に応答するメッセージです。通常は会社名などを案内します。

・総合案内（ch 2）
挨拶に続いて、選択転送で接続する旨などを案内するメッセージです。

・選択繰返（ch 3）
お客様が入力した選択番号が確認できなかったときに案内するメッセージです。

・終了案内（ch 4）
本装置が電話を切る前に案内するメッセージです。

・保留音（ch 5）
電話の転送中など、お客様に待っていただく間に送出する音楽などです。

◆「使用の有無」でチェックを外したメッセージは、選択転送フローで、グレー表示となります。

◆ コメントの登録・削除
コメント編集欄で入力したコメントは、[登録] ボタンをクリックするとメッセージ一覧に表示します。
[削除] ボタンをクリックすると、コメント削除の確認画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックするとコメントは削除されます。

● 選択転送メッセージ

選択転送モードで使用するメッセージです。

選択転送パターン１～20 に対応した 20 種類（ch6 ～25）のメッセージがあります。

◆ メッセージの説明
各メッセージは、「選択転送案内１（ch 6）＝選択転送パターン１」の様にパターン番号に対応しています。
使用する選択転送パターンのメッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● 転送案内メッセージ

転送動作中に、お客様に案内するメッセージです。

用途に応じて、次の６種類があります。

◆ メッセージの説明

・不応答案内（ch 209）
転送先が電話に応答しないときに案内するメッセージです。追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が応答しなかったときに案内します。

・話中案内（ch 210）
転送先が話し中のときに案内するメッセージです。
追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が話し中のときに案内します。

・転送繰返案内（ch 211）
一連の転送動作で転送先が応答しなかったときに、再度、選択番号の入力をお願いする案内です。
・未確定終了案内（ch 212）
誤入力などで、選択番号が確定できない状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
・不出終了案内（ch 213）
一連の転送動作で、転送先が応答しなかった状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
・転送中案内（ch 214）
ダイヤルイン転送、または一般／ナンバーディスプレイで転送中、お客様に待っていただく間に案内するメッセージです。間隔を指定して繰り返すことができます。
「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で、リングバックトーンに設定した場合、このメッセージは使用できません。
ただし、「動作設定 - 転送中設定 - 転送中案内繰返」で転送種別切替時に設定した場合は使用できます。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● **呼出案内メッセージ**
転送動作中、転送先を呼び出しするときに、お客様に案内するメッセージです。

◆ メッセージの説明
呼出案内メッセージは 11 種類（ch215 ～ 225）のメッセージがあり、転送先設定の操作で、選択番号ごとに任意に設定できます。
使用する呼出案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● **着信案内メッセージ**
転送先が電話に応答したときに、転送先に案内するメッセージです。
「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で保留音を選択した場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはできません。

◆ メッセージの説明
着信案内メッセージは 11 種類（ch226 ～ 236）のメッセージがあり、転送先設定の操作で、選択番号ごとに任意に設定できます。
使用する着信案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る
【選択転送フロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 各案内メッセージの画面は、選択転送フローのメッセージ名のボタンをクリックして呼び出すこともできます。
● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置編 - メッセージの録音・再生」（38 ページ）を参照してください。

3-2　ツリー転送モード

■ ツリー転送フロー画面の呼び出し

【応答・転送メニュー】画面の［ツリー転送］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［ツリー転送］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【ツリー転送フロー】画面を表示します。

■ ツリー転送モードで使用できる転送方式

ツリー転送モードでは下記の転送方式が使用できます。

動作モード	転送方式			
	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
ツリー転送	○	○（注）	○（注）	○

○：使用可
×：使用不可
(注) いずれかの方式を「本体初期設定」で選択します。

■ 動作設定画面の呼び出し

【ツリー転送フロー】画面の［動作設定］ボタンをクリックします。

■ 動作設定の内容

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1	着信設定	ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ～ 20 回 （ボイスワープ使用時は、1 ～ 5 回）	1 回
2		ベル中呼出	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2（TEL）側の呼び出しを「する／しない」を設定します。	・しない ・する	しない
3		ベル中呼出先	本装置が着信に応答するまでの間、T1,T2（TEL）側を呼び出しするときの呼出先を設定します。	・転送先名 ・電話番号	ー ー
4	選択番号設定	入力待ち時間	ツリー案内メッセージの終了後、お客様からの選択番号を受け付ける時間を設定します。	・0 ～ 10 秒	5 秒
5		受付タイミング	お客様からの選択番号を受け付け開始するタイミングを設定します。	・挨拶から ・ツリー案内 1 から	挨拶から
6	応答動作設定	応答動作回数	本装置の応答動作の回数を設定します。お客様からの選択番号が確認できない場合に、一連の動作を何回行うかを設定します。（未選択の場合を除きます。）	・1 ～ 9 回	2 回
7		案内 2，3 送出回数	ツリー転送案内 2 または 3 で、お客様からの選択番号が未選択のとき、案内を送出する回数を設定します。	・1 ～ 9 回	2 回
8	音声案内送出設定	回数	音声案内を使用するとき、案内を送出する回数を設定します。	・1 ～ 9 回	2 回
9		間隔	音声案内を使用するとき、案内を繰り返す間隔を設定します。	・0 ～ 10 秒	1 秒
10	転送動作回数		転送動作後、転送先すべてが話中や応答しない場合に、一連の転送動作を何回行うかを設定します。	・1 ～ 5 回	2 回
11	転送中設定	呼出時間	1 つの転送先（ボイスワープ以外）を呼び出す最大時間を設定します。	・10 ～ 240 秒 ・無制限	30 秒
12		ボイスワープ呼出時間	1 つの転送先（ボイスワープ）を呼び出す最大時間を設定します。	・10 ～ 100 秒	30 秒
13		保留音（注）	転送先を呼び出し中に、お客様に送出する音の種類を設定します。	・保留音 ・リングバックトーン	リングバックトーン
14		転送中案内繰返	転送中案内メッセージを繰り返し送出「する／しない」または「転送種別切替時」を設定します。「転送種別切替時」に設定すると、転送先がダイヤルイン→ボイスワープに切り替わったときなどに転送中案内を送出します。 ※メッセージ設定で、転送中案内を「使用」に設定してください。	・しない ・する ・転送種別切替時	しない
15		転送中案内間隔	転送中案内メッセージを繰り返し送出する間隔時間を設定します。	・0 ～ 240 秒	10 秒

（注）・「保留音」にすると、転送先に「着信案内メッセージ」は送出されません。
・「リングバックトーン」にすると、お客様に「転送中案内メッセージ」は送出されません。ただし、転送中案内繰返を「転送種別切替時」に設定した場合は送出されます。

■ 設定のしかた

No	種類	設定項目	設定内容
1	着信設定	ベル回数	1回
2		ベル中呼出	しない
3		ベル中呼出先	
4	選択番号設定	入力待ち時間	5秒
5		受付タイミング	挨拶から
6	応答動作設定	応答動作回数	2回
7		案内2、3送出回数	2回
8	音声案内送出設定	回数	2回
9		間隔	1秒
10	転送動作回数		2回
11	転送中設定	呼出時間	30秒
12		ボイスワープ呼出時間	30秒
13		保留音	リングバックトーン
14		転送中案内繰返	しない
15		転送中案内間隔	10秒

① 設定項目の指定
　設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

② 設定入力
　選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 着信設定　ベル回数

① テンキーをクリックしてベル回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると1回が設定されます。
（設定範囲：1～20回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・ボイスワープを使用する場合は、テンキー（1 ～ 5）を表示します。

① テンキーをクリックしてベル回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると1回が設定されます。
（設定範囲：1～5回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

2. 着信設定　ベル中呼出

① ベル中呼出「する／しない」を選択し、クリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

3. 着信設定　ベル中呼出先

① [一覧]ボタンをクリックして、転送先一覧を表示します。

② 転送先を選択してクリックします。
反転表示になります。

③ [選択して戻る]ボタンをクリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

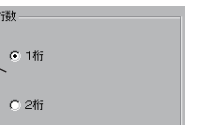
・ベル中呼出先を削除する場合は、[削除] ボタンをクリックします。
削除の確認画面を表示します。

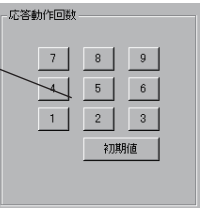
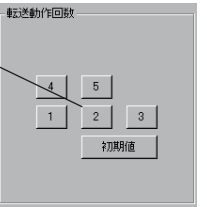
[はい] ボタンをクリックすると、ベル中呼出先を削除します。

4. 選択番号設定　入力待ち時間

① テンキーをクリックして入力待ち時間を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると5秒が設定されます。
（設定範囲：0～10秒）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

5. 選択番号設定　受付タイミング

① 受付タイミング「挨拶から／ツリー案内1から」を選択し、クリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

6. 応答動作設定　応答動作回数

① テンキーをクリックして応答動作回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると2回が設定されます。
（設定範囲：1～9回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

7. 応答動作設定　案内 2、3 送出回数

① テンキーをクリックして案内2,3送出回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると2回が設定されます。
（設定範囲：1～9回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

8. 音声案内送出設定　回数

① テンキーをクリックして音声案内の送出回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると2回が設定されます。
（設定範囲：1～9回）

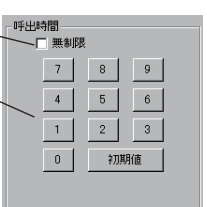
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

9. 音声案内送出設定　間隔

① テンキーをクリックして音声案内の送出間隔を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると1秒が設定されます。
（設定範囲：0～10秒）

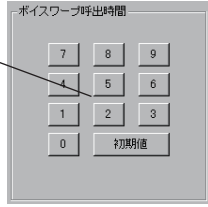
※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

10. 転送動作回数

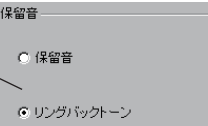
① テンキーをクリックして転送動作回数を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると2回が設定されます。
（設定範囲：1～5回）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

11. 転送中設定　呼出時間

無制限チェックボックス

① テンキーをクリックして呼出時間を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると30秒が設定されます。
（設定範囲：10～240秒／無制限）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

・無制限チェックボックスをクリックしてチェックを付けると、転送先が応答するまで呼び続けます。

12. 転送中設定　ボイスワープ呼出時間

① テンキーをクリックしてボイスワープの呼出時間を入力します。
[初期値]ボタンをクリックすると30秒が設定されます。
（設定範囲：10～100秒）

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

13. 転送中設定　保留音

① 転送中にお客様に送出する音「保留音／リングバックトーン」を選択し、クリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

14. 転送中設定　転送中案内繰返

① 転送中案内の繰り返し送出「する／しない／転送種別切替時」を選択し、クリックします。

※ 設定項目一覧の設定内容に表示されます。

ワンポイント

● ② 設定入力の 13 項で、「保留音」を選択した場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはできません。また、「リングバックトーン」を選択した場合は、お客様に「転送中案内メッセージ」を送出することはできません。ただし、14 項で「転送種別切替時」に設定した場合は、転送先がダイヤルイン→ボイスワープに切り替わったときなどに送出されます。

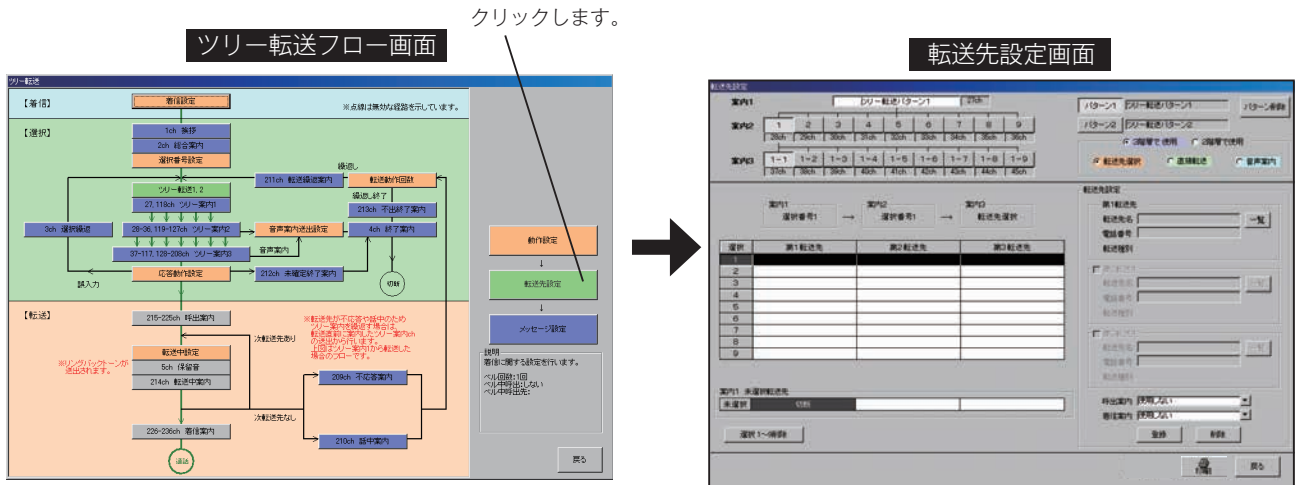
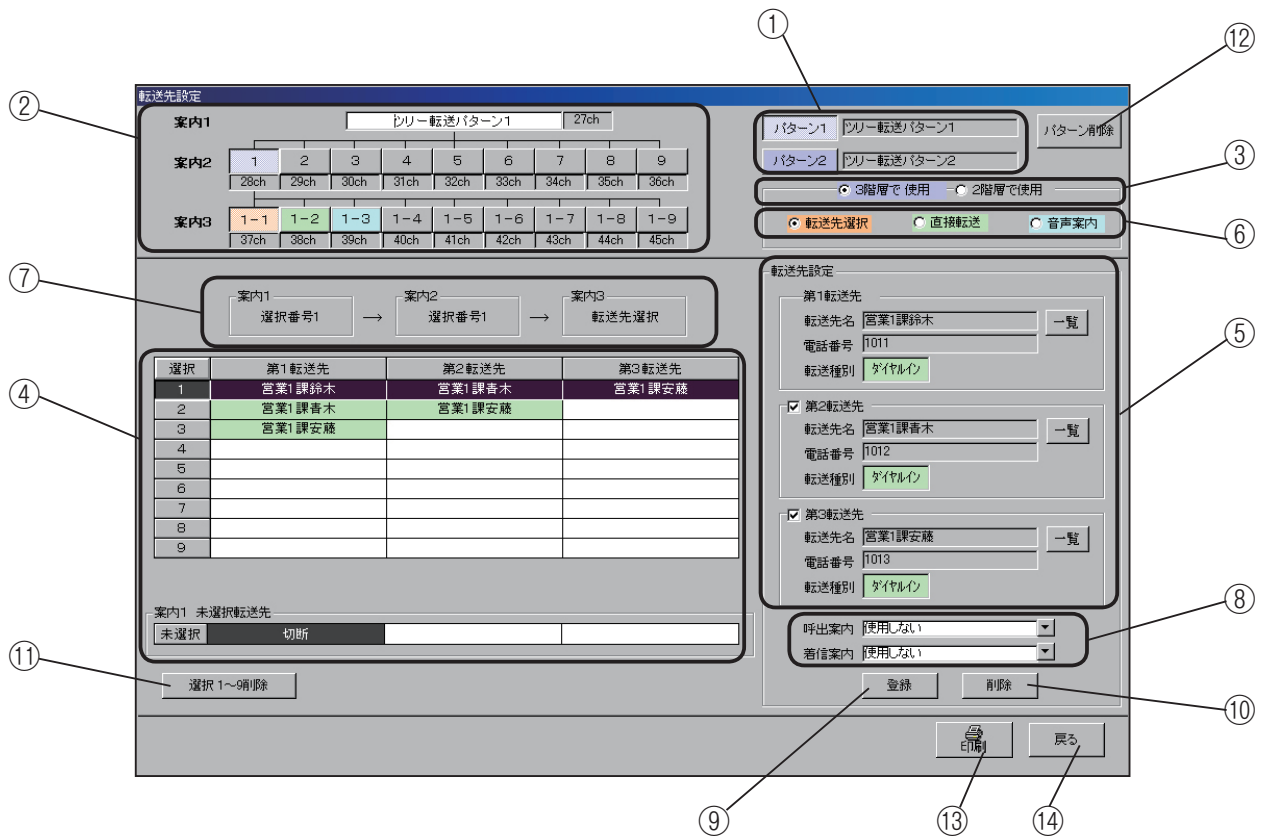
15. 転送中設定　転送中案内間隔

③ 説明欄
設定内容が表示されます。

④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る
【ツリー転送フロー】画面に戻ります。

■ 転送先設定画面の呼び出し

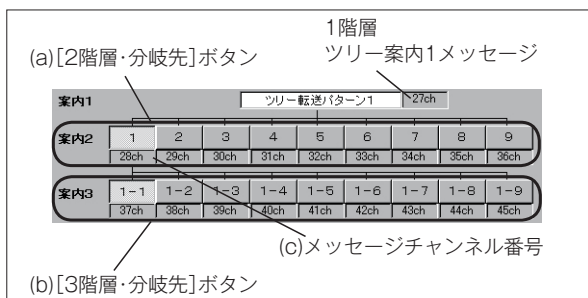
【ツリー転送フロー】画面の［転送先設定］ボタンをクリックします。

■ 設定のしかた

① ツリー転送パターンの指定

ツリー転送の動作パターンは、２種類作成できます。

作成するパターン番号をクリックします。

② ツリー分岐先ボタン一覧

・パターン名は、ツリー分岐先ボタン一覧のパターン名表示ボックスで変更できます。パターン名は半角 20 文字、全角 10 文字まで設定できます。

・メッセージチャンネル番号は、ツリー案内 1 メッセージのチャンネルです。
パターン 1 のツリー案内 1 メッセージ : 27ch
パターン 2 のツリー案内 1 メッセージ : 118ch

(a)［2 階層・分岐先］ボタン
1 階層のツリー案内 1 メッセージで案内する 1 ～ 9 の選択番号で選ばれる、2 階層目のボタンと案内メッセージです。
ツリー案内 2 メッセージとして、パターンごとに 9 種類あります。
・パターン 1 のツリー案内 2 メッセージ : 28 ～ 36ch
・パターン 2 のツリー案内 2 メッセージ : 119 ～ 127ch

(b)［3 階層・分岐先］ボタン
2 階層のツリー案内 2 メッセージで案内する 1 ～ 9 の選択番号で選ばれる、3 階層目のボタンと案内メッセージです。
ツリー案内 3 メッセージとして、2 階層・分岐先ボタンごとに 9 種類あります。合計 81 種類（9 × 9）
・パターン 1 のツリー案内 3 メッセージ : 37 ～ 117ch
・パターン 2 のツリー案内 3 メッセージ : 128 ～ 208ch

(c) メッセージチャンネル番号
各階層の分岐先ボタンごとのチャンネル番号を表示します。

● **ツリー分岐の例**

《ツリー転送　1－1の場合》
① クリックします。
（ツリー案内1で[1]が押されたときの分岐先です。）

② クリックします。
（ツリー案内2で[1]が押されたときの分岐先です。）

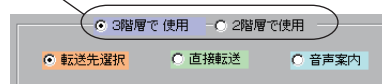
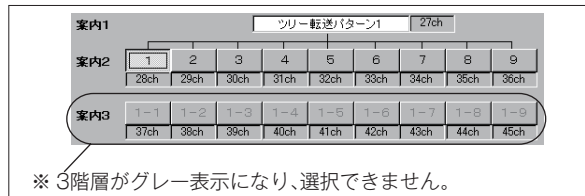
《ツリー転送　1－2の場合》
① クリックします。
（ツリー案内1で[1]が押されたときの分岐先です。）

② クリックします。
（ツリー案内2で[2]が押されたときの分岐先です。）

《ツリー転送　2－1の場合》
① クリックします。
（ツリー案内1で[2]が押されたときの分岐先です。）

② クリックします。
（ツリー案内2で[1]が押されたときの分岐先です。）

③ 階層設定
ツリー転送の分岐の階層が設定できます。

① 分岐の階層を選択して、クリックします。

・2 階層を選択したときの表示例

※ 3階層がグレー表示になり、選択できません。

ワンポイント

● ツリーの階層選択について
ツリー転送で転送を行う場合に、最終転送先までの選択操作を、3 階層で行うか 2 階層で行うかが選択できます。階層の設定は、［2 階層・分岐先］ボタンごとに設定でき、2 種類のツリー階層を同時に使用できます。

④ 最終転送先一覧

分岐の最終選択番号と、設定した転送先を表示します。

⑤ 転送先設定

※ 最終転送先一覧に表示されます。

● **追っかけ転送を行う場合**

第２転送先、第３転送先を設定して追っかけ転送を行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックしてチェックを付け、一覧から転送先を選択して設定します。

※ 第2転送先が最終転送先一覧に追加表示されます。

ワンポイント

● 追っかけ転送で設定した転送先を、転送中止するときはチェックを外します。設定内容はそのままで表示がグレーになり、追っかけ転送は行いません。

● **転送先を変更（修正）する場合**

転送先を変更するときは、該当の転送先の［一覧］ボタンをクリックして、転送先の設定をやり直します。
操作は、転送先設定と同じです。
［登録］ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を表示します。［はい］ボタンをクリックして設定します。

● **未選択時の転送先設定**

ツリー案内１のときに、お客様からの選択番号入力がないときの転送先を設定します。
転送先を設定しないときは、「未確定終了案内メッセージ」を案内して本装置が電話を切ります。

ワンポイント

- ツリー案内２および３のときに、お客様からの選択番号入力がないときは、転送動作は行わず「動作設定 - 案内２, ３送出回数」の設定回数を繰り返したあと「未確定終了案内メッセージ」を案内して本装置が電話を切ります。
- 転送先が不応答や話中のため案内を繰り返す場合は、直前の案内メッセージから繰り返します。

---

⑥ 最終転送先の設定

● **３階層のツリー転送の場合**

ツリー案内２で分岐選択する最終の転送先を、「転送先選択／直接転送／音声案内」のいずれかに設定できます。

※ 分岐先ボタンの設定が「1-1- 転送先選択」の例
※ 分岐先ボタンの設定が「1-2- 直接転送」の例
※ 分岐先ボタンの設定が「1-3- 音声案内」の例

電話着信
ツリー案内1メッセージ（❶～❾ の番号案内）
❶ ツリー案内2メッセージ（❶～❾ の番号案内）
❶ ツリー案内3メッセージ（❶～❾ の番号案内）
❷ 直接転送（○○センター）
❸ 音声案内
・・・
❾
❷ ツリー案内2メッセージ（❶～❾ の番号案内）
・・・
❶ ❷ ❸ ❾
❾

❶ 営業１課 鈴木 → 営業１課 青木 → 営業１課 安藤
❷ 営業１課 青木 → 営業１課 安藤
❸ 営業１課 安藤
・
・
❾ 開発3課 中島

追っかけ転送
転送先が話し中などのときに、次の転送先を呼び出します。

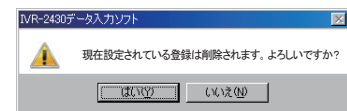
◆ 最終転送先を「転送先選択」とした場合

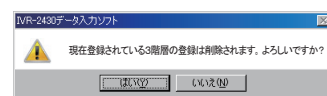
転送先の登録方法は、前述の「⑤転送先設定」を参照してください。

◆ 最終転送先を「直接転送」とした場合

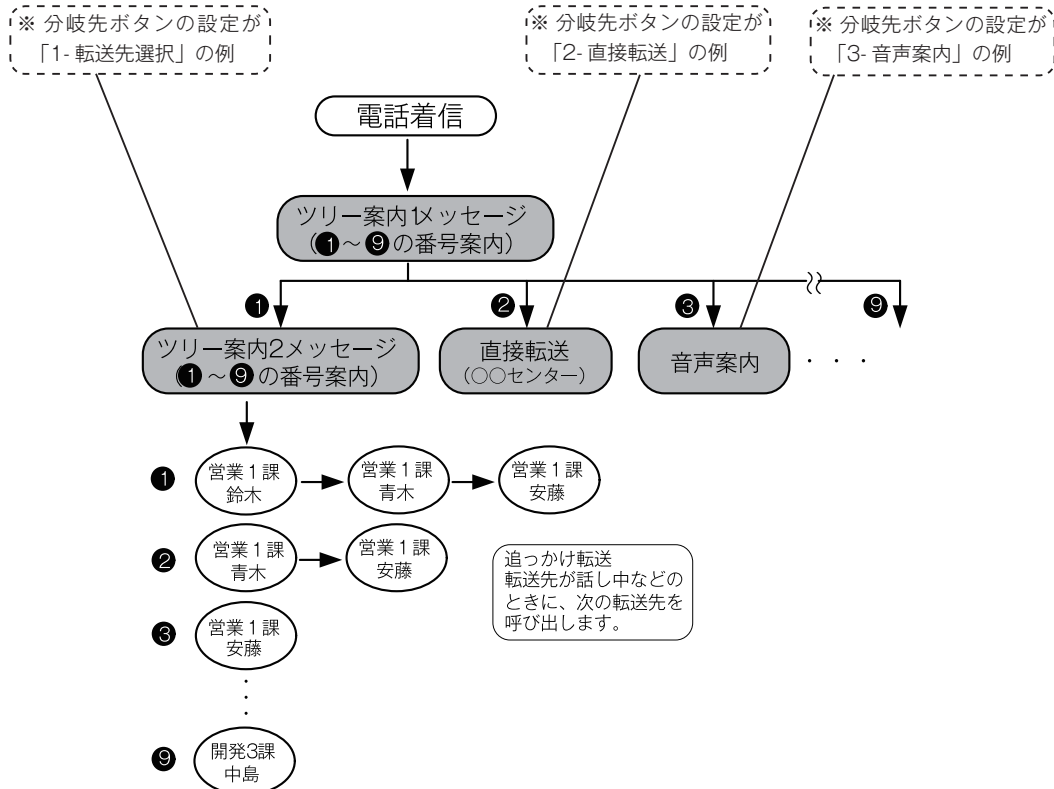
◆ 最終転送先を「音声案内」とした場合

ワンポイント

● すでに登録されている分岐先の最終転送先の種類（転送先選択／直接転送／音声案内）を変更する場合には、次のような確認の案内を表示します。

[はい］ボタンをクリックして変更します。

● すでに登録されている分岐先の階層設定（3 階層で使用／2 階層で使用）を変更する場合には、次のような確認の案内を表示します。

[はい］ボタンをクリックして変更します。

● 2 階層のツリー転送の場合

ツリー案内 1 で分岐選択する最終の転送先を、「転送先選択／直接転送／音声案内」のいずれかに設定できます。

◆ 最終転送先を「転送先選択」とした場合

転送先の登録方法は、前述の「⑤転送先設定」を参照してください。

◆ 最終転送先を「直接転送」とした場合

※ 転送先の設定方法は､3階層の場合と同じです。
3階層の項を参照してください。

◆ 最終転送先を「音声案内」とした場合

⑦ 選択番号表示欄

ツリー案内 1、2 および 3 で設定した選択番号と最終転送先種別を表示します。

・表示例

⑧ 呼出案内・着信案内の設定

転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの設定を行います。

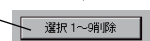
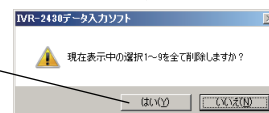
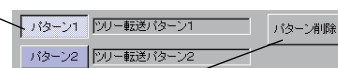
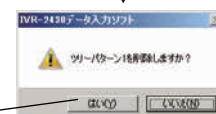
・呼出案内：転送を開始するときにお客様に案内するメッセージです。
「呼出案内 1 ～ 11」「使用しない」から選択できます。

・着信案内：転送先が応答したときに案内するメッセージです。着信案内は転送中に保留音を送出する設定のときは送出できません。
「着信案内 1 ～ 11」「使用しない」から選択できます。

⑨ [登録] ボタン

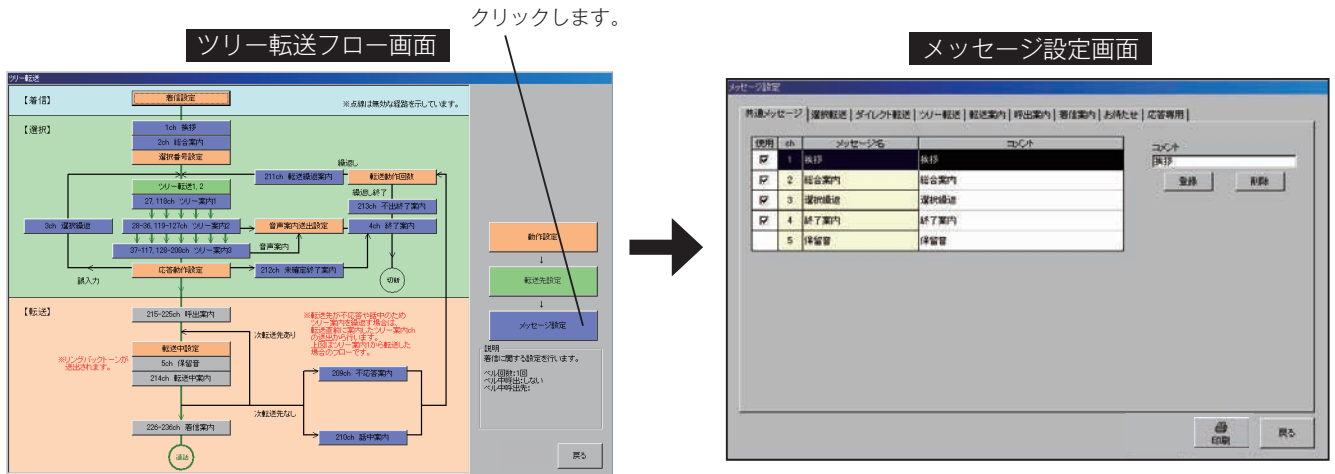
転送先設定・呼出案内・着信案内の設定を、指定したツリー転送の分岐先ボタンに設定するときにクリックします。

⑩［削除］ボタン
　現在、選択表示している最終転送先の設定内容を、選択番号ごとに削除するときにクリックします。

⑪［選択 1 ～ 9 削除］ボタン
　表示中の［ツリー分岐先ボタン］設定の内容をすべて削除するときにクリックします。

⑫［パターン削除］ボタン
　選択したツリー転送パターンの設定内容をすべて削除するときにクリックします。

⑬ 印刷
　設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑭ 戻る
　【ツリー転送フロー】画面に戻ります。

■ メッセージ設定画面の呼び出し

【ツリー転送フロー】画面の［メッセージ設定］ボタンをクリックします。

■ メッセージの種類

① メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》‥‥‥ツリー転送で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作モード	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	○	○			○	○	○		
ダイレクト転送モード	○		○		○	○	○		
ツリー転送モード	○			○	○	○	○		
お待たせモード	△							○	
応答専用モード	○								○

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。

コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。

■ メッセージの内容と設定のしかた

● 共通メッセージ

各動作モードで共通に使用するメッセージです。

用途に応じて、次の 5 種類があります。

◆ メッセージの説明

・挨拶（ch 1）
お客様からの電話着信に、最初に応答するメッセージです。通常は会社名などを案内します。

・総合案内（ch 2）
挨拶に続いて、ツリー転送で接続する旨などを案内するメッセージです。

・選択繰返（ch 3）
お客様が入力した選択番号が確認できなかったときに案内するメッセージです。

・終了案内（ch 4）
本装置が電話を切る前に案内するメッセージです。

・保留音（ch 5）
電話の転送中など、お客様に待っていただく間に送出する音楽などです。

◆「使用の有無」でチェックを外したメッセージは、ツリー転送フローで、グレー表示となります。

◆ コメントの登録・削除
コメント編集欄で入力したコメントは、[登録] ボタンをクリックするとメッセージ一覧に表示します。
[削除] ボタンをクリックすると、コメント削除の確認画面を表示します。

[はい] ボタンをクリックするとコメントは削除されます。

● ツリー転送メッセージ

ツリー転送モードで使用するメッセージです。

ツリー転送パターン 1 および 2 のそれぞれに、次のメッセージがあります。

◆ メッセージの説明

◎ツリー転送パターン 1用メッセージ
・ツリー 1案内 1(ch27)：1 種類
・ツリー 1案内 2-1～ 2-9(ch28～ 36)：9種類
・ツリー 1案内 3-1～ 3-81(ch37～ 117)：81種類

◎ツリー転送パターン 2用メッセージ
・ツリー 2案内 1(ch118)：1 種類
・ツリー 2案内 2-1～ 2-9(ch119～ 127)：9種類
・ツリー 2案内 3-1～ 3-81(ch128～ 208)：81種類

使用するツリー案内のメッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● 転送案内メッセージ

転送動作中に、お客様に案内するメッセージです。

用途に応じて、次の 6 種類があります。

◆ メッセージの説明

・不応答案内（ch 209）
転送先が電話に応答しないときに案内するメッセージです。追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が応答しなかったときに案内します。

・話中案内（ch 210）
　転送先が話し中のときに案内するメッセージです。追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が話し中のときに案内します。
・転送繰返案内（ch 211）
　一連の転送動作で転送先が応答しなかったときに、再度、選択番号の入力をお願いする案内です。
・未確定終了案内（ch 212）
　誤入力などで、選択番号が確定できない状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
・不出終了案内（ch 213）
　一連の転送動作で、転送先が応答しなかった状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。
・転送中案内（ch 214）
　ダイヤルイン転送、または一般／ナンバーディスプレイで転送中、お客様に待っていただく間に案内するメッセージです。間隔を指定して繰り返すことができます。
　「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で、リングバックトーンに設定した場合、このメッセージは使用できません。ただし、「動作設定 - 転送中設定 - 転送中案内繰返」で転送種別切替時に設定した場合は使用できます。

◆ コメントの登録・削除
　共通メッセージの操作と同じです。

● **呼出案内メッセージ**
転送動作中、転送先を呼び出しするときに、お客様に案内するメッセージです。

使用	ch	メッセージ名	コメント
○	215	呼出案内1	呼出案内1
○	216	呼出案内2	呼出案内2
○	217	呼出案内3	呼出案内3
	218	呼出案内4	呼出案内4
	219	呼出案内5	呼出案内5
	220	呼出案内6	呼出案内6
	221	呼出案内7	呼出案内7
	222	呼出案内8	呼出案内8
	223	呼出案内9	呼出案内9
	224	呼出案内10	呼出案内10
	225	呼出案内11	呼出案内11

※ 転送先設定の呼出案内で設定されたチャンネルのメッセージに「○」印が付きます。

◆ メッセージの説明
　呼出案内メッセージは 11 種類（ch215 ～ 225）のメッセージがあり、転送先設定の操作で、最終選択番号ごとに任意に設定できます。
　使用する呼出案内メッセージを録音してください。
◆ コメントの登録・削除
　共通メッセージの操作と同じです。

● **着信案内メッセージ**
転送先が電話に応答したときに、転送先に案内するメッセージです。
「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で保留音を選択した場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはできません。

使用	ch	メッセージ名	コメント
○	226	着信案内1	着信案内1
○	227	着信案内2	着信案内2
○	228	着信案内3	着信案内3
	229	着信案内4	着信案内4
	230	着信案内5	着信案内5
	231	着信案内6	着信案内6
	232	着信案内7	着信案内7
	233	着信案内8	着信案内8
	234	着信案内9	着信案内9
	235	着信案内10	着信案内10
	236	着信案内11	着信案内11

※ 転送先設定の着信案内で設定されたチャンネルのメッセージに「○」印が付きます。

◆ メッセージの説明
　着信案内メッセージは 11 種類（ch226 ～ 236）のメッセージがあり、転送先設定の操作で、最終選択番号ごとに任意に設定できます。
　使用する着信案内メッセージを録音してください。
◆ コメントの登録・削除
　共通メッセージの操作と同じです。

④ 印刷
　設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。
⑤ 戻る
　【ツリー転送フロー】画面に戻ります。

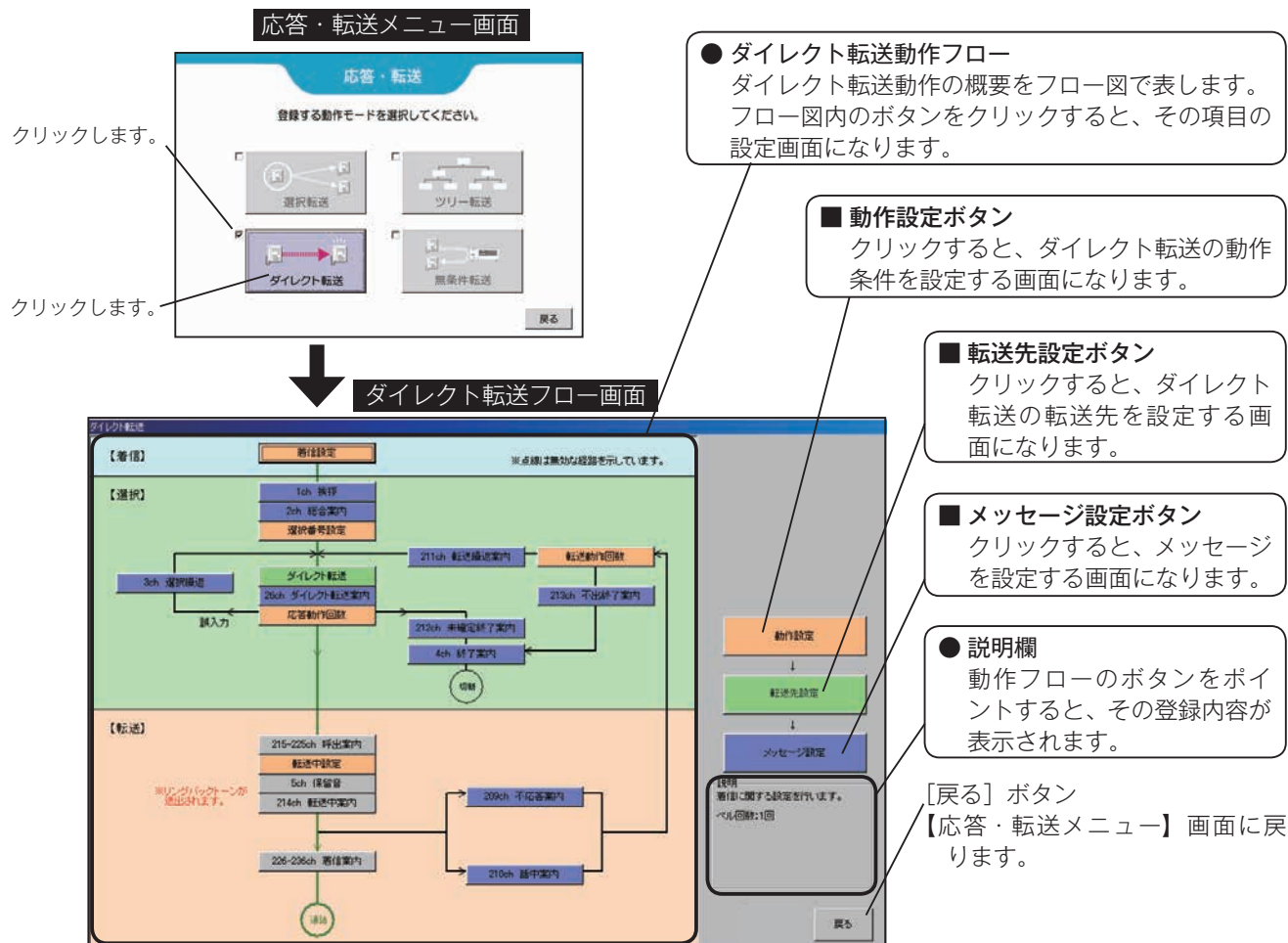
ワンポイント

● 各案内メッセージの画面は、ツリー転送フローのメッセージ名のボタンをクリックして呼び出すこともできます。
● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置編 - メッセージの録音・再生」（38 ページ）を参照してください。

3-3　ダイレクト転送モード

◎本システムのダイレクト転送モードは、転送方式がダイヤルイン転送またはフッキング転送で動作します。ご利用いただくためには、「本体初期設定　本体設定」の「接続種別（T1,T2）」設定を、PB／モデムダイヤルインに設定するか、または「フッキング転送」を「する」に設定してください。設定の方法は、「データ編 - 新しくデータを作成する -1. 本体初期設定 -1-1 本体設定」（65 ページ）を参照してください。

■ ダイレクト転送フロー画面の呼び出し

【応答・転送メニュー】画面の［ダイレクト転送］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［ダイレクト転送］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【ダイレクト転送フロー】画面を表示します。

■ ダイレクト転送モードで使用できる転送方式

ダイレクト転送モードでは下記の転送方式が使用できます。

動作モード	転送方式			
	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
ダイレクト転送	×	○（注）	○（注）	×

○：使用可
×：使用不可
（注）いずれかの方式を「本体初期設定」で選択します。

ワンポイント

● ［ダイレクト転送］ボタンのチェックボックスをクリックしたとき、「PB／モデムダイヤルイン」または「フッキング転送」に設定されていない場合、次の表示となります。

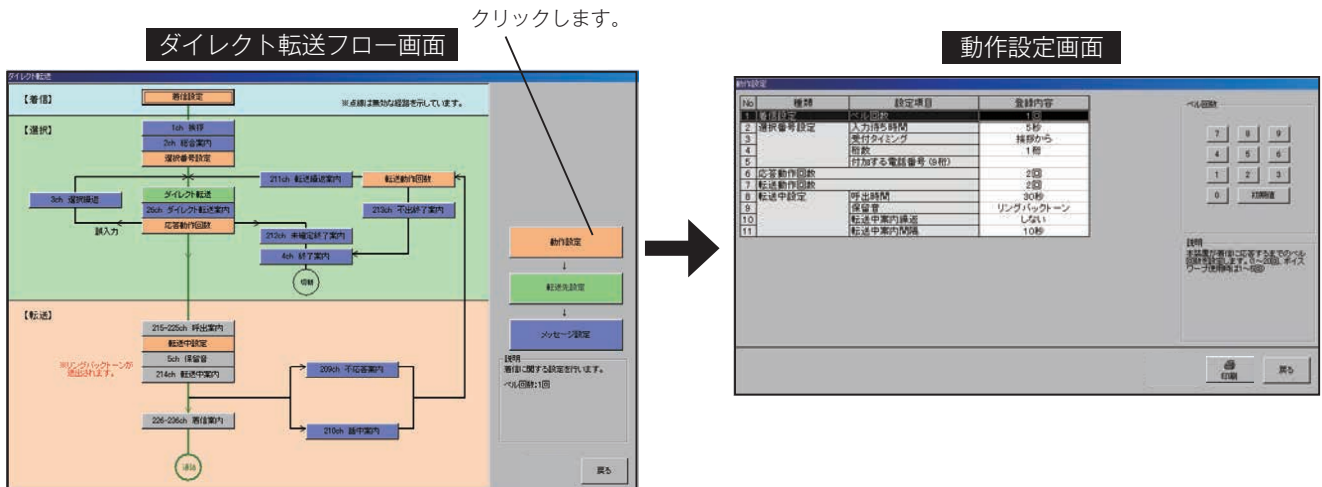
［OK］ボタンをクリックして、「本体初期設定」を確認してください。

ワンポイント

● ダイレクト転送モードでは、お客様が直接転送先の電話番号を入力しますが、電話番号の入力が終了してから転送動作を開始するまでに「本体初期設定 - 個別回線設定 - 選択番号 桁間時間」で設定した時間（1 ～ 4 秒）がかかります。
このとき、電話番号に続けて［#］ボタンを押すことにより、ただちに転送動作を開始することができます。案内メッセージで、ご案内するようにしてください。

■ 動作設定画面の呼び出し

【ダイレクト転送フロー】画面の［動作設定］ボタンをクリックします。

■ 動作設定の内容

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1	着信設定	ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1～20回 （ボイスワープ使用時は、1～5回）	1回
2	選択番号設定	入力待ち時間	ダイレクト転送案内メッセージの終了後、お客様からの選択番号を受け付ける時間を設定します。	・0～10秒	5秒
3		受付タイミング	お客様からの選択番号を受け付け開始するタイミングを設定します。	・挨拶から ・ダイレクト転送案内から	挨拶から
4		桁数	お客様の入力する番号の桁数を設定します。 ※接続種別（T1,T2）が、モデムダイヤルインのみ設定	・1～8桁	1桁
5		付加する電話番号（＊桁）	お客様が入力する番号の前に付加する電話番号を設定します。（＊桁）は入力する桁数が自動計算されて表示されます。） ※接続種別（T1,T2）が、モデムダイヤルインのみ設定	・9～17桁で設定	－
6	応答動作回数		本装置の応答動作の回数を設定します。お客様からの選択番号が確認できない場合に、一連の動作を何回行うかを設定します。（未選択の場合を除きます。）	・1～9回	2回
7	転送動作回数		転送動作後、転送先すべてが話中や応答しない場合に、一連の転送動作を何回行うかを設定します。	・1～5回	2回
8	転送中設定	呼出時間	1つの転送先を呼び出す最大時間を設定します。	・10～240秒 ・無制限	30秒
9		保留音（注）	転送先を呼び出し中に、お客様に送出する音の種類を設定します。	・保留音 ・リングバックトーン	リングバックトーン
10		転送中案内繰返	転送中案内メッセージを繰り返し送出「する／しない」を設定します。	・しない ・する	しない
11		転送中案内間隔	転送中案内メッセージを繰り返し送出する間隔時間を設定します。	・0～240秒	10秒

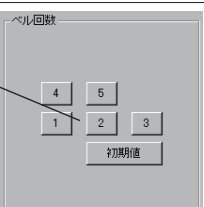
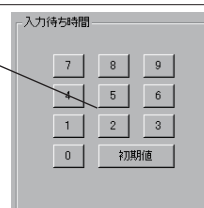
（注）・「保留音」にすると、転送先に「着信案内メッセージ」は送出されません。
・「リングバックトーン」にすると、お客様に「転送中案内メッセージ」は送出されません。

■ 設定のしかた

① 設定項目の指定
設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

② 設定入力
選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 着信設定　ベル回数

・他の動作モードでボイスワープ転送を使用するため、「本体初期設定 - ボイスワープ転送」の設定が「使用する」になっている場合は、テンキー（1 ～ 5）を表示します。

2. 選択番号設定　入力待ち時間

3. 選択番号設定　受付タイミング

4. 選択番号設定　桁数
「本体初期設定 - 本体設定 - 接続種別（T1,T2）」の設定がモデムダイヤルインの場合の設定です。

5. 選択番号設定　付加する電話番号
「本体初期設定 - 本体設定 - 接続種別（T1,T2）」の設定がモデムダイヤルインの場合の設定です。

・表示する（桁数）は、「本体初期設定 - 本体設定 - モデムダイヤルイン桁数」で設定した桁数から「上記 4. 桁数」で設定した選択番号の桁数を引いた桁数です。市外局番、市内局番などを付加して、モデムダイヤルインの桁数に合わせます。

6. 応答動作回数

7. 転送動作回数

8. 転送中設定　呼出時間

・無制限チェックボックスをクリックしてチェックを付けると、転送先が応答するまで呼び続けます。

9. 転送中設定　保留音

10. 転送中設定　転送中案内繰返

11. 転送中設定　転送中案内間隔

③ 説明欄
設定内容が表示されます。

④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る
【ダイレクト転送フロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● ② 設定入力の５項の「付加する電話番号」について
設定例：
モデムダイヤルインの桁数が 10 桁、お客様が入力する選択番号の桁数（４項の設定）が４桁の場合、付加番号を “012345” と設定すると、お客様が “6789” と入力すると本装置から “0123456789” という番号情報を構内交換機（PBX）に送出して呼び出しをします。

● ② 設定入力の９項で、「保留音」を選択した場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはできません。また、「リングバックトーン」を選択した場合は、お客様に「転送中案内メッセージ」を送出することはできません。

■ 転送先設定画面の呼び出し

【ダイレクト転送フロー】画面の［転送先設定］ボタンをクリックします。

■ 設定のしかた

① ダイレクト転送先選択時の設定

ダイレクト転送では、お客様が直接転送先の電話番号を入力しますので転送先の設定は必要ありません。

ここでは､電話番号入力後の転送中の「呼出案内」と「着信案内」を設定します。

● **呼出案内・着信案内の設定**

転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの設定を行います。

・呼出案内：転送を開始するときにお客様に案内するメッセージです。
「呼出案内 1 ～ 11」「使用しない」から選択できます。

・着信案内：転送先が応答したときに案内するメッセージです。着信案内は転送中に保留音を送出する設定のときは送出できません。
「着信案内 1 ～ 11」「使用しない」から選択できます。

② 未選択時の転送先一覧

ダイレクト転送案内の送出後、お客様からの電話番号入力がなかったとき（未選択時）の転送先を表示します。

③ 転送先設定

● **追っかけ転送を行う場合**

第２転送先、第３転送先を設定して追っかけ転送を行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックしてチェックを付け、一覧から転送先を選択して設定します。

※ 第2転送先が未選択時転送先一覧に追加表示されます。

● **転送先を変更（修正）する場合**

転送先を変更するときは、変更する転送先の［一覧］ボタンをクリックして設定をやり直します。
［登録］ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を表示します。［はい］ボタンをクリックして設定します。

④ 呼出案内・着信案内の設定

転送先電話番号が未入力時の転送動作中に、お客様と転送先に案内するメッセージの設定を行います。
設定方法は、ダイレクト転送先選択時と同じです。前ページを参照してください。

⑤ ［登録］ボタン

転送先設定・呼出案内・着信案内の設定を、未選択時の転送先として設定するときにクリックします。

⑥ ［削除］ボタン

未選択時転送先の設定内容を削除するときにクリックします。

※ 転送先の表示が消えます。

⑦ 印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

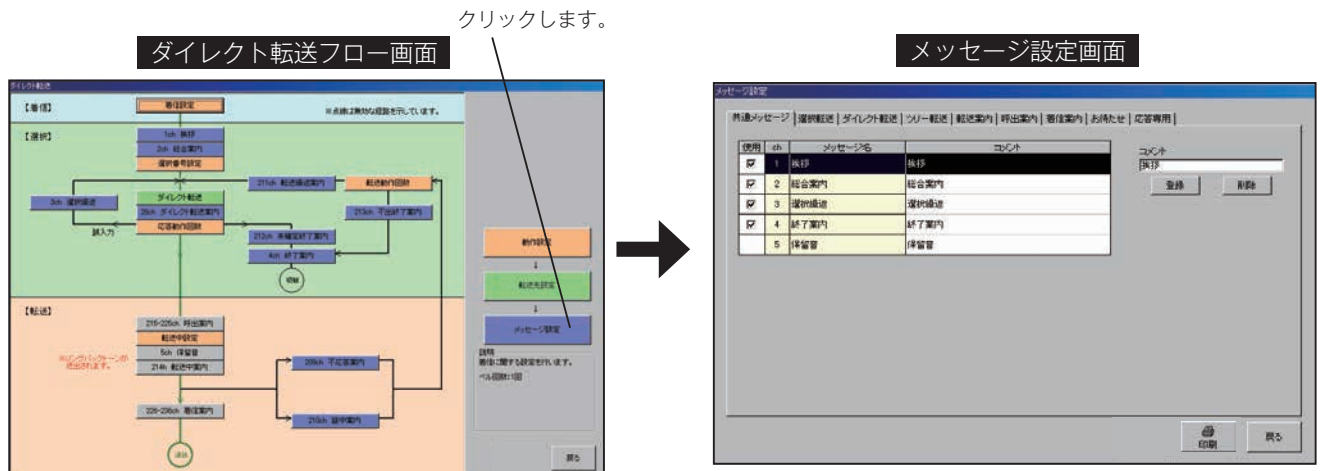
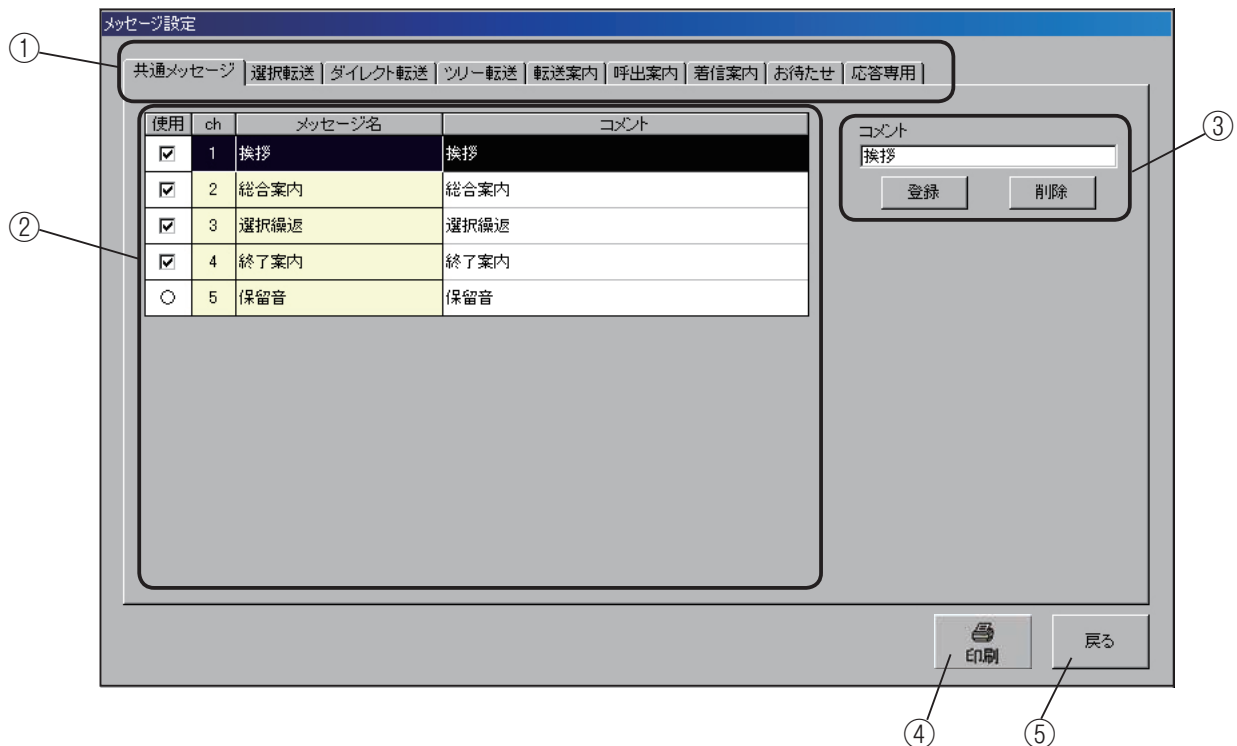
⑧ 戻る

【ダイレクト転送フロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 追っかけ転送で設定した転送先を、転送中止するときはチェックを外します。設定内容はそのままで表示がグレーになり、追っかけ転送は行いません。

■ メッセージ設定画面の呼び出し

【ダイレクト転送フロー】画面の［メッセージ設定］ボタンをクリックします。

■ メッセージの種類

① メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》‥‥‥ダイレクト転送で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作モード	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	○	○			○	○	○		
ダイレクト転送モード	○		○		○	○	○		
ツリー転送モード	○			○	○	○	○		
お待たせモード	△							○	
応答専用モード	○								○

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。

コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。

■ メッセージの内容と設定のしかた

● 共通メッセージ

各動作モードで共通に使用するメッセージです。

用途に応じて、次の 5 種類があります。

◆ メッセージの説明

・挨拶（ch 1）
お客様からの電話着信に、最初に応答するメッセージです。通常は会社名などを案内します。

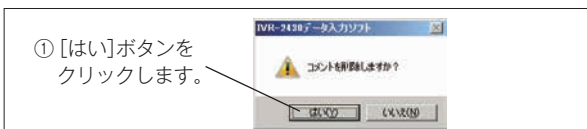
・総合案内（ch 2）
挨拶に続いて、ダイレクト転送で接続する旨などを案内するメッセージです。

・選択繰返（ch 3）
お客様が入力した電話番号が確認できなかったときに案内するメッセージです。

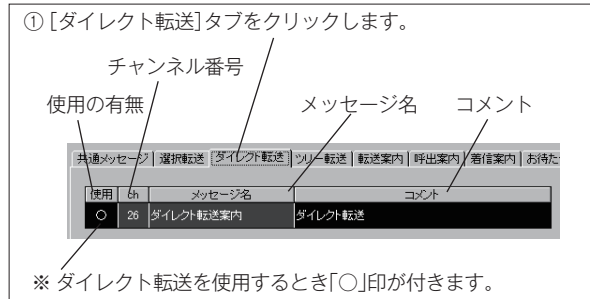
・終了案内（ch 4）
本装置が電話を切る前に案内するメッセージです。

・保留音（ch 5）
電話の転送中など、お客様に待っていただく間に送出する音楽などです。

◆「使用の有無」でチェックを外したメッセージは、ダイレクト転送フローで、グレー表示となります。

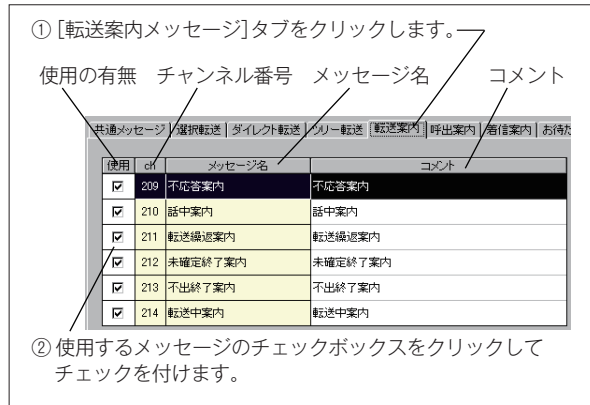
◆ コメントの登録・削除
コメント編集欄で入力したコメントは、［登録］ボタンをクリックするとメッセージ一覧に表示します。
［削除］ボタンをクリックすると、コメント削除の確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックするとコメントは削除されます。

● ダイレクト転送メッセージ

ダイレクト転送モードで使用するメッセージです。

◆ メッセージの説明
ダイレクト転送モードで使用するメッセージは 1 つだけです。
・ダイレクト転送案内（26ch）
メッセージの録音を行ってください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● 転送案内メッセージ

転送動作中に、お客様に案内するメッセージです。

用途に応じて、次の 6 種類があります。

◆ メッセージの説明

・不応答案内（ch 209）
転送先が電話に応答しないときに案内するメッセージです。未選択呼出先に追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が応答しなかったときに案内します。

・話中案内（ch 210）
転送先が話し中のときに案内するメッセージです。未選択呼出先に追っかけ転送先が設定されている場合は、最後の転送先が話し中のときに案内します。

・転送繰返案内（ch 211）
一連の転送動作で転送先が応答しなかったときに、再度、電話番号の入力をお願いする案内です。

・未確定終了案内（ch 212）
誤入力などで、電話番号が確定できない状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。

・不出終了案内（ch 213）
一連の転送動作で、転送先が応答しなかった状態で本装置が電話を切るときに案内するメッセージです。

・転送中案内（ch 214）
ダイヤルイン転送で転送中、お客様に待っていただく間に案内するメッセージです。間隔を指定して繰り返すことができます。
「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で、リングバックトーンに設定した場合、このメッセージは使用できません。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● 呼出案内メッセージ

転送動作中、転送先を呼び出しするときに、お客様に案内するメッセージです。

◆ メッセージの説明
呼出案内メッセージは 11 種類（ch215 ～ 225）のメッセージがあり、電話番号入力時と未選択時にそれぞれ設定できます。
使用する呼出案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

● 着信案内メッセージ

転送先が電話に応答したときに、転送先に案内するメッセージです。
「動作設定 - 転送中設定 - 保留音」で保留音を選択した場合は、転送先に「着信案内メッセージ」を送出することはできません。

◆ メッセージの説明
着信案内メッセージは 11 種類（ch226 ～ 236）のメッセージがあり、電話番号入力時と未選択時にそれぞれ設定できます。
使用する着信案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る
【ダイレクト転送フロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 各案内メッセージの画面は、ダイレクト転送フローのメッセージ名のボタンをクリックして呼び出すこともできます。
● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置編 - メッセージの録音・再生」（38 ページ）を参照してください。

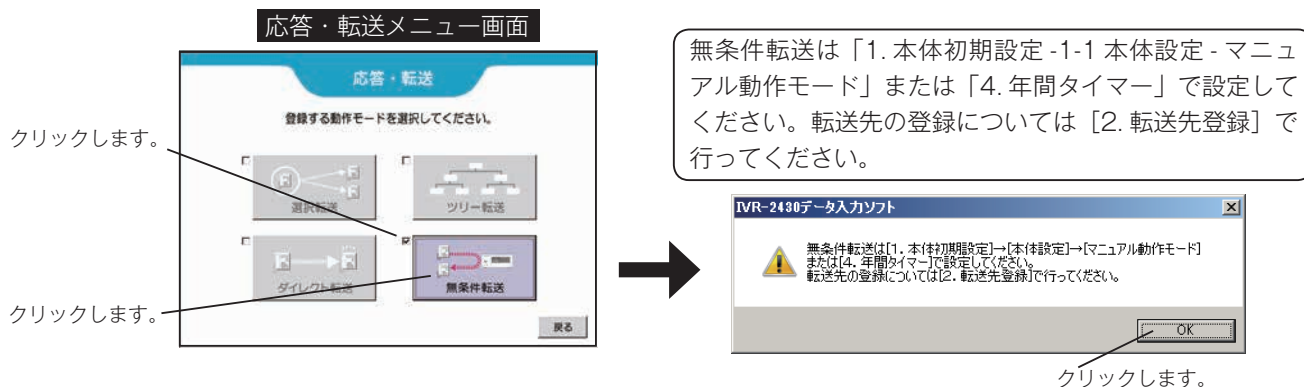
3-4　無条件転送モード

◎ NTT・ボイスワープサービスの無条件転送を使用して、電話の着信をあらかじめ設定した転送先に転送する動作モードです。本システムでは、転送先電話番号の設定と、「マニュアル動作」での無条件転送の設定またはプログラムタイマーでの無条件転送の切替え設定を行います。

■ 無条件転送をクリックすると

【応答・転送メニュー】画面の［無条件転送］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［無条件転送］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると次のメッセージを表示します。

応答・転送メニュー画面

無条件転送は「1. 本体初期設定 -1-1 本体設定 - マニュアル動作モード」または「4. 年間タイマー」で設定してください。転送先の登録については［2. 転送先登録］で行ってください。

■ 無条件転送モードで使用できる転送方式

無条件転送モードではボイスワープ転送方式のみが使用できます。

動作モード	転送方式			
	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
無条件転送	○	×	×	×

○：使用可
×：使用不可

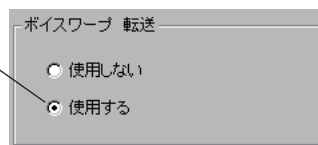
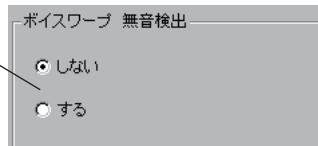
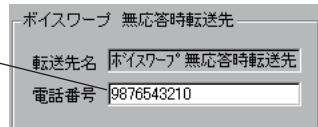
ワンポイント

●「本体初期設定 - 本体設定 - ボイスワープ転送」の設定で、ボイスワープが「使用しない（初期値）」になっていると、次の表示となります。

［OK］ボタンをクリックして、「ボイスワープ転送」の設定を「使用する」にしてください。

■ ボイスワープ使用の設定

「データ編 - 新しくデータを作成する -1. 本体初期設定 -1-1 本体設定」（67 ページ）の項目 7, 8, 9 で、ボイスワープの使用を設定します。

7. ボイスワープ転送

8. ボイスワープ無音検出

9. ボイスワープ無応答時転送先

・停電などのために本装置が自動応答できなかったときに転送する電話番号を入力します。
転送先名は変更できません。

■ 転送先電話番号の設定

「データ編 - 新しくデータを作成する -2. 転送先登録」（75 ページ）の操作で、転送先の名前と電話番号を登録します。

・転送先電話番号の修正・削除のしかたについても同様に、「データ編 - 新しくデータを作成する -2. 転送先登録」（75 ページ）を参照してください。

■ マニュアル動作の設定

「装置編 - 動作モードの確認／変更 -1. マニュアル動作の設定」（42 ページ）を参照して、無条件転送モードと転送先番号を設定してください。

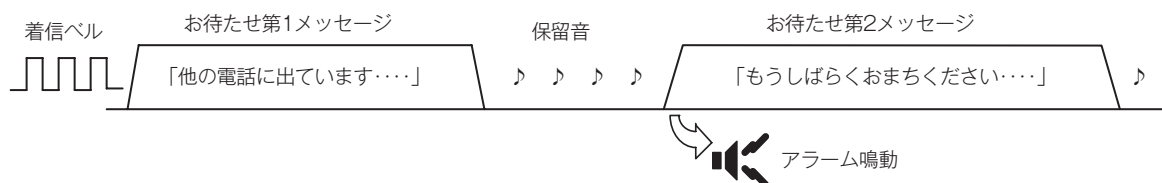
■ 年間タイマーでの切り替え

「データ編 - 新しくデータを作成する -6. 年間タイマーの登録」（136 ページ）を参照して、無条件転送モードへの自動切換えを設定してください。

4．お待たせモードの登録

◎ お待たせモードの設定・登録を行います。
本システムのお待たせ動作には、「通常」と「選択呼出」の２種類の動作モードがあります。また、コールスクリーニング機能、トラフィック集計機能の設定ができます。

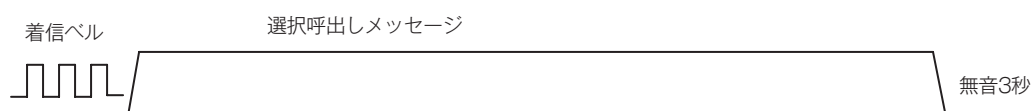
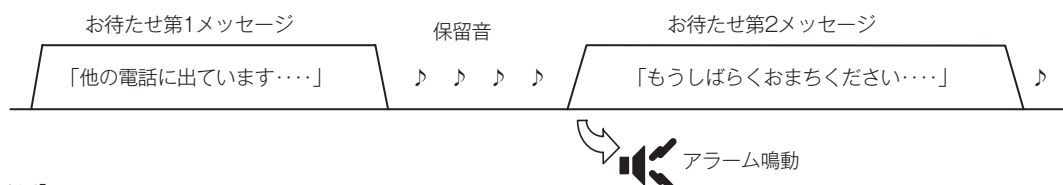
● 通常お待たせ動作

お客様からの電話着信と同時に電話機のベルを鳴らし、すぐに応答できない場合「お待たせ第１メッセージ」「保留音」などでお待たせしながら電話機を呼び出し続ける動作です。

【メッセージ例】

◆お待たせ第１メッセージ
はい○○でございます。ただいま他の電話に出ております（ただいま電話が大変混み合っております）ので、恐れ入りますがしばらくこのままでお待ちくださいませ。
（8 ～ 10 秒）

◆お待たせ第２メッセージ
大変お待たせしておりますが、もうしばらく、このままでお待ちくださいませ。（約５秒）

● 選択呼び出しお待たせ動作

お客様からの電話着信に、まず「選択呼出メッセージ」で応答し、お客様からの信号入力があると電話機のベルを鳴らし、「お待たせ第１メッセージ」「保留音」などでお待たせしながら電話機を呼び出し続ける動作です。

【メッセージ例】

◆選択呼出メッセージ
はい○○テレホンサービスです。○○についてご案内いたします。‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 以上です。
もう一度聞き直しをする場合は、「0」（選択呼出設定６「繰返番号」: ０の場合）を、さらに詳しくお聞きになりたい方、ご不明の方は、担当者におつなぎしますので「１」（選択呼出設定５「呼出番号」: １の場合）をダイヤルしてください。
なお、ダイヤルパルスの方は、プッシュ信号へ切り替えをお願いします。

● コールスクリーニング機能

お客様からの電話着信の最初から「お待たせ第１メッセージ」の送出が終わるまでの間、電話機のベルを鳴らさない様に設定することができます。お客様に案内メッセージを流した後に電話応対する場合などに利用できます。

● トラフィック集計機能

お客様からの電話着信に「案内メッセージ」で自動応答せず、電話機の呼び出しを行います。電話の着信件数などのデータを測定する機能です。

ワンポイント

● お待たせ動作中に応対するときは、最古着信から応対してください。

ワンポイント

● お待たせアラーム音は、LAN 接続された制御用パソコンで本体装置をモニタ中にパソコンのスピーカから送出されます。アラーム音を使用する場合はパソコン側で音量などの設定を行ってください。

■ お待たせフロー画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で［お待たせ］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［お待たせ］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【お待たせフロー】画面を表示します。

編集メニュー画面

クリックします。

クリックします。

《通常お待たせ動作》

お待たせフロー画面

● お待たせ動作フロー
お待たせ動作の概要をフロー図で表します。
フロー図内のボタンをクリックすると、その項目の設定画面になります。

● 動作モード設定欄
お待たせ動作の動作モードと、お待たせ第２メッセージ後の動作が設定できます。

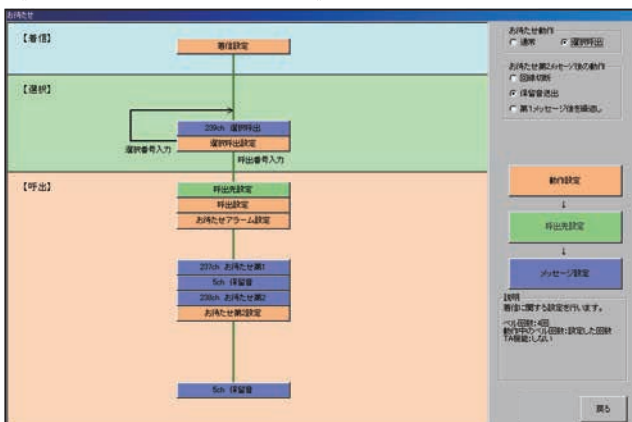
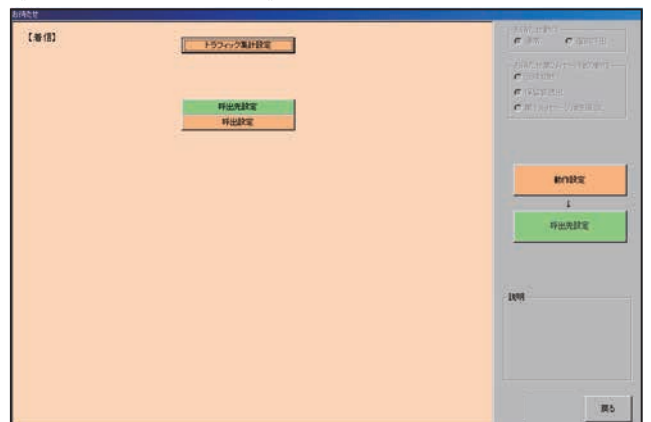
■ 動作設定ボタン
クリックすると、お待たせの動作条件を設定する画面になります。

■ 呼出先設定ボタン
クリックすると、お待たせの呼出先を設定する画面になります。

■ メッセージ設定ボタン
クリックすると、メッセージを設定する画面になります。

● 説明欄
動作フローのボタンをポイントすると、その登録内容が表示されます。

［戻る］ボタン
【編集メニュー】画面に戻ります。

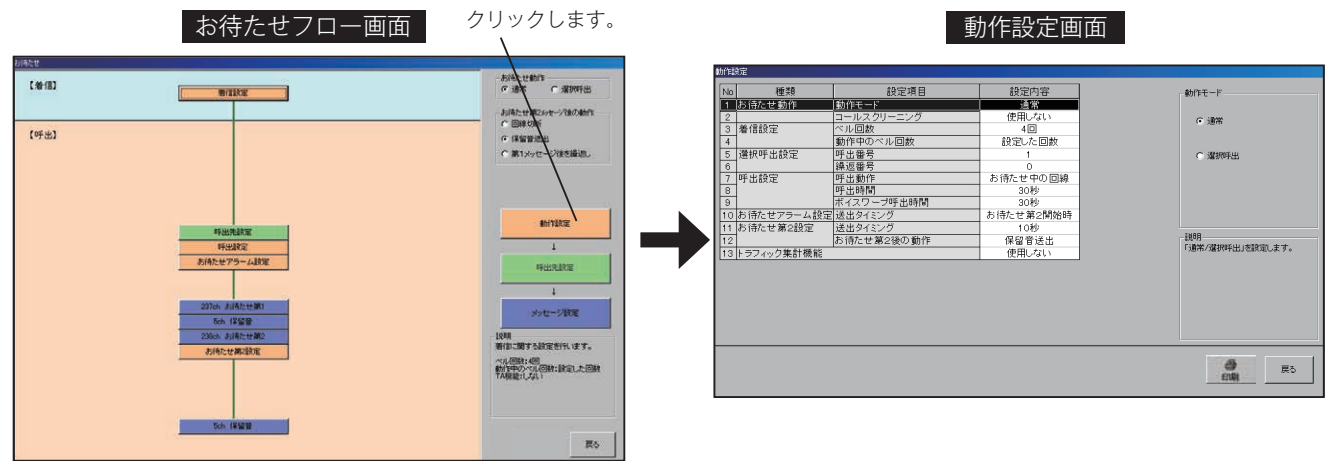
《選択呼び出しお待たせ動作》

《トラフィック集計機能》

■ お待たせモードで使用できる転送方式

お待たせモードでは下記の転送方式が使用できます。

動作モード	転送方式			
	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
お待たせ	△	×	○	○

○：使用可
×：使用不可
△：第１呼出先には登録できません。

■ 動作設定画面の呼び出し

【お待たせフロー】画面の［動作設定］ボタンをクリックします。

■ 動作設定の内容

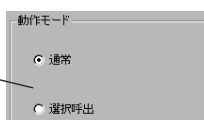
No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1	お待たせ動作	動作モード	お待たせの動作モード「通常／選択呼出」を設定します。	・通常 ・選択呼出	通常
2		コールスクリーニング	お待たせ第１の終了まで、T1,T2（TEL 側）にベルを送出しない機能を「使用する／使用しない」を設定します。	・使用しない ・使用する	使用しない
3	着信設定	ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ～ 20 回 （ボイスワープ使用時は、1 ～ 5 回）	4 回
4		動作中のベル回数	本装置でお待たせ応答している回線がある場合、他の回線の着信に対して応答するまでのベル回数を設定します。	・設定した回数 ・1 回で応答	設定した回数
5	選択呼出設定	呼出番号	選択呼出案内中に、T1,T2（TEL）側にベル信号を送出して呼び出しを開始するために、お客様に入力していただく選択番号を設定します。 ただし、「コールスクリーニング」を「使用する」に設定した場合、および「呼出動作」を「最古着信のみ」に設定した場合は、すぐに呼び出しを開始しない場合があります。	・0 ～ 9	1
6		繰返番号	選択呼出案内を繰り返し聞くための番号を設定します。	・0 ～ 9	0
7	呼出設定	呼出動作	本装置がお待たせ中に、呼び出しする回線を設定します。 「呼出しない」に設定しても、動作モードが「通常」でコールスクリーニングが「しない」の設定の場合は、応答するまで呼び出しを行います。 「呼出しない」の設定は、T1,T2（TEL 側）に単独電話機を接続した場合の設定です。構内交換機（PBX）を接続した場合は、お待たせ動作中の回線に応対できなくなりますので設定しないでください。	・呼出しない ・お待たせ中の回線 ・最古着信のみ	お待たせ中の回線
8		呼出時間	呼出先が２つ以上設定されている場合、1 つの呼出先（ボイスワープ以外）を呼び出す最大時間を設定します。呼出先が 1 つの場合はこの設定にかかわらず呼び出し続けます。	・10 ～ 240 秒 ・無制限	30 秒
9		ボイスワープ呼出時間	呼出先が２つ以上設定されている場合、1 つの呼出先（ボイスワープ）を呼び出す最大時間を設定します。	・10 ～ 100 秒	30 秒
10	お待たせアラーム設定	送出タイミング	回線モニタでお知らせするお待たせアラームのタイミングを設定します。	・使用しない ・お待たせ第 1 開始時 ・お待たせ第 1 終了時 ・お待たせ第 2 開始時 ・お待たせ第 2 終了時	お待たせ第 2 開始時

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
11	お待たせ第２設定	送出タイミング	お待たせ第１送出後、何秒後にお待たせ第２を送出するかを設定します。「転送種別切替時」に設定すると、呼出先がダイヤルイン→ボイスワープに切り替わったときなどにお待たせ第２を送出します。	・0～999秒 ・転送種別切替時	10秒
12		お待たせ第２後の動作	お待たせ第２送出後の動作を設定します。	・回線切断 ・保留音送出 ・第１メッセージ後を繰返	保留音送出
13	トラフィック集計機能		トラフィック集計機能を「使用する／使用しない」を設定します。 「使用する」に設定すると、本装置はすべての応答動作を行いません。	・使用しない ・使用する	使用しない

■ 設定のしかた

① 設定項目の指定
設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

② 設定入力
選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. お待たせ動作　動作モード

・動作モードの設定は、【お待たせフロー】画面の動作モード設定欄でも設定できます。

2. お待たせ動作　コールスクリーニング

3. 着信設定　ベル回数

・ボイスワープを使用する場合は、テンキー（1 ～ 5）を表示します。

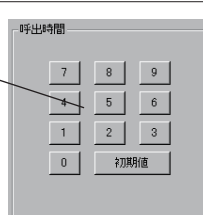
4. 着信設定　動作中のベル回数

5. 選択呼出設定　呼出番号

・6 項の「選択呼出設定　繰返番号」と同じ番号は設定できません。

6. 選択呼出設定　繰返番号

・5 項の「選択呼出設定　呼出番号」と同じ番号は設定できません。

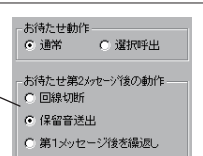
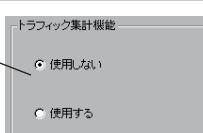
7. 呼出設定　呼出動作

8. 呼出設定　呼出時間

9. 呼出設定　ボイスワープ呼出時間

10. お待たせアラーム設定　送出タイミング

11. お待たせ第 2 設定　送出タイミング

・「転送種別切替時」をチェックすると、第 2 呼出先以降がボイスワープ転送の場合に、本装置での保留からボイスワープの保留に切り替るときに、お待たせ第 2 メッセージを送出します。

12. お待たせ第 2 設定　お待たせ第 2 後の動作

・お待たせ第 2 メッセージ後の動作の設定は、【お待たせフロー】画面の動作モード設定欄でも設定できます。

13. トラフィック集計機能

③ 説明欄
設定内容が表示されます。

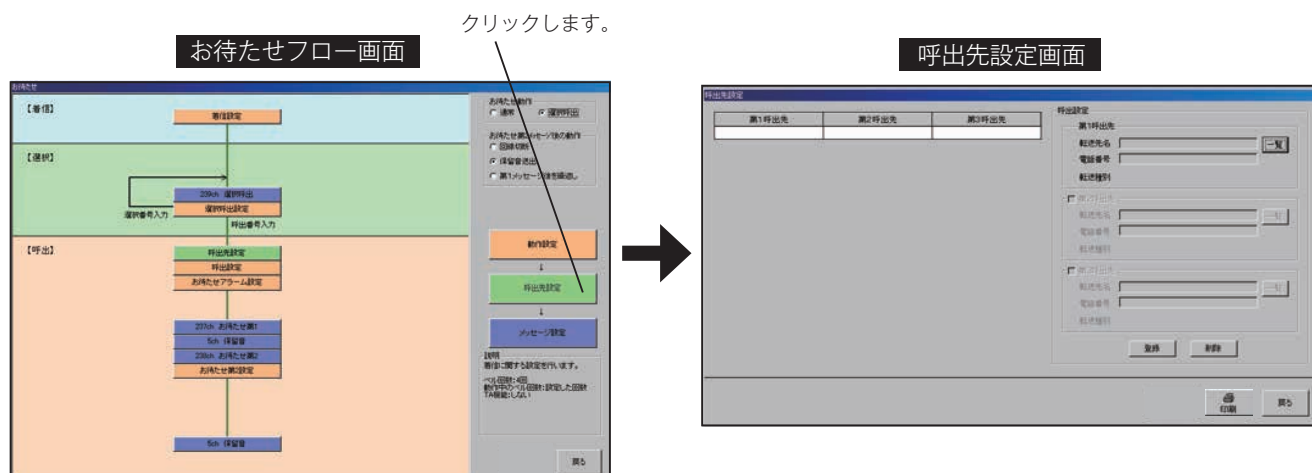
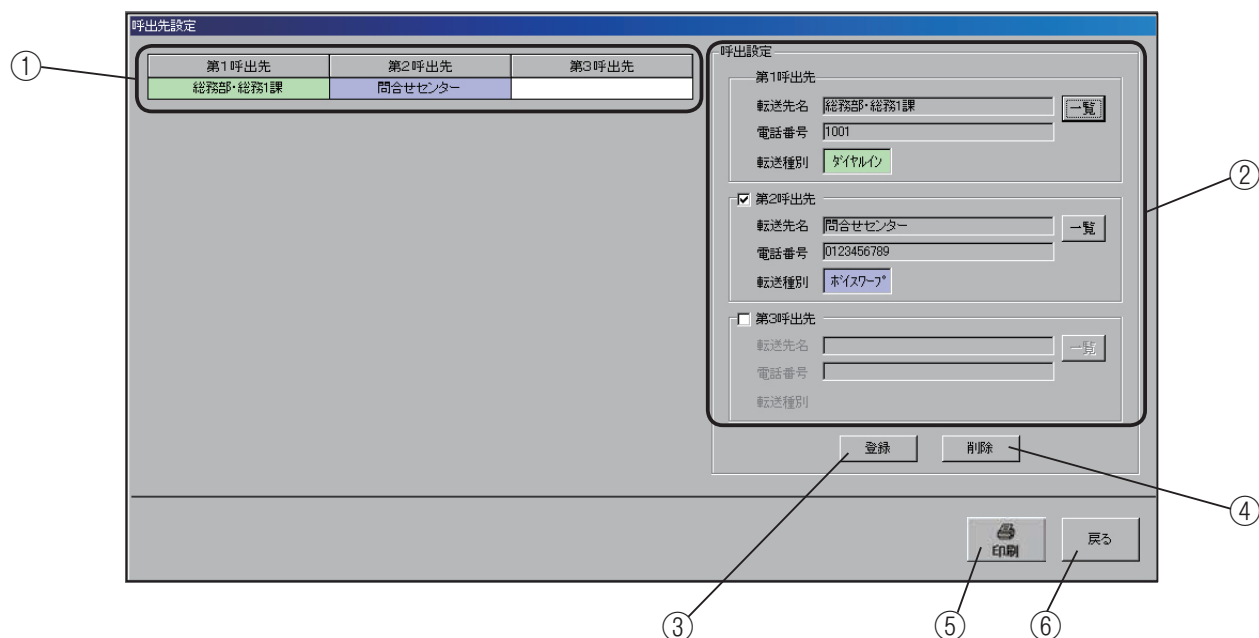
④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

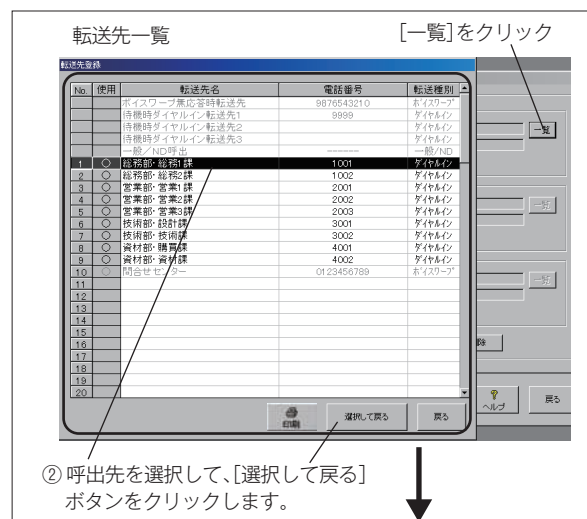
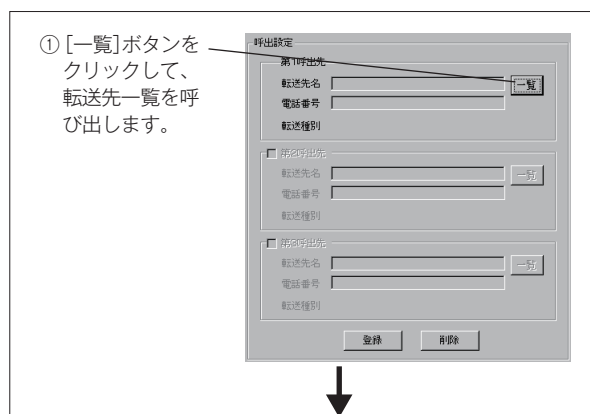
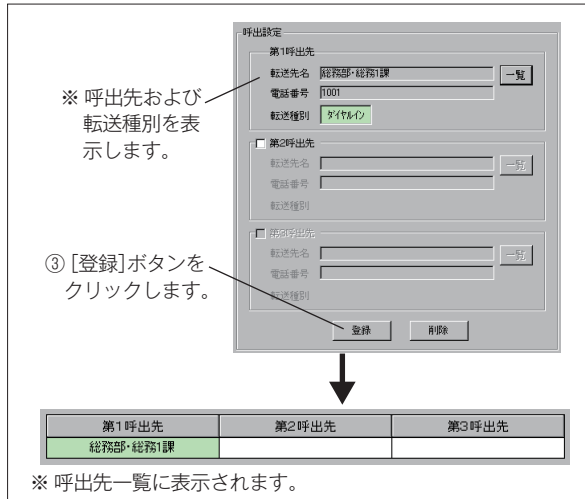
⑤ 戻る
【お待たせフロー】画面に戻ります。

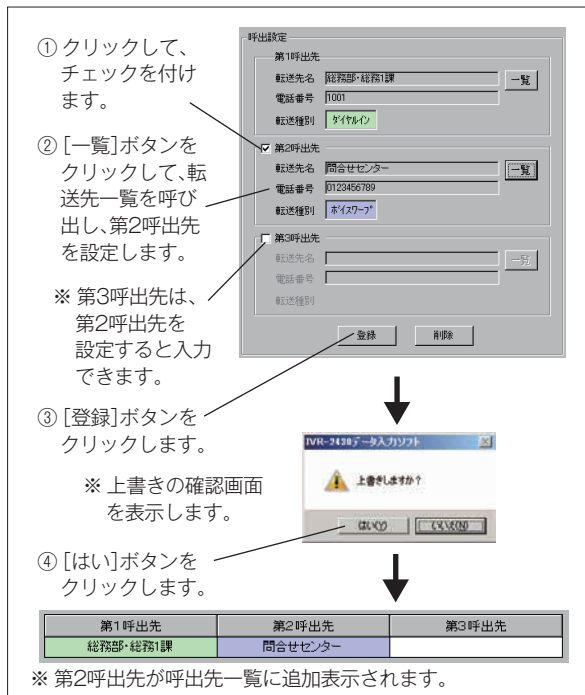
ワンポイント

- 13 項のトラフィック集計機能を「使用する」に設定すると、本体装置は自動応答や転送などの動作は行いません。
- トラフィック集計機能を使用して、電話の着信件数や応答・放棄の件数などを集計するときは、本体装置の動作モードをお待たせに設定して［応答］にセットしてください。
  - ・年間タイマーで動作モードを自動で切り替えてご利用の場合は、お待たせモードでの動作時にトラフィック集計機能となります。

■ 呼出先設定画面の呼び出し

【お待たせフロー】画面の［呼出先設定］ボタンをクリックします。

■ 設定のしかた

① 呼出先の一覧表示
　設定された呼出先を表示します。

② 呼出設定
　次の手順で、呼出先を設定します。

● **追っかけ呼び出しを行う場合**

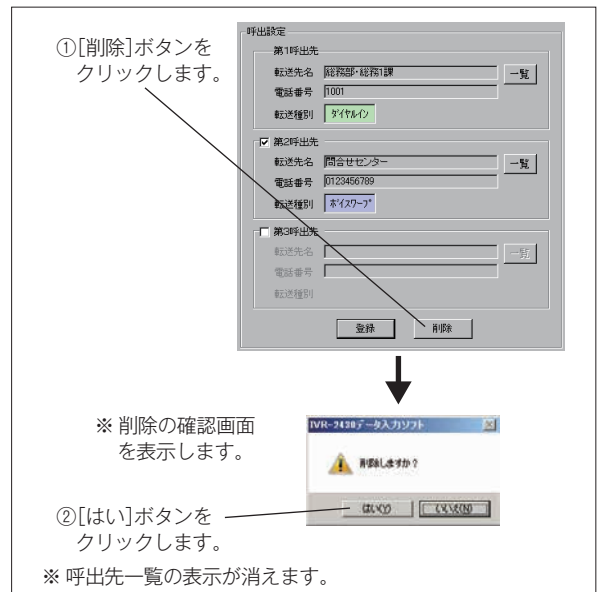
第２呼出先、第３呼出先を設定して追っかけ呼び出しを行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックしてチェックを付け、一覧から呼出先を選択して設定します。

● **呼出先を変更（修正）する場合**

呼出先を変更するときは、該当の呼出先の［一覧］ボタンをクリックして、呼出先の設定をやり直します。
操作は、呼出先設定と同じです。
［登録］ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を表示します。［はい］ボタンをクリックして設定します。

ワンポイント

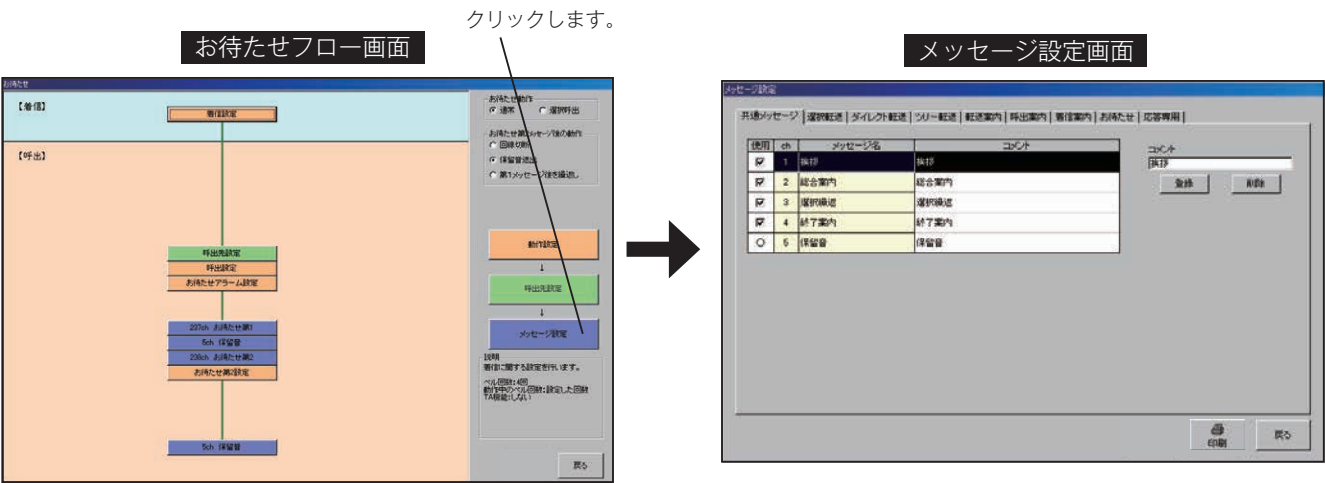
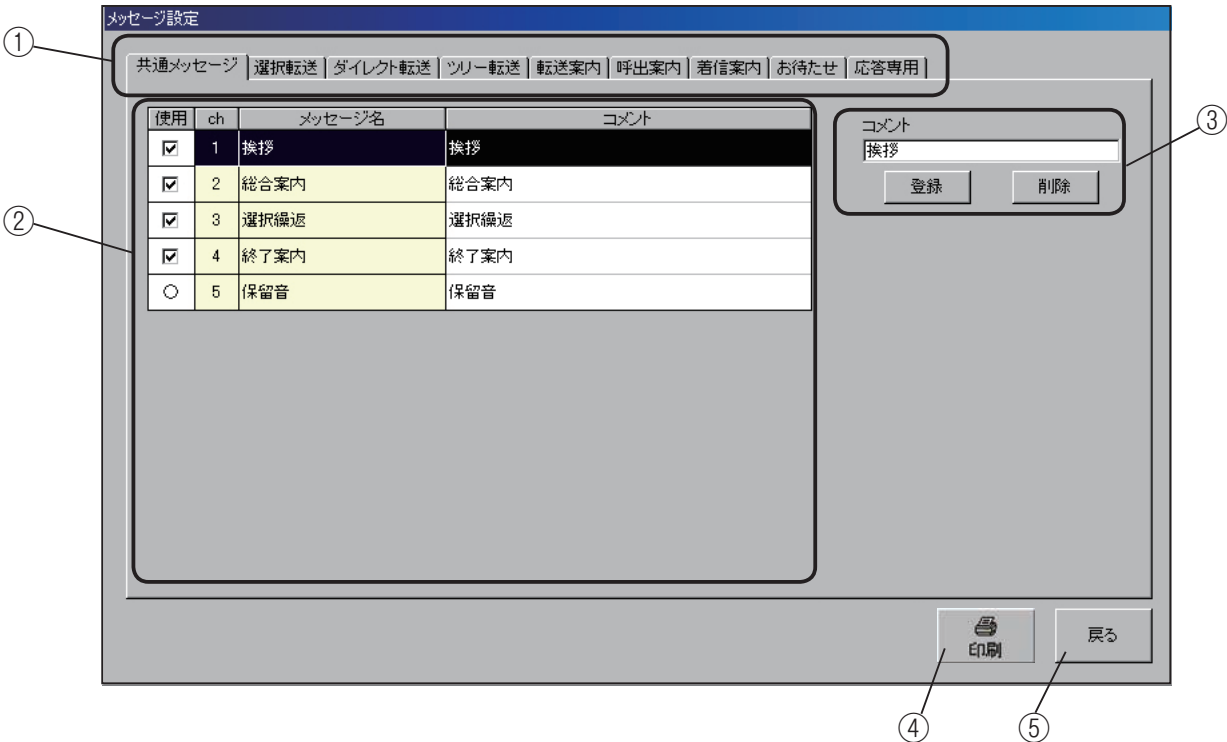
● 第１呼出先にボイスワープ転送先を設定することはできません。
● 第１、第２、第３呼出先に同じ呼出先を登録することはできません。

③［登録］ボタン
呼出先設定を確定するときにクリックします。

④［削除］ボタン
呼出先の設定内容を削除するときにクリックします。

⑤ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑥ 戻る
【お待たせフロー】画面に戻ります。

■ メッセージ設定画面の呼び出し

【お待たせフロー】画面の［メッセージ設定］ボタンをクリックします。

■ メッセージの種類

① メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》‥‥‥ お待たせで使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作モード	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	○	○			○	○	○		
ダイレクト転送モード	○		○		○	○	○		
ツリー転送モード	○			○	○	○	○		
お待たせモード	△							○	
応答専用モード	○								○

△：保留音のみ使用します。

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

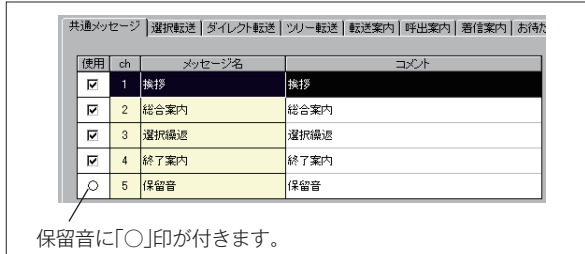
各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。
コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。

■ メッセージの内容と設定のしかた

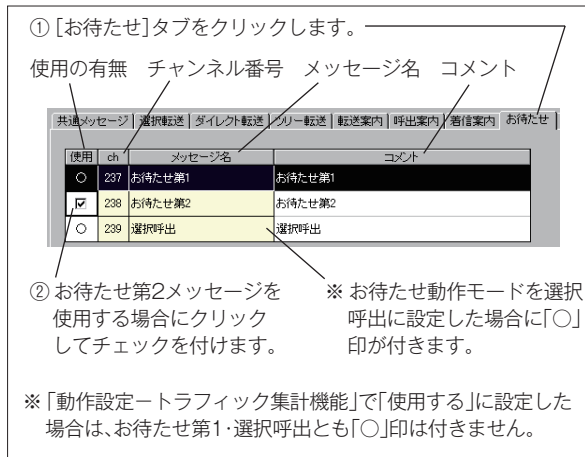
● 共通メッセージ

お待たせ動作モードでは、保留音のみを使用します。
挨拶（1ch）、総合案内（2ch）、選択繰返（3ch）、終了案内（4ch）は使用しません。

・保留音（ch 5）
電話の転送中など、お客様に待っていただく間に送出する音楽などです。

◆ コメントの登録・削除
コメント編集欄で入力したコメントは、［登録］ボタンをクリックするとメッセージ一覧に表示します。
［削除］ボタンをクリックすると、【コメントの削除】確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックするとコメントは削除されます。

● お待たせメッセージ

お待たせモードで使用するメッセージです。

◆ メッセージの説明

・お待たせ第 1 メッセージ（ch237）
お客様からの電話着信に、最初に応答してお待たせするメッセージです。

・お待たせ第 2 メッセージ（ch238）
お待たせ時間が長いときなどに、途中で案内するメッセージです。

・選択呼出メッセージ（ch239）
お待たせ第 1 メッセージの前に案内するメッセージです。このメッセージ中にお客様から「呼出番号」の入力があると、T1,T2（TEL）側にベル信号を送出して呼び出しを開始し、お待たせ動作になります。

◆ コメントの登録・削除
共通メッセージの操作と同じです。

④ 印刷
設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る
【お待たせフロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 各案内メッセージの画面は、お待たせフローのメッセージ名のボタンをクリックして呼び出すこともできます。

● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置編 - メッセージの録音・再生」（38 ページ）を参照してください。

5．応答専用モードの登録

◎ 応答専用モードの設定・登録を行います。
本システムの応答専用動作には、お客様から電話着信した時の電話機呼び出し方法として「呼出なし／応答まで呼出／応答中も呼出」の３種類の呼出設定があります。

●「呼出なし」動作
お客様からの電話着信時に、電話機のベルを鳴らさず（呼び出ししないで）、応答案内メッセージで応答する動作です。

●「応答まで呼出」動作
お客様からの電話着信時に、応答案内メッセージで応答するまで電話機のベルを鳴らす（呼び出しする）動作です。
呼出先がダイヤルイン転送の場合、呼出先を設定して呼び出しできます。呼出先は１つのみ設定できます。
呼び出し中に電話を取って応対することができます。

●「応答中も呼出」動作
お客様からの電話着信時に、応答案内メッセージで応答した後も電話機のベルを鳴らす（呼び出しする）動作です。
呼出先がダイヤルイン転送の場合、複数の呼出先を設定して追っかけ呼び出しすることもできます。
呼び出し中に電話を取って応対することができます。

【メッセージ例】

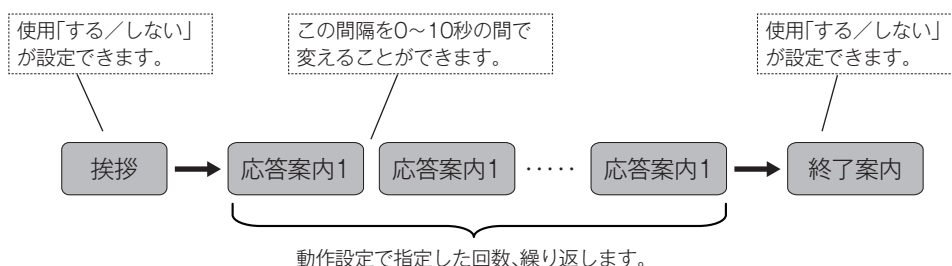
◆ 挨拶
はい○○でございます。いつもお世話になっております。

◆ 応答案内 1
申し訳ございませんが、本日の業務は終了いたしました。
弊社の営業時間は ……。

◆ 応答案内２
せっかくお電話いただきましたが、土曜・日曜・祝日はお休みをいただいております。
弊社の営業時間は ……。

◆ 応答案内３
せっかくお電話いただきましたが、本日は臨時休業いたしております。明日より通常通り ……。

◆ 終了案内
お電話ありがとうございました。

【案内メッセージの構成】

ワンポイント

● 応答案内メッセージは、最大 10 種類録音できます。マニュアル動作または年間タイマーで切り替えて使用することができます。

■ 応答専用フロー画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で［応答専用］ボタンのチェックボックスをクリックしてチェックします。
［応答専用］ボタンが有効になり、ボタンをクリックすると【応答専用フロー】画面を表示します。

編集メニュー画面

クリックします。

クリックします。

《応答まで呼出動作》
《応答中も呼出動作》

応答専用フロー画面

● 応答専用動作フロー
応答専用動作の概要をフロー図で表します。
フロー図内のボタンをクリックすると、その項目の設定画面になります。

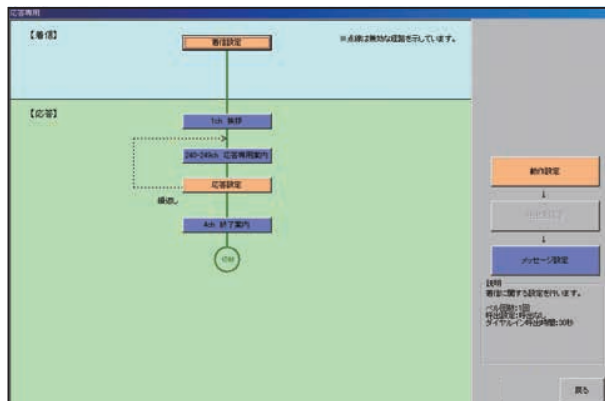
■ 動作設定ボタン
クリックすると、応答専用の動作条件を設定する画面になります。

■ 呼出先設定ボタン
クリックすると、応答専用の呼出先を設定する画面になります。

■ メッセージ設定ボタン
クリックすると、メッセージを設定する画面になります。

● 説明欄
動作フローのボタンをポイントすると、その登録内容が表示されます。

［戻る］ボタン
【編集メニュー】画面に戻ります。

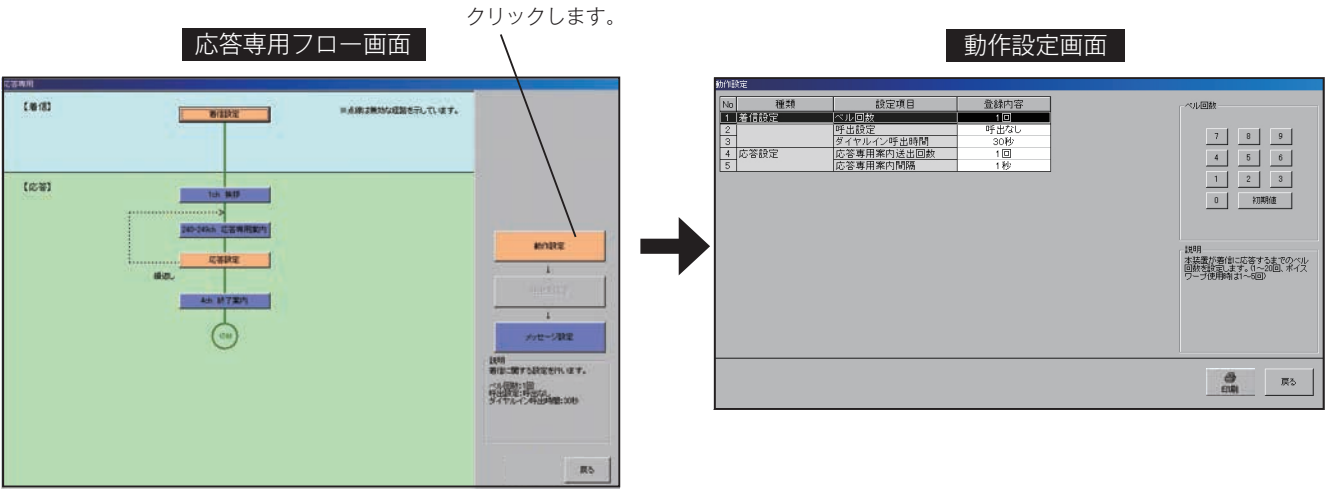
《呼出なし動作》

■ 応答専用モードで使用できる転送方式

応答専用モードでは下記の転送方式が使用できます。

動作モード	転送方式			
	ボイスワープ転送	フッキング転送	ダイヤルイン転送	ベルのみ（一般）
応答専用	×	×	○	○

○：使用可
×：使用不可

■ 動作設定画面の呼び出し

【応答専用フロー】画面の［動作設定］ボタンをクリックします。

■ 動作設定の内容

No.	設定項目		設定内容	設定範囲	初期値
1		ベル回数	本装置が着信に応答するまでのベル回数を設定します。	・1 ～ 20 回 （ボイスワープ使用時は、1 ～ 5 回）	1 回
2	着信設定	呼出設定	着信してから T1,T2（TEL 側）を呼び出す設定を行います。「応答まで呼出」に設定したときは、複数の呼出先を設定することはできません。	・呼出なし ・応答まで呼出 ・応答中も呼出	呼出なし
3		ダイヤルイン呼出時間	呼出先が 2 つ以上設定されている場合、1 つの呼出先を呼び出す最大時間を設定します。呼出先が 1 つの場合はこの設定にかかわらず呼び出し続けます。	・10 ～ 240 秒	30 秒
4	応答設定	応答専用案内送出回数	応答専用案内を繰り返し送出する回数を設定します。	・1 ～ 9 回	1 回
5		応答専用案内間隔	応答案内を繰り返し送出する場合の間隔を設定します。	・0 ～ 10 秒	1 秒

■ 設定のしかた

① 設定項目の指定
　設定項目一覧で、設定する項目をクリックします。選択されると反転表示になります。

② 設定入力
　選択した項目に対応した内容が表示されます。

1. 着信設定　ベル回数

・ボイスワープを使用する場合は、テンキー（1 ～ 5）を表示します。

2. 着信設定　呼出設定

3. 着信設定　ダイヤルイン呼出時間

4. 応答設定　応答専用案内送出回数

5. 応答設定　応答専用案内間隔

③ 説明欄
　設定内容が表示されます。

④ 印刷
　設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

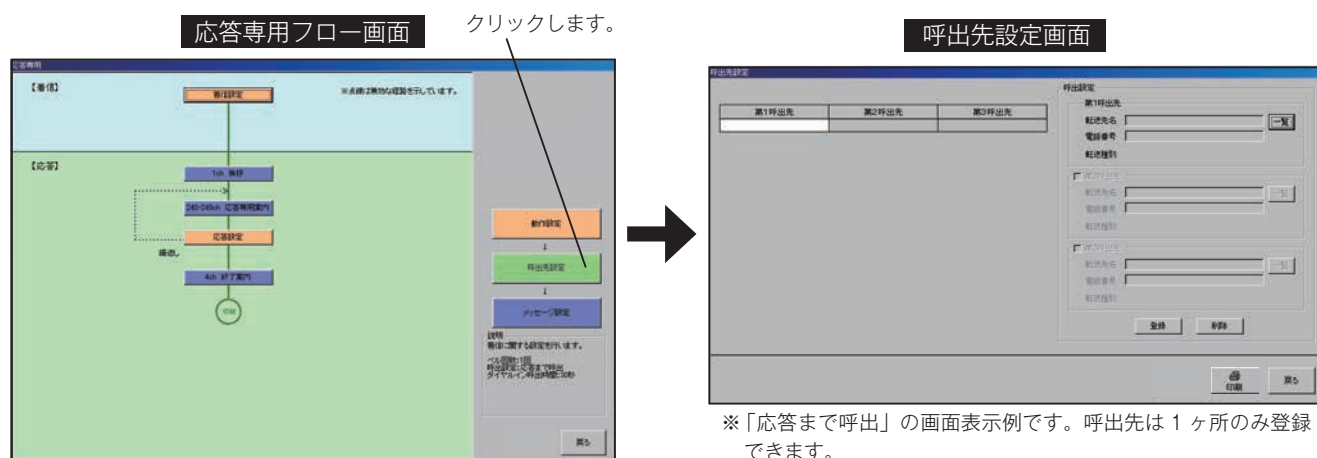
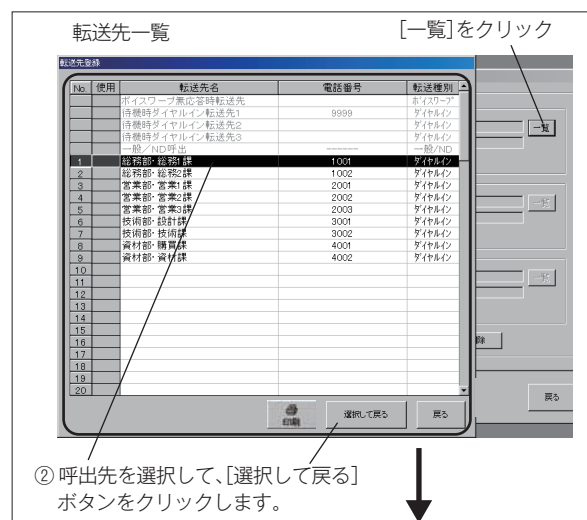
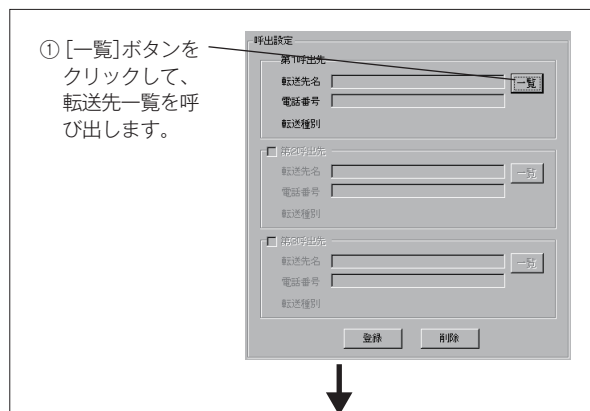
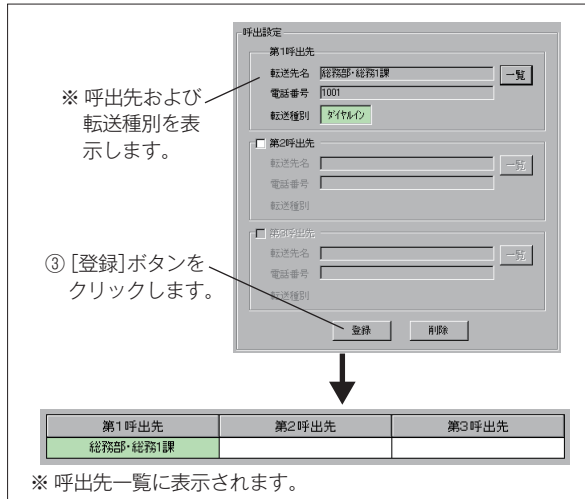
⑤ 戻る
　【応答専用フロー】画面に戻ります。

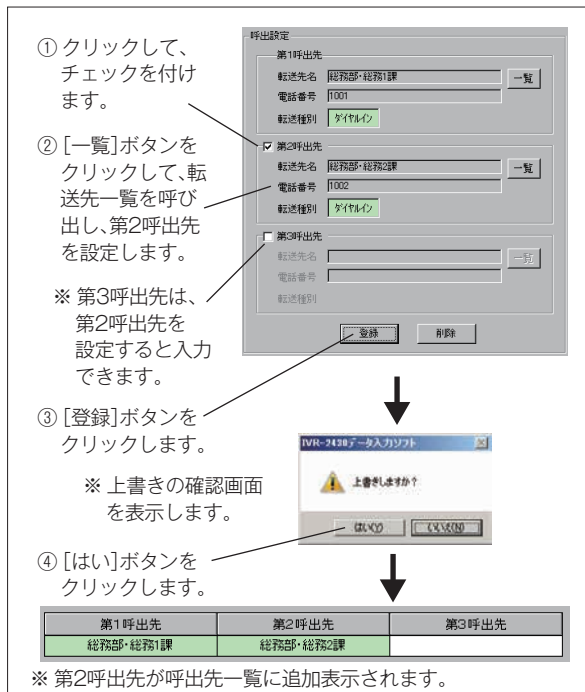
■ 呼出先設定画面の呼び出し

【応答専用フロー】画面の［呼出先設定］ボタンをクリックします。
呼出設定が「応答まで呼出」および「応答中も呼出」の場合に設定できます。

※「応答まで呼出」の画面表示例です。呼出先は 1 ヶ所のみ登録できます。

■ 設定のしかた

※「応答中も呼出」の画面表示例です。呼出先は 3 ヶ所まで登録できます。

① 呼出先の一覧表示
　設定された呼出先を表示します。
② 呼出先設定
　次の手順で、呼出先を設定します。

● **追っかけ呼び出しを行う場合（「応答中も呼出」の場合）**

第２呼出先、第３呼出先を設定して追っかけ呼び出しを行う場合は、それぞれのチェックボックスをクリックしてチェックを付け、一覧から呼出先を選択して設定します。

● **呼出先を変更（修正）する場合**

呼出先を変更するときは、該当の呼出先の［一覧］ボタンをクリックして、呼出先の設定をやり直します。

操作は、呼出先設定と同じです。

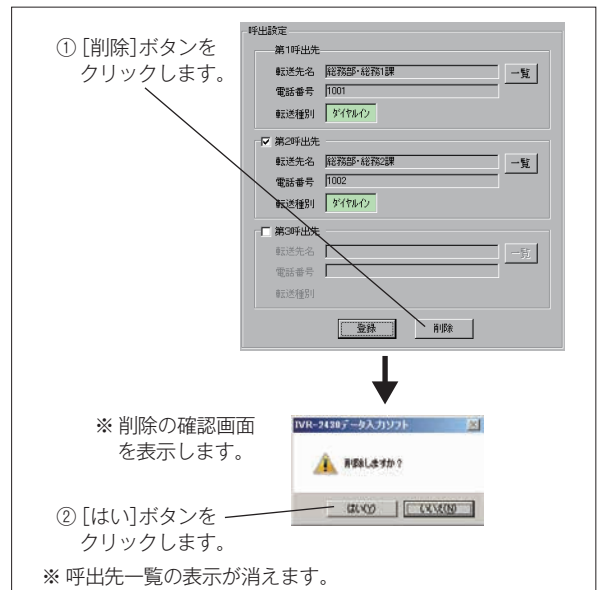
［登録］ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を表示します。［はい］ボタンをクリックして設定します。

③［登録］ボタン

呼出先設定を確定するときにクリックします。

④［削除］ボタン

呼出先の設定内容を削除するときにクリックします。

⑤ 印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

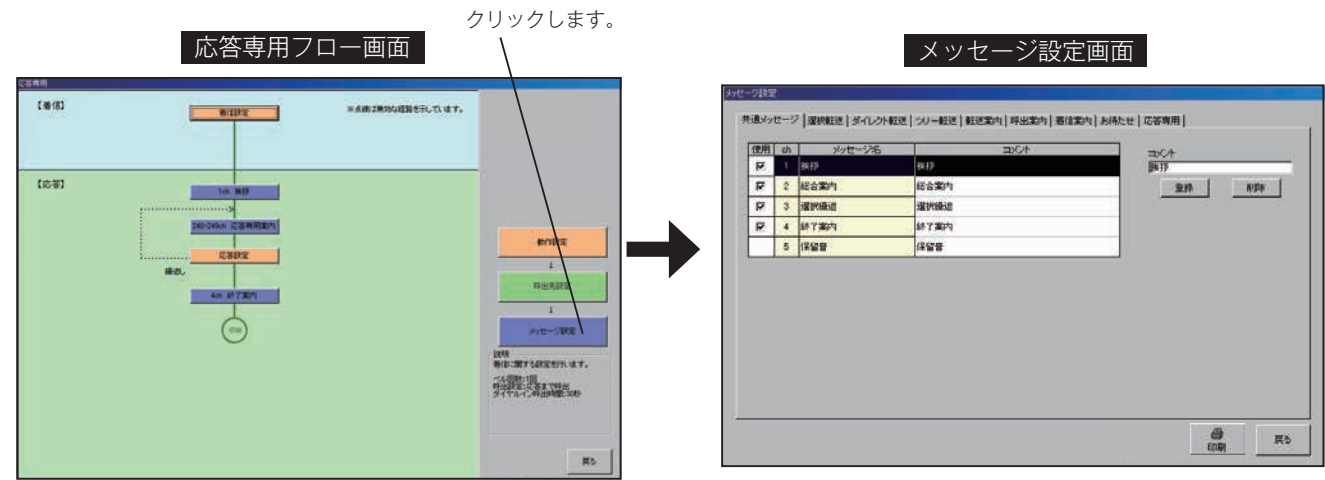
⑥ 戻る

【応答専用フロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 第１、第２、第３呼出先に同じ呼出先を登録することはできません。

■ メッセージ設定画面の呼び出し

【応答専用フロー】画面の［メッセージ設定］ボタンをクリックします。

■ メッセージの種類

① メッセージ種類の選択

本システムで使用する案内メッセージの種類を表示します。この表示は各動作モード共通で、使用する動作モードに応じて、必要なメッセージ種類のタブをクリックして設定します。

《メッセージ対応表》・・・・ 応答専用で使用するメッセージの種類は、網掛けの部分です。

動作モード	メッセージ種類								
	共通	選択転送	ダイレクト転送	ツリー転送	転送案内	呼出案内	着信案内	お待たせ	応答専用
選択転送モード	○	○			○	○	○		
ダイレクト転送モード	○		○		○	○	○		
ツリー転送モード	○			○	○	○	○		
お待たせモード	（保留音）							○	
応答専用モード	○								○

② チャンネル番号・メッセージ名一覧

各メッセージの「使用の有無」、「チャンネル番号」、「メッセージ名」、「コメント」を表示します。

③ コメント編集覧

メッセージの内容に応じてコメントが付けられます。

コメントは半角20文字、全角10文字まで設定できます。

■ メッセージの内容と設定のしかた

● 共通メッセージ

応答専用モードでは、「挨拶」と「終了案内」が使用できます。

総合案内（2ch）、選択繰返（3ch）は使用しません。

◆ メッセージの説明

・挨拶（ch 1）

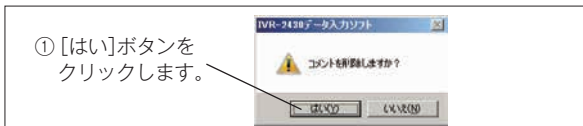
お客様からの電話着信に、最初に応答するメッセージです。応答案内の前に送出され、通常は会社名などを案内します。

・終了案内（ch 4）

本装置が電話を切る前に案内するメッセージです。応答案内の後に送出されます。

◆ コメントの登録・削除

コメント編集欄で入力したコメントは、［登録］ボタンをクリックするとメッセージ一覧に表示します。

［削除］ボタンをクリックすると、【コメントの削除】確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックするとコメントは削除されます。

● 応答案内メッセージ

応答専用モードで使用するメッセージです。

◆ メッセージの説明

応答案内メッセージは 10 種類（ch240 ～ 249）のメッセージがあり、マニュアル操作または年間タイマーで切り替えて使用できます。

使用する応答案内メッセージを録音してください。

◆ コメントの登録・削除

共通メッセージの操作と同じです。

④ 印刷

設定内容をプリンタに出力するときにクリックします。

⑤ 戻る

【お待たせフロー】画面に戻ります。

ワンポイント

● 各案内メッセージの画面は、応答専用フローのメッセージ名のボタンをクリックして呼び出すこともできます。

● 各メッセージの録音は、本体装置で行います。「装置編 - メッセージの録音・再生」（38 ページ）を参照してください。

6．年間タイマーの登録

◎ 年間タイマーで、日付・時間帯などを指定して各動作モードを自動的に切り替えて運用するためのスケジュールを作成します。スケジュールには、「曜日」、「祝日」、「特定日」の３種類があり、各スケジュールが同じ日に重なった場合の優先順位は「特定日」が最も高く、以下「祝日」、「曜日」の順です。
また、登録した年間タイマーの有効期間は、登録した年を含め最大５年です。
（例１）2014/1/1 に登録した場合　⇒ 有効期限：2018/12/31（有効期間：５年）
（例２）2014/10/1 に登録した場合　⇒ 有効期限：2018/12/31（有効期間：４年と 92 日）
そのため、**有効期間内に年間タイマーを再登録してください。**

● 曜日スケジュール

日曜日から土曜日まで、曜日ごとのスケジュールを作成して登録します。年間タイマー運用の基本動作となります。

● 祝日スケジュール

国民の祝日に専用のスケジュールで運用するときは、「祝日スケジュール」を作成します。すべての祝日に共通のスケジュールで１種類です。「祝日スケジュール」を使用しないときは、「曜日スケジュール」がそのまま適用されます。

● 特定日スケジュール

事業所独自の休日などを専用のスケジュールで運用するときは、「特定日スケジュール」を作成します。「特定日スケジュール」は「A ～ V」まで 22 種類のスケジュールが作成でき、指定日ごとに任意のスケジュールが指定できます。

6-1　曜日スケジュールの登録

■ 曜日スケジュール画面の呼び出し

【編集メニュー】画面で［年間タイマー］ボタンをクリックすると【曜日スケジュールの編集】画面を表示します。

■ 曜日スケジュールの登録

① [曜日選択］ボタン
スケジュールを登録する曜日を選択します。クリックすると、その曜日の編集画面を表示します。

② 動作モードの選択

・選択する動作モードにより、選択内容は次のように変わります。

ワンポイント

● 選択した動作モードに設定がない場合は、次の警告画面を表示します。

［OK］ボタンをクリックして、動作モードの設定を行ってください。

③ 切り替え時刻の登録

・マウスポインタをグラフエリアへ移動すると時計の形に変わり時刻が表示されます。時刻は 24 時間制で表示されます。

・開始時刻にポインターを合わせ、終了時刻までドラッグします。

・細かい時刻はあとで修正ができます。

④ 動作モードの登録

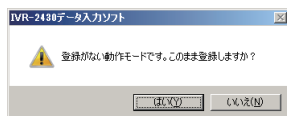
［登録］ボタンをクリックすると、1 ステップの登録が完了します。左側のグラフエリアが青色に変わり、応答案内番号が入ります。（応答専用の場合）

・登録内容が詳細表示欄に表示されます。

登録	開始時刻	終了時刻	動作モード
1	0:00	8:00	f 応答専用 1
2	8:00	24:00	停止
3			
4			

ワンポイント

● 動作モード時刻の切り替えは、曜日スケジュールあたり最大 30 ステップ登録できます。

● 各動作モードのパターンや転送先を選択したとき、その内容が登録されていない場合は、次の確認画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックするとそのまま登録できますが、詳細表示の動作モードの欄が赤色になります。
また、スケジュールを登録したあとに、動作モードを「使用しない」に変更するなど、登録内容に矛盾が発生した場合も詳細表示の動作モードの欄が赤色になります。
この場合には、登録内容を確認してください。

詳細表示

登録	開始時刻	終了時刻	動作モード
1	0:00	8:00	f 応答専用 1
2	8:00	16:00	a 選択転送 3
3	16:00	20:00	a 選択転送 4
4	20:00	24:00	f 応答専用 2

● ② 動作モードの選択、③ 切り替え時刻の登録を繰り返して、次のステップを登録します。

● 1 つの曜日が終わったら、① 曜日選択に戻り別の曜日を登録します。

●「曜日スケジュール」の登録が終わったら、次のいずれかを選びます。

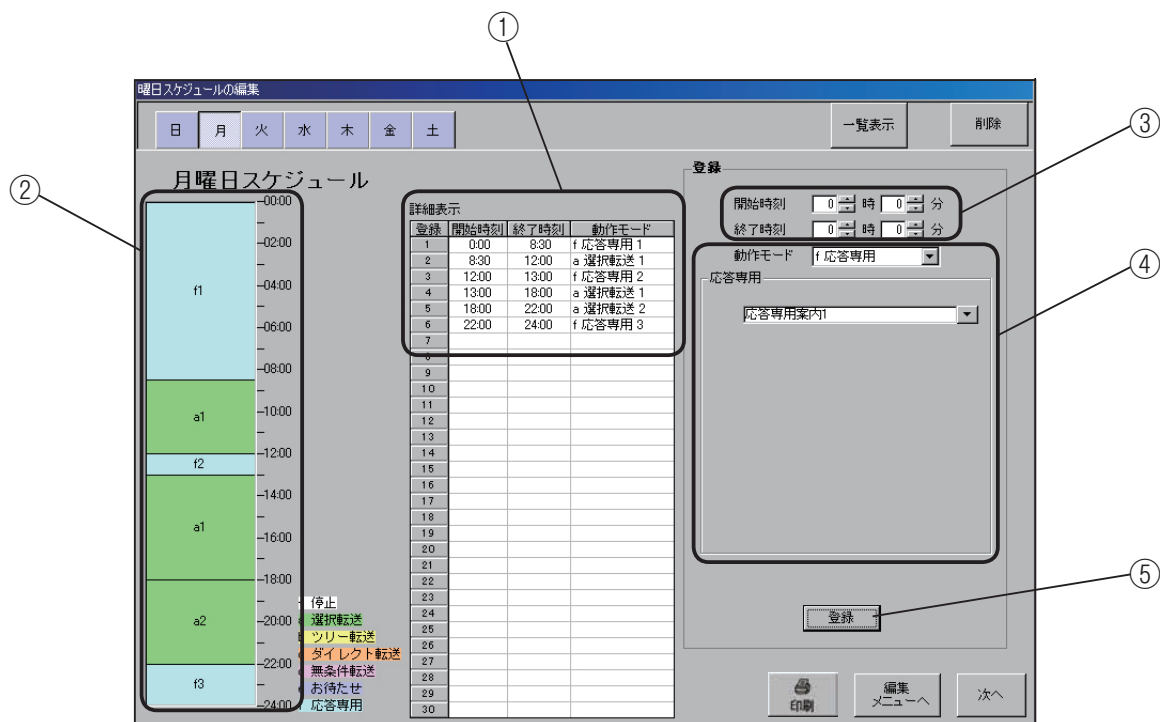
・［次へ］ボタンをクリックすると、「祝日スケジュール」を作成する画面が開きます。

・ステータスバーで、次の作業を選択します。

・［編集メニューへ］ボタンをクリックすると、【編集メニュー】画面に戻ります。

《1ステップ登録完了時の画面表示例》

各動作モードを記号と色で表示します。
・(–)停止：応答・転送の動作を停止する時間帯を登録します。<無色>
・(a)選択転送モード：a1～a20(パターン番号)<緑>
・(b)ツリー転送モード：b 1, b2(パターン番号)<黄>
・(c)ダイレクト転送モード<茶>
・(d)無条件転送モード：d 1～d 100(転送先番号)<桃>
・(e)お待たせモード<紫>
・(f)応答専用モード：f 1～f 10(応答案内番号)<青>

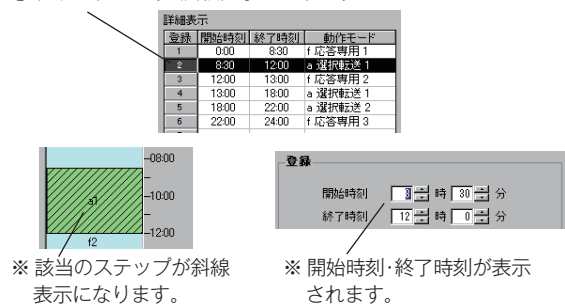
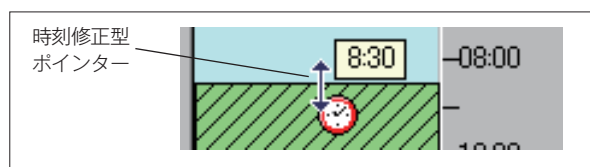
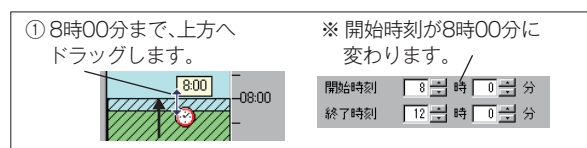
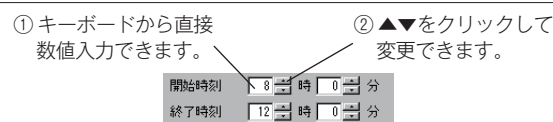
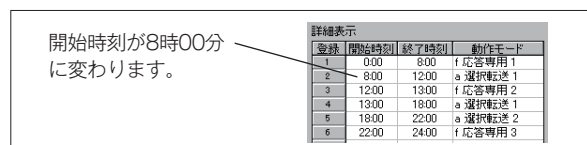
■ 曜日スケジュールの編集

● **時刻の変更**

画面は「月曜日スケジュール」の例ですが、他の曜日でも、また「祝日スケジュール」や「特定日スケジュール」でも操作は同じです。

（例）登録２の開始時刻を８時30分から８時00分に変更します。

① 変更したい登録番号（ここでは２）をクリックします。登録番号の行が反転します。

・左側のグラフエリアで該当のステップが斜線で識別されます。

・右側の登録エリアの「開始時刻・終了時刻」に時刻を表示します。

② マウスを左側のグラフエリアへ移動します。該当のステップ（斜線で識別した部分）の上端へマウスを移動すると、ポインターが時刻修正型に変わります。

・時刻が８時00分になるよう、ドラッグしドロップします。

③ 時刻の変更は、右側の登録エリアの「開始時刻・終了時刻」の欄にキーボードから直接数値を入れても変更できます。

⑤ ［登録］ボタンをクリックします。詳細表示の「開始時刻」が８時00分に変わります。

◆「終了時刻」の変更も同様に行います。

ワンポイント

● マウスのドラッグでの時刻入力は10分刻みで登録できます。

● キーボードからの時刻入力は１分刻みで登録できますので、細かい時刻の修正を行うことができます。

● **動作モードの変更**

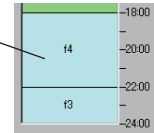
画面は「月曜日スケジュール」の例ですが、他の曜日でも、また「祝日スケジュール」や「特定日スケジュール」でも操作は同じです。

（例）登録５の選択転送２を応答専用４に変更します。

① 変更したい登録番号（ここでは５）をクリックします。
登録番号の行が反転します。

・左側のグラフエリアで該当のステップが斜線で識別されます。
・右側の登録エリアに「動作モード」と「動作内容」を表示します。

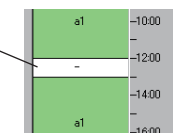
④「動作モード」の▼をクリックして、変更する動作モードを選択しクリックします。

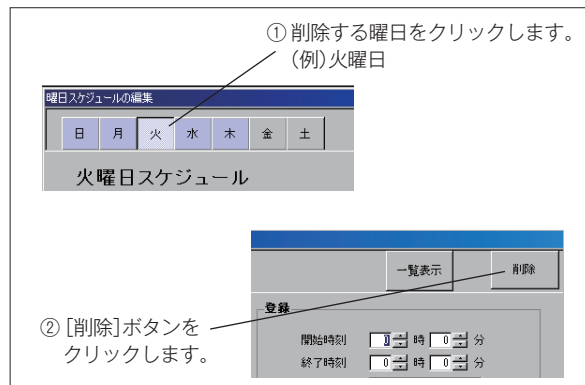
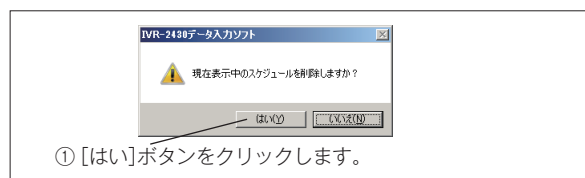
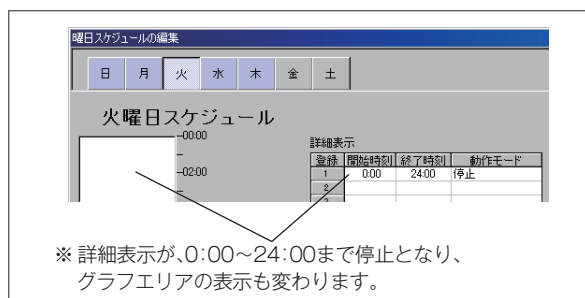
⑤［登録］ボタンをクリックします。
詳細表示の「動作モード」、グラフエリアの表示が変わります。

● **特定のステップを削除（停止）にするには**

登録された動作をステップ単位で削除（停止）するには、該当のステップを「停止」にします。
（例）登録３の応答専用２を削除します。

① 変更したい登録番号（ここでは３）をクリックします。
登録番号の行が反転します。
・左側のグラフエリアで該当のステップが斜線で識別されます。
・右側の登録エリアに「動作モード」と「動作内容」を表示します。

④「動作モード」の▼をクリックして、「停止」を選択しクリックします。

⑤ ［登録］ボタンをクリックします。
詳細表示の「動作モード」、グラフエリアの表示が変わります。

■ 曜日スケジュールの削除

登録された動作を「曜日スケジュール」単位で削除することができます。［曜日選択］ボタンで削除したい曜日を選び、【曜日スケジュールの編集】画面右上の［削除］ボタンをクリックします。

・削除の確認画面が表示されます。

・火曜日の登録がすべて削除されます。

■ 一覧表示とコピー貼り付け

● 一覧表示

登録された「曜日スケジュール」の動作内容を一覧表で確認できます。
【曜日スケジュールの編集】画面で、右上の［一覧表示］ボタンをクリックします。

・［戻る］ボタンをクリックすると、【曜日スケジュールの編集】画面に戻ります。

● 内容のコピー

曜日間でスケジュールの登録内容をコピーすることができます。

ワンポイント

● コピー先にすでに登録がある場合は、上書きの確認メッセージを表示します。

上書きするときは［はい］ボタンをクリックします。

6-2　祝日スケジュールの登録

■ 祝日スケジュール画面の呼び出し

【曜日スケジュールの編集】画面で、［次へ］ボタンまたはステータスバーの「祝日スケジュール」をクリックします。

祝日スケジュールの編集画面

■ 祝日スケジュールと振替休日使用の有無

祝日に専用のスケジュールを使用「する／しない」と、振替休日の動作を設定します。

①祝日を使用する場合にクリックして､チェックを付けます。

②振替休日を祝日と同じ動作にする場合にクリックして､チェックを付けます。

☑ 祝日を使用する
☑ 振替休日も祝日に従う

・祝日を使用しない場合、チェックを外すと確認のメッセージを表示します。

■ 祝日スケジュールの登録

「祝日スケジュール」は１種類登録できます。

登録のしかたは、「曜日スケジュール」の登録と同じです。

ただし、［曜日］ボタンの選択はありません。

「6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの登録」（137 ページ）を参照してください。

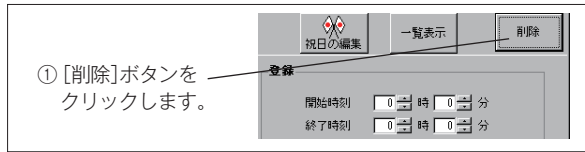
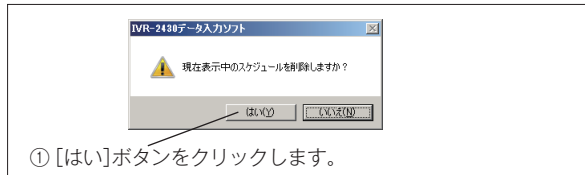
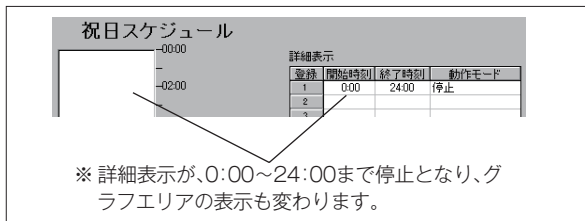
■ 祝日スケジュールの編集

編集のしかたは、「曜日スケジュール」の編集と同じです。

ただし、［曜日］ボタンの選択はありません。

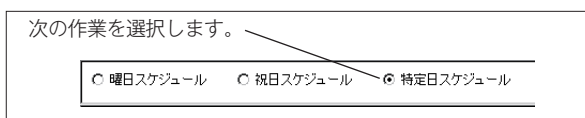
「6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの編集」（140 ページ）を参照してください。

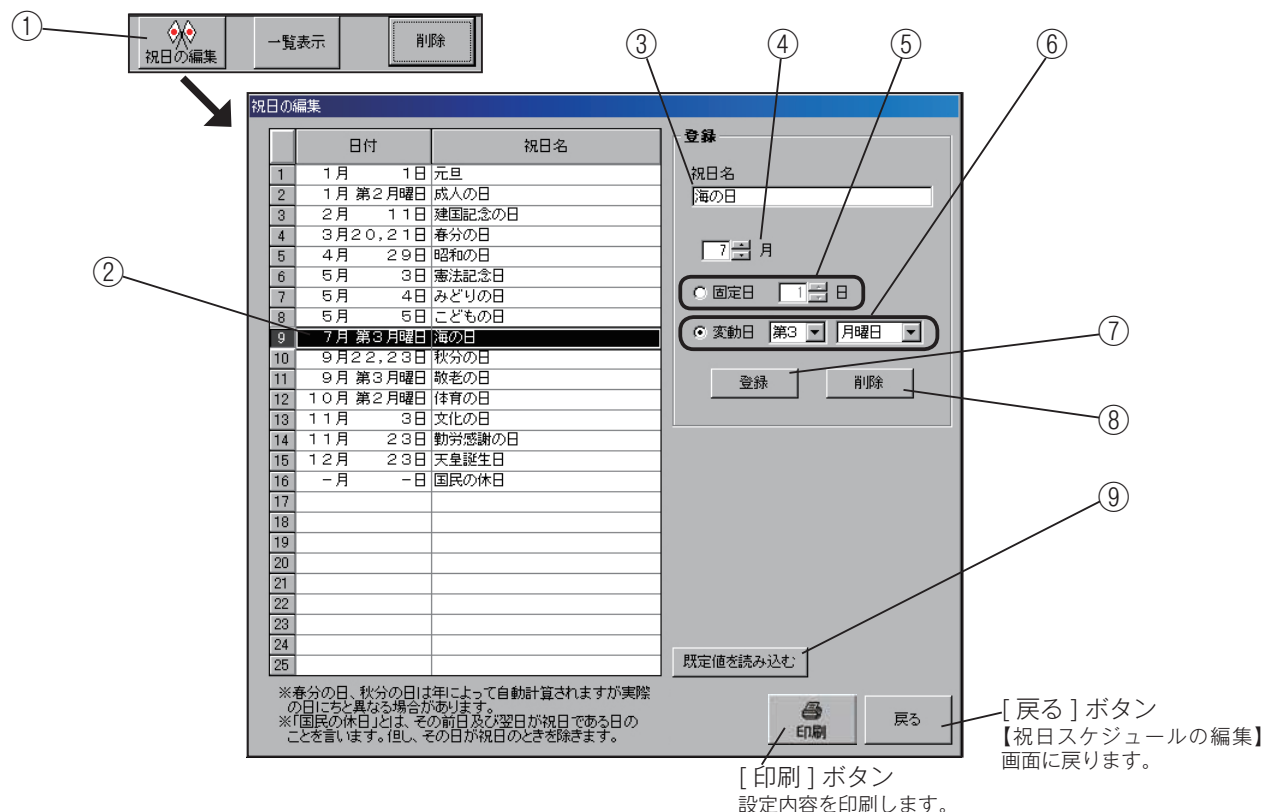
■ 祝日スケジュールの削除

登録された「祝日スケジュール」を削除することができます。
【祝日スケジュールの編集】画面右上の［削除］ボタンをクリックします。

・削除の確認画面が表示されます。

・祝日の登録がすべて削除されます。

■ 一覧表示とコピー貼り付け

【祝日スケジュールの編集】画面右上の［一覧表示］ボタンをクリックすると、スケジュールの一覧が表示され確認ができます。
「曜日スケジュール」（例えば日曜日スケジュール）を祝日にコピーすることもできます。コピーのしかたは、「曜日スケジュール」のコピーと同じです。143 ページを参照してください。

●「祝日スケジュール」の登録が終わったら、次のいずれかを選びます。

・［次へ］ボタンをクリックすると、「特定日スケジュール」を作成する画面が開きます。
・［戻る］ボタンをクリックすると、「曜日スケジュール」を作成する画面が開きます。
・ステータスバーで、次の作業を選択します。

■ 祝日の編集

祝日が増えたり、日付が変更になったときなどに祝日を編集します。

① 【祝日スケジュールの編集】画面で、右上の［祝日の編集］ボタンをクリックします。

② 祝日の選択
編集したい祝日をクリックします。新たに追加するときは、空白行をクリックします。反転表示になります。

③ 祝日名の入力
祝日の名前を入力します。祝日名は半角 20 文字、全角 10 文字まで入力できます。

④ 月の指定
祝日の月を入力します。▼をクリックして選択するか、キーボードから入力します。

⑤ 固定日の指定
祝日が固定日のとき、クリックして「●」を付け日付を入力します。

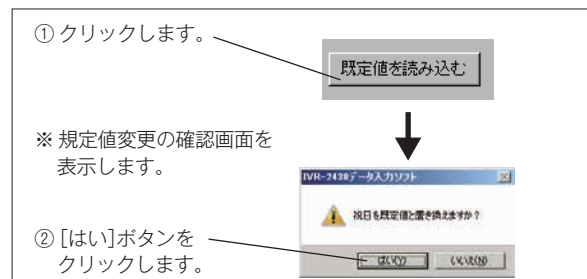
⑥ 変動日の指定
祝日が第３月曜日などのように変動日のとき、クリックして「●」を付け、第１から第５と曜日を選択します。

⑦ 祝日の登録
編集、追加した祝日を登録するときにクリックします。
・［登録］ボタンをクリックすると、上書きの確認画面を表示する場合があります。

内容変更の場合　　新規追加で日付が重複した場合

⑧ 祝日の削除
選択した祝日を削除するときにクリックします。
・［削除］ボタンをクリックすると、削除の確認画面を表示します。

・［はい］ボタンをクリックすると、祝日が削除されます。

⑨ 規定値を読み込む
・［規定値を読み込む］ボタンをクリックすると、現在編集中の内容をパソコンに保存されている規定値に置き換えます。

ワンポイント

● 春分の日と秋分の日は特殊な形式で書き込んであります。一度削除すると元に戻すことができません。

6-3　特定日スケジュールの登録

「特定日スケジュール」は、最初にスケジュールの内容を作成します。
「A」から「V」の 22 種類作ることができます。次に、作成したスケジュールをカレンダーの希望の日に割り付けます。

■ 特定日スケジュール画面の呼び出し

【祝日スケジュールの編集】画面で、［次へ］ボタンまたはステータスバーの「特定日スケジュール」をクリックします。

特定日スケジュールの登録画面

■ 特定日スケジュールの編集画面の呼び出し

① 【特定日スケジュールの登録】画面で、［編集］ボタンをクリックします。

特定日スケジュールの編集画面

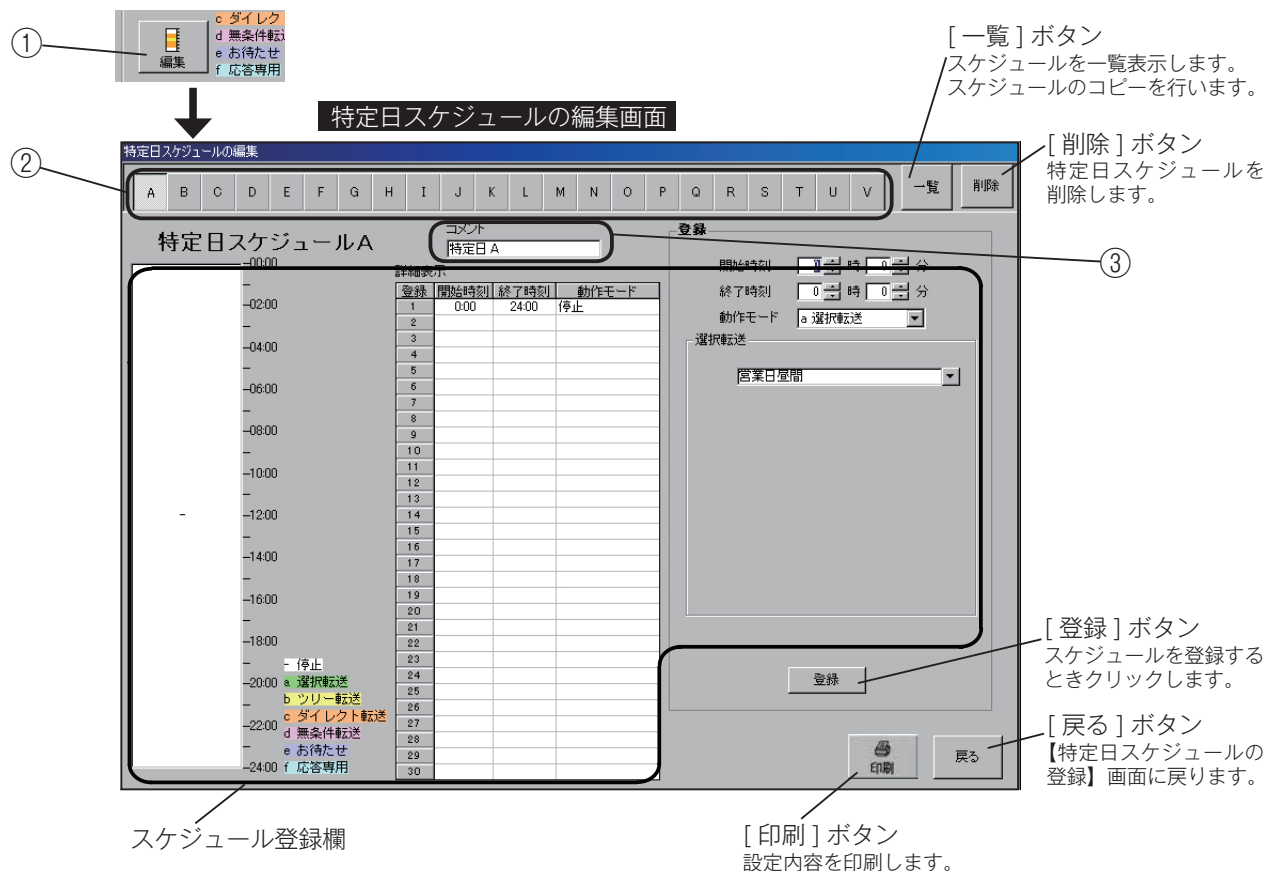
[一覧] ボタン
スケジュールを一覧表示します。
スケジュールのコピーを行います。

[削除] ボタン
特定日スケジュールを削除します。

[登録] ボタン
スケジュールを登録するときクリックします。

[戻る] ボタン
【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。

スケジュール登録欄

[印刷] ボタン
設定内容を印刷します。

② 特定日種類の選択
作成する種類（A ～ V）を選択してクリックします。
編集するときは、作成済みのスケジュールをクリックします。

③ コメントの入力
スケジュールの名前を入力します。コメントは半角 20 文字、全角 10 文字まで入力できます。

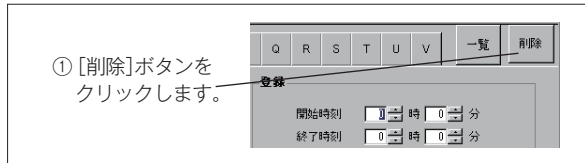
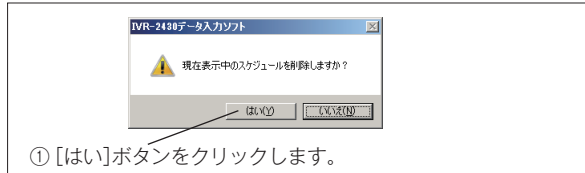
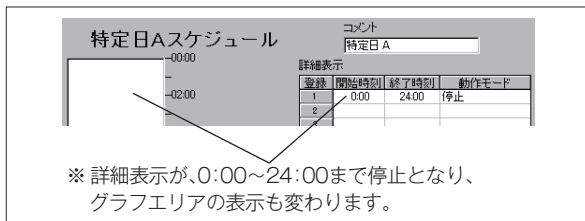
■ 特定日スケジュールの登録

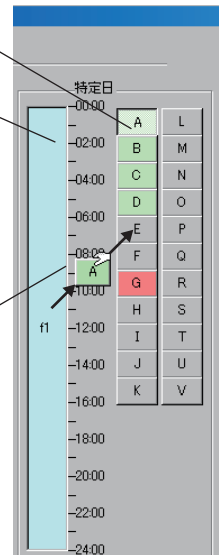
「特定日スケジュール」は 22 種類登録できます。
登録のしかたは､｢曜日スケジュール｣の登録と同じです。[曜日]ボタンの変わりに､[種類(A ～ V)]ボタンを選択します。
｢6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの登録｣（137 ページ）を参照してください。

■ 特定日スケジュールの編集

編集のしかたは､｢曜日スケジュール｣の編集と同じです。[曜日]ボタンの変わりに､[種類(A ～ V)]ボタンを選択します。
｢6-1 曜日スケジュールの登録 - 曜日スケジュールの編集｣（140 ページ）を参照してください。

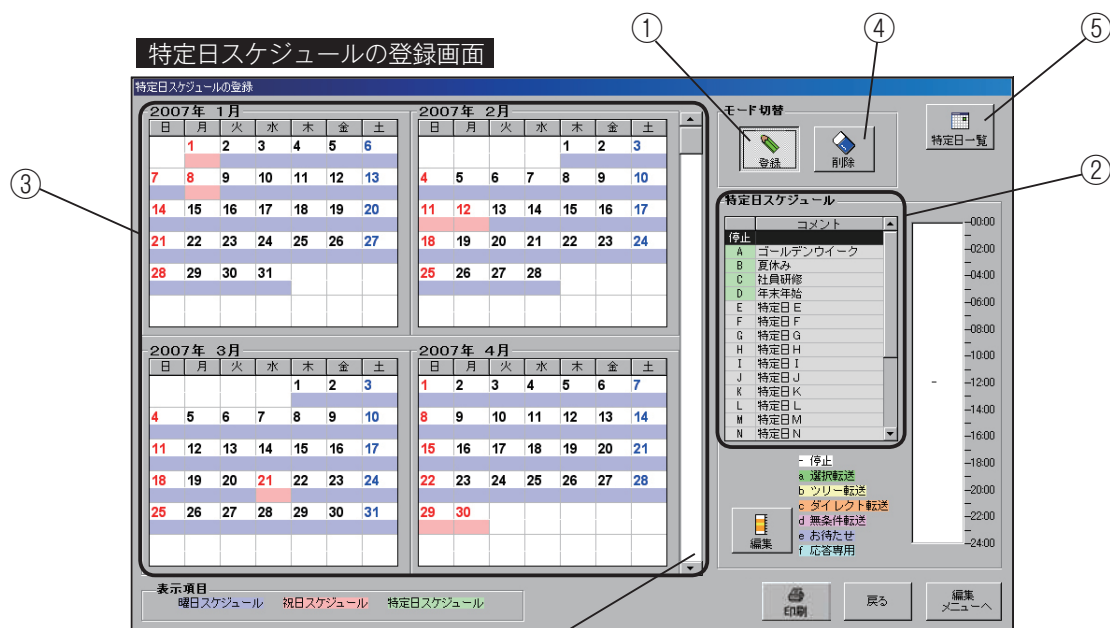
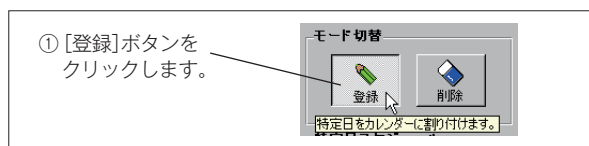
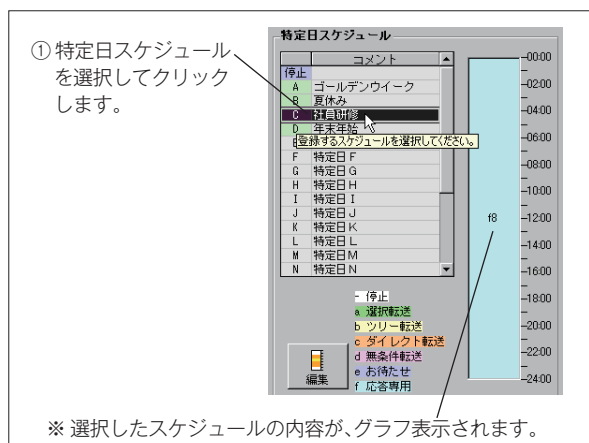
■ 特定日スケジュールの削除

登録された「特定日スケジュール」を削除することができます。【特定日スケジュールの編集】画面右上の［削除］ボタンをクリックします。

・削除の確認画面が表示されます。

・「特定日スケジュール」の登録がすべて削除されます。

■ 一覧表示とコピー貼り付け

【特定日スケジュールの編集】画面右上の［一覧］ボタンをクリックすると、スケジュールの一覧が表示され確認ができます。「特定日スケジュール」も「曜日スケジュール」「祝日スケジュール」と同様にコピー貼付けをすることができます。

・【特定日スケジュールの編集】および【特定日スケジュールの登録】画面には、スケジュールのコメント欄に、「特定日スケジュール A のコピー」と表示されます。

● 使用予定のすべての「特定日スケジュール」を作り終わったら、［戻る］ボタンをクリックします。【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。

■ 特定日のカレンダーへの割り付け

【特定日スケジュールの編集】画面で作成したスケジュールを、カレンダーの希望の日に割り付けます。

①【特定日スケジュールの登録】画面、モード切替の［登録］ボタンをクリックします。

②「特定日スケジュール一覧」で、登録するスケジュールを「A」から「V」または「停止」の中から選び、クリックします。

・選択したスケジュールが反転表示になります。
・右側のグラフエリアに、選択した「特定日スケジュール」の内容が表示されます。

③「特定日スケジュール」を希望の日に登録します。
マウスポインターをカレンダー部分に移動すると、ポインターが鉛筆形に変わります。

目的の日（登録する日）をクリックします。

・例では、４月 20 日が「特定日スケジュール C」の「社員研修」のスケジュールになりました。

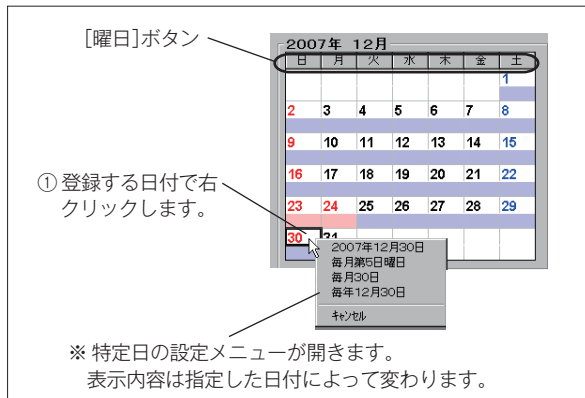
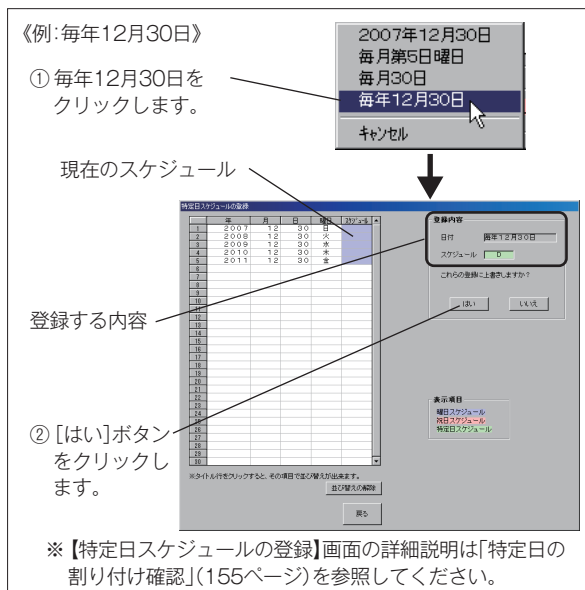
②、③を繰り返して、他の日も登録します。

ワンポイント

● 選択した「特定日スケジュール」の内容が登録されていないときは、日付をクリックしたときに内容を登録するかどうかを確認する画面を開きます。

［はい］ボタンをクリックすると、【特定日スケジュールの編集】画面が開きます。
「特定日スケジュールの登録」を参照して、スケジュールを作成してください。

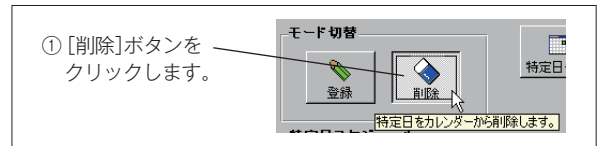
● **定期的な日付を一括で特定日に登録する方法**

毎月（または毎年）決まった日に同じ「特定日スケジュール」で運用したい場合など、複数の日を一括で「特定日スケジュール」に登録することができます。
鉛筆形ポインターで日付をクリックするときに、右クリックをします。

・メニューから希望する項目をクリックすると、その内容に従って特定日が登録できます。
例えば、「12 月 30 日」で右クリックして、メニューから「毎年 12 月 30 日」をクリックすると、現在の登録内容を表示し、登録をして良いかどうかの確認画面が開きます。

・[はい] ボタンをクリックすると、今選択している「特定日スケジュール」（例：「D」年末年始）が、今年から５年間のすべての 12 月 30 日に登録されます。
・【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。

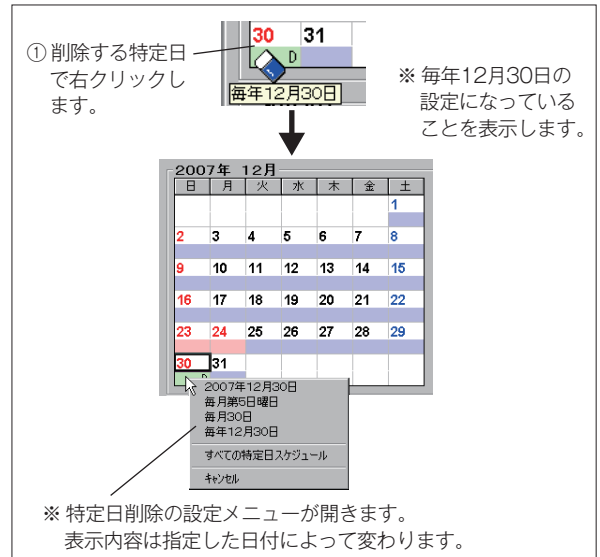
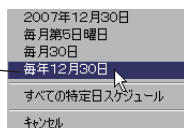
ワンポイント

● 鉛筆形ポインターをカレンダー上でドラッグすると、その範囲に同じスケジュールが登録されます。
● [曜日] ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日に同じスケジュールが登録されます。

■ 特定日のカレンダーからの削除

④【特定日スケジュールの登録】画面、モード切替の［削除］ボタンをクリックします。

・マウスポインターをカレンダー部分に移動すると、ポインターが消しゴム形に変わります。削除したい特定日をクリックします。
・「特定日スケジュール」は削除され、その日は通常の「曜日スケジュール」または「祝日スケジュール」で動作します。

● **定期的な日付の特定日を一括で削除する方法**

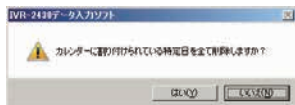
毎月（または毎年）決まった日に登録されている「特定日スケジュール」や、すべての「特定日スケジュール」を一括で削除することができます。
消しゴム形ポインターで特定日をクリックするときに、右クリックをします。

・メニューから希望する項目をクリックすると、その内容に従って特定日が削除できます。
例えば、「12 月 30 日」で右クリックして、メニューから「毎年 12 月 30 日」をクリックすると、削除する内容を表示し、削除をして良いかどうかの確認画面が開きます。

※【特定日スケジュールの削除】画面の詳細説明は「特定日の削除確認」（155ページ）を参照してください。

・［はい］ボタンをクリックすると、現在登録されている「特定日スケジュール」（例：「D」年末年始）がすべて削除され、通常の「曜日スケジュール」または「祝日スケジュール」で動作します。
・【特定日スケジュールの登録】画面に戻ります。

●「特定日スケジュール」の登録が終わったら、次のいずれかを選びます。
・［戻る］ボタンをクリックすると、「祝日スケジュール」を作成する画面が開きます。
・ステータスバーで、次の作業を選択します。

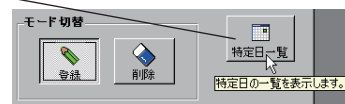
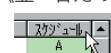
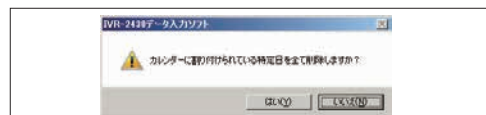
・［編集メニューへ］ボタンをクリックすると、年間タイマーの登録を終了し、【編集メニュー】画面が開きます。

ワンポイント

● 特定日削除の設定メニューで、「すべての特定日スケジュール」をクリックすると、次の削除確認の画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、登録されているすべての「特定日スケジュール」が削除されます。
● 消しゴム形ポインターをカレンダー上でドラッグすると、その範囲内のスケジュールが削除されます。
● ［曜日］ボタンをクリックすると、その月の同じ曜日のスケジュールが削除されます。

■ 特定日の一覧表示

登録されている「特定日スケジュール」をすべて一覧で確認することができます。

⑤【特定日スケジュールの登録】画面右上の［特定日一覧］ボタンをクリックします。

・【特定日スケジュールの一覧】画面を表示します。

・［すべて削除］ボタンをクリックすると、次の【削除の確認】画面を表示します。

［はい］ボタンをクリックすると、登録されているすべての「特定日スケジュール」が削除され、通常の「曜日スケジュール」または「祝日スケジュール」で動作します。

■ 特定日の割り付け確認

複数の特定日を一括で登録するときに、登録しようとしている日が現在どのような内容になっているのかを表示できます。鉛筆形ポインターで日付を右クリックすると「特定日設定メニュー」が表示され、希望する項目をクリックするとその内容が表示されます。

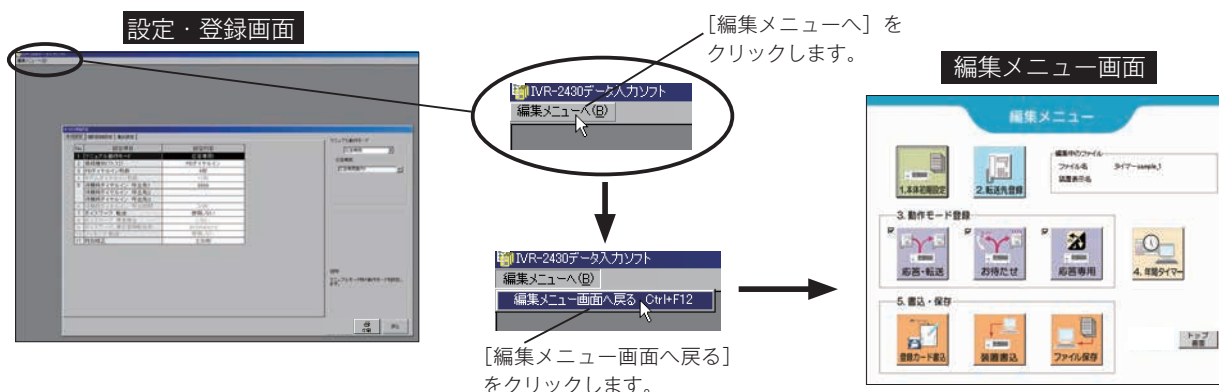
■ 特定日の削除確認

複数の特定日を一括で削除しようとしたときに、鉛筆形ポインターで日付を右クリックすると「特定日削除設定メニュー」が表示され、希望する項目をクリックすると削除の対象となる特定日が表示されます。

登録内容を書き込み／保存する

◎ 作成した応答転送・年間タイマーなどのデータを、メモリーカードや本体装置に書き込みます。また、制御用パソコンのハードディスクなどに保存します。書き込み／保存は、【編集メニュー】画面の［登録カード書込］［装置書込］［ファイル保存］ボタンで行います。

●【編集メニュー】画面の呼び出し

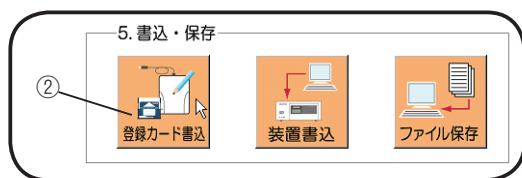
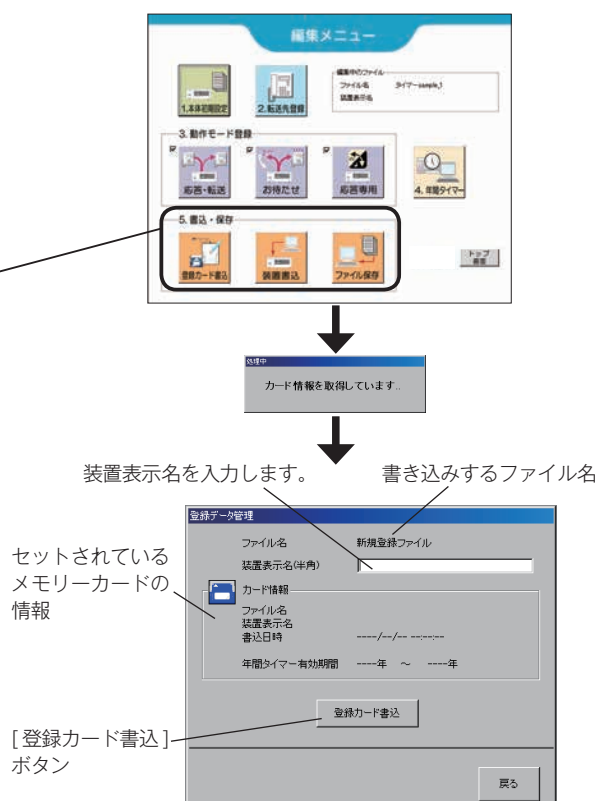
データの設定・登録を終了して【編集メニュー】画面に戻るときは、各画面の［戻る］ボタンを繰り返し押して一画面ずつ戻る方法と、次のように画面左上の［編集メニューへ］をクリックして戻る方法があります。

ワンポイント

●【トップ画面】から【編集メニュー】画面を開くには、［登録カード読込］·［装置読込］または［ファイル読込］ボタンで作成済みの登録データを読み込みして開きます。詳しくは「データ編 - 登録内容を編集する」（158ページ）を参照してください。

1．メモリーカードに書き込む

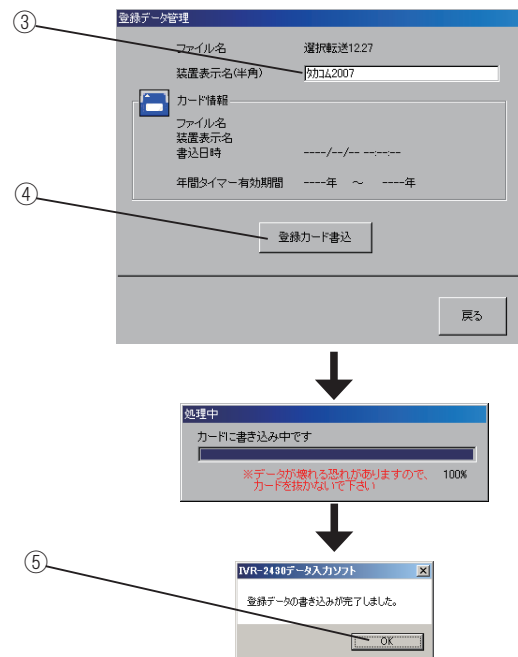
◎ 作成したデータを、登録・集計用メモリーカードに書き込みます。

① 添付品の登録・集計用メモリーカード（KFC-60M）を、カードライトアダプタ（CWA-100）にセットします。

② 【編集メニュー】画面の［登録カード書込］ボタンをクリックします。

・セットされている登録・集計用メモリーカードのカード情報を取得したあと、【登録データ管理】画面が表示されます。

③ 装置表示名を入力します。
装置表示名は、半角で 10 文字まで入力できます。
ここで入力した装置表示名は、本体装置のディスプレイに表示されます。

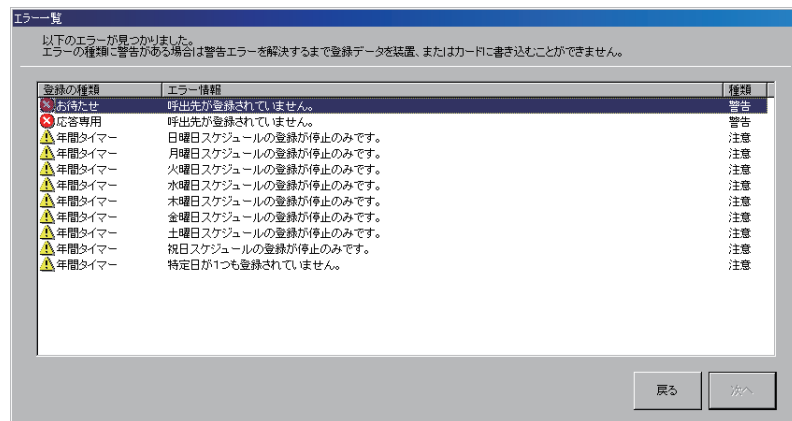
④［登録カード書込］ボタンをクリックします。
・データの書き込みが始まります。

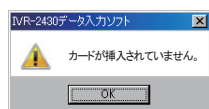
・書き込みが終了すると、完了の案内を表示します。

⑤［OK］ボタンをクリックします。
【編集メニュー】画面に戻ります。

エラー表示について

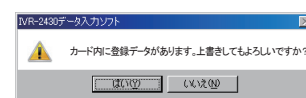
登録データの書き込みをするときに、作成したデータに不合理があると、エラー一覧として表示されます。
エラー表示には次の 2 種類があります。

● 警告：この表示があるときは、エラーが解決するまでデータの書き込みができません。
［戻る］ボタンで【編集メニュー】画面に戻り、データを確認して不合理を修正してください。

● 注意：運用上に問題がないか確認してください。問題がなければ「次へ」ボタンをクリックすると、データの書き込みを継続します。

ワンポイント

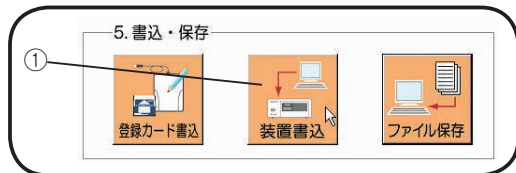
● 登録・集計用メモリーカードがセットされていない場合は、次の警告表示をします。

［OK］ボタンをクリックして、登録・集計用メモリーカードをセットしてからやり直してください。

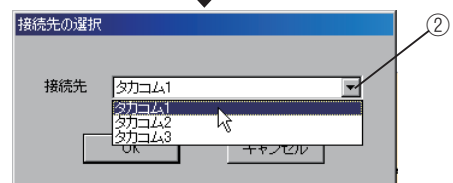
ワンポイント

● 登録・集計用メモリーカードに既にデータが書き込まれている場合は、次の警告表示をします。

［はい］ボタンをクリックすると、古いファイルが消去されて新しいファイルが書き込まれます。
・古いファイルの内容は、【編集メニュー】画面で［登録カード書込］ボタンをクリックしたときに、【登録データ管理】画面に表示します。

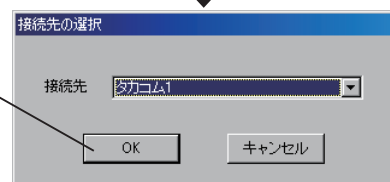
2．本体装置に書き込む（LAN）

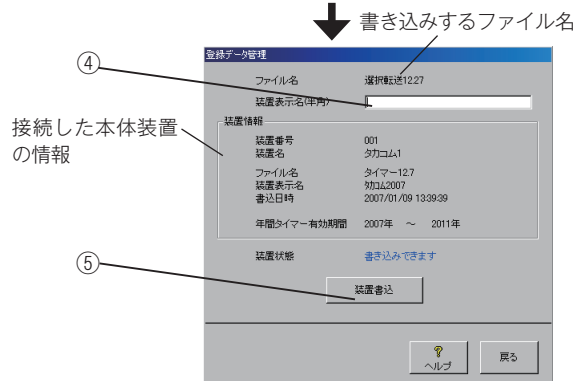
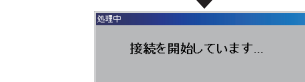
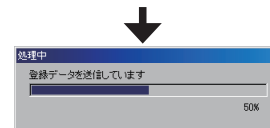
◎ 作成したデータを、LAN 上に接続された IVR-2430 本体装置に直接書き込みます。あらかじめ、IVR-2430 本体装置と制御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本体装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」（34 ページ）、および「データ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」（61 ページ）を参照してください。

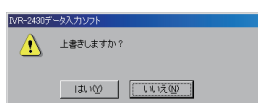
① 【編集メニュー】画面の［装置書込］ボタンをクリックします。

・【接続先の選択】画面が表示されます。
・エラー一覧を表示する場合があります。「エラー表示について」前ページを参照してください。

② ［▼］をクリックして、表示される一覧から接続先を選択します。（複数の IVR-2430 本体装置が LAN 上にある場合）

③ ［OK］ボタンをクリックします。

・本体装置との通信を開始し、接続が完了すると、【登録データ管理】画面が表示されます。

④ 装置表示名を入力します。
装置表示名は、半角で 10 文字まで入力できます。
ここで入力した装置表示名は、本体装置のディスプレイに表示されます。

⑤ ［装置書込］ボタンをクリックします。
・データの書き込みが始まります。

・書き込みが終了すると、完了の案内を表示します。

⑥ ［OK］ボタンをクリックします。
・【編集メニュー】画面に戻ります。

ワンポイント

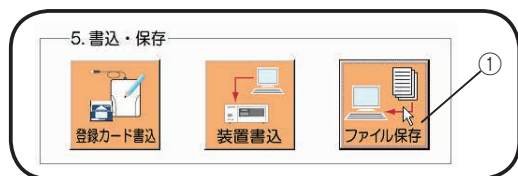
● 本体装置に既にデータが書き込まれている場合は、次の警告表示をします。

［はい］ボタンをクリックすると、古い登録データが消去されて新しい登録データが書き込まれます。
・古い登録データの内容は、本体装置との接続が完了したときに、【登録データ管理】画面に表示します。

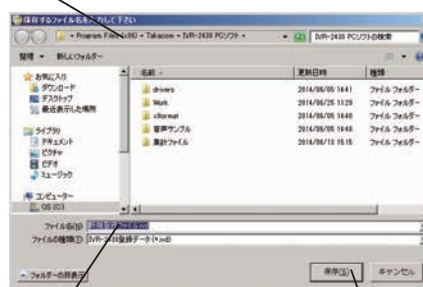
ワンポイント

● データの本体装置への書き込みは、本体装置が「応答セット」中もできます。ただし、本体装置が操作中は［装置書込］ボタンが無効になり、データの書き込み操作はできません。

3．パソコンに保存する

◎ 作成したデータを、制御用パソコンまたは外部メモリーなどに保存します。

① 【編集メニュー】画面の［ファイル保存］ボタンをクリックします。

・【ファイル名入力】の画面が表示されます。

最初に登録データを「ファイル保存」するときは、IVR-2340 データ入力ソフトをインストールしたフォルダに保存するようになっています。

② ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
・【編集メニュー】画面に戻ります。

● 保存先を変更する場合

① 保存する場所を選択してクリックします。
（例）C:￥DATA

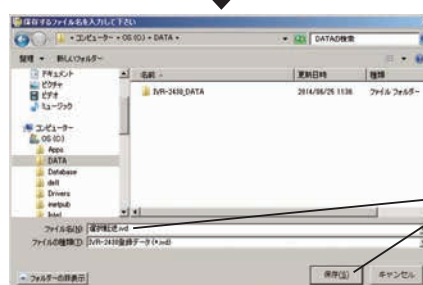
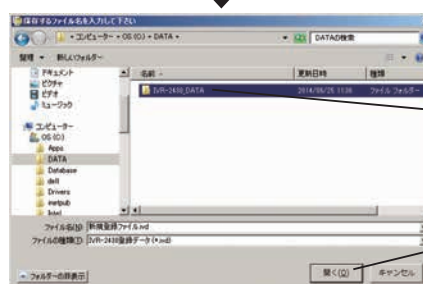
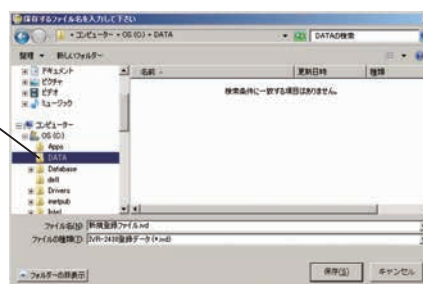
STOP お願い

● データの保存場所に､｢C ドライブ｣直下や「Program-Files｣などのシステムフォルダを指定しないでください。

②「新しいフォルダの作成」で、登録データを保存するフォルダを作成します。（例：IVR-2430_DATA）

③ 作成したフォルダを［開く］ボタンをクリックして開きます。

④ ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
・【編集メニュー】画面に戻ります。

次回からは、［ファイル保存］ボタンをクリックすると、このフォルダ（例：IVR-2430_DATA）を表示します。

登録内容を編集する

◎ メモリーカードや本体装置、または制御用パソコンのハードディスクなどに保存した応答転送・年間タイマーなどのデータを読み込んで編集します。データの読み込みは、【トップ画面】の［登録カード読込］［装置読込］［ファイル読込］ボタンで行います。

1．メモリーカードから読み込んで編集する

◎ 登録・集計用メモリーカードに書き込まれたデータを、読み込んで編集します。

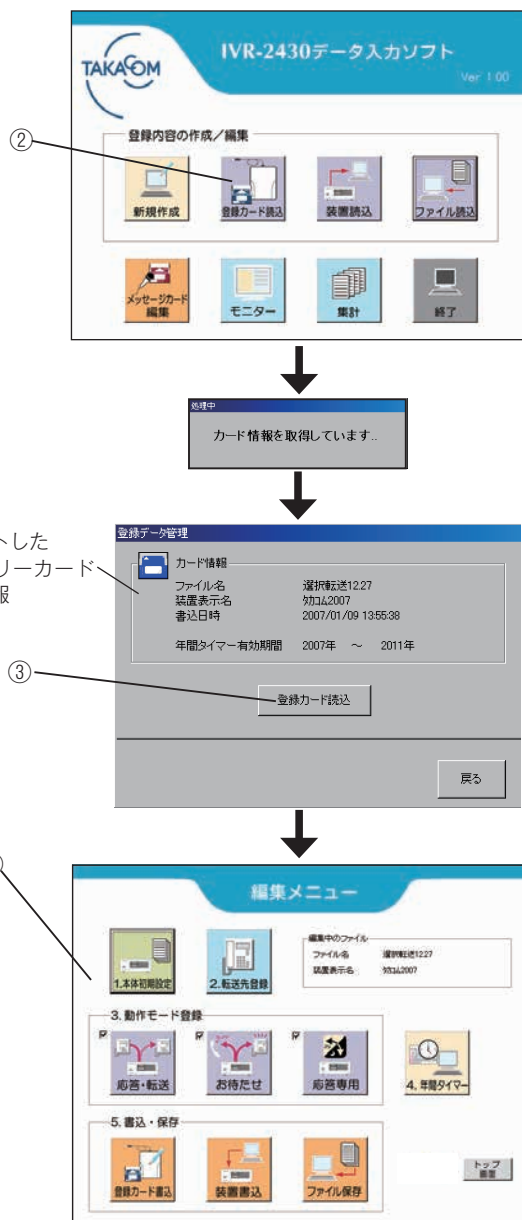
① 登録データが書き込まれた、登録・集計用メモリーカード（KFC-60M）を、カードライトアダプタ（CWA-100）にセットします。

②【トップ画面】の［登録カード読込］ボタンをクリックします。

・セットした登録・集計用メモリーカードのカード情報を取得したあと、【登録データ管理】画面が表示されます。

③［登録カード読込］ボタンをクリックします。

・データを読み込んで、【編集メニュー】画面を表示します。

④【編集メニュー】画面から、編集したい項目を選んで登録内容の変更を行います。
変更のしかたは、「新しくデータを作成する」と同じです。各項目を参照してください。

ワンポイント

● 各データ設定・登録の参照ページは、次の通りです。

・本体初期設定　　　　：64 ページ
・転送先登録　　　　　：75 ページ
・選択転送モード　　　：80 ページ
・ツリー転送モード　　：90 ページ
・ダイレクト転送モード：106 ページ
・無条件転送モード　　：116 ページ
・お待たせモード　　　：118 ページ
・応答専用モード　　　：128 ページ
・年間タイマー登録　　：136 ページ

2．本体装置から読み込んで編集する（LAN）

◎ LAN 上に接続された IVR-2430 本体装置のデータを直接読み込んで編集します。あらかじめ、IVR-2430 本体装置と制御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」（34 ページ）、および「データ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」（61 ページ）を参照してください。

① 【トップ画面】の［装置読込］ボタンをクリックします。

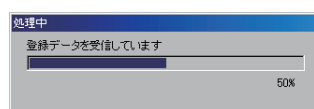
・【接続先の選択】画面が表示されます。

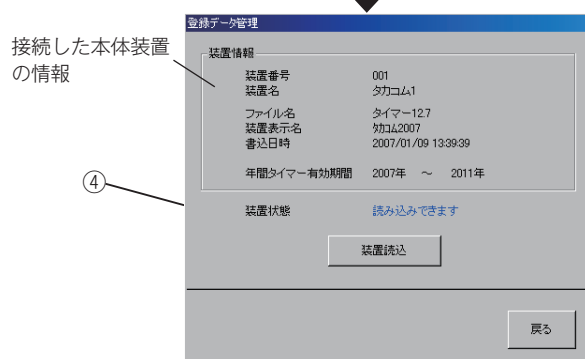
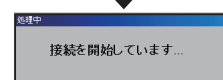
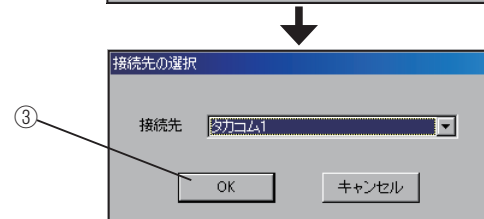
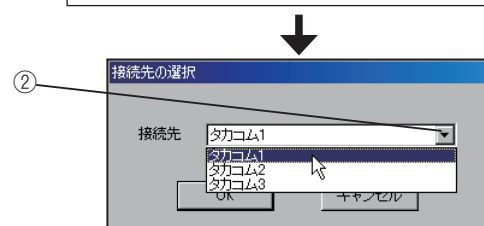
② ［▼］をクリックして、表示される一覧から接続先を選択します。（複数の IVR-2430 本体装置が LAN 上にある場合）

③ ［OK］ボタンをクリックします。

・本体装置との通信を開始し、接続が完了すると、【登録データ管理】画面が表示されます。

④ ［装置読込］ボタンをクリックします。

・データの読み込みが始まります。

・読み込みが終了すると、【編集メニュー】画面を表示します。

⑤ 【編集メニュー】画面から、編集したい項目を選んで登録内容の変更を行います。
変更のしかたは、「新しくデータを作成する」と同じです。各項目を参照してください。

ワンポイント

● データの本体装置からの読み込みは、本体装置が「応答セット」中もできます。ただし、本体装置が操作中は［装置読込］ボタンが無効になり、データの読み込み操作はできません。

3．ファイルから読み込んで編集する

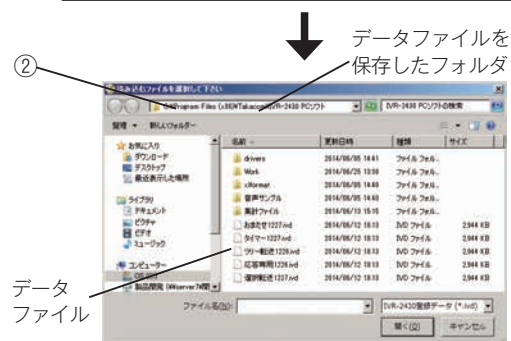
◎ 制御用パソコンまたは外部メモリーなどに保存したデータファイルを、読み込んで編集します。

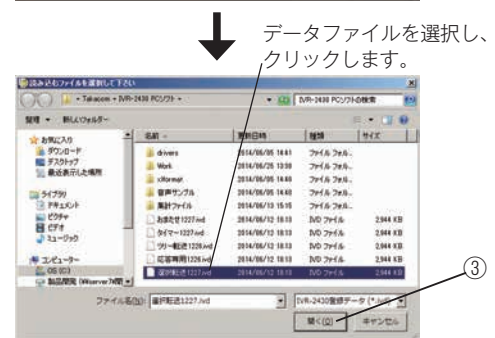
①【トップ画面】の［ファイル読込］ボタンをクリックします。

・【読込ファイル選択】の画面が表示されます。

②「登録内容を書き込み／保存する」でファイル保存したフォルダを開きます。

データファイルを保存したフォルダ

データファイルを選択し、クリックします。

③ 保存されているファイルを選択してクリックするか、ファイル名を入力して、[開く] ボタンをクリックします。

・選択したファイルを読み込んで【編集メニュー】画面を表示します。

④【編集メニュー】画面から、編集したい項目を選んで登録内容の変更を行います。
変更のしかたは､「新しくデータを作成する」と同じです。
各項目を参照してください。

ワンポイント

● 各データ設定・登録の参照ページは、次の通りです。

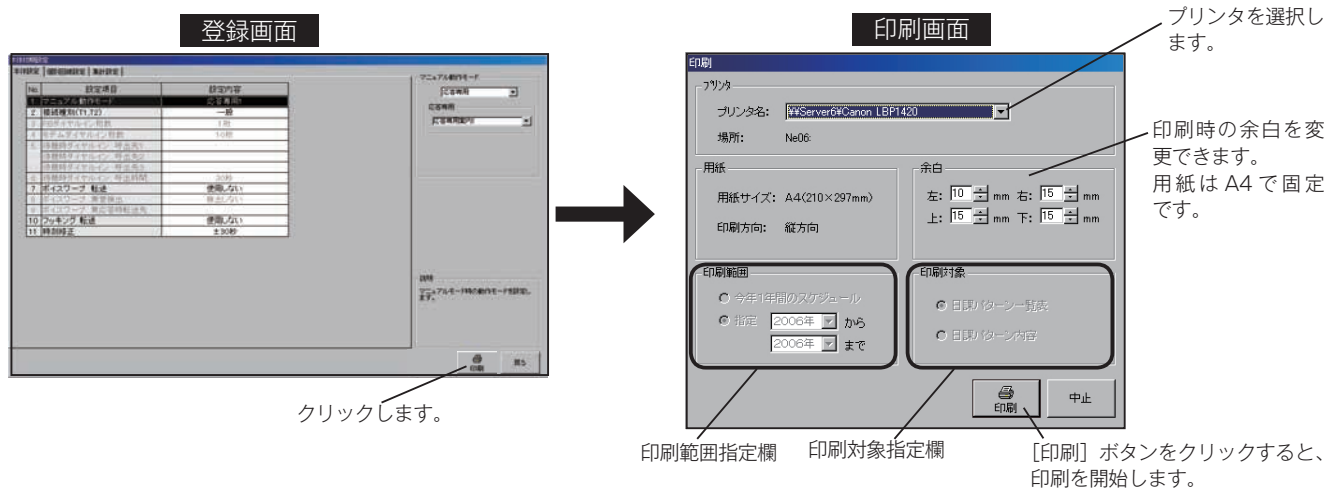
・本体初期設定　：64 ページ
・転送先登録　：75 ページ
・選択転送モード　：80 ページ
・ツリー転送モード　：90 ページ
・ダイレクト転送モード：106 ページ
・無条件転送モード　：116 ページ
・お待たせモード　：118 ページ
・応答専用モード　：128 ページ
・年間タイマー登録　：136 ページ

登録内容を印刷する

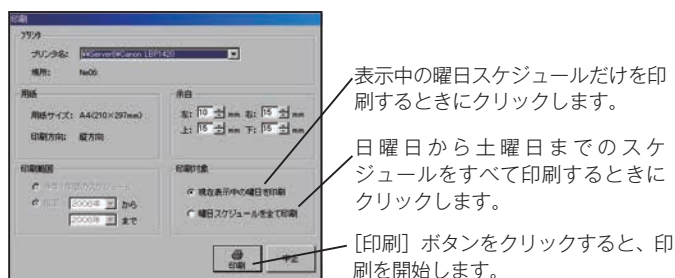
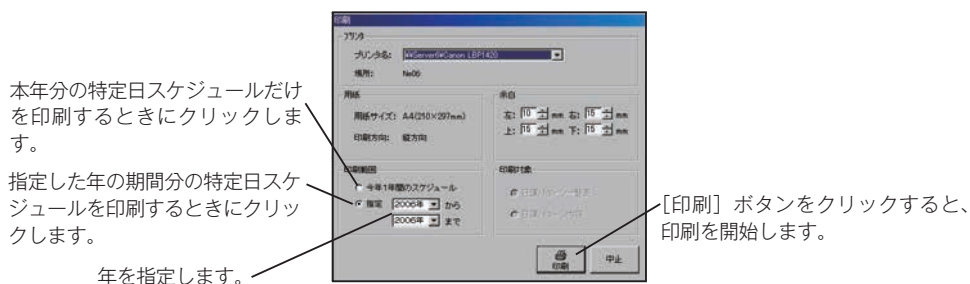
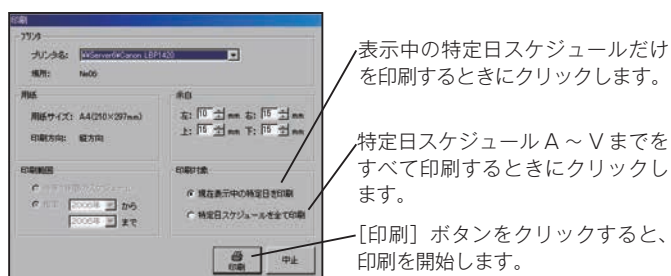
◎ 各登録画面の［印刷］ボタンをクリックすると、登録内容を印刷することができます。

1．印刷画面の設定

■ 印刷画面の呼び出し

各登録画面の［印刷］ボタンをクリックして【印刷】画面を表示し、プリンタの設定などを行います。

■ 印刷範囲・印刷対象について

年間タイマーの登録で、【曜日スケジュールの編集】、【特定日スケジュールの登録】、【特定日スケジュールの編集】の各画面で［印刷］ボタンをクリックすると、［印刷範囲］または［印刷対象］の指定欄が有効になります。内容に従って印刷項目を選択して印刷してください。

●「曜日スケジュールの編集」の【印刷画面】

●「特定日スケジュールの登録」の【印刷画面】

●「特定日スケジュールの編集」の【印刷画面】

2．印刷の例

● 本体初期設定（1/2）

本体初期設定

ファイル名：選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 08:59

本体設定

No	設定項目	設定内容
1	マニュアル動作モード	応答専用1
2	接続種別（T1,T2）	PBﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
3	PBダイヤルイン桁数	4桁
4	モデムダイヤルイン桁数	10桁
5	待機時ダイヤルイン　呼出先1	9999
	待機時ダイヤルイン　呼出先2	
	待機時ダイヤルイン　呼出先3	
6	待機時ダイヤルイン　呼出時間	30秒
7	ボイスワープ　転送	使用する
8	ボイスワープ　無音検出	しない
9	ボイスワープ　無応答時転送先	9876543210
10	フッキング　転送	使用しない
11	時刻修正	±30秒

個別回線設定
LINEボード　A

No	設定項目	回線1	回線2	回線3	回線4	回線5	回線6
1	接続種別（L1,L2）	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線	一般回線
2	回線種別	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS	20PPS
3	ダイヤルトーン検出	する	する	する	する	する	する
4	ベル検出　極性判定	する	する	する	する	する	する
5	終話検出　極性判定	する	する	する	する	する	する
6	相手応答検出	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転	極性反転
7	受話器下ろし確定時間	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒	2.0秒
8	選択番号　桁間時間	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒	1.5秒
9	フッキング時間	600ms	600ms	600ms	600ms	600ms	600ms
10	追っかけ間隔時間	2秒	2秒	2秒	2秒	2秒	2秒
11	PBX内線呼戻しベル検出	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない	検出しない
12	回線閉塞時間	30分	30分	30分	30分	30分	30分
13	集計グループ	グループ1	グループ1	グループ2	グループ2	グループ3	グループ4

● 本体初期設定（2/2）

本体初期設定

ファイル名：選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 08:59

LINEボード　D

No	設定項目	回線19	回線20	回線21	回線22	回線23	回線24
1	接続種別（L1,L2）	――――	――――	――――	――――	――――	――――
2	回線種別	――――	――――	――――	――――	――――	――――
3	ダイヤルトーン検出	――――	――――	――――	――――	――――	――――
4	ベル検出　極性判定	――――	――――	――――	――――	――――	――――
5	終話検出　極性判定	――――	――――	――――	――――	――――	――――
6	相手応答検出	――――	――――	――――	――――	――――	――――
7	受話器下ろし確定時間	――――	――――	――――	――――	――――	――――
8	選択番号　桁間時間	――――	――――	――――	――――	――――	――――
9	フッキング時間	――――	――――	――――	――――	――――	――――
10	追っかけ間隔時間	――――	――――	――――	――――	――――	――――
11	PBX内線呼戻しベル検出	――――	――――	――――	――――	――――	――――
12	回線閉塞時間	――――	――――	――――	――――	――――	――――
13	集計グループ	――――	――――	――――	――――	――――	――――

集計設定

No	項目名	設定項目	設定内容
1	集計動作	時集計	集計する
2		日集計	集計する
3		週集計	集計する
4		月集計	集計する
5		データの上書き	上書きする
6	集計単位時間	即時応答	10秒
7		即時放棄	10秒
8		本体応答後応答	10秒
9		本体応答後放棄	10秒
10		トラフィック集計 動作時応答	10秒
11		トラフィック集計 動作時放棄	10秒
12	応答・転送（IVR）集計表示	選択転送	する
13		ツリー転送	する
14		ダイレクト転送	する
15		無条件転送	する
16		即時応答	する
17	お待たせ集計表示	応答	する(詳細あり)
18		放棄	する(詳細あり)
19	応答専用　集計表示	応答専用	する
20	その他　集計表示	通話・全回線話中	する

● 転送先登録

転送先登録

ファイル名：選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:08

No.	使用	転送先名	電話番号	転送種別
		ボイスワープ無応答時転送先	9876543210	ﾎﾞｲｽﾜｰﾌﾟ
		待機時ダイヤルイン呼出先1	9999	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
		待機時ダイヤルイン呼出先2		ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
		待機時ダイヤルイン呼出先3		ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
		一般／ND呼出	―――	一般/ND
1	○	総務部・総務1課	1001	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
2	○	総務部・総務2課	1002	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
3	○	営業部・営業1課	2001	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
4	○	営業部・営業2課	2002	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
5	○	営業部・営業3課	2003	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
6	○	技術部・設計課	3001	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
7	○	技術部・技術課	3002	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
8	○	資材部・購買課	4001	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
9	○	資材部・資材課	4002	ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ
10		問合せセンター	0123456789	ﾎﾞｲｽﾜｰﾌﾟ
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				

登録内容を印刷する

● メッセージ設定（1/2）

メッセージ設定

ファイル名：選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:13

種類	ch	使用	メッセージ名	コメント
共通メッセージ	1	○	挨拶	挨拶
	2	○	総合案内	総合案内
	3	○	選択繰返	選択繰返
	4	○	終了案内	終了案内
	5	○	保留音	保留音
選択転送	6	○	選択転送案内1	選択転送案内1
	7	○	選択転送案内2	選択転送案内2
	8	○	選択転送案内3	選択転送案内3
	9		選択転送案内4	選択転送案内4
	10		選択転送案内5	選択転送案内5
	11		選択転送案内6	選択転送案内6
	12		選択転送案内7	選択転送案内7
	13		選択転送案内8	選択転送案内8
	14		選択転送案内9	選択転送案内9
	15		選択転送案内10	選択転送案内10
	16		選択転送案内11	選択転送案内11
	17		選択転送案内12	選択転送案内12
	18		選択転送案内13	選択転送案内13
	19		選択転送案内14	選択転送案内14
	20		選択転送案内15	選択転送案内15
	21		選択転送案内16	選択転送案内16
	22		選択転送案内17	選択転送案内17
	23		選択転送案内18	選択転送案内18
	24		選択転送案内19	選択転送案内19
	25		選択転送案内20	選択転送案内20
ダイレクト転送	26		ダイレクト転送案内	ダイレクト転送案内
ツリー転送	27	○	ツリー1 案内1	ツリー1 案内1
	28	○	ツリー1 案内2 1	ツリー1 案内2 1
	29	○	ツリー1 案内2 2	ツリー1 案内2 2
	30	○	ツリー1 案内2 3	ツリー1 案内2 3
	31		ツリー1 案内2 4	ツリー1 案内2 4
	32		ツリー1 案内2 5	ツリー1 案内2 5
	33		ツリー1 案内2 6	ツリー1 案内2 6
	34		ツリー1 案内2 7	ツリー1 案内2 7
	35		ツリー1 案内2 8	ツリー1 案内2 8
	36		ツリー1 案内2 9	ツリー1 案内2 9
	37	○	ツリー1 案内3 1-1	ツリー1 案内3 1-1
	38	○	ツリー1 案内3 1-2	ツリー1 案内3 1-2
	39	○	ツリー1 案内3 1-3	ツリー1 案内3 1-3
	40	○	ツリー1 案内3 1-4	ツリー1 案内3 1-4
	41		ツリー1 案内3 1-5	ツリー1 案内3 1-5
	42		ツリー1 案内3 1-6	ツリー1 案内3 1-6
	43		ツリー1 案内3 1-7	ツリー1 案内3 1-7
	44		ツリー1 案内3 1-8	ツリー1 案内3 1-8
	45		ツリー1 案内3 1-9	ツリー1 案内3 1-9
	46	○	ツリー1 案内3 2-1	ツリー1 案内3 2-1
	47	○	ツリー1 案内3 2-2	ツリー1 案内3 2-2
	48		ツリー1 案内3 2-3	ツリー1 案内3 2-3
	49		ツリー1 案内3 2-4	ツリー1 案内3 2-4
	50		ツリー1 案内3 2-5	ツリー1 案内3 2-5
	51		ツリー1 案内3 2-6	ツリー1 案内3 2-6
	52		ツリー1 案内3 2-7	ツリー1 案内3 2-7
	53		ツリー1 案内3 2-8	ツリー1 案内3 2-8
	54		ツリー1 案内3 2-9	ツリー1 案内3 2-9
	55	○	ツリー1 案内3 3-1	ツリー1 案内3 3-1
	56	○	ツリー1 案内3 3-2	ツリー1 案内3 3-2
	57		ツリー1 案内3 3-3	ツリー1 案内3 3-3
	58		ツリー1 案内3 3-4	ツリー1 案内3 3-4
	59		ツリー1 案内3 3-5	ツリー1 案内3 3-5
	60		ツリー1 案内3 3-6	ツリー1 案内3 3-6
	61		ツリー1 案内3 3-7	ツリー1 案内3 3-7
	62		ツリー1 案内3 3-8	ツリー1 案内3 3-8
	63		ツリー1 案内3 3-9	ツリー1 案内3 3-9

● メッセージ設定（2/2）

メッセージ設定

ファイル名：選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:13

種類	ch	使用	メッセージ名	コメント
	190		ツリー2 案内3 7-9	ツリー2 案内3 7-9
	191		ツリー2 案内3 8-1	ツリー2 案内3 8-1
	192		ツリー2 案内3 8-2	ツリー2 案内3 8-2
	193		ツリー2 案内3 8-3	ツリー2 案内3 8-3
	194		ツリー2 案内3 8-4	ツリー2 案内3 8-4
	195		ツリー2 案内3 8-5	ツリー2 案内3 8-5
	196		ツリー2 案内3 8-6	ツリー2 案内3 8-6
	197		ツリー2 案内3 8-7	ツリー2 案内3 8-7
	198		ツリー2 案内3 8-8	ツリー2 案内3 8-8
	199		ツリー2 案内3 8-9	ツリー2 案内3 8-9
	200		ツリー2 案内3 9-1	ツリー2 案内3 9-1
	201		ツリー2 案内3 9-2	ツリー2 案内3 9-2
	202		ツリー2 案内3 9-3	ツリー2 案内3 9-3
	203		ツリー2 案内3 9-4	ツリー2 案内3 9-4
	204		ツリー2 案内3 9-5	ツリー2 案内3 9-5
	205		ツリー2 案内3 9-6	ツリー2 案内3 9-6
	206		ツリー2 案内3 9-7	ツリー2 案内3 9-7
	207		ツリー2 案内3 9-8	ツリー2 案内3 9-8
	208		ツリー2 案内3 9-9	ツリー2 案内3 9-9
転送案内	209	○	不応答案内	不応答案内
	210	○	話中案内	話中案内
	211	○	転送繰返案内	転送繰返案内
	212	○	未確定終了案内	未確定終了案内
	213	○	不出終了案内	不出終了案内
	214	○	転送中案内	転送中案内
呼出案内	215		呼出案内1	呼出案内1
	216		呼出案内2	呼出案内2
	217		呼出案内3	呼出案内3
	218		呼出案内4	呼出案内4
	219		呼出案内5	呼出案内5
	220		呼出案内6	呼出案内6
	221		呼出案内7	呼出案内7
	222		呼出案内8	呼出案内8
	223		呼出案内9	呼出案内9
	224		呼出案内10	呼出案内10
	225		呼出案内11	呼出案内11
着信案内	226		着信案内1	着信案内1
	227		着信案内2	着信案内2
	228		着信案内3	着信案内3
	229		着信案内4	着信案内4
	230		着信案内5	着信案内5
	231		着信案内6	着信案内6
	232		着信案内7	着信案内7
	233		着信案内8	着信案内8
	234		着信案内9	着信案内9
	235		着信案内10	着信案内10
	236		着信案内11	着信案内11
お待たせ	237	○	お待たせ第1	お待たせ第1
	238	○	お待たせ第2	お待たせ第2
	239		選択呼出	選択呼出
応答専用	240	○	応答専用案内1	応答専用案内1
	241	○	応答専用案内2	応答専用案内2
	242	○	応答専用案内3	応答専用案内3
	243	○	応答専用案内4	応答専用案内4
	244	○	応答専用案内5	応答専用案内5
	245	○	応答専用案内6	応答専用案内6
	246	○	応答専用案内7	応答専用案内7
	247	○	応答専用案内8	応答専用案内8
	248	○	応答専用案内9	応答専用案内9
	249	○	応答専用案内10	応答専用案内10

● 選択転送（転送先設定）

選択転送
転送先設定

ファイル名：選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:11

V：ボイスワープ
D：ダイヤルイン
H：フッキング

選択転送パターン1　営業日昼間

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
1	総務部・総務1課 [D]	総務部・総務2課 [D]		使用しない	使用しない
2	営業部・営業1課 [D]	営業部・営業2課 [D]	営業部・営業3課 [D]	使用しない	使用しない
3	技術部・設計課 [D]	技術部・技術課 [D]		使用しない	使用しない
4	資材部・購買課 [D]	資材部・資材課 [D]		使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
未選択	総務部・総務1課 [D]			使用しない	使用しない

選択転送パターン2　営業日夜間

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
1	総務部・総務1課 [D]			使用しない	使用しない
2	営業部・営業1課 [D]			使用しない	使用しない
4	資材部・購買課 [D]			使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
未選択	営業部・営業1課 [D]			使用しない	使用しない

選択転送パターン3　休日

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
3	総務部・総務1課 [D]			使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
				使用しない	使用しない
未選択	切断			使用しない	使用しない

● ツリー転送（転送先設定）

ツリー転送
転送先設定

ファイル名：ツリー転送12.26
印刷日時 2007/01/26 09:15

V：ボイスワープ
D：ダイヤルイン
H：フッキング

ツリー転送パターン1 [案内1]：ツリー転送パターン1 未選択

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
未選択	切断			使用しない	使用しない

ツリー転送パターン1 [案内1]：ツリー転送パターン1 [案内2]：1 [案内3]：1－1 3階層転送

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
1	営業1課鈴木 [D]	営業1課青木 [D]	営業1課安藤 [D]	使用しない	使用しない
2	営業1課青木 [D]	営業1課安藤 [D]		使用しない	使用しない
3	営業1課安藤 [D]			使用しない	使用しない
4				使用しない	使用しない
5				使用しない	使用しない
6				使用しない	使用しない
7				使用しない	使用しない
8				使用しない	使用しない
9				使用しない	使用しない

ツリー転送パターン1 [案内1]：ツリー転送パターン1 [案内2]：1 [案内3]：1－2 3階層直接転送

選択番号	第1転送先	第2転送先	第3転送先	呼出案内	着信案内
	○○センター [V]			使用しない	使用しない

● 年間タイマー（曜日スケジュール）

年間タイマー
日曜日スケジュール

ファイル名 ： 選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:18

登録	開始時刻	終了時刻	動作モード
1	0:00	8:00	f 応答専用 1
2	8:00	20:00	a 選択転送 3
3	20:00	24:00	f 応答専用 2
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

● 年間タイマー（特定日スケジュール）

年間タイマー
特定日スケジュール A　コメント：ゴールデンウイーク

ファイル名 ： 選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:24

登録	開始時刻	終了時刻	動作モード
1	0:00	24:00	f 応答専用 4
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

● 年間タイマー（祝日スケジュール）

年間タイマー
祝日スケジュール

ファイル名 ： 選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:20

登録	開始時刻	終了時刻	動作モード
1	0:00	24:00	f 応答専用 3
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			

● 年間タイマー（祝日一覧）

年間タイマー
祝日一覧

ファイル名 : 新規登録ファイル
印刷日時 2007/01/26 10:31

日付	祝日名
１月　１日	元旦
１月 第２月曜日	成人の日
２月　１１日	建国記念の日
３月２０，２１日	春分の日
４月　２９日	昭和の日
５月　３日	憲法記念日
５月　４日	みどりの日
５月　５日	こどもの日
７月 第３月曜日	海の日
９月２２，２３日	秋分の日
９月 第３月曜日	敬老の日
１０月 第２月曜日	体育の日
１１月　３日	文化の日
１１月　２３日	勤労感謝の日
１２月　２３日	天皇誕生日
ー月　ー日	国民の休日

● 年間タイマー（特定日一覧）

年間タイマー
特定日一覧

ファイル名 ： 選択転送12.27
印刷日時 2007/01/26 09:25

２００７年　１月

日	月	火	水	木	金	土
	1 祝日	2 D	3 D	4 D	5	6
7	8 祝日	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

２００７年　２月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11 祝日	12 祝日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

２００７年　３月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21 祝日	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

２００７年　４月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29 祝日	30 祝日					

２００７年　５月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3 祝日	4 祝日	5 祝日
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

２００７年　６月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※日付のみが表示されている日は、該当の曜日スケジュールが設定されています。

メッセージカードを編集する

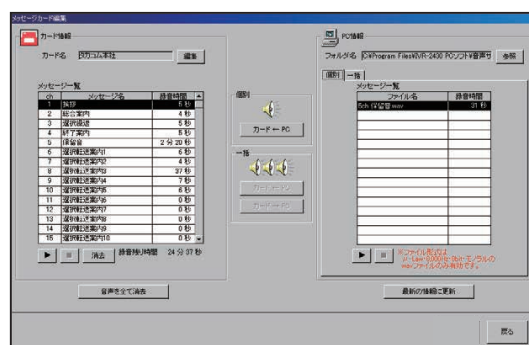
◎ 本体装置で録音した各種の案内メッセージを制御用パソコンに保存したり、制御用パソコンの音声ファイルをメッセージ用メモリーカード（JFC-60M）に書き込むなどの操作ができます。
メッセージ用メモリーカードをカードライトアダプタ（CWA-100）にセットしておいてください。

■ メッセージカード編集画面の呼び出し

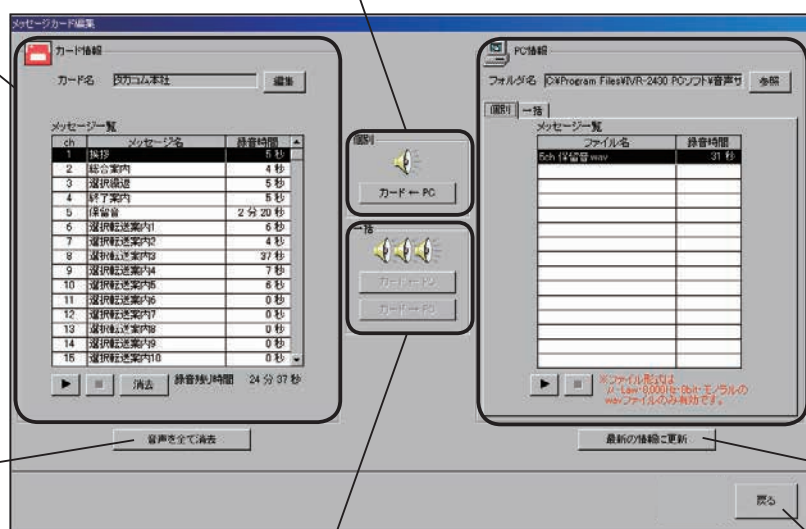
【トップ画面】の［メッセージカード編集］ボタンをクリックします。

トップ画面

クリックします。

メッセージカード編集画面

カード情報
メモリーカードに保存されているメッセージの情報を表示します。

メッセージを個別にメモリーカードに書き込みます。

PC 情報
制御用パソコンなどに保存されているメッセージの情報を表示します。

メモリーカードのメッセージを一括して消去します。

制御用パソコンなどのメッセージ情報を更新します。

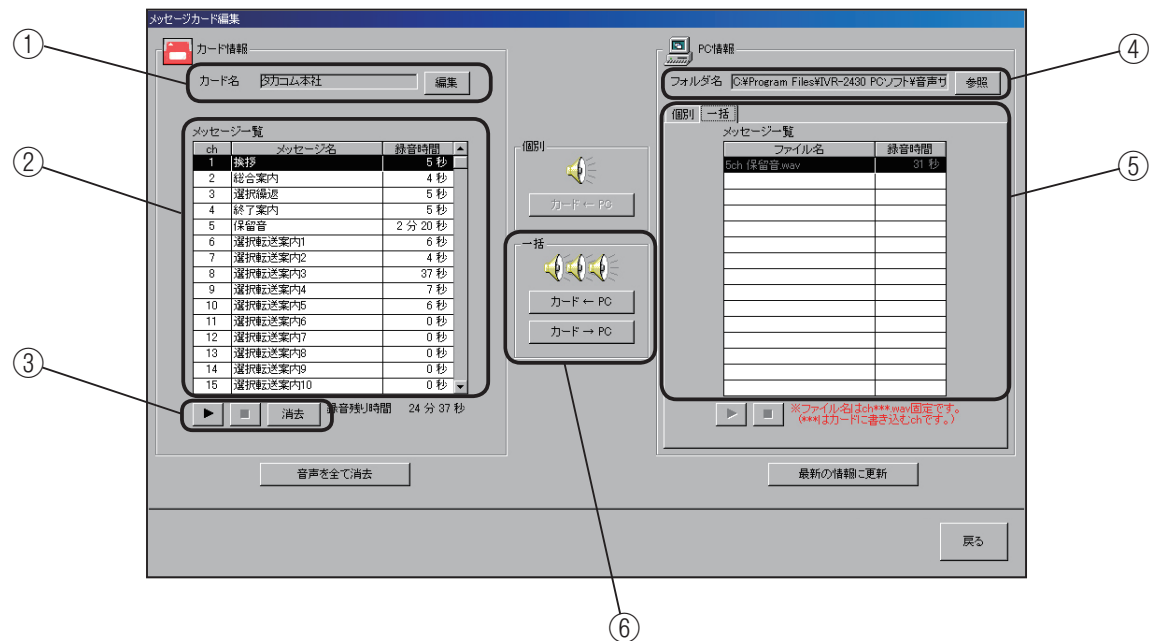
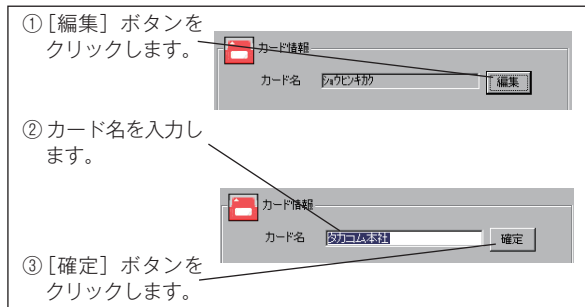
メッセージを一括してメモリーカードに書き込み、またはメモリーカードから読み込みします。

［戻る］ボタン
【トップ画面】に戻ります。

● ［メッセージカード編集］ボタンをクリックしたとき、メッセージ用メモリーカードがセットされていないと、次のように表示します。

メッセージ用メモリーカードをセットして、［OK］ボタンをクリックしてください。

1．メッセージを読み込む

◎メッセージ用メモリーカードに保存されているメッセージを読み込み、制御用パソコンのハードディスクや外部のメモリーに書き込みます。
メッセージをバックアップ保存したり、別のメッセージ用メモリーカードにバックアップしたメッセージを書き込んで、メッセージ用メモリーカードをコピー作成するときなどに行います。

① カード名を確認します。
読み込みするカードの名前を表示します。カード名は[編集］ボタンで編集することができます。

② カード情報のメッセージ一覧で、メッセージ用メモリーカード内のメッセージのチャンネル、録音の有無、録音時間を確認します。

・チャンネル番号　：メッセージのチャンネル番号です。
・メッセージ名　：各メッセージに付けられたメッセージ名（固定）です。
・録音時間　：メッセージの録音時間です。0 秒と表示されたメッセージは、録音されていません。
・スクロールバー　：ドラッグしてメッセージの表示を上下します。

③ メッセージの再生と消去
メッセージ一覧でメッセージを選択して、再生確認と不要なメッセージの消去ができます。

● **再生するとき**

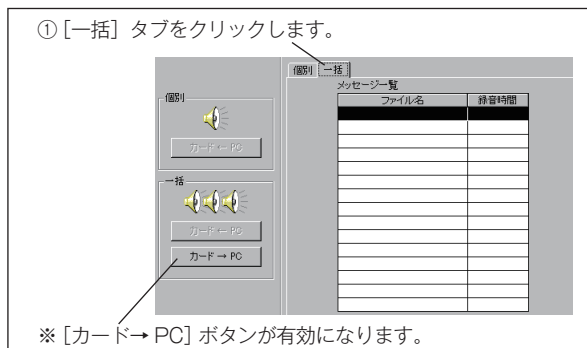
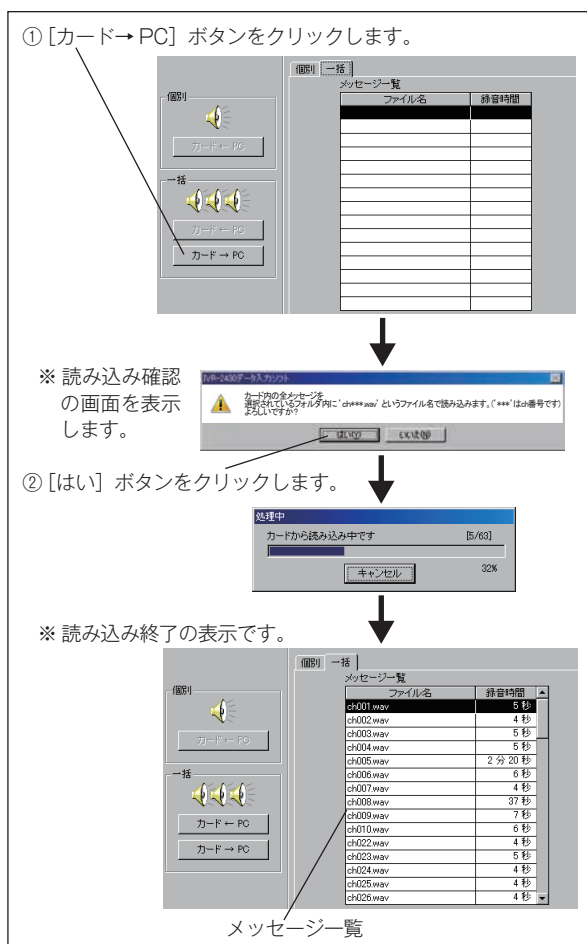
● 消去するとき

・メッセージ用メモリーカード内の該当メッセージが消去され、録音時間が 0 秒になります。

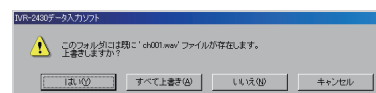
● カード内のメッセージをすべて消去するとき

・メッセージ用メモリーカード内のすべてのメッセージが消去され、録音時間が 0 秒になります。

④ メッセージを読み込むフォルダを作成します。
メッセージの保存場所は、［参照］ボタンをクリックして自由に選べます。「○○用メッセージ」などのフォルダを作成して保存しておくと便利です。

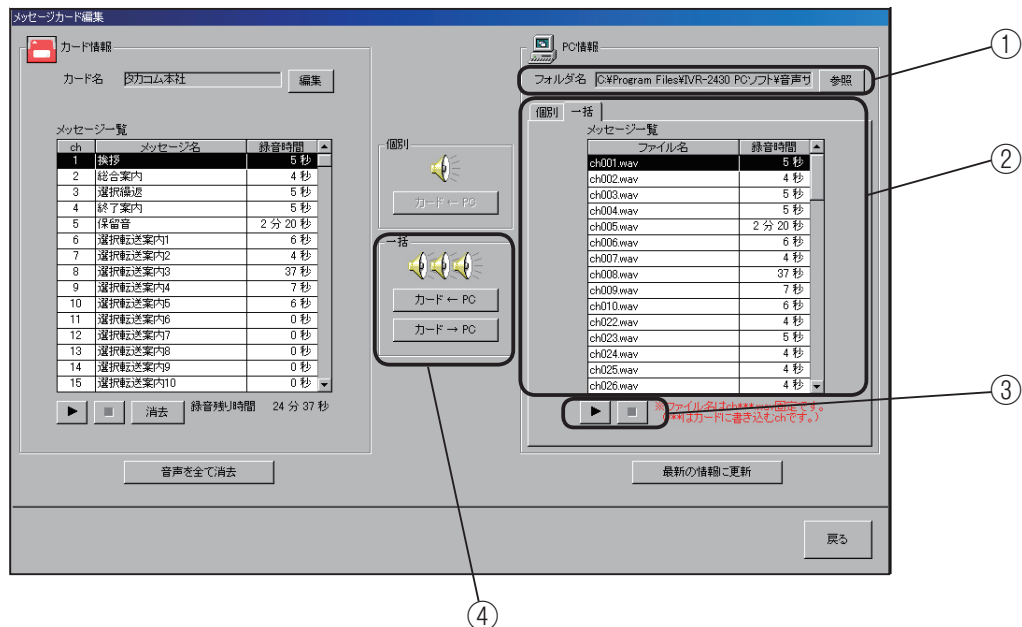
⑤「個別／一括」タブで「一括」をクリックしてメッセージの選択方法を切り替えます。
メッセージ用メモリーカードからのメッセージ読み込みは、一括で行います。個別（メッセージごと）ではできません。

⑥[カード→ PC] ボタンをクリックします。

・メッセージ用メモリーカード内の録音されているメッセージが、自動的にファイル名を付けて保存されます。
・ファイル名は、各メッセージのチャンネル番号が割り当てられ「ch＊＊＊.wav」となり、録音時間と共にメッセージ一覧に表示されます。

ワンポイント

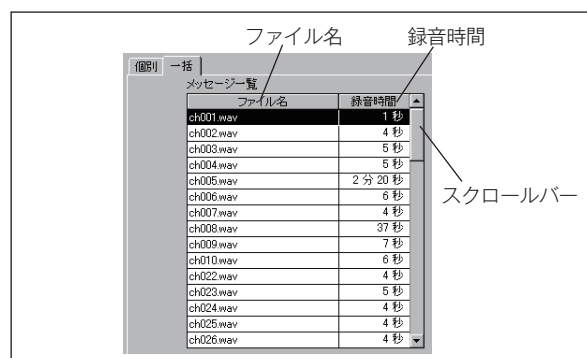
● メッセージ用メモリーカードからメッセージを読み込むときに、指定したフォルダに古いメッセージがある場合には、上書きの確認画面を表示します。

[はい] または [すべて上書き] ボタンをクリックして読み込みを継続してください。

2．メッセージを書き込む

◎ 制御用パソコンのハードディスクや外部のメモリーに保存されているメッセージを、メッセージ用メモリーカードに書き込みます。外部で録音したメッセージを使用して応答転送動作などを運用したいときや、メッセージ用メモリーカードをコピー作成するときなどに行います。

■ メッセージを一括で書き込む

① フォルダの参照
書き込みするメッセージが保存されているフォルダを開きます。

②「個別／一括」タブで「一括」をクリックしてメッセージの選択方法を切り替えます。

・PC 情報のメッセージ一覧で、フォルダ内のファイル名、録音時間を確認します。

・ファイル名　　：各メッセージに付けられたファイル名です。
・録音時間　　　：メッセージの録音時間です。
・スクロールバー：ドラッグしてメッセージの表示を上下します。

③ メッセージの再生
メッセージ一覧でメッセージを選択して、再生確認ができます。

④［カード← PC］ボタンをクリックします。

・一括書き込みされる音声ファイルは、各ファイル名「ch＊＊＊.wav」のチャンネル番号「＊＊＊」に該当するメッセージチャンネルに書き込まれます。

STOP お願い

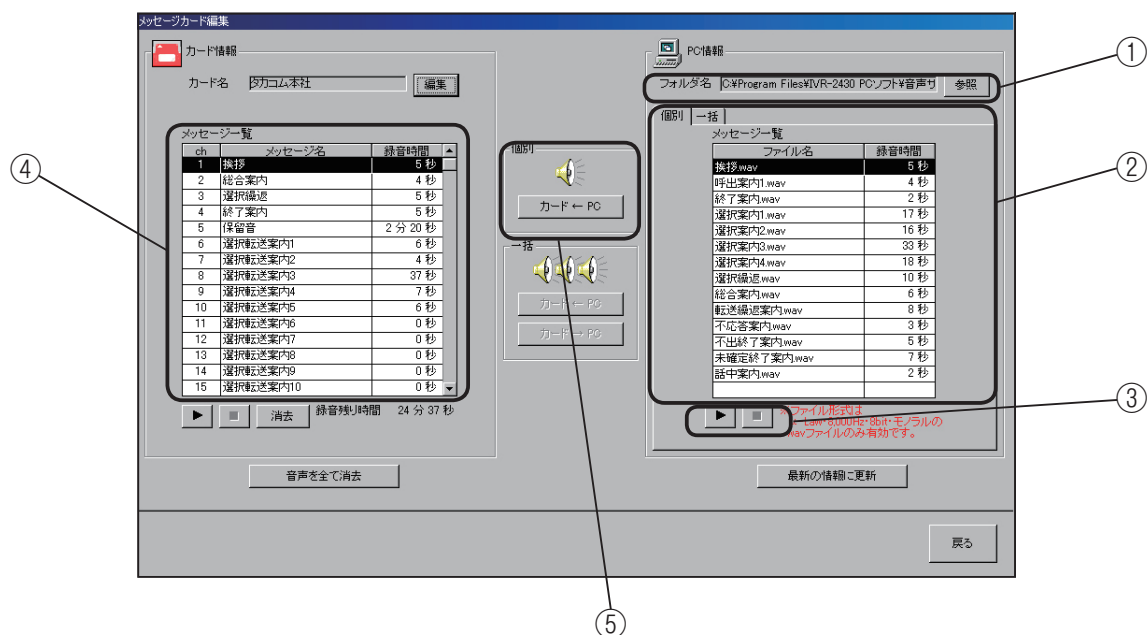
● メッセージ用メモリーカードに書き込みできる音声ファイルは、次の形式の wav ファイルのみです。
・形式：μ-law
・属性：8kHz、8 ビット、モノラル
外部でメッセージを録音して、本システムで利用する場合は、この規格で wav ファイルを作成してください。

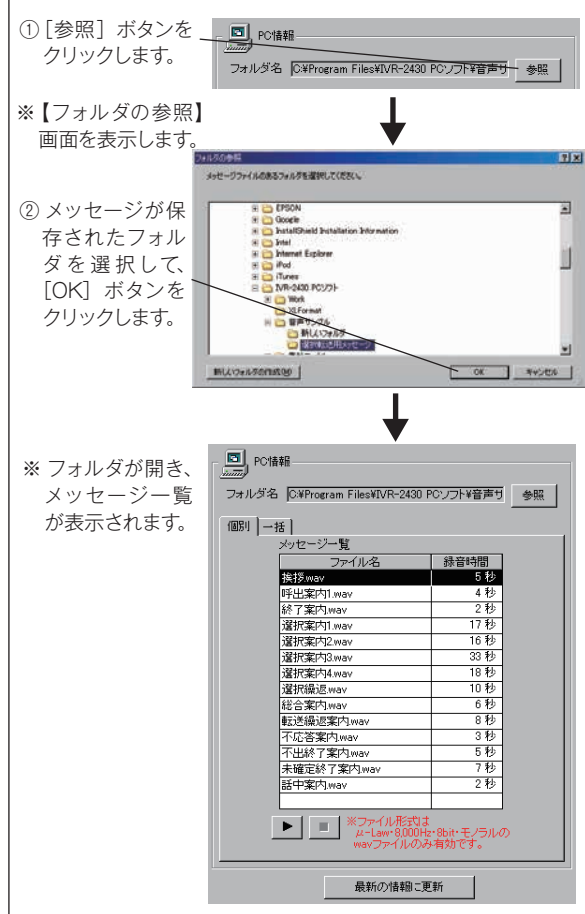
ワンポイント

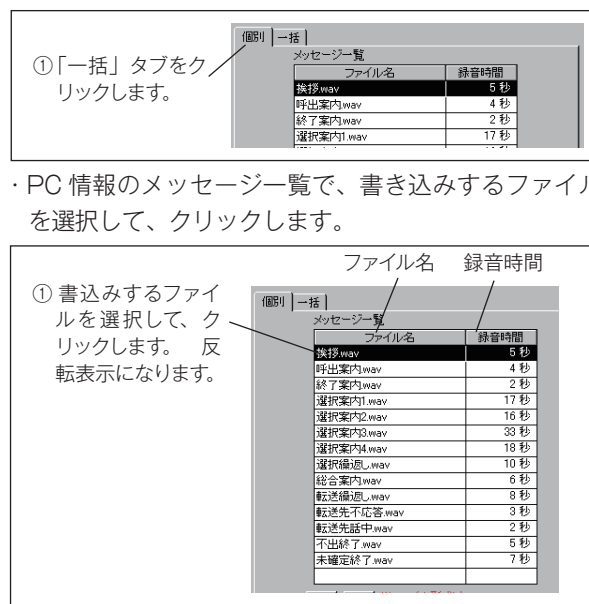
● 一括書き込みされる PC 側のファイルが、メモリーカードに書き込まれたときの例。

PC 情報のファイル名	カード情報のファイル名
ch001.wav	ch1 挨拶
ch002.wav	ch2 総合案内
ch003.wav	ch3 選択繰返

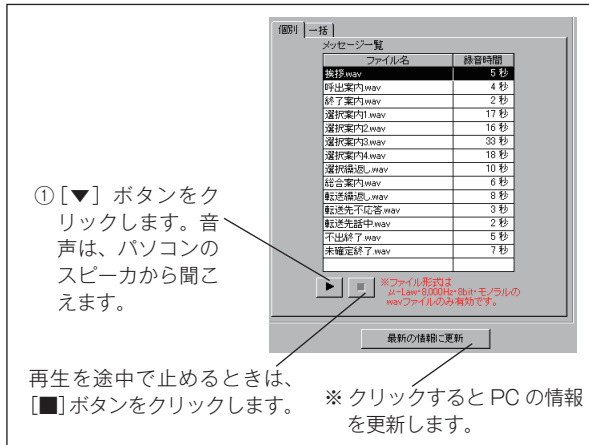
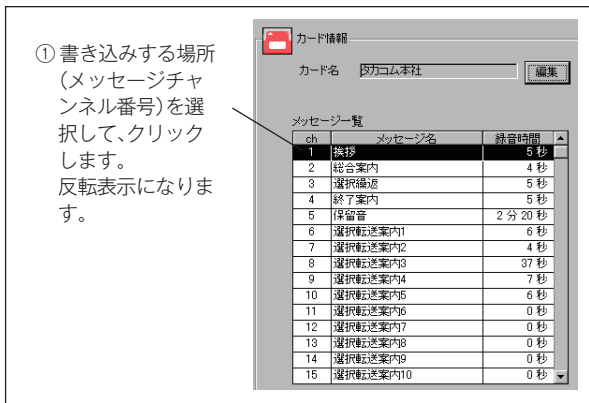
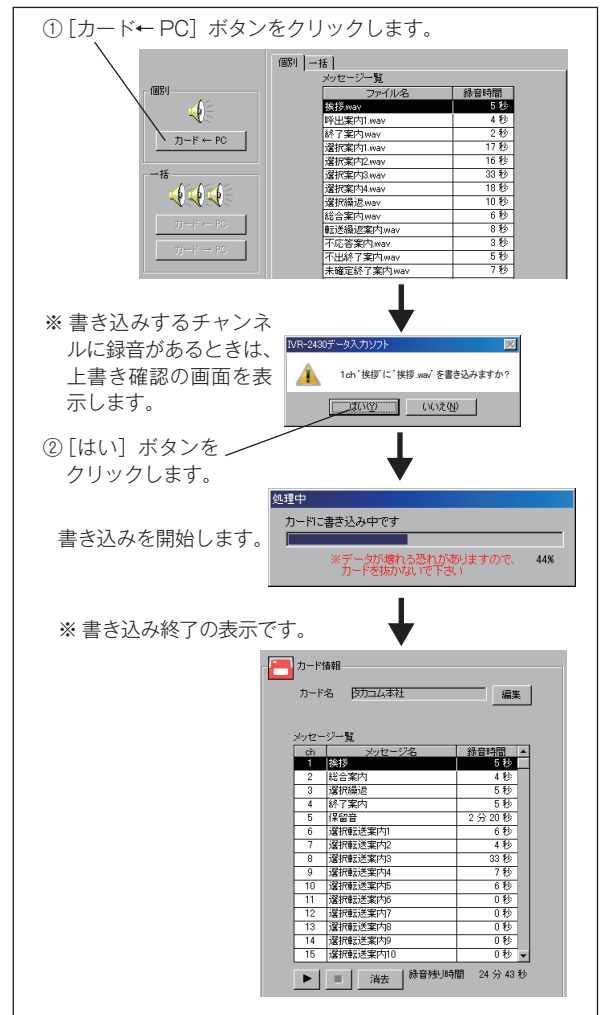
● メッセージは、合計で最大 60 分まで書き込みできます。
1 チャンネルあたりの書き込み時間は最大 8 分まで自由に書き込みできます。
（メッセージ用メモリーカード：JFC-60M）

■ メッセージを個別に書き込む

① フォルダの参照

書き込みするメッセージが保存されているフォルダを開きます。

②「個別／一括」タブで「個別」をクリックしてメッセージの選択方法を切り替えます。

・PC 情報のメッセージ一覧で、書き込みするファイルを選択して、クリックします。

・ファイル名 ：各メッセージに付けられたファイル名です。

・録音時間 ：メッセージの録音時間です。

③ メッセージの再生
　選択したメッセージの再生確認ができます。

④ カード情報のメッセージ一覧で、書き込みする場所（メッセージチャンネル番号）を選択してクリックします。

⑤［カード← PC］ボタンをクリックします。

お願い

● メッセージ用メモリーカードに書き込みできる音声ファイルは、次の形式のwavファイルのみです。
　・形式：μ-law
　・属性：8kHz、8ビット、モノラル
外部でメッセージを録音して、本システムで利用する場合は、この規格でwavファイルを作成してください。

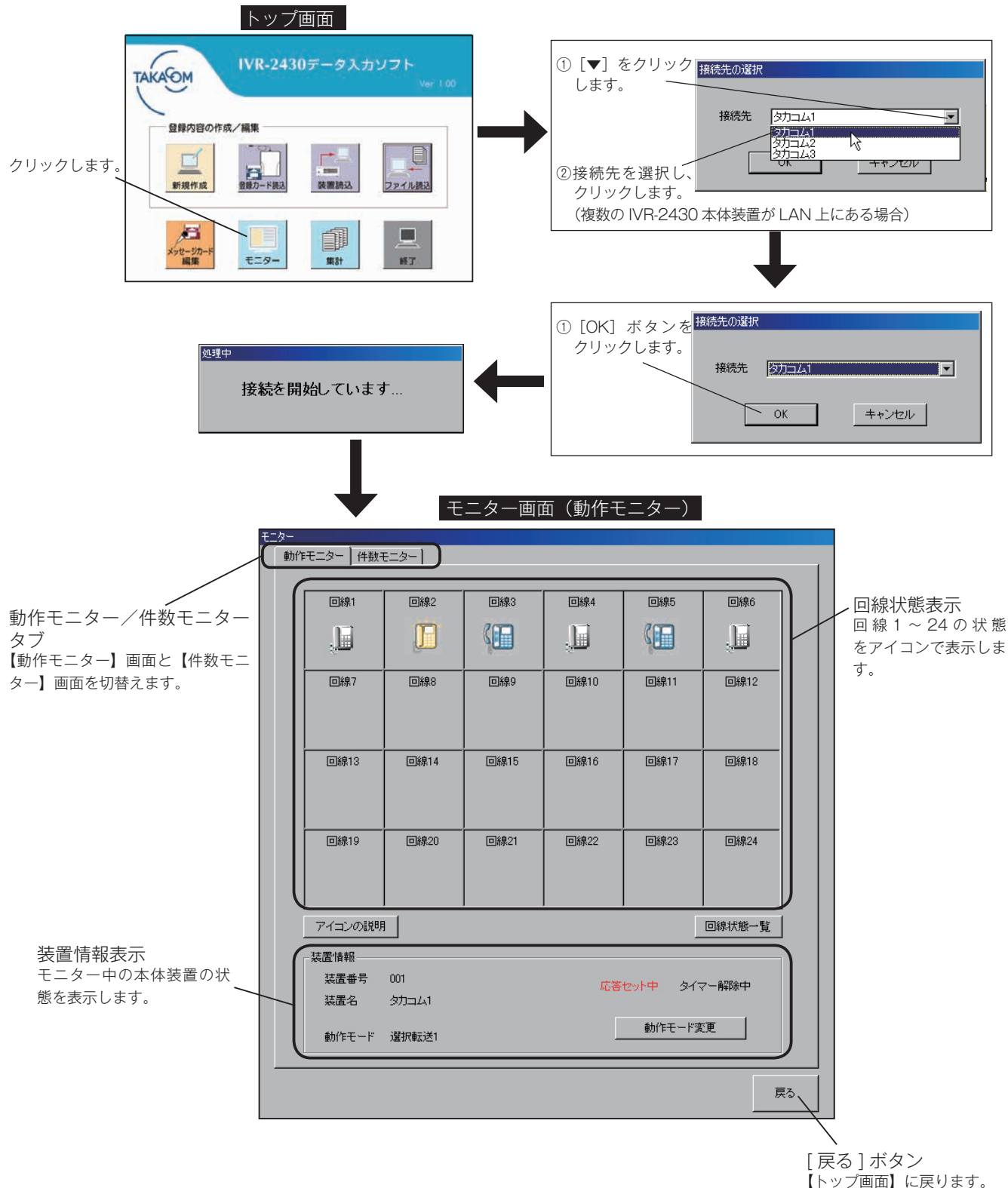
ワンポイント

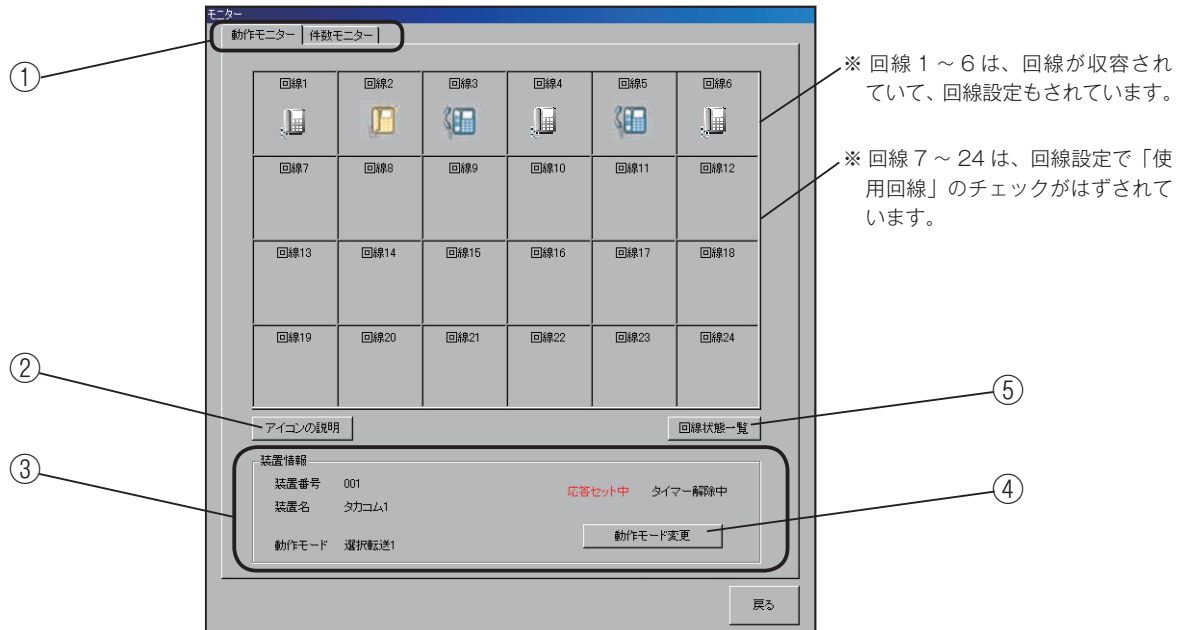
● メッセージは、合計で最大60分まで書き込みできます。1チャンネルあたりの書き込み時間は最大8分まで自由に書き込みできます。
（メッセージ用メモリーカード：JFC-60M）

本体装置をモニターする（LAN）

◎ IVR-2430 本体装置と制御用パソコンが LAN 接続されているときは、制御用パソコンのディスプレイで本体装置の着信状況などをモニターすることができます。あらかじめ、本体装置と制御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」（34 ページ）、および「データ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」（61 ページ）を参照してください。

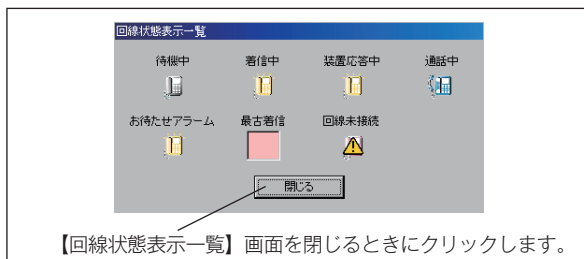
■ モニター画面の呼び出し

【トップ画面】の［モニター］ボタンをクリックします。

1．動作モニター画面

本体装置の各回線の着信状態や、通話状態などがモニターできます。

①【モニター】画面の［動作モニター］タブをクリックします。

※【トップ画面】から最初に開いたときは【動作モニター】画面になっています。

②［アイコンの説明］ボタンをクリックすると、【回線状態表示一覧】画面を表示します。

【回線状態表示一覧】画面を閉じるときにクリックします。

・待機中：
回線は発着信なしで待機中の状態です。

・着信中（点滅）：
電話が着信中の状態です。アイコンが黄色で点滅します。

・装置応答中：
本体装置がメッセージなどで応答中の状態です。アイコンが黄色で点灯します。

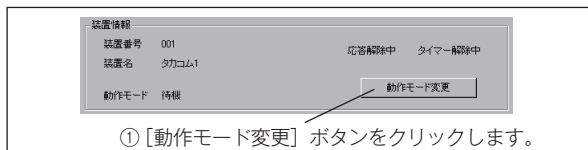
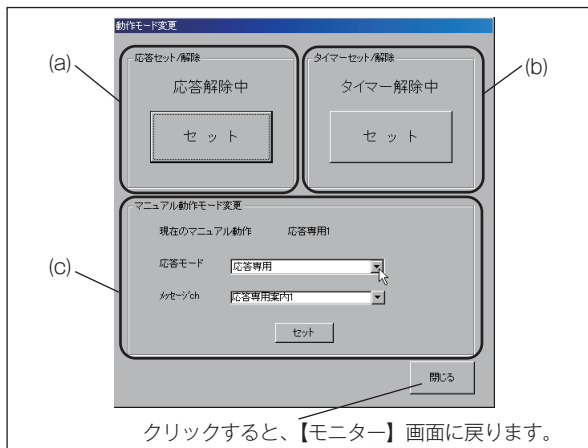
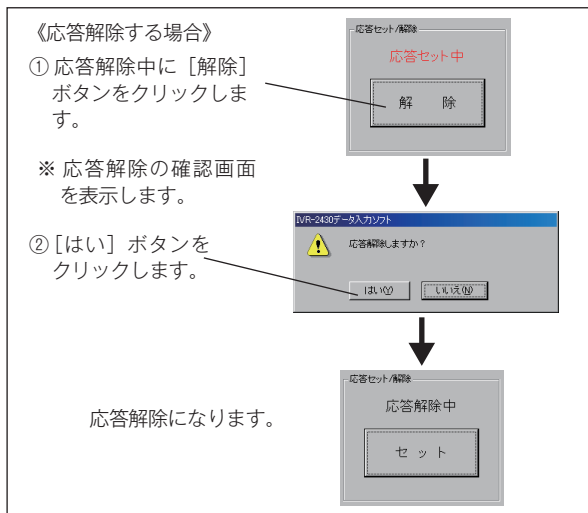
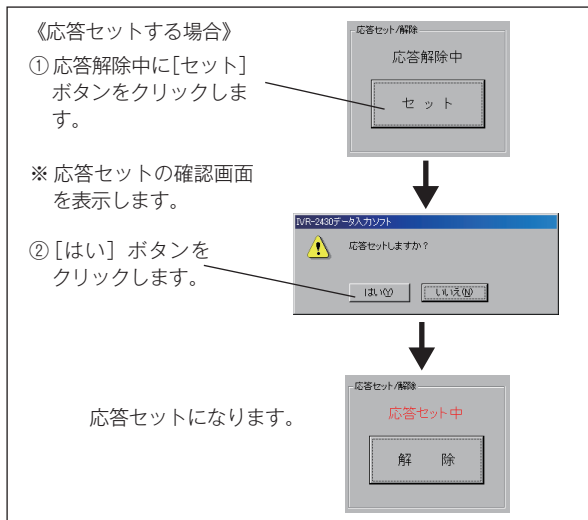
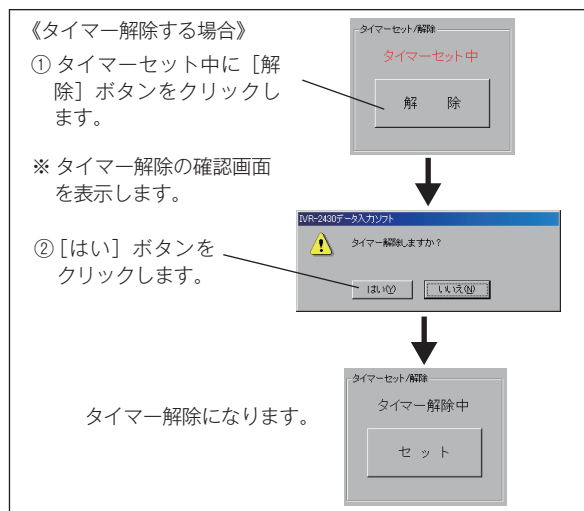
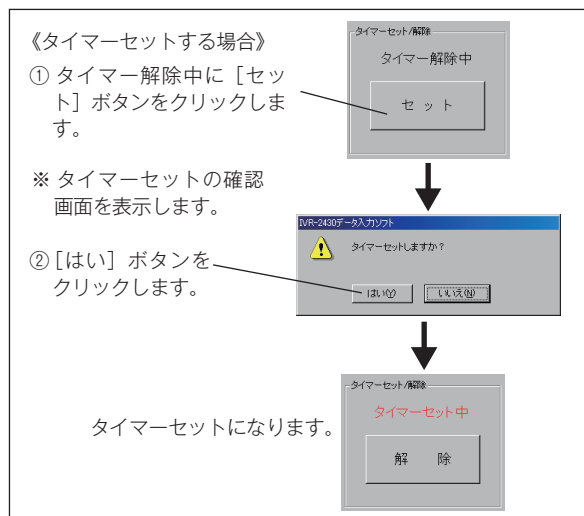
・通話中：
通話中の状態です。アイコンが青色で点灯します。

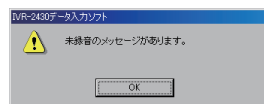
・お待たせアラーム（点滅）：
お待たせモードで、アラーム鳴動状態です。アイコンが黄色と赤で交互に点滅します。
お待たせ中のアラーム音はパソコンのスピーカから聞こえます。

・最古着信（点滅）：
お待たせモードで、お待たせ中の回線のうち最も古い着信回線が赤色で点滅します。

・回線未接続：
本体初期設定の個別回線設定で、使用回線としてチェックされているのに、回線が接続されていないか断線しているなどの状態です。回線の接続または設定データを確認してください。

③モニター中の本体装置の情報を表示します。装置番号、装置名と現在の動作モード、および応答状態、タイマー状態を表示します。
応答セット中およびタイマーセット中は、赤色の文字になります。

④［動作モード変更］ボタンをクリックして、制御用パソコンから本体装置のマニュアル動作モードの変更、応答セット／解除、タイマーセット／解除の操作ができます。

・【動作モード変更】画面を表示します。

（a）応答のセットと解除を行います。

（b）タイマーのセットと解除を行います。

ワンポイント

●「応答セットしますか？」および「タイマーセットしますか？」のとき、動作モードで必要なメッセージが録音されていないと次の画面を表示します。

［OK］ボタンをクリックして、必要なメッセージを録音してください。

（c）マニュアル動作モードの変更ができます。

※ 現在のマニュアル動作モードを表示しています。

① [▼] ボタンをクリックします。

② 動作モードを選択してクリックします。

※ 本体装置に登録されている動作モードのみが表示されます。

・選択する動作モードにより、選択内容は次のように変わります。

《選択転送の場合》

① クリックして、選択転送パターン一覧を表示します。

② 選択転送パターンを選択して、クリックします。

パターン番号　パターン名

・転送先設定のパターン名で入力した内容を表示します。

《ツリー転送の場合》

① ツリー転送パターンを選択して、クリックします。

パターン名

・転送先設定のパターン名で入力した内容を表示します。

《ダイレクト転送の場合》

以下の選択はありません。

《無条件転送の場合》

① クリックして、転送先一覧を表示します。

② 転送先を選択して、クリックします。

転送先番号　転送先名　電話番号　転送種別

《お待たせの場合》

以下の選択はありません。

《応答専用の場合》

① クリックして、応答専用案内メッセージ一覧を表示します。

② 応答専用案内メッセージを選択して、クリックします。

応答案内番号　チャンネル番号　応答案内コメント

・応答専用のメッセージ設定で入力したコメントを表示します。

・各動作モードで、選択内容をクリックしたあと［セット］ボタンをクリックします。

《選択転送の画面例》

① [セット] ボタンをクリックします。

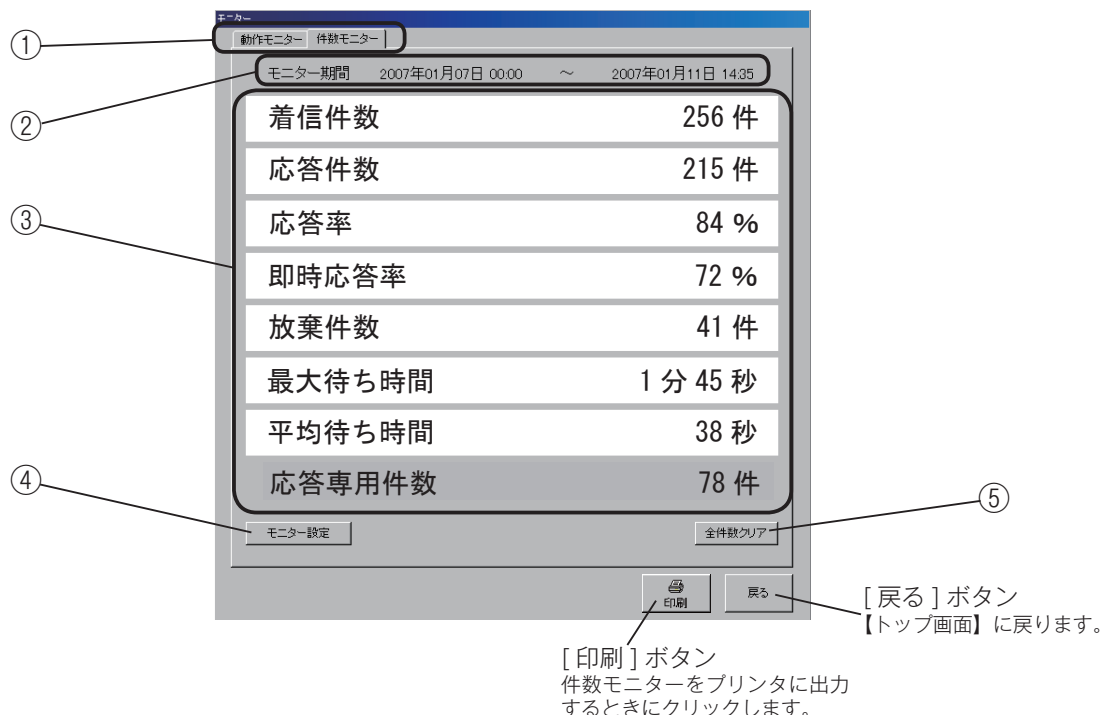
※ 現在のマニュアル動作モードの表示が変わります。

⑤ [回線状態一覧] ボタンをクリックすると、回線 1 ～ 24 の状態をディスプレイにフル表示して見やすくします。

[戻る] ボタン

【モニター画面】に戻ります。

2．件数モニター画面

本体装置の着信件数や、応答件数などがモニターできます。また、件数カウントのクリア条件などを設定します。

①【モニター】画面の［件数モニター］タブをクリックします。
　・【件数モニター】画面を表示します。

② モニター期間
前回、件数クリアを行った年月日時刻から、現在までの期間を表示します。現在時刻は本体装置の時刻に合わせて進みます。

③ 着信件数などをリアルタイムで表示します。
各件数は、使用しているすべての回線の合計件数です。

項目	件数
着信件数	256 件
応答件数	215 件
応答率	84 %
即時応答率	72 %
放棄件数	41 件
最大待ち時間	1 分 45 秒
平均待ち時間	38 秒
応答専用件数	78 件

・着信件数：
選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送・お待たせの各動作モードで、電話着信した総件数です。

・応答件数：
選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送・お待たせの各動作モードで、呼出先が応答した件数です。

・応答率：
着信件数に対する、応答件数の割合です。
「応答件数」÷「着信件数」× 100（%）

・即時応答率：
応答件数に対する、即時応答件数の割合です。
「即時応答件数」÷「応答件数」× 100（%）
※ 即時応答件数は、電話着信時に本体装置が自動応答する前に応答した件数です。（ベル中呼出設定が「する」の場合）

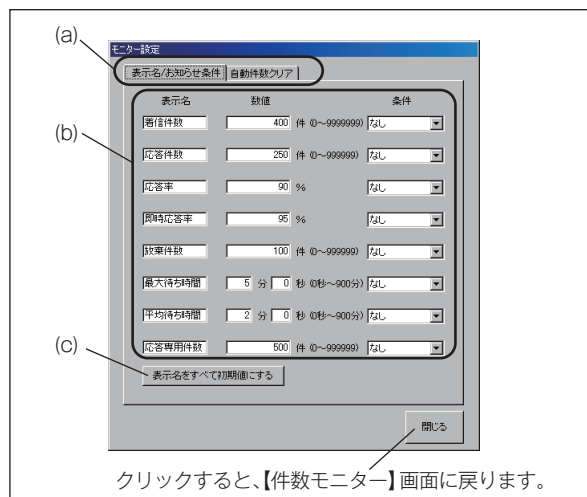
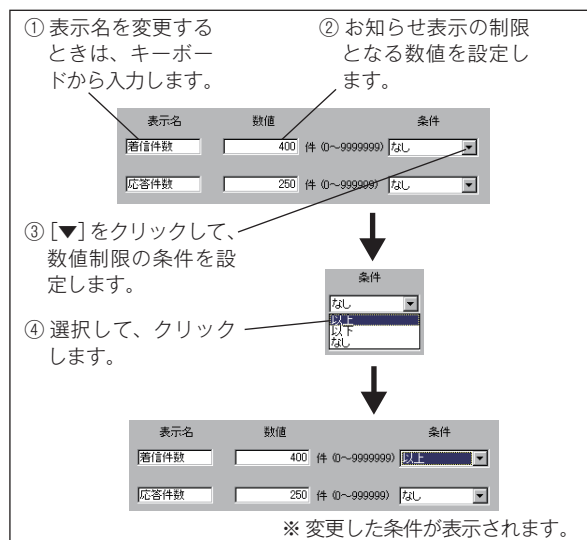
・放棄件数：
選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送・お待たせの各動作モードで、転送完了しなかった件数です。
※ 転送中にお客様が電話を切った場合、不応答や話中で通話にならずに回線を開放した場合です。

ワンポイント

- 着信件数は、応答件数と放棄件数の合計になります。
- モニターの件数表示は、着信件数が最大 7 桁でそのほかは最大 6 桁まで表示します。
- モニターの時間表示は、「時間／分／秒」で表示し、時間の最大表示は 15 時間 0 分 0 秒までです。
- モニター表示データは 1 時間ごとに本装置内にバックアップ保存されます。停電があると、前回のバックアップから停電発生までのデータは消去されます。

・最大待ち時間：
お客様が、転送中やお待たせで待っていた最大の時間です。
・平均待ち時間：
待ち時間の平均値です。
「待ち時間の合計」÷「待ち時間が発生した件数」
・応答専用件数：
応答専用モードで、本体装置が自動応答してメッセージを送出した件数です。

④［モニター設定］ボタンをクリックすると、【モニター設定】画面を表示します。
【件数モニター】画面に表示される表示名の変更や、お知らせ条件の設定および自動件数クリアの設定ができます。

● **表示名／お知らせ条件の設定**

（a）【モニター設定】画面の［表示名／お知らせ条件］タブをクリックします。
※［モニター設定］ボタンを押したときは【表示名／お知らせ条件】画面を表示します。
（b）表示名の変更、数値と条件の設定を行います。

・表示名は、半角全角共に最大６文字まで入力できます。
・条件は、「設定数値以上でお知らせする」、「設定数値以下でお知らせする」および「お知らせ表示しない」から選択します。

お知らせ表示について

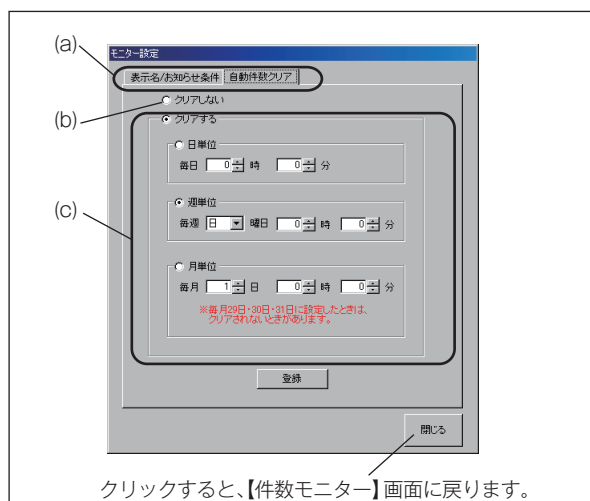
お知らせ表示を設定すると、該当の項目で数値が設定条件になると、【件数モニター】画面の項目欄が赤色で点滅してお知らせします。

・応答率の設定数値が 90％で、条件が「以下」の場合に、次のように点滅表示します。

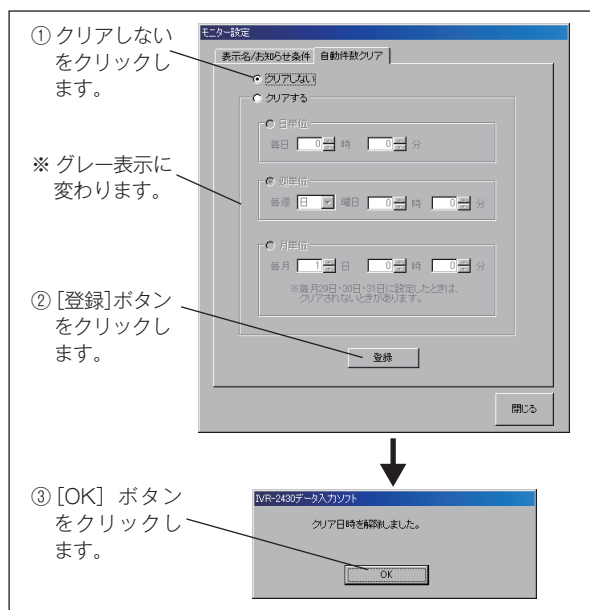
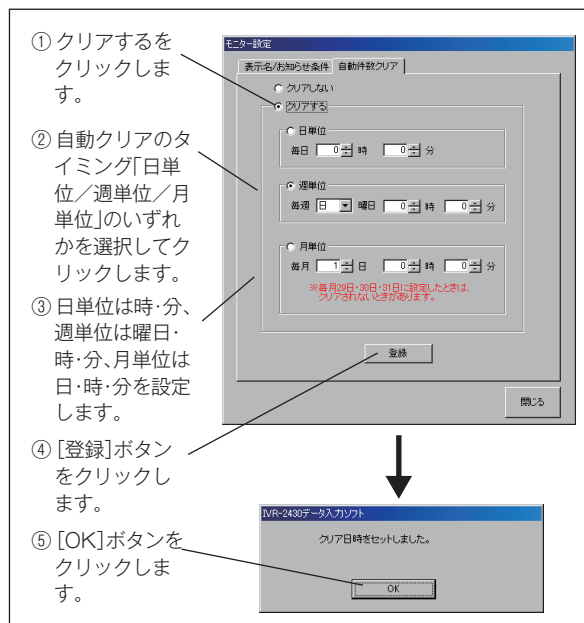
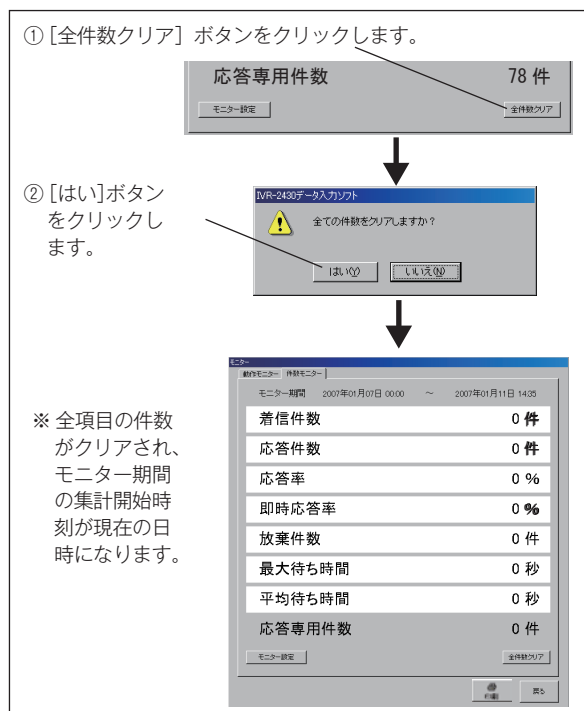
（c）［表示名をすべて初期値にする］ボタンをクリックすると、変更した表示名を最初の名前に戻すことができます。

ワンポイント

● 待ち時間のカウント条件について
待ち時間は、動作モードによって次のようにカウントします。
◆ 選択転送・ツリー転送・ダイレクト転送
お客様が転送先を選択してから、通話または放棄になるまでの時間をカウントします。
◆ お待たせ
・通常 / コールスクリーニング
電話着信から、通話または放棄になるまでの時間をカウントします。
・選択呼出
お客様が選択呼出信号を入力してから、通話または放棄になるまでの時間をカウントします。

● 自動件数クリアの設定

(a)【モニター設定】画面の［自動件数クリア］タブをクリックします。

・【自動件数クリア】画面を表示します。

(b) 件数のクリアを自動で行わない場合は、「クリアしない」をクリックします。

(c) 件数のクリアを自動で行う場合は、「クリアする」をクリックします。

⑤［全件数クリア］ボタンをクリックすることにより、手動での件数クリアができます。

● 件数モニターの印刷例

件数モニター

モニター期間: 2007年01月07日00:00 ～ 2007年01月 11日 17:30
装置番号: 001
装置名: タカコム1

表示名	件数	お知らせ条件
着信件数	256 件	なし
応答件数	215 件	なし
応答率	84 %	90%以下
即時応答率	72 %	80%以下
放棄件数	41 件	なし
最大待ち時間	1分45 秒	5分 0秒以上
平均待ち時間	38 秒	2分 0秒以上
応答専用件数	78 件	なし

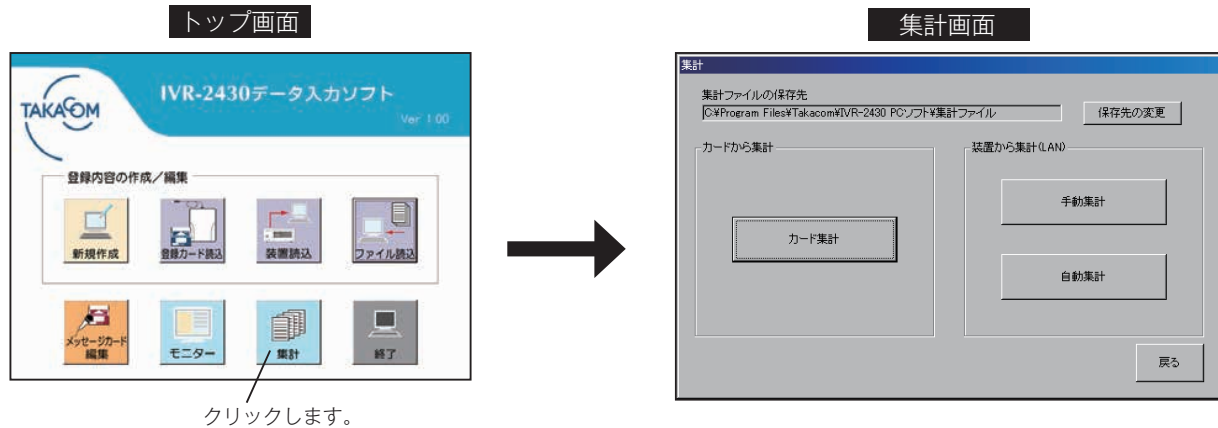
※ ▒▒▒ :お知らせ条件を満たしている項目です。

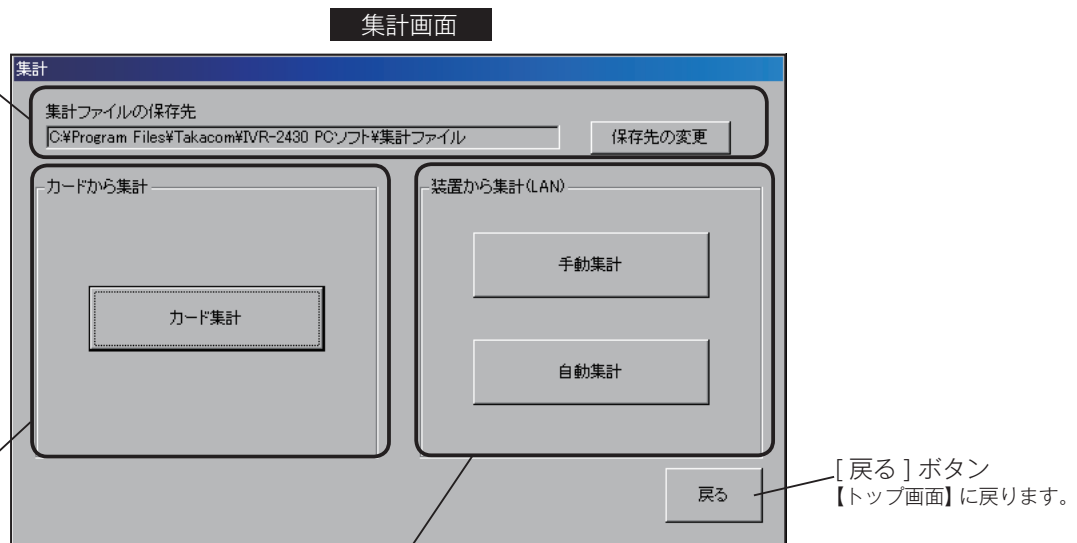
着信応答データの集計／確認

◎ 本体装置でカウントした着信件数・応答転送件数などのデータが、Excel ファイルに変換されて確認できます。
着信応答データは、登録・集計用メモリーカードから、または本体装置から LAN 経由で制御用パソコンに読み込んで集計し保存します。

◎ 本体装置でのデータ集計は、「本体初期設定 - 集計設定」の時集計･日集計･週集計･月集計の設定（集計する／しない）で、集計するとした項目について行われます。ここで作成されたデータファイルを制御用パソコンに読み込んで集計します。

■ 集計画面の呼び出し

【トップ画面】の［集計］ボタンをクリックします。

集計ファイルの保存先
集計データのファイルを保存する場所を設定します。
※ 最初は自動的に、本ソフトのインストール先に「集計ファイル」のフォルダを作成します。

[戻る] ボタン
【トップ画面】に戻ります。

カードから集計
登録・集計用メモリーカードから集計します。
※ カードライトアダプタ（CWA-100）にメモリーカードをセットしてください。

装置から集計（LAN）
本体装置から LAN 経由で集計します。
集計方法には、手動集計と自動集計があります。
※ 本体装置と制御用パソコンに LAN の設定が必要です。

ワンポイント

● カードからデータの集計を行うと、カード内のデータは消去されます。
● LAN 経由でデータの集計を行うと、本体装置内のデータは消去されます。

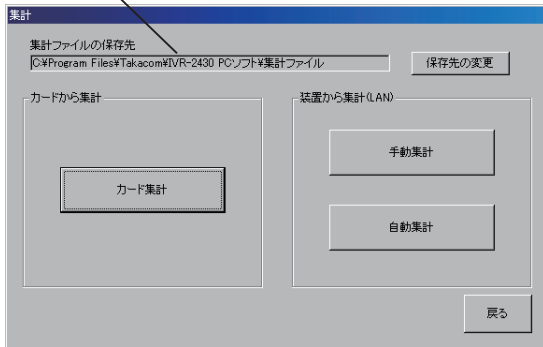
ワンポイント

● １台の本体装置の着信応答データ集計は、１台の制御用パソコンで行ってください。複数の制御用パソコンで集計すると、データが分割されて正確な集計ができません。

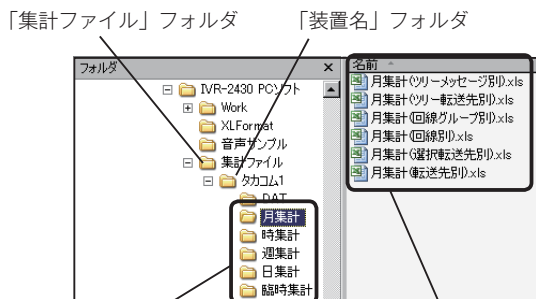
1．集計ファイルの保存先

◎ 制御用パソコンに読み込まれた集計データを保存する場所を設定します。
最初は本ソフトのインストール先に「集計ファイル」のフォルダを作成します。

● インストール後の保存先の例

※ 最初に作成された、「集計ファイル」フォルダ

●「集計ファイル」フォルダの構成

集計を行うと、この「集計ファイル」フォルダの下に、自動的に「装置名（未登録の場合は装置番号)」の名前でフォルダが作成されます。
さらに､「装置名」フォルダの下に､「時集計」「日集計」「週集計」「月集計」「臨時集計」のフォルダが作成され、その中に Excel ファイルが作成されます。

「集計ファイル」フォルダ　「装置名」フォルダ

「時集計」日集計」「週集計」「月集計」「臨時集計」のフォルダ

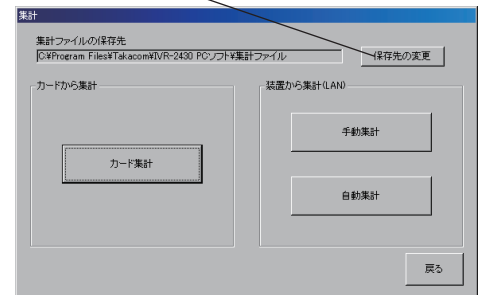
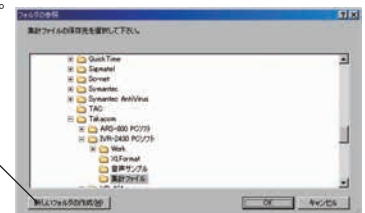
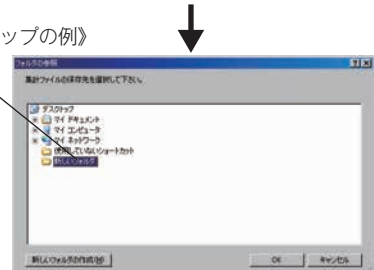
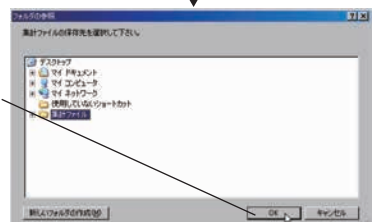
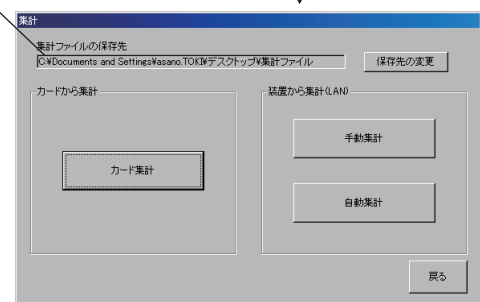
「月集計」フォルダ内の Excel ファイル
※「時集計」日集計」「週集計」「臨時集計」の各フォルダ内にも、同様に Excel ファイルが作成されます。

・「時集計」「日集計」「週集計」「月集計」のフォルダは､「本体初期設定 - 集計設定 - 集計動作」で「する」と設定した項目が作成されます。
・「臨時集計」のフォルダは、臨時集計を行ったときに作成されます。

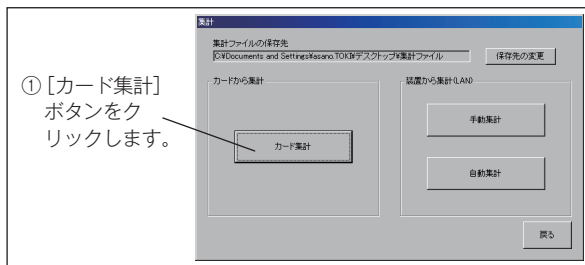
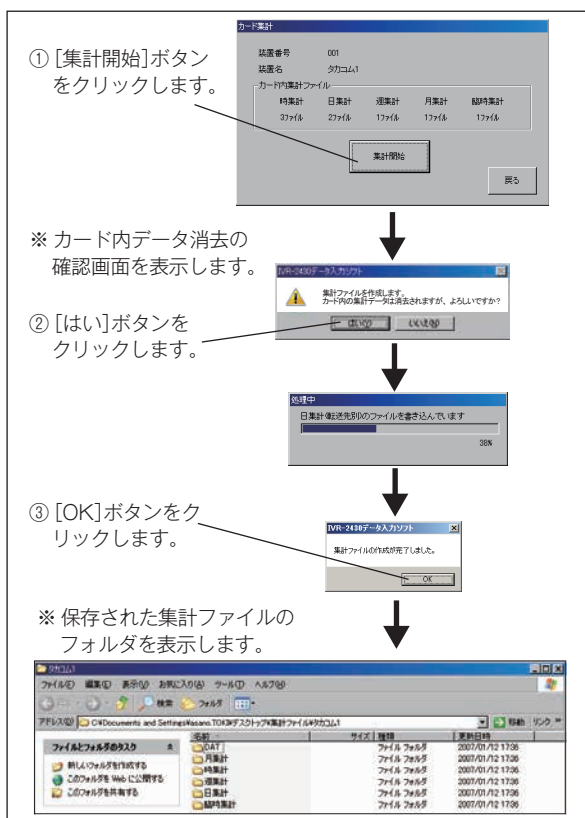
ワンポイント

● 運用の途中で集計ファイルの保存先を変更すると別の集計ファイルが作成されます。以後の集計データは、それまでのデータに追記されなくなり、以前のデータとの合計とはなりません。

● 保存先を変更する場合

集計ファイルの保存先を変更する場合は、【集計】画面の［保存先の変更］ボタンをクリックして、保存先のドライブとフォルダを指定します。

2．メモリーカードから集計する

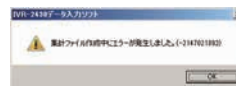
◎ 登録・集計用メモリーカードに書き込まれたデータを集計します。あらかじめ本体装置で、集計データの出力を行ってください。「装置編 - 集計データについて -2. 集計データの出力」（48 ページ）を参照してください。

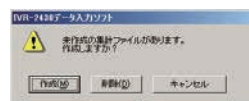
① 集計データを書き込んだ登録・集計用メモリーカードを、カードライトアダプタ（CWA-100）にセットします。
②【集計】画面の［カード集計］ボタンをクリックします。

・カード情報を読み込んだあと、【カード集計】画面になります。［集計開始］ボタンをクリックします。

・集計データを確認するときは、フォルダを選択して、フォルダ内の Excel ファイルを開いてください。詳細は、「データ編 - 着信応答データの集計／確認 -4. 集計データを確認する」（189 ページ）を参照してください。

ワンポイント

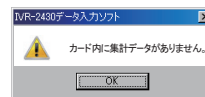
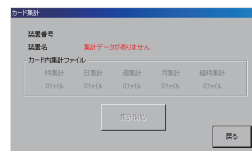
● 制御用パソコンで集計した時集計・日集計・週集計・月集計のデータは、集計のたびに各ファイルに追記されます。

お願い

● Excel 2010 をご利用の場合､集計ファイル作成時に、次のエラー画面が表示される場合があります。

この場合は、「Excel ファイルの「保護されたビュー」について」（190 ページ）を参照して、集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定してください。

● Excel 2010 をご利用の場合､集計ファイル作成時に、次のエラー画面が表示される場合があります。

この場合、[削除] ボタンはクリックしないでください。またこのときは以下の手順を実施してください。
① [キャンセル] ボタンをクリックします。
②「Excel ファイルの「保護されたビュー」について」（190 ページ）を参照して、集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定してください。
③ 再度データを集計してください。

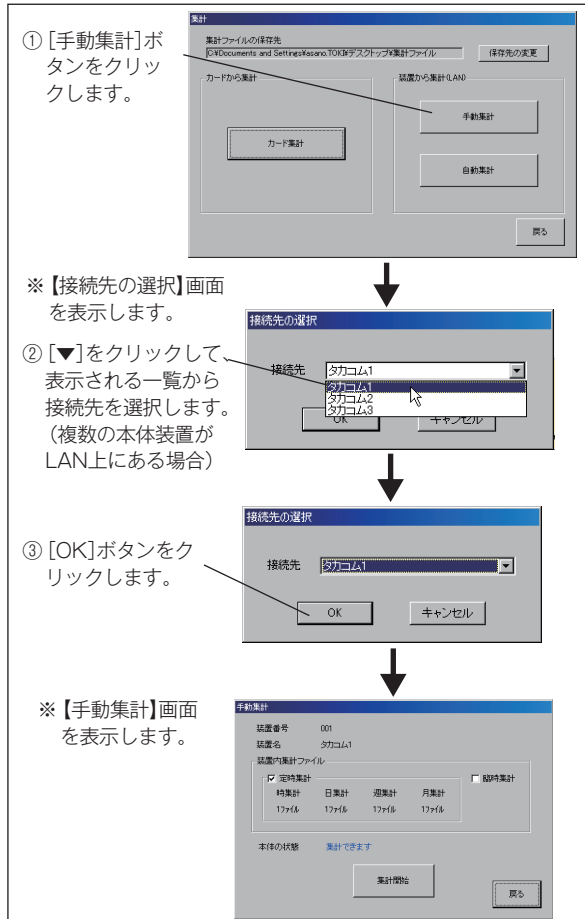
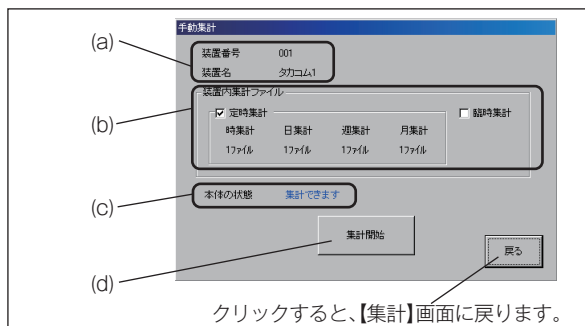
ワンポイント

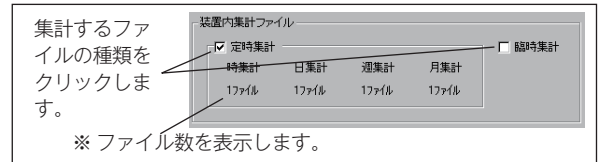
● ［カード集計］ボタンをクリックしたときに、登録・集計用メモリーカードに集計データがない場合は、次の警告を表示します。

［OK］ボタンをクリックすると【カード集計】画面になります。

［戻る］ボタンをクリックして､【集計】画面に戻ります。

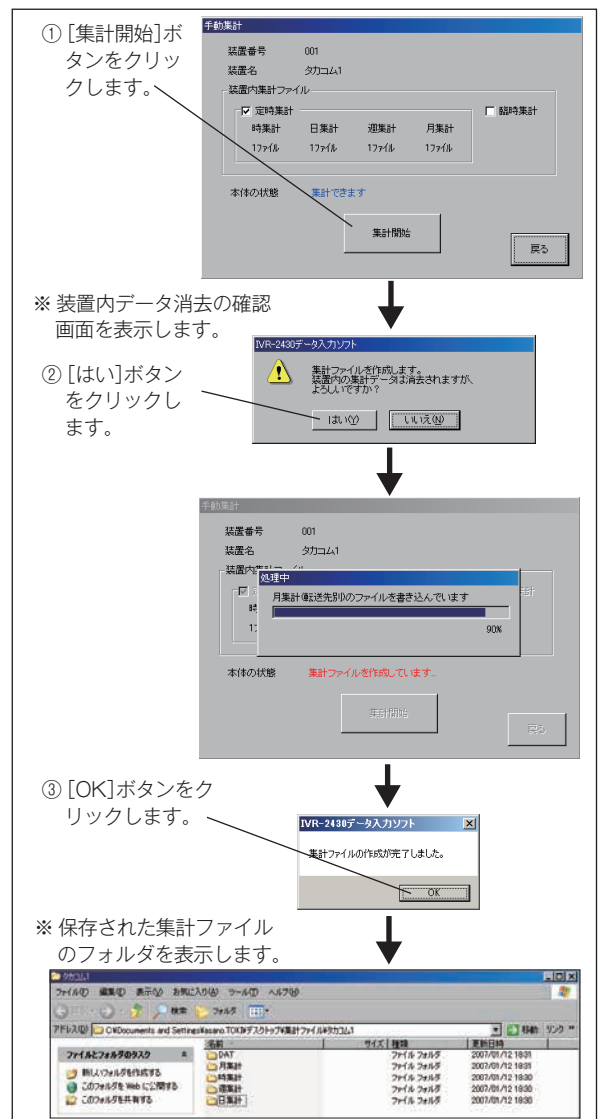
3．本体装置から集計する（LAN）

◎ LAN 接続された IVR-2430 本体装置の着信応答データを直接集計します。集計方法には、任意の日時に集計する手動集計と、設定した日時に自動的に集計する自動集計の 2 種類があります。あらかじめ、IVR-2430 本体装置と制御用パソコンに LAN の設定が必要です。「装置編 - 本装置の初期設定 -2. 装置情報の登録」（34 ページ）、および「データ編 - 入力ソフトを起動・終了する -2. 装置情報登録について」（61 ページ）を参照してください。

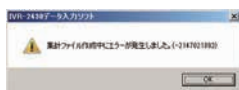
■ 手動集計

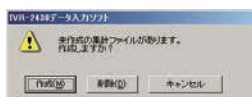
① 【集計】画面の［手動集計］ボタンをクリックします。

② 【手動集計】画面で、集計するファイルの種類をクリックしてチェックし、[集計開始］ボタンをクリックします。

（a）集計のため LAN 接続した本体装置の装置番号と装置名を表示します。

（b）集計するファイルの種類（定時集計／臨時集計）をクリックして選択します。定時集計は、時集計・日集計・週集計・月集計の各集計ごとに集計するファイル数を表示します。

（c）本体装置の状態が、「集計できます」となっていることを確認します。

（d）［集計開始］ボタンをクリックします。

・集計データを確認するときは、フォルダを選択して、フォルダ内の Excel ファイルを開いてください。詳細は、「データ編 - 着信応答データの集計／確認 -4. 集計データを確認する」（189 ページ）を参照してください。

お願い

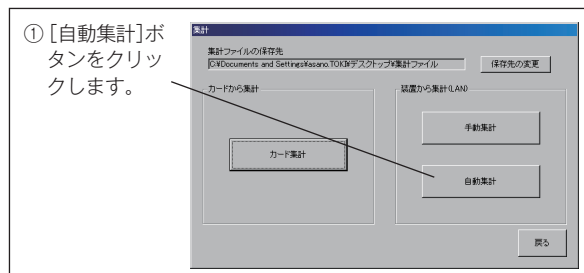
● Excel 2010をご利用の場合､集計ファイル作成時に､次のエラー画面が表示される場合があります。

この場合は､「Excelファイルの「保護されたビュー」について」（190ページ）を参照して、集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定してください。

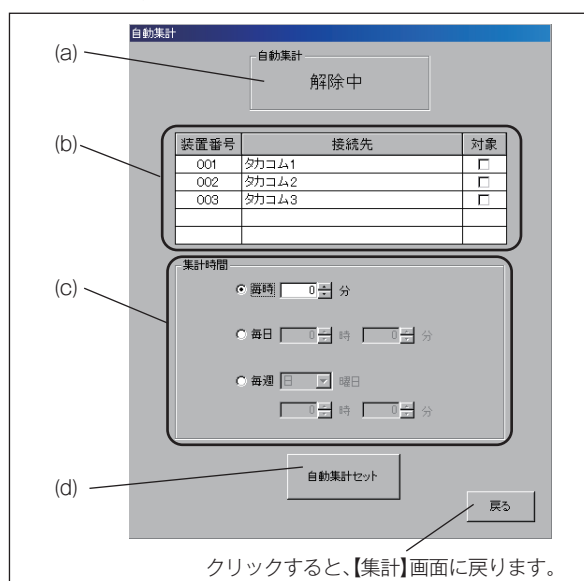
● Excel 2010をご利用の場合､集計ファイル作成時に､次のエラー画面が表示される場合があります。

この場合、[削除]ボタンはクリックしないでください。またこのときは以下の手順を実施してください。

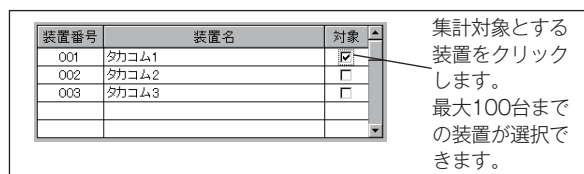
① [キャンセル]ボタンをクリックします。
②「Excelファイルの「保護されたビュー」について」（190ページ）を参照して、集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定してください。
③ 再度データを集計してください。

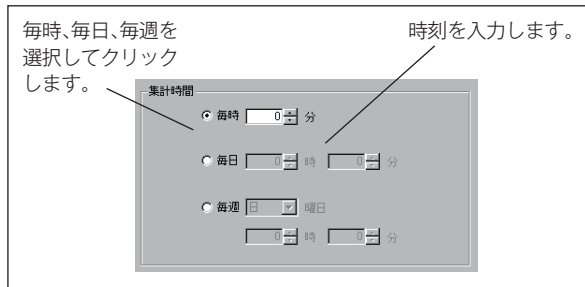
■ 自動集計

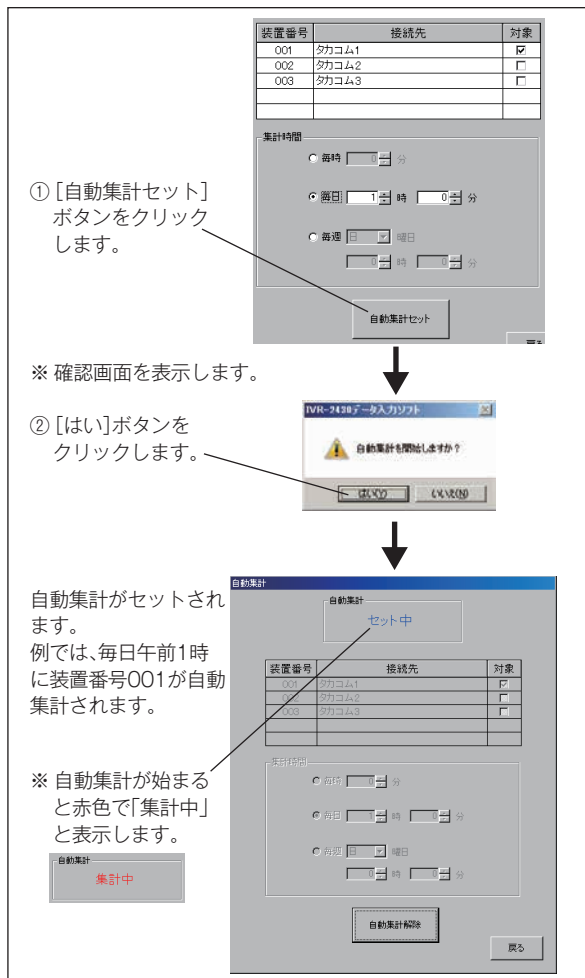
● 自動集計をセットするとき

①【集計】画面の［自動集計］ボタンをクリックします。

・【自動集計】画面を表示します。

②【自動集計】画面で、集計対象とする本体装置や集計日時を設定します。

（a）現在の自動集計動作の状態を表示します。例は「解除中」で自動集計は行いません。

（b）自動集計を行う本体装置の「対象」欄をクリックしてチェックを付けます。最大100台までの装置が自動集計の対象として選択できます。

・自動集計では、LAN上に複数の本体装置が接続されている場合、選択した任意の装置を「装置情報登録」で登録した順に集計することができます。集計ファイルは、各装置ごとに装置名を付けたフォルダに作成されます。

（c）集計時間を、毎時／毎日／毎週から選択して指定します。

・時刻は、キーボードからの入力または［▼／▲］をクリックして設定します。「毎時」は分、「毎日」は時・分、「毎週」は曜日と時・分を設定します。

（d）［自動集計セット］ボタンをクリックします。

ワンポイント

● 制御用パソコンで集計した時集計・日集計・週集計・月集計のデータは、集計のたびに各ファイルに追記されます。

● 自動集計セット中は、カード集計および手動集計はできません。

● 自動集計セット中は、装置情報登録および集計ファイル保存先の変更はできません。

● 自動集計機能が動作中は････

① 自動集計がセットされると、【トップ画面】に「自動集計セット中」と表示されます。また、タスクトレイに自動集計のアイコンが表示されます。

② 自動集計を開始すると、［自動集計アイコン］に「IVR-2430 自動集計ソフト 集計開始」の案内が表示されます。また、【トップ画面】に「自動集計中」と表示されます。

STOP お願い

● Excel 2010 をご利用の場合、自動集計中に、次のエラー画面が表示される場合があります。

この場合は、[OK] ボタンをクリックしたあとで、以下の手順を実施してください。

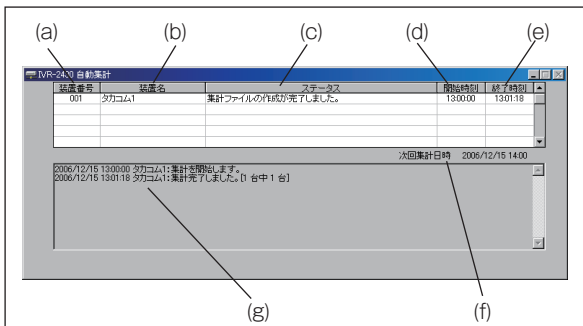
①「Excel ファイルの「保護されたビュー」について」（190 ページ）を参照して、集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定してください。

② 再度自動集計をセットしてください。

③ 自動集計が正常に終了すると、［自動集計アイコン］に「IVR-2430 自動集計ソフト 集計終了」の案内が表示されます。また、【トップ画面】の表示は「自動集計セット中」に戻ります。

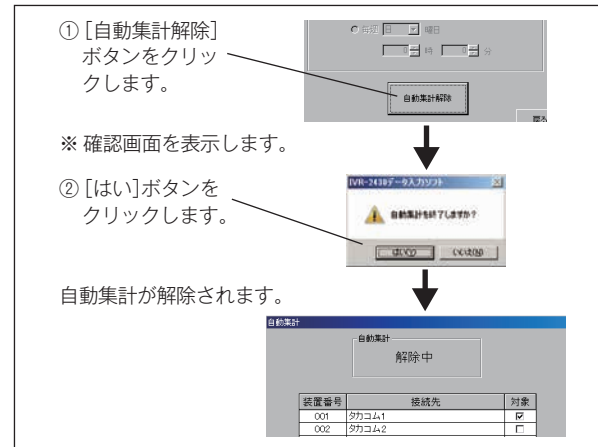
ワンポイント

● 自動集計は、本ソフトを終了しているときも動作します。（自動集計機能が動作中は、常にタスクトレイに自動集計アイコンを表示しています。）

④「自動集計セット中」に、タスクトレイの［自動集計アイコン］をクリックすると、【IVR-2430 自動集計】画面を表示し、直前の自動集計の結果などが装置ごとに確認できます。また「自動集計中」にクリックした場合は、画面内のステータスに集計動作の経過を順次表示します。

（a）データ集計を行った本体装置の装置番号です。
（b）データ集計を行った本体装置の装置名です。
（c）データ集計の結果などを表示します。「自動集計中」の場合は、集計動作の経過などを表示します。
（d）データ集計の開始時刻を表示します。
（e）データ集計の終了時刻を表示します。
（f）次のデータ集計日時を表示します。
（g）データ集計結果のログを表示します。

・【IVR-2430 自動集計】画面を終了するには、画面右上の［最小化］ボタンをクリックします。

● 自動集計を終了するとき

自動集計を終了するときは、【自動集計】画面で［自動集計解除］ボタンをクリックします。

ワンポイント

● 自動集計をセットしたときは、制御用パソコンを再起動しても再セットの必要はありません。
● 制御用パソコンの電源が入っていないときは集計を行いません。
● データ入力ソフトで、本体装置のモニターや登録データの書き込みを行っているとき、および本体装置を操作しているときは自動集計を行いません。その回はキャンセルされて次回の自動集計時間に行います。

お願い

● 自動集計セット中は制御用パソコンのログインユーザーを変更しないでください。自動集計をセットしたユーザーとは別のユーザーに切り替えた場合は、自動集計を行いません。

4．集計データを確認する

◎ 制御用パソコンに保存した集計データファイルを開いて確認します。

■ 集計ファイルフォルダの呼び出し

制御用パソコンで、データの集計時に作成した集計ファイル用フォルダを呼び出して開きます。

● 呼び出しの例：本ソフトから呼び出す場合

STOP お願い

● 各集計データを Excel の操作でグラフ作成などの加工をする場合は、データファイルを別のフォルダにコピーし、コピー先のファイルで行ってください。
元の集計ファイルの Excel ファイルが変更されると、正常な集計ができなくなる場合があります。

■ 集計の種類

着信応答データの集計には、下表の種類があります。

<table>
<tr><th colspan="2">集計方法</th><th colspan="6">集計種類</th></tr>
<tr><td rowspan="4">定時集計</td><td>時集計</td><td rowspan="5">回線別
集計</td><td rowspan="5">回線グループ別
集計</td><td rowspan="5">転送先別
集計</td><td rowspan="5">選択転送先別
集計</td><td rowspan="5">ツリー転送先別
集計</td><td rowspan="5">ツリーメッセージ
別集計</td></tr>
<tr><td>日集計</td></tr>
<tr><td>週集計</td></tr>
<tr><td>月集計</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨時集計</td></tr>
</table>

ワンポイント

● Excel ファイルに表示される内容について
Excel ファイルに表示される内容は、「本体初期設定 - 集計設定 - 集計表示」の設定「する／しない」によって変わります。
以降の説明では、すべての項目を集計表示「する」に設定した場合で説明しています。
実際に使用される場合には、運用する動作モードで必要な項目のみを集計表示「する」に設定すると、不要な項目が非表示となり、集計表が見やすくなります。また、表示しないとした項目についても Excel で再表示の操作を行えば表示されます。

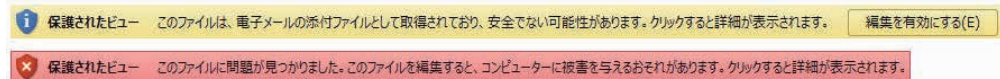
● 各項目の件数は、約 21 億件までカウントします。

Excel ファイルの「保護されたビュー」について

Excel 2010 において、集計データファイル（Excel ファイル）を開く際に、「保護されたビュー」が表示される場合があります。

【「保護されたビュー」例】

保護されたビュー　このファイルは、電子メールの添付ファイルとして取得されており、安全でない可能性があります。クリックすると詳細が表示されます。　編集を有効にする(E)

保護されたビュー　このファイルに問題が見つかりました。このファイルを編集すると、コンピューターに被害を与えるおそれがあります。クリックすると詳細が表示されます。

この場合は、集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定することで、「保護されたビュー」が解除できます。

4-1　定時集計データ

時集計・日集計・週集計・月集計の定時集計データを、制御用パソコンのディスプレイに表示して確認します。

■ 時集計

● 回線別集計

【回線ごとのデータ集計表の例】

《集計項目：応答・転送モード》

応答・転送モード										
総着信	選択		ツリー		ダイレクト		無条件転送	本体応答中放棄	即時	
	転送	転送未	転送	転送未	転送	転送未			応答	放棄
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪

① 総着信 ‥‥‥‥‥‥‥‥ 各動作モードで、回線ごとまたは全回線の着信の総数。

② 選択・転送 ‥‥‥‥‥‥ 選択転送モードで、転送先が応答した件数。転送先が複数登録されている場合、第 1 転送先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第 2、第 3 の転送先で応答した場合も含みます。

③ 選択・転送未 ‥‥‥‥‥ 選択転送モードで、転送開始したあと、転送先の不応答や話中、またはお客様の放棄などで応答しなかった件数。

④ ツリー・転送 ‥‥‥‥‥ ツリー転送モードで、転送先が応答した件数。転送先が複数登録されている場合、第 1 転送先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第 2、第 3 の転送先で応答した場合も含みます。

⑤ ツリー・転送未 ‥‥‥‥ ツリー転送モードで、転送開始したあと、転送先の不応答や話中、またはお客様の放棄などで応答しなかった件数。

⑥ ダイレクト・転送 ‥‥‥ ダイレクト転送モードで、転送先が応答した件数。転送先が複数登録されている場合、第 1 転送先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第 2、第 3 の転送先で応答した場合も含みます。

⑦ ダイレクト・転送未 ‥‥ ダイレクト転送モードで、転送開始したあと、転送先の不応答や話中、またはお客様の放棄などで応答しなかった件数。

⑧ 無条件転送 ‥‥‥‥‥‥ 無条件転送モードで、転送した件数。

⑨ 本体応答中放棄 ‥‥‥‥ 各動作モードで、本装置が応答後、転送先を選択しないでお客様が放棄した件数。（転送先が誤入力されたため、本装置が回線を切断した件数も含まれます。）

⑩ 即時・応答 ‥‥‥‥‥‥ 各動作モードで、本装置が応答する前に転送先が応答した件数。（「着信設定 - ベル中呼出」設定が「する」の場合にカウントされます。）

⑪ 即時・放棄 ‥‥‥‥‥‥ 各動作モードで、本装置が応答する前にお客様が放棄した件数。

《集計項目:お待たせモード》

お待たせモード								
総着信	応答				放棄			
	即時	%	本体応答中	%	即時	%	本体応答中	%
①	②		③		④		⑤	

① 総着信 ･････････････････ 回線ごとまたは全回線の着信の総数
② 応答・即時 ･･････････････ 本装置が応答する前に呼出先が応答した件数。呼出先が複数登録されている場合、第 1 呼出先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第 2、第 3 の呼出先で応答した場合も含みます。（%：総着信件数に対する割合）
③ 応答・本体応答中 ･･････ 本装置が応答したあとに呼出先が応答した件数。呼出先が複数登録されている場合、第 1 呼出先が不応答や話中などで、追っかけ転送となり第 2、第 3 の呼出先で応答した場合も含みます。（%：総着信件数に対する割合）
④ 放棄・即時 ･･････････････ 本装置が応答する前にお客様が放棄した件数。（%：総着信件数に対する割合）
⑤ 放棄・本体応答中 ･･････ 本装置が応答したあとにお客様が放棄した件数。（%：総着信件数に対する割合）

《集計項目:お待たせモード　時間明細》 1/2

お待たせ時間明細													
即時応答						応答							
10秒	%	20秒	%	20秒以上	%	10秒	%	20秒	%	30秒	%	30秒以上	%
⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫	

《集計項目:お待たせモード　時間明細》 2/2

お待たせ時間明細													
即時放棄						放棄							
10秒	%	20秒	%	20秒以上	%	10秒	%	20秒	%	30秒	%	30秒以上	%
⑬		⑭		⑮		⑯		⑰		⑱		⑲	

ワンポイント

- 集計単位時間は、「本体初期設定 -1-3 集計設定 -6 ～ 11 集計単位時間」（72 ページ）で設定した時間です。
- 左の例は、各項目の集計単位時間を 10 秒としたときの例です。

⑥ 即時応答第 1 区分 ･･････ 本装置が応答する前に呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 1 ）秒以内の件数。（%：即時応答件数に対する割合）
⑦ 即時応答第 2 区分･･････ 本装置が応答する前に呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 2）秒以内の件数。（%：即時応答件数に対する割合）
⑧ 即時応答第 2 区分以降･･ 本装置が応答する前に呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 2）秒以降の件数。（%：即時応答件数に対する割合）
⑨ 応答第 1 区分 ･･････････ 本装置が応答したあとに呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 1 ）秒以内の件数。（%：本体応答中応答件数に対する割合）
⑩ 応答第 2 区分･･････････ 本装置が応答したあとに呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 2）秒以内の件数。（%：本体応答中応答件数に対する割合）
⑪ 応答第 3 区分･･････････ 本装置が応答したあとに呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 3）秒以内の件数。（%：本体応答中応答件数に対する割合）
⑫ 応答第 3 区分以降･･････ 本装置が応答したあとに呼出先が応答した件数で、（集計単位時間× 3）秒以降の件数。（%：本体応答中応答件数に対する割合）
⑬ 即時放棄第 1 区分 ･･････ 本装置が応答する前にお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 1 ）秒以内の件数。（%：即時放棄件数に対する割合）
⑭ 即時放棄第 2 区分･･････ 本装置が応答する前にお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 2）秒以内の件数。（%：即時放棄件数に対する割合）
⑮ 即時放棄第 2 区分以降･･ 本装置が応答する前にお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 2）秒以降の件数。（%：即時放棄件数に対する割合）
⑯ 放棄第 1 区分 ･･････････ 本装置が応答したあとにお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 1 ）秒以内の件数。（%：本体応答中放棄件数に対する割合）
⑰ 放棄第 2 区分･･････････ 本装置が応答したあとにお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 2）秒以内の件数。（%：本体応答中放棄件数に対する割合）
⑱ 放棄第 3 区分･･････････ 本装置が応答したあとにお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 3）秒以内の件数。（%：本体応答中放棄件数に対する割合）
⑲ 放棄第 3 区分以降･･････ 本装置が応答したあとにお客様が放棄した件数で、（集計単位時間× 3）秒以降の件数。（%：本体応答中放棄件数に対する割合）

《集計項目：応答専用モード》

応答専用モード		
総着信	ベル着信中放棄	本体応答
①	②	③

① 総着信 ················回線ごとまたは全回線の着信の総数。
② ベル着信中放棄 ········本装置が応答する前にお客様が放棄した件数。
③ 本体応答 ··············本装置が応答してメッセージを案内した件数。

《集計項目：その他》

その他			
通話時間	通話回数	全回線話中時間	全回線話中回数
①	②	③	④

① 通話時間 ··············応答モード中に、発信および着信で通話した累計時間。
② 通話回数 ··············応答モード中に、発信および着信で通話した累計回数。
③ 全回線話中時間 ········応答モード中に、全回線が同時に使用中の累計時間。
（回線設定で「使用する」とした全回線を対象とする。）
④ 全回線話中回数 ········応答モード中に、全回線同時使用が発生した回数。
（回線設定で「使用する」とした全回線を対象とする。）

「お待たせトラフィック集計機能」の集計項目について

お待たせモードで「トラフィック集計機能：使用する」に設定されている場合は、集計データは次のような集計項目で集計されます。

《集計項目：お待たせトラフィック集計機能時》

お待たせモード				
総着信	応答		放棄	
	件数	%	件数	%
①	②		③	

① 総着信 ················回線ごとまたは全回線の着信の総数。
② 応答 ··················電話着信に応答した件数。
（%：総着信件数に対する割合）
③ 放棄 ··················電話に応答する前にお客様が電話を切った件数。（%：総着信件数に対する割合）

《集計項目：お待たせトラフィック集計機能時　時間明細》 1/2

お待たせ													
応答													
10秒	%	20秒	%	30秒	%	40秒	%	50秒	%	60秒	%	60秒以上	%
④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩	

《集計項目：お待たせトラフィック集計機能時　時間明細》 2/2

時間明細													
放棄													
10秒	%	20秒	%	30秒	%	40秒	%	50秒	%	60秒	%	60秒以上	
⑪		⑫		⑬		⑭		⑮		⑯		⑰	

④ 応答第１区分 ··········電話着信に応答した件数で、（集計単位時間×１）秒以内の件数。
（%：応答件数に対する割合）
・　　・
・　　・
・　　・
⑨ 応答第６区分 ··········電話着信に応答した件数で、（集計単位時間×６）秒以内の件数。
⑩ 応答第６区分以降 ······電話着信に応答した件数で、（集計単位時間×６）秒以降の件数。
⑪ 放棄第１区分 ··········電話に応答する前にお客様が電話を切った件数で、（集計単位時間×１）秒以内の件数。
（%：放棄件数に対する割合）
・　　・
・　　・
・　　・
⑯ 放棄第６区分 ··········電話に応答する前にお客様が電話を切った件数で、（集計単位時間×６）秒以内の件数。
⑰ 放棄第６区分以降 ······電話に応答する前にお客様が電話を切った件数で、（集計単位時間×６）秒以降の件数。

● 回線グループ別集計

【回線グループ別のデータ集計表の例】

IVR－2430 時集計 グループ別（全回線）

最新ﾃﾞｰﾀ

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
		お待たせモード								
		総着信	応答				放棄			
			即時	%	本体応答中	%	即時	%	本体応答中	%
2007年01月16日(火)	16時00分～17時00分	64	44	68.8%	20	31.3%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月16日(火)	17時00分～18時00分	55	48	87.3%	5	9.1%	0	--.-%	2	3.6%
2007年01月16日(火)	18時00分～19時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月16日(火)	19時00分～20時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月16日(火)	20時00分～21時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月16日(火)	21時00分～22時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月16日(火)	22時00分～23時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月16日(火)	23時00分～00時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	00時00分～01時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	01時00分～02時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	02時00分～03時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	03時00分～04時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	04時00分～05時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	05時00分～06時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	06時00分～07時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	07時00分～08時00分	0	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	08時00分～09時00分	23	22	95.7%	1	4.3%	0	--.-%	0	--.-%
2007年01月17日(水)	09時00分～10時00分	75	70	93.3%	5	6.7%	0	--.-%	0	--.-%
	計	217	184	84.8%	31	14.3%	0	0.0%	2	0.9%

A	B	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
		即時応答						応答				
		10秒	%	20秒	%	20秒以上	%	10秒	%	20秒	%	30秒
2007年01月16日(火)	16時00分～17時00分	44	100.0%	0	--.-%	0	--.-%	18	90.0%	2	10.0%	0
2007年01月16日(火)	17時00分～18時00分	48	100.0%	0	--.-%	0	--.-%	5	100.0%	0	0.0%	0
2007年01月16日(火)	18時00分～19時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月16日(火)	19時00分～20時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月16日(火)	20時00分～21時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月16日(火)	21時00分～22時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月16日(火)	22時00分～23時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月16日(火)	23時00分～00時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	00時00分～01時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	01時00分～02時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	02時00分～03時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	03時00分～04時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	04時00分～05時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	05時00分～06時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	06時00分～07時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	07時00分～08時00分	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0	--.-%	0
2007年01月17日(水)	08時00分～09時00分	22	100.0%	0	--.-%	0	--.-%	1	100.0%	0	0.0%	0
2007年01月17日(水)	09時00分～10時00分	68	97.1%	2	--.-%	0	--.-%	5	100.0%	0	0.0%	0
	計	182	98.9%	2	1.1%	0	0.0%	29	93.5%	2	6.5%	0

・「回線グループ別集計」の集計項目の内容は、応答・転送モードの集計がない以外は「回線別集計」と同じです。

● **転送先別集計**

各集計項目のカウントは、転送の結果として最終判定した転送先にカウントされます。追っかけ転送で第２または第３の転送先に転送され、そこで最終結果を判定した場合は、その転送先にカウントされます。

【転送先ごとのデータ集計表の例】

《集計項目:応答･転送モード》

応答･転送モード								
転送		転送未			即時		不在回数	話中回数
転送	未選択	呼出中放棄	切断		応答	放棄		
			不在後	話中後				
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

① 転送・転送 ･･･････････････ 各動作モードで、転送先が応答した件数。
② 転送・未選択 ･････････････ 各動作モードで、お客様の転送先選択がなく、未選択時の転送先で応答した件数。
③ 転送未・呼出中放棄 ･･････ 各動作モードで、転送先を呼び出し中にお客様が放棄した件数。
※ 転送先が「不在」や「話中」で、転送動作回数の設定により再度転送先を選択していただく案内を送出中にお客様が放棄した場合も、直前の転送先に「転送未・呼出中放棄」としてカウントされます。
④ 転送未・切断・不在後 ･･･ 各動作モードで、転送先不在で回線を切断した件数。（追っかけ転送の次の転送先登録がなしで、転送動作回数も終了している場合）
⑤ 転送未・切断・話中後 ･･･ 各動作モードで、転送先話中で回線を切断した件数。（追っかけ転送の次の転送先登録がなしで、転送動作回数も終了している場合）
⑥ 即時・応答 ･･･････････････ 各動作モードで、本装置が応答する前に転送先が応答した件数。（「着信設定 - ベル中呼出」設定が「する」の場合にカウントされます。）
⑦ 即時・放棄 ･･･････････････ 各動作モードで、本装置が応答する前にお客様が放棄した件数。（「着信設定 - ベル中呼出」設定が「する」の場合にカウントされます。）
⑧ 不在回数 ･････････････････ 各動作モードで、転送先が不在となった回数。
⑨ 話中回数 ･････････････････ 各動作モードで、転送先が話中となった回数。

【カウントされる転送先と集計項目の例】

◆ 設定・登録例

転送先登録

転送先登録	A
	B
	C
	D

転送先設定

選択	第１転送先	第２転送先	第３転送先
1	A	B	C
未選択	D		

転送動作回数
２回

◆お客様が選択番号１を押した（A を選択した）場合

応答例1

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
案内	A	B	C		転送先 A に「① 転送・転送」がカウント１されます。
	応答				

応答例2

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
案内	A →	B →	C		転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント１されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。 転送先 C に「① 転送・転送」がカウント１されます。
	話中	不在	応答		

応答例3

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
案内	A →	B →	C		転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント１されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。 転送先 C に「③ 転送未・呼出中放棄」がカウント１されます。
	話中	不在	呼出中 ↑ お客様放棄		

応答例4

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
	A →	B →	C		転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント１されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。 転送先 C に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。 転送先 C に「③ 転送未・呼出中放棄」がカウント１されます。 ※ 不在で、再度転送先を選択してもらう案内を送出中にお客様が放棄した場合は、その直前の転送先に「転送未・呼出中放棄」としてカウントされます。
案内 ↑ お客様放棄	話中	不在	不在		

応答例5

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
	A →	B →	C		転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント２されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。 転送先 B に「① 転送・転送」がカウント１されます。 転送先 C に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。
	話中	不在	不在		
案内 →	話中 →	応答			

応答例6

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
	A →	B →	C		転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント２されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント２されます。 転送先 C に「⑧ 不在回数」がカウント２されます。 転送先 C に「④ 転送未・切断・不在後」がカウント１されます。 ※ 転送先 C は、転送動作回数が終了しているため、最終転送先となり「切断・不在後」にカウントします。
	話中	不在	不在		
案内 →	話中 →	不在 →	不在 →	案内 ↑ お客様放棄／回線切断	

応答例7

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
	A →	B →	C		転送先 A に「⑨ 話中回数」がカウント２されます。 転送先 B に「⑧ 不在回数」がカウント２されます。 転送先 C に「⑧ 不在回数」がカウント１されます。 転送先 C に「⑨ 話中回数」がカウント１されます。 転送先 C に「⑤ 転送未・切断・話中後」がカウント１されます。 ※ 転送先 C は、転送動作回数が終了しているため、最終転送先となり「切断・話中後」にカウントします。
	話中	不在	不在		
案内 →	話中 →	不在 →	話中 →	案内 ↑ お客様放棄／回線切断	

◆お客様が選択番号を入力しなかった場合

応答例8

	第１転送先	第２転送先	第３転送先		カウントされる転送先と集計項目
	D 応答				転送先 D に「② 転送・未選択」がカウント１されます。

◆「着信設定ーベル中呼出：する」場合で、呼出先として A が登録されているとき

応答例9

	ベル中	A で応答			転送先 A に「⑥ 即時・応答」がカウント１されます。
		お客様放棄			転送先 A に「⑦ 即時・放棄」がカウント１されます。

《集計項目:お待たせモード》

お待たせモード								
呼出	応答		放棄		呼出時間		不在回数	話中回数
	即時	本体応答後	即時	本体応答後	累積	平均		
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	

① 呼出 ･･････････････････呼出先が呼び出しされた回数。
② 応答・即時 ････････････本装置が応答する前に、呼出先が応答した件数。
③ 応答・本体応答後 ･･････本装置が応答したあとに、呼出先が応答した件数。
④ 放棄・即時 ････････････本装置が応答する前に、お客様が放棄した件数。
⑤ 放棄・本体応答後 ･･････本装置が応答したあとに、お客様が放棄した件数。
⑥ 呼出時間・累積 ････････呼出先を呼び出した時間の累積。（分：秒）
⑦ 呼出時間・平均 ････････１呼び出し当たりの、呼び出し平均時間。（分：秒）
⑧ 不在回数 ･･････････････呼出先が不在となった回数。
⑨ 話中回数 ･･････････････呼出先が話中となった回数。

● 選択転送先別集計

選択転送モードで、お客様が最後に選択した番号の回数データ集計表を表示します。

【選択番号ごとのデータ集計表の例】

IVR－2430 時集計（選択転送先別：選択転送パターン1 営業日昼間）

最新データ

	選択番号	選択転送先 1	2	3	4	5	6	7	8	9	未選択	計
	第1転送先名	総務部・総務1課	営業部・営業1課	技術部・設計課	資材部・購買課	転送先A	転送先B	転送先C	転送先D	転送先E	総務部・総務1課	
2007年01月16日(火)	16時00分～17時00分	7	8	1	3	0	0	0	0	0	0	19
2007年01月16日(火)	17時00分～18時00分	8	10	1	2	0	0	0	0	0	0	21
2007年01月16日(火)	18時00分～19時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月16日(火)	19時00分～20時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月16日(火)	20時00分～21時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月16日(火)	21時00分～22時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月16日(火)	22時00分～23時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月16日(火)	23時00分～00時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	00時00分～01時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	01時00分～02時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	02時00分～03時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	03時00分～04時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	04時00分～05時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	05時00分～06時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	06時00分～07時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	07時00分～08時00分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2007年01月17日(水)	08時00分～09時00分	9	18	2	4	0	0	0	0	0	0	33
2007年01月17日(水)	09時00分～10時00分	3	15	3	4	0	0	0	0	0	0	25
	計	27	51	7	13	0	0	0	0	0	0	98

選択転送1 営業日昼間／選択転送2 営業日夜間／選択転送3 休日／

《集計項目：選択番号別》 1/2

	選択転送先					
① 選択番号	1	2	3	4	5	6
② 第1転送先名	総務部・総務1課	営業部・営業1課	技術部・設計課	資材部・購買課	転送先A	転送先B

《集計項目：選択番号別》 2/2

7	8	9	未選択 ③	計 ④
転送先C	転送先D	転送先E	総務部・総務1課	

① 選択番号 ･･････････････お客様が選択する最大９種類の選択番号。（登録されている選択番号を表示します。）
　１桁の場合：１～９、＊、＃
　２桁の場合：00～99、０＊～９＊、０＃～９＃、＊０～＊9、＃０～＃９、＊＊、＃＃、＊＃、＃＊

② 第１転送先名 ･･････････各選択番号に登録されている、第１転送先の名前。

③ 未選択 ････････････････お客様が選択番号を入力しなかった（未選択）場合の転送先の名前。

④ 計 ････････････････････各選択番号が選ばれた回数と未選択の回数の、時間ごとの合計。

● ツリー転送先別集計

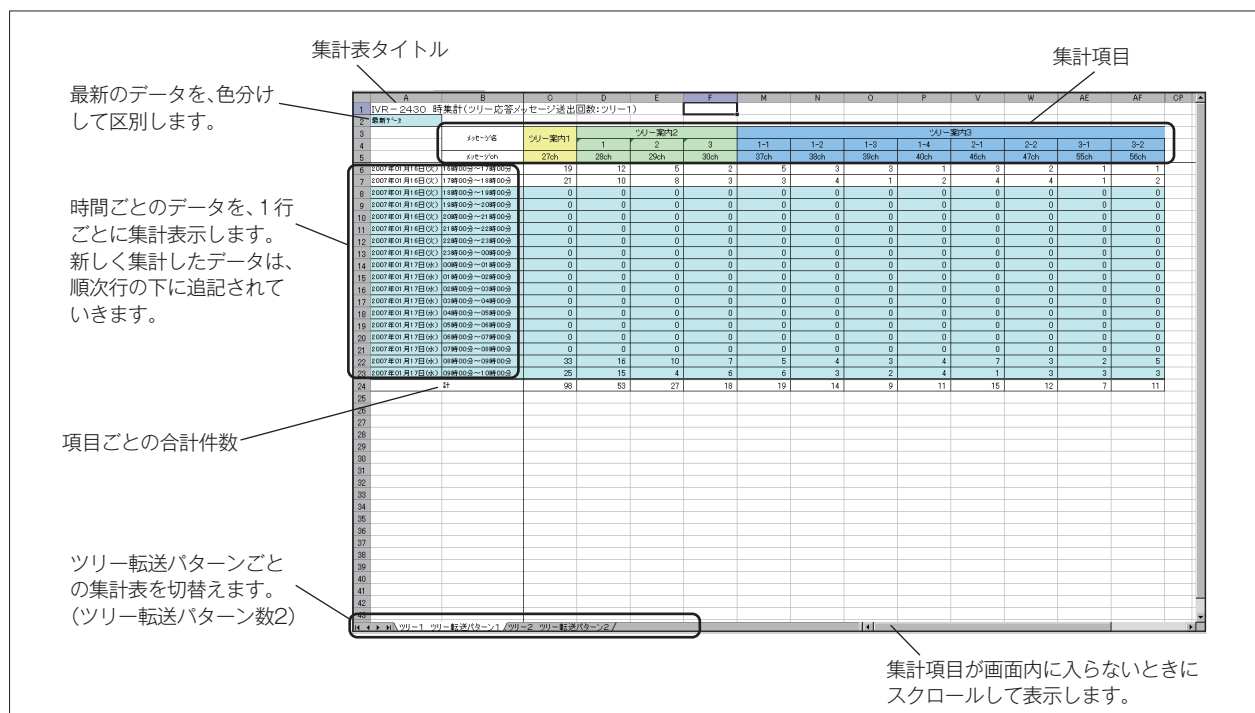
ツリー転送モードで、お客様が最後に選択した第１転送先の回数データ集計表を表示します。

【転送先ごとのデータ集計表の例】

① 転送先名 ･･････････････お客様が選択する最大 100 種類の転送先。（登録されている転送先を表示します。）
② 一般回線 ･･････････････接続種別 T1,T2（TEL）側が一般回線／ナンバーディスプレイのとき。
③ 未選択 ････････････････お客様が転送先を選択しなかった（未選択）の場合の転送先。
④ 計 ････････････････････各転送先が選ばれた回数と未選択の回数の、時間ごとの合計。

● ツリー案内メッセージ送出回数集計

ツリー転送モードで、案内メッセージごとに、送出された回数のデータ集計表を表示します。

【案内メッセージごとのデータ集計表の例】

《集計項目:ツリー案内メッセージ別》 1/2

ﾒｯｾｰｼﾞ名	ツリー案内1	ツリー案内2		
		1	2	3
ﾒｯｾｰｼﾞch	27ch	28ch	29ch	30ch
	①	②		

《集計項目:ツリー案内メッセージ別》 2/2

ツリー案内3							
1- 1	1-2	1- 3	1-4	2- 1	2-2	3- 1	3-2
37ch	38ch	39ch	40ch	46ch	47ch	55ch	56ch
③				④		⑤	

① ツリー案内 1 ‥‥‥‥‥‥‥ ツリー転送で、最初に案内されるメッセージで、パターンごとに 1 種類。

② ツリー案内 2 ‥‥‥‥‥‥‥ ツリー案内 1 で選択したメッセージで、パターンごとに 1 ～ 9 の 9 種類。
(登録されているメッセージが表示されます。)

③ ツリー案内 3（1- ＊）‥‥‥ ツリー案内 2-1 で選択したメッセージで、パターンごとに、1-1 ～ 1-9 の 9 種類。
(登録されているメッセージが表示されます。)

④ ツリー案内 3（2- ＊）‥‥‥ ツリー案内 2-2 で選択したメッセージで、パターンごとに、2-1 ～ 2-9 の 9 種類。
(登録されているメッセージが表示されます。)

⑤ ツリー案内 3（3- ＊）‥‥‥ ツリー案内 2-3 で選択したメッセージで、パターンごとに、3-1 ～ 3-9 の 9 種類。
(登録されているメッセージが表示されます。)

・　　　・
・　　　・
・　　　・

ツリー案内 3（9- ＊）‥‥‥ ツリー案内 2-9 で選択したメッセージで、パターンごとに、9-1 ～ 9-9 の 9 種類。
(登録されているメッセージが表示されます。)

■ 日集計、週集計、月集計

「日集計」､「週集計」､「月集計」の各データ集計表は､集計日時のタイトル部分を除いて「時集計」の集計表と内容は同じです。各集計表のタイトル部分は次のようになります。

※ 図は「回線別集計」の例ですが､「回線グループ別」「転送先別」「選択転送先別」「ツリー転送先別」「ツリー案内メッセージ別」についても、それぞれ「時集計」と同じです。

4-2　臨時集計データ

臨時集計データを、制御用パソコンのディスプレイに表示して確認します。「回線別」「回線グループ別」「転送先別」「選択転送先別」「ツリー転送先別」「ツリー案内メッセージ別」の各データが確認できます。

【回線ごとのデータ集計表の例】

※ 集計表の内容は､集計日時のタイトル部分を除いて「回線別集計」「回線グループ別」「転送先別」「選択転送先別」「ツリー転送先別」「ツリー案内メッセージ別」とも、それぞれ定時集計と同じです。

故障とお考えになる前に

◎ 故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

装置

現　象	点検項目	対　策	関連ページ
［応答］ボタンを押すと 「ｶｰﾄﾞ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示され、 応答セットができない	メッセージ用メモリーカードがセットされていません。	メッセージ用メモリーカードを挿入してください。	45
「ｶｰﾄﾞ ｶﾞ ﾁｶﾞｲﾏｽ」と表示され、 応答セットができない	登録・集計用とメッセージ用のメモリーカードが間違ってセットされています。	正しくセットしなおしてください。	32
「ﾄｳﾛｸ ﾃﾞｰﾀ ﾅｼ」と表示される	本装置内に登録データがありません。	登録データをメモリーカードから読み込むか、 または制御用パソコンから書き込んでください。	36 156
「ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示される	長期間の停電などで、時刻が消えています。	初期設定で、現在日時を登録してください。	33
「ﾀｲﾏｰ ｷｶﾝｶﾞｲ ﾃﾞｽ」と表示される	年間タイマーの年月日の有効期間（登録から５年）が過ぎています。	新しい年間タイマーのデータを読み込ませてください。	36 156
［録音］ボタンを押すと 「ｶｰﾄﾞ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示され、 録音ができない	メッセージ用メモリーカードがセットされていません。	メッセージ用メモリーカードを挿入してください。	38
録音で［セット］ボタンを押すと 「ﾏｲｸ / ﾃｰﾌﾟ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示され、 録音ができない	マイク、テープレコーダが接続されていません。	接続してください。	40
応答動作しない	個別回線設定で「使用回線」のチェックはありますか? 回線側の L1，L2 の極性が逆になっていませんか?	設定や極性を確認してください。	71 5,6,52
ボイスワープ転送ができない	ボイスワープ転送は「使用する」になっていますか? NTT とボイスワープ契約していますか? 代表回線の場合、個別設定を選択していますか?	設定やボイスワープ契約を確認してください。	67 5,6
T1,T2 に接続した電話装置を呼び出さない	T1，T2（TEL 側）の極性が逆になっていませんか? 接続種別（T1,T2）の設定は、接続された構内交換機（PBX）と合っていますか? ダイヤルイン番号の登録桁数は正しいですか?	設定や極性を確認してください。	5,6,52 67
制御用パソコンから、データ読み書きや動作モニタができない	LAN の設定は正しくされていますか?	本体および制御パソコンの IP アドレスなどの設定を確認してください。	34 61

データ入力ソフト

現　象	点検項目	対　策	関連ページ
パソコンが動作しない	パソコンの動作環境は合っていますか?	OS やメモリー容量などを確認してください。	56
メモリーカードにデータの書き込みや、メモリーカードからデータの読み込みができない	メモリーカードは正規の添付品ですか?	登録・集計用メモリーカード（KFC-60M）、メッセージ用メモリーカード（JFC-60M）を使用してください。	32
	カードライトアダプタ CWA-100 は正しく接続されていますか?	パソコンとの接続やドライバのインストールを確認してください。	57
本体装置とのデータ読み書きや動作モニタができない	LAN の設定は正しくされていますか?	本体および制御パソコンの IP アドレスなどの設定を確認してください。	34,61
集計ファイルが作成できない	ご利用の Excel は Excel 2010 ですか?	集計ファイル用フォルダを信頼できる場所として指定してください。	184,186 187,190

主な仕様

項目			仕様	備考
電話回線		収容回線数	初期実装６回線（最大 24 回線）	６回線ラインボード３枚追加
		回線グループ数	最大４グループ	
		回線種別（L1，L2 側）	アナログ一般公衆回線、構内交換機アナログ内線	ナンバーディスプレイ対応
		回線種別（T1，T2 側）	一般アナログ回線、アナログダイヤルイン回線	ナンバーディスプレイ対応
		直流抵抗値	約 272 Ω	
		接続方式	スクリューレス端子接続	
ディスプレイ		サイズ	16 文字（半角）× 1 行	バックライト付き LCD
		表示文字	カナ、数字、記号、アルファベット	
録音再生		録音媒体	フラッシュメモリーカード（JFC-60M）	当社オリジナル
		録音方式	μ -law	
		サンプリング	8Bit、8kHz	
		メッセージ数	249ch	
		録音時間	60 分	
音声入力		マイク入力端子	600 Ω不平衡、-55dBm、3.5mm ジャック	
		テープ入力端子	50k Ω不平衡、0dBm、3.5mm ジャック	
制御出力		アラーム端子	無電圧メーク／ブレーク出力 （接点容量：DC30V，500mA 以下）	
		時刻修正端子（OUT）	無電圧メーク／ブレーク出力 （接点容量：DC30V，500mA 以下）	
制御入力		外部制御端子	無電圧メーク接点（接点容量：DC10V，10mA 以上）	信号時間：0.2 秒以上
		時刻修正端子（IN）	無電圧メーク接点（接点容量：DC10V，10mA 以上）	信号時間：0.2 秒以上
LAN 接続端子		通信プロトコル	TCP/IP	
		インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX	
データ作成		パソコン	IVR-2430 データ入力ソフト（添付品）	Windows Vista/7/8/8.1 対応
		記憶媒体	フラッシュメモリーカード（KFC-60M）	当社オリジナル
転送	動作モード	選択転送	転送パターン：20、選択番号：1/2 桁	
		ツリー転送	転送パターン：2、ツリー階層：2/3 階層	
		ダイレクト転送	入力桁数：1 ～ 8 桁	
		無条件転送	NTT ボイスワープ使用、転送先指定：最大 100	
		お待たせ	通常 / 選択呼出、コールスクリーニング、トラフィック集計機能	
		応答専用	応答専用案内：10 種類	
	転送先	登録数	最大 100、システム用：4、一般 /ND	
		種別	ダイヤルイン、フッキング、ボイスワープ	
	転送方式		ダイヤルイン転送、フッキング転送、ボイスワープ転送、ベルのみ（一般）	
年間タイマー		有効年数	５年間	
		曜日スケジュール	日～土曜日：各 1 種類（登録ステップ数：30/ 曜日）	
		祝日スケジュール	1 種類（国民の祝日 16 日、予備９日）	ハッピーマンデー対応
		特定日スケジュール	A ～ V：22 種類（登録年より５年間）	
環境条件		動作時	温度条件：5 ～ 40℃　湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
		保管時	温度条件：−10°C ～ 50°C　湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
VCCI			クラス A	
RoHS 指令			対応	
電源		電源	AC100V ± 10V、50/60Hz	
		消費電力	約 140W（最大：24 回線収容時）	
		停電保障	年月日・時刻は、約 10 日間	
時計精度		本体装置	月差±５秒	（25℃　通電時）
外観		寸法（mm）	430（幅）× 286（奥行き）× 177（高さ）	足を含まず
		質量	約 11kg	

保証とアフターサービス

● 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
● 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターお問い合わせください。
● 本品の故障・誤操作または不具合により、発信・通話などの利用機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保証書

型名 / 保証期間		音声応答転送装置 IVR-2430 / お買い上げから 1 年間
お買い上げ日		年　月　日
お客様	お名前	
	ご住所	〒
	電話番号	
販売店	名前	
	住所	〒
	電話番号	

保証条件

1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理ご依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送付費用などはお客さまのご負担となります。
3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
① 保証書の提示がない場合
② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
⑨ 消耗品を交換した場合
4 この保証書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.
5 この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

お客様相談センター　0570-03-8811
受付時間：月～金 9：00 ～ 17：30 ＜土･日曜日、祝日、当社指定休日除く＞

修理に関するご相談

●製品の修理につきましては、お買い上げの販売店様または当社「修理センター」へお問い合わせください。
当社ホームページ http://www.takacom.co.jp 「修理のご依頼」をご覧ください。　株式会社タカコム　検索

株式会社 タカコム　本社・工場／〒 509-5202　岐阜県土岐市下石町西山 304-709

P1GG04002111R　Feb.2015